

# 土木工事標準積算基準書 (電気通信編)

令和2年10月1日

福島県土木部

この図書の全部または一部について販売目的のために、複写（複製、転載、磁気データ作成等）することを禁止する。

## 土木工事標準積算基準（電気通信編） 読み替え表

1. 土木工事標準積算基準（電気通信編）において、以下のとおり読み替えるものとする。

頁	本編（読み替え前）		読み替え後
各頁	土木工事標準積算基準書	→	土木工事標準積算基準（福島県土木部）

2. 県独自基準と本基準の記載内容が重複する場合、県独自基準を優先する。

・ 県独自基準 例) 施工歩掛決定基準、設計資材単価等決定基準



# 土木工事標準積算基準書 (電気通信編)

## 総目次

### 第Ⅶ編 積算

#### 第1章 総則

- ① 適用範囲等…………… VII-1-1
- ② 請負工事の工事費構成…………… VII-1-2
- ③ 請負工事費の費目…………… VII-1-3

#### 第2章 工事費の積算

- ① 機器・材料等の区分…………… VII-2-1
- ② 機器単体費…………… VII-2-6
- ③ 鋼構造製作物…………… VII-2-7
- ④ 直接工事費…………… VII-2-8
- ⑤ 間接工事費…………… VII-2-10

#### 第3章 一般管理費等及び消費税相当額…………… VII-3-1

#### 第4章 その他

- ① 市場単価方式による価格の算定…………… VII-4-1
- ② 工事の一時中止に伴う増加費用等の積算上の取扱い…………… VII-4-2

### 第Ⅷ編 歩掛

#### 第1章 一般事項

##### 第1節 一般事項

- ① 一般事項…………… VIII-1-1

#### 第2章 共通設備

##### 第1節 共通設備工

- ① 配管・配線工…………… VIII-2-1
- ② 配線器具設置工…………… VIII-2-18

③	通信配線工	VIII-2-22
④	光ケーブル敷設工	VIII-2-32
⑤	ハンドホール設置工	VIII-2-40
⑥	プルボックス設置工	VIII-2-41
⑦	分電盤設置工	VIII-2-44
⑧	引込柱設置工	VIII-2-46
⑨	支柱設置工	VIII-2-49
⑩	通信線柱設置工	VIII-2-50
⑪	避雷設備工	VIII-2-52
⑫	接地設置工	VIII-2-54
⑬	耐震施工（あと施工アンカーボルト引張試験）	VIII-2-56
第2節 工場製品輸送工		
①	輸送工	VIII-2-57
第3章 電気設備		
第1節 受変電設備工		
①	特別高圧受変電設備設置工	VIII-3-1
②	高圧受変電設備設置工	VIII-3-11
③	低圧受変電設備設置工	VIII-3-17
④	受変電用監視制御設備設置工	VIII-3-19
⑤	受変電設備基礎工	VIII-3-21
第2節 電源設備工		
①	発電設備設置工	VIII-3-22
②	無停電電源設備設置工	VIII-3-28
③	直流電源設備設置工	VIII-3-32
④	管理用水力発電設備設置工	VIII-3-35
⑤	新エネルギー電源設備設置工	VIII-3-36
第3節 揚排水機場電気設備工		
①	高圧受変電設備設置工	VIII-3-37
②	低圧受変電設備設置工	VIII-3-38
③	発電設備設置工	VIII-3-39
④	無停電電源設備設置工	VIII-3-40
⑤	直流電源設備設置工	VIII-3-41
⑥	操作制御装置設置工	VIII-3-42
⑦	水閘門電気設備設置工	VIII-3-43
第4節 地下駐車場電気設備工		
①	高圧受変電設備設置工	VIII-3-44
②	低圧受変電設備設置工	VIII-3-45
③	発電設備設置工	VIII-3-46
④	無停電電源設備設置工	VIII-3-47
⑤	直流電源設備設置工	VIII-3-48

⑥	電灯設備設置工	VIII-3-49
⑦	動力設備設置工	VIII-3-56
⑧	電話設備設置工	VIII-3-57
⑨	放送設備設置工	VIII-3-58
⑩	ラジオ再放送設備設置工	VIII-3-59
⑪	無線通信補助設備設置工	VIII-3-60
⑫	インターホン設備設置工	VIII-3-61
⑬	テレビ共聴設備設置工	VIII-3-62
⑭	身体障害者警報設備設置工	VIII-3-63
⑮	自動火災報知設備設置工	VIII-3-64
⑯	CCTV 装置設置工	VIII-3-65
⑰	中央監視設備設置工	VIII-3-66
⑱	駐車場管制設備設置工	VIII-3-67
⑲	遠方監視設備設置工	VIII-3-68
第5節 配電線設備工		
①	配電線設備設置工	VIII-3-69
第6節 道路照明設備工		
①	道路照明設備設置工	VIII-3-71
②	サービスエリア照明設備設置工	VIII-3-76
③	歩道（橋）照明設備設置工	VIII-3-77
④	照明灯基礎設置工	VIII-3-78
⑤	照明灯プレキャスト基礎設置工	VIII-3-79
⑥	視線誘導灯設置工	VIII-3-80
⑦	視線誘導灯基礎設置工	VIII-3-81
第7節 トンネル照明設備工		
①	トンネル照明設備設置工	VIII-3-82
②	アンダーパス照明設備設置工	VIII-3-86
③	地下道照明設備設置工	VIII-3-87
④	照明灯基礎設置工	VIII-3-88
⑤	雑工（電気）	VIII-3-89
第8節 施設照明設備工		
①	ダム照明設備設置工	VIII-3-90
②	河川照明設備設置工	VIII-3-91
③	公園照明設備設置工	VIII-3-92
第9節 共同溝付帯設備工		
①	共同溝引込設備設置工	VIII-3-96
②	共同溝照明設備設置工	VIII-3-99
③	共同溝排水設備設置工	VIII-3-101
④	共同溝換気設備設置工	VIII-3-106
⑤	共同溝監視制御設備設置工	VIII-3-110
⑥	共同溝標識設備設置工	VIII-3-112

第10節	電気応用設備工	
①	水処理設備設置工	VIII-3-113
第11節	道路融雪設備工	
①	高圧受変電設備設置工	VIII-3-114
②	受変電設備基礎工	VIII-3-115
③	道路ヒーティング設備設置工	VIII-3-116
④	道路消融雪ポンプ設備設置工	VIII-3-120
⑤	道路消融雪ポンプ設備基礎工	VIII-3-122
第12節	道路照明維持補修工	
①	道路照明維持工	VIII-3-123
②	道路照明修繕工	VIII-3-128
第4章	通信設備	
第1節	多重無線設備工	
①	多重無線装置設置工	VIII-4-1
②	空中線装置設置工	VIII-4-7
③	デジタル端局装置設置工	VIII-4-11
④	画像伝送路切替制御装置設置工	VIII-4-18
⑤	画像伝送路切替装置設置工	VIII-4-19
⑥	監視制御装置設置工	VIII-4-22
第2節	テレメータ設備工	
①	テレメータ監視局装置設置工	VIII-4-25
②	テレメータ中継局装置設置工	VIII-4-32
③	テレメータ観測局装置設置工	VIII-4-34
第3節	放流警報設備工	
①	放流警報制御監視局装置設置工	VIII-4-38
②	放流警報中継局装置設置工	VIII-4-40
③	放流警報警報局装置設置工	VIII-4-41
第4節	移動体通信設備工	
①	移動体通信装置設置工	VIII-4-43
②	デジタル陸上移動通信装置設置工	VIII-4-54
第5節	衛星通信設備工	
①	固定型衛星通信用地球局設備設置工	VIII-4-61
②	移動型衛星通信用地球局設備設置工	VIII-4-67
③	衛星小型（制御地球局）画像伝送装置設置工	VIII-4-69
④	衛星小型（固定局）画像伝送装置設置工	VIII-4-70
⑤	衛星小型（可搬局）画像伝送装置設置工	VIII-4-71
⑥	衛星地球局基礎工	VIII-4-72
第6節	へり画像受信設備工	
①	へり画像受信基地局装置設置工	VIII-4-73
②	へり画像受信携帯局装置設置工	VIII-4-74



第7節	電話交換設備工	
①	自動電話交換装置設置工	VIII-4-75
第8節	有線通信設備工	
①	デジタル端局装置 (SDH) 設置工	VIII-4-83
②	管理施設用小容量光伝送装置設置工	VIII-4-90
③	光ファイバ線路監視装置設置工	VIII-4-91
第9節	道路情報表示設備工	
①	道路情報表示制御装置設置工	VIII-4-92
②	道路情報表示装置設置工	VIII-4-96
第10節	河川情報表示設備工	
①	河川情報表示制御装置設置工	VIII-4-102
第11節	放流警報表示設備工	
①	放流警報表示制御装置設置工	VIII-4-103
第12節	トンネル防災設備工	
①	トンネル監視制御装置設置工	VIII-4-104
②	付属設備操作制御装置設置工	VIII-4-105
第13節	非常警報設備工	
①	非常警報装置設置工	VIII-4-107
第14節	ラジオ再放送設備工	
①	ラジオ再放送装置設置工	VIII-4-112
②	緊急放送装置設置工	VIII-4-118
第15節	トンネル無線補助設備工	
①	トンネル無線補助設備設置工	VIII-4-119
第16節	路側通信設備工	
①	路側通信制御装置設置工	VIII-4-122
第17節	道路防災設備工	
①	交通遮断装置設置工	VIII-4-123
②	交通流車両観測装置設置工	VIII-4-128
③	路車間通信装置設置工	VIII-4-131
④	交通遮断装置基礎工	VIII-4-132
第18節	施設計測・監視制御設備工	
①	路面凍結検知装置設置工	VIII-4-133
②	積雪深計測装置設置工	VIII-4-136
③	気象観測装置設置工	VIII-4-137
④	地震データ集配信制御設備設置工	VIII-4-138
⑤	地震データ通信制御設備設置工	VIII-4-139
⑥	強震計測装置設置工	VIII-4-140
⑦	土石流監視制御装置設置工	VIII-4-141
⑧	路面冠水検知装置設置工	VIII-4-142
第19節	通信鉄塔・反射板設備工	
①	通信用鉄塔設置工	VIII-4-143

② 反射板設置工	VIII-4-145
③ 鉄塔基礎工	VIII-4-149
④ 反射板基礎工	VIII-4-150

## 第5章 電子応用設備

### 第1節 共通設備工

① 各種情報設備設置工	VIII-5-1
② IPネットワーク設備設置工	VIII-5-6

### 第2節 ダム・堰諸量設備工

① ダム・堰諸量装置設置工	VIII-5-8
② ダム・堰放流設備制御装置設置工	VIII-5-9

### 第3節 レーダ雨（雪）量計設備工

① レーダ中央処理局装置設置工	VIII-5-14
② レーダ処理局装置設置工	VIII-5-15
③ レーダ基地局装置設置工	VIII-5-17
④ レーダ雨（雪）量計端末装置設置工	VIII-5-20

### 第4節 河川情報設備工

① 河川情報中枢局装置設置工	VIII-5-23
② 河川情報集中局装置設置工	VIII-5-25
③ 河川情報端末局装置設置工	VIII-5-26

### 第5節 道路交通情報設備工

① 道路情報中枢局装置設置工	VIII-5-27
② 道路情報集中局装置設置工	VIII-5-32
③ 道路情報端末局装置設置工	VIII-5-33

### 第6節 CCTV 設備工

① CCTV 監視制御装置設置工	VIII-5-34
② CCTV 装置設置工	VIII-5-38

### 第7節 水質自動監視設備工

① 水質自動監視装置設置工	VIII-5-41
② 水質自動観測装置設置工	VIII-5-43

### 第8節 電話応答通報設備工

① 電話応答（通報）装置設置工	VIII-5-46
-----------------	-----------

### 第9節 システム・インテグレーション

① システム・インテグレーション	VIII-5-48
------------------	-----------

## 第6章 その他

### 第1節 施工コード

① 電気通信機器施工コード	VIII-6-1
---------------	----------

### 第2節 機材コード

① 電気通信機材コード	VIII-6-3
-------------	----------

### 第3節 材料補正コード

① 長さ割増し補正コード	VIII-6-5
第4節 材料コード一覧	
① 電線・ケーブル	VIII-6-6
② 制御ケーブル類	VIII-6-18
③ 通信ケーブル類	VIII-6-21
④ 情報ケーブル類	VIII-6-26
⑤ 接続材・端末処理材	VIII-6-35
⑥ 配管材等	VIII-6-38
⑦ 分電盤等	VIII-6-45
⑧ 照明器具等	VIII-6-47
⑨ 電話付属用品等	VIII-6-68
⑩ 建柱材等	VIII-6-69
⑪ 装柱金具その他等	VIII-6-73
⑫ 避雷針及び設置資材	VIII-6-77

# 第Ⅶ編 積 算

第1章	総 則	Ⅶ-1-1
第2章	工事費の積算	Ⅶ-2-1
第3章	一般管理費等及び消費税相当額	Ⅶ-3-1
第4章	そ の 他	Ⅶ-4-1

# 第1章 総 則

① 適用範囲等……………	VII-1-1	③ 請負工事費の費目……………	VII-1-3
1 適用範囲……………	VII-1-1	1 一般工事の請負工事費……………	VII-1-3
2 設計書の作成……………	VII-1-1	2 鉄塔・反射板工事の請負工事費…	VII-1-5
3 用語の定義……………	VII-1-1		
② 請負工事の工事費構成……………	VII-1-2		
1 工事費の基本構成……………	VII-1-2		

# 第1章 総 則

## ① 適用範囲等

### 1 適用範囲

この基準書は、福島県土木部の土木事業における電気通信設備を請負施工に付する場合における工事費の積算に適用する。

ただし、この基準書によることが著しく不適當又は困難であると認められるものについては、適用除外とすることができる。

### 2 設計書の作成

設計書の作成にあたっては、目的とする工事を最も合理的に施工及び監督できるよう施工条件、施工管理、安全施工等に十分留意し、工法歩掛及び単価などについて調査研究をおこない、明確に作成しなければならない。

### 3 用語の定義

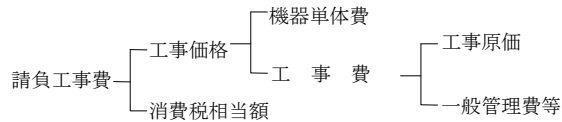
- (1) 「技術者」とは、電気通信技術者をいう。
- (2) 「技術員」とは、電気通信技術員をいう。
- (3) 「技術者等」とは、電気通信技術者及び電気通信技術員をいう。

## ② 請負工事の工事費構成

### 1 工事費の基本構成

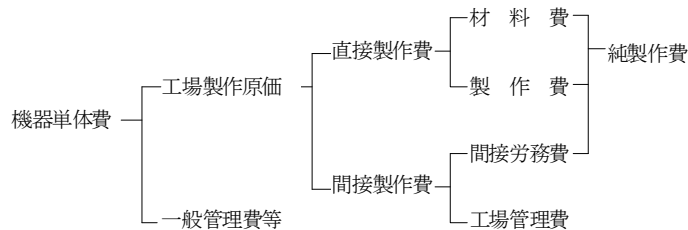
1-1 請負工事費の構成は、次のとおりとする。

(1) 一般工事

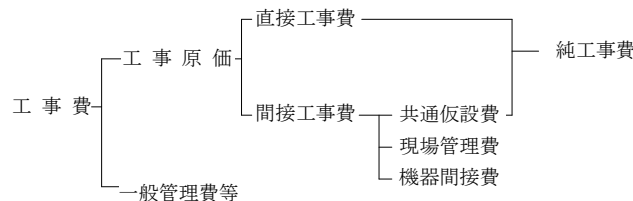


(注) 製造請負の場合は、「請負工事費」を「設備費」、「工事価格」を「据付価格」、「工事」を「据付」と読み替えるものとする。

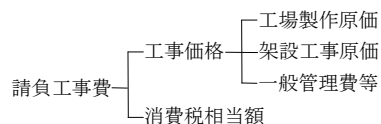
(イ) 機器単体費の内訳



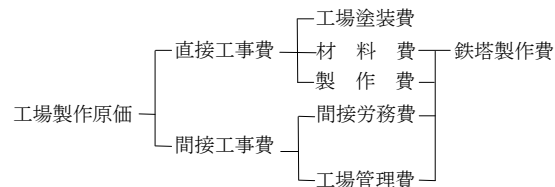
(ロ) 工事費の内訳



(2) 鉄塔・反射板工事

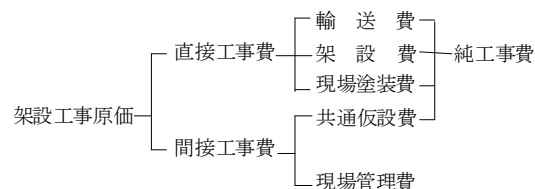


(イ) 工場製作原価の内訳



(注) 工場管理費の対象額は直接工事費と間接労務費の和であり、詳細は「土木工事標準積算基準書第IV編第7章①鋼橋製作工」によるものとする。

(ロ) 架設工事原価の内訳



### ③ 請負工事費の費目

#### 1 一般工事の請負工事費

一般工事の請負工事費は、次の各号に掲げるものとする。

##### 1-1 工事価格

工事価格は、機器単体費と工事費の合計である。

##### 1-1-1 機器単体費

機器単体費は、電気通信設備の構成要素である機器の単体価格の合計である。

###### (1) 工場製作原価

工場製作原価は、直接製作費、間接製作費の合計である。

###### 1) 直接製作費

###### (イ) 材料費

製作にあたって、直接及び補助的に使用される材料の費用である。

###### (ロ) 製作費

工場製作にかかる直接費である。

###### 2) 間接製作費

###### (イ) 間接労務費

工場製作にかかる間接費で、間接作業賃金、事務技術職員給与、間接外注費、製作外注費、横持運搬費である。

###### (ロ) 工場管理費

工場管理費は工場製作にかかる間接費で、福利厚生費、修繕維持費、事務用品費、通信・交通費、動力・用水・光熱費、交際費、地代家賃、減価償却費、租税公課、保険料、動産賃貸料、電算関係費、雑費である。

###### (2) 一般管理費等

機器単体費の一般管理費等は、工場製作を行う企業の継続運営に必要な費用をいい、一般管理費及び付加利益からなる。

$$\text{一般管理費等率} = \frac{\text{一般管理費等}}{\text{工場製作原価}}$$

##### 1-1-2 工事費

###### (1) 工事原価

工事原価は、直接工事費と間接工事費の合計である。

###### (イ) 直接工事費

直接工事費は、箇所又は工事種別により各工事部門を工種、種別、細別及び名称に区分し、それぞれの区分毎に材料費、労務費、直接経費、機器及び鉄塔・反射板の輸送費の4要素について積算するものとする。

###### (ロ) 間接工事費

① 間接工事費は、各工事部門共通の前号以外の工事費及び経費とし、共通仮設費、現場管理費及び機器間接費に分類するものとする。

② 共通仮設費は、次に掲げるものについて積算するものとする。

- a. 運搬費
- b. 準備費
- c. 事業損失防止施設費
- d. 安全費
- e. 役務費
- f. 技術管理費



g. 営繕費

③ 現場管理費

現場管理費は、工事施工にあたって、工事を管理するために必要な共通仮設費、機器間接費以外の経費とし、現場管理費を構成する各費目について積算するか、又は次の現場管理費率を用いて積算するものとする。

$$\text{現場管理費率} = \frac{\text{現場管理費}}{\text{純工事費}}$$

ただし、純工事費＝直接工事費＋共通仮設費

④ 機器間接費

機器間接費は、技術者間接費と機器管理費の合計である。

a. 技術者間接費

技術者間接費は、工事施工にあたって、機器の製作工場等から派遣される技術者等に対する製作工場等にかかる間接費であり、次の技術者間接費率を用いて積算するものとする。

$$\text{技術者間接費率} = \frac{\text{技術者間接費}}{\text{派遣労力費}}$$

ただし、派遣労力費とは、技術労力費のうち当該機器の製作工場等から派遣される労力費をいう。

b. 機器管理費

機器管理費は、工事施工にあたって機器の調達、機器の施工現場での適切な管理等に要する経費であり、次の機器管理費率を用いて積算するものとする。

$$\text{機器管理費率} = \frac{\text{機器管理費}}{\text{機器単体費}}$$

(2) 一般管理費等

一般管理費等は、工事施工にあたる企業の継続運営に必要な費用をいい、一般管理費及び付加利益からなり、次の一般管理費等率を用いて積算するものとする。

$$\text{一般管理費等率} = \frac{\text{一般管理費等}}{\text{工事原価}}$$

1-2 消費税相当額

消費税相当額は、消費税及び地方消費税相当分を積算するものとする。

## 2 鉄塔・反射板工事の請負工事費

鉄塔・反射板工事の請負工事費は、次の各号に掲げるものとする。

### 2-1 工事価格

工事価格は、工場製作原価、架設工事原価、一般管理費等の合計である。

#### 2-1-1 工場製作原価

工場製作原価は、設備の構成要素である鉄塔・反射板の工場製作費である。

##### 2-1-1-1 直接工事費

###### (1) 工場塗装費

工場において行う製品の塗装に要する費用である。

###### (2) 材料費

「土木工事標準積算基準書第IV編第7章①鋼橋製作工」によるものとする。

###### (3) 製作費

「土木工事標準積算基準書第IV編第7章①鋼橋製作工」によるものとする。

##### 2-1-1-2 間接工事費

###### (1) 間接労務費

「土木工事標準積算基準書第IV編第7章①鋼橋製作工」によるものとする。

###### (2) 工場管理費

「土木工事標準積算基準書第IV編第7章①鋼橋製作工」によるものとする。

##### 2-1-2 架設工事原価

架設工事原価は、直接工事費と間接工事費の合計である。

##### 2-1-2-1 直接工事費

直接工事費は、輸送費、架設費、現場塗装費の合計である。

###### (1) 輸送費

工場製作品を施工現場まで運搬する輸送費である。

###### (2) 架設費

「土木工事標準積算基準書第IV編第7章①鋼橋製作工」によるものとする。

###### (3) 現場塗装費

据付時に行う設備の塗装に要する費用である。

##### 2-1-2-2 間接工事費

間接工事費は、共通仮設費と現場管理費の合計である。

###### (1) 共通仮設費

一般工事の共通仮設費によるものとする。

###### (2) 現場管理費

一般工事の現場管理費によるものとする。

##### 2-1-3 一般管理費等

一般管理費等は、工事施工にあたる企業の継続運営に必要な費用をいい、一般管理費及び付加利益からなり、次の一般管理費等率を用いて積算するものとする。

(工場製作から現場架設まで一括請負とする場合)

$$\text{一般管理費等率} = \frac{\text{一般管理費等}}{\text{工場製作原価} + \text{架設工事原価}}$$

##### 2-2 消費税相当額

一般工事の消費税相当額によるものとする。

## 第2章 工事費の積算

① 機器・材料等の区分	VII-2-1	⑤ 間接工事費	VII-2-10
② 機器単体費	VII-2-6	1 総 則	VII-2-10
③ 鋼構造製作物	VII-2-7	2 共通仮設費	VII-2-10
④ 直接工事費	VII-2-8	3 現場管理費	VII-2-10
1 総 則	VII-2-8	4 機器間接費	VII-2-10
2 材 料 費	VII-2-8	5 間接工事費の算定方法	VII-2-15
3 労 務 費	VII-2-8		
4 直接経費	VII-2-8		
5 輸 送 費	VII-2-9		

## 第2章 工事費の積算

### ① 機器・材料等の区分

電気通信設備工事に用いる器資材の区分は次によるものとし、その具体的区分は別表第1によるものとする。

「機器」とは、「当該機器の製作工場等で機能、性能の確認（品質証明等を含む）がなされて調達されるもので、施工現場においては加工等を必要としないもの」をいう。

「材料」とは、「素材品質等の確認（認証等を含む）が製作工場等でなされて調達されるもので、施工現場において造成、加工を必要とするもの」をいう。

「鋼構造製作物」とは、「施工現場条件に応じ個別に工場製作がなされ、製作工場で仮組立等により品質検査・構成等の確認がなされる鋼構造製作物で、現場において組立・架設等を必要とするもの」をいう。

別表 第1

機器・材料等の区分

設備等名称	機 器	材 料	鋼構造製作物	備考
多重無線通信装置	① 多重無線装置 ② 空中線及びレドーム ③ 伝送装置、端局装置及び同ユニット ④ 遠方監視制御装置、回線監視装置 ⑤ 上記①～④に類する装置	① ケーブル・電線 ② 電線管等管路材及び付属品 ③ 導波管 ④ 避雷針、避雷器、接地材 ⑤ ケーブルラック	① 通信鉄塔 ② 反射板構造物 ③ 空中線取付架台 ④ ケーブルラック等鉄塔付帯設備（鉄塔と一体のもの） ⑤ 反射板面	
テレメータ設備	① 監視局の無線装置、空中線、分配器、同軸避雷器、操作卓、プリンター、表示盤 ② 観測局、中継局等の無線装置、空中線、同軸避雷器、雨量計又は水位計、直流電源装置、太陽電池電源装置 ③ 上記①、②に類する装置	① ケーブル・電線 ② 電線管等管路材及び付属品 ③ 避雷針、避雷器、接地材 ④ パンザーマスト ⑤ 空中線取付金具		

機器・材料等の区分

設備等名称	機 器	材 料	鋼構造製作物	備考
放 流 警 報 設 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 制御監視局の無線装置、空中線、分配器、同軸避雷器、操作卓、タイプライタ、表示盤</li> <li>② 警報局の無線装置、空中線、同軸避雷器、サイレン及びサイレン制御盤、拡声器及び音声増幅装置、放流警報表示機及び同制御盤等</li> <li>③ 中継局はテレメータ設備に準じる</li> <li>④ 上記①、②に類する装置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ケーブル・電線</li> <li>② 電線管等管路材及び付属品</li> <li>③ 避雷針、避雷器、接地材</li> <li>④ パンザーマスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 表示機支柱構造物</li> </ul>	
移 動 体 通 信 設 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 総括局、統制局の主制御装置、データ回線終端装置、表示制御装置、監視制御端末、時計装置及び監視表示盤</li> <li>② 基地局の基地局装置、空中線共用装置及び空中線、同軸避雷器</li> <li>③ 移動局の携帯型及び車載型移動局装置</li> <li>④ 上記①～③に類する装置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ケーブル・電線</li> <li>② 電線管等管路材及び付属品</li> <li>③ 避雷針、避雷器、接地材</li> <li>④ 空中線取付金具</li> </ul>		
衛 星 通 信 地 球 局 設 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 固定型衛星地球局のアンテナ装置、送受信装置、個別通信端局装置、画像端局装置及び回線制御装置</li> <li>② 可搬型衛星通信地球局のアンテナ装置、送受信装置、端局装置、小型交換装置、画像端局装置、画像設備及び車輛・付帯設備</li> <li>③ 上記①、②に類する装置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ケーブル・電線</li> <li>② 電線管等管路材及び付属品</li> <li>③ 導波管</li> <li>④ 避雷針、避雷器、接地材</li> </ul>		
電 話 交 換 設 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自動電話交換装置の本体、操作卓、電話機</li> <li>② 電話交換設備に付帯するネットワーク装置、変換装置、接続装置</li> <li>③ 上記①、②に類する装置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ケーブル・電線及び配線材料</li> <li>② 電線管等管路材及び付属品</li> <li>③ 避雷器、保安器</li> <li>④ 壁掛形中継端子盤</li> </ul>		

機器・材料等の区分

設備等名称	機 器	材 料	鋼構造製作物	備考
受変電設備	① 受電盤、き電盤、変圧器盤、配電盤、蓄電池盤、動力盤及び電灯盤（低圧盤）等設備を構成する盤類 ② 避雷器、変圧器、遮断機、蓄電池等単体で設備を構成するもの ③ 直流電源盤及び定電圧定周波盤、監視・制御設備 ④ 上記①～③に類する装置	① ケーブル・電線及び配線材料 ② 電線管路材及び付属品 ③ ケーブルラック ④ ハンドホール ⑤ 接地材 ⑥ コンクリート柱及び装柱材 ⑦ トラフ ⑧ ダクト及び付属品	① 屋外機構（ストラクチャー）	
発 電 機	① 発電機又は原動機 ② 発電機盤、切替盤、その他受変電設備に準ずる盤類 ③ 直流電源盤、吸排気・冷却・燃料移送等の補機類 ④ 監視・制御盤設備 ⑤ 上記①～④に類する装置	① ケーブル・電線及び配線材料 ② 電線管等管路材及び付属品 ③ ケーブルラック ④ ハンドホール ⑤ 接地材 ⑥ コンクリート柱及び装柱材 ⑦ トラフ		
共 同 溝 電 気 設 備	換気ファン、排水ポンプ、ガス検知器、監視・制御盤・照明盤及び類する装置	① ケーブル・電線及び配線材料 ② 電線管等管路材及び付属品 ③ ケーブルラック		
ト ン ネル 非 常 警 報	トンネル非常警報表示機及び制御機、押しボタン式通報装置、火災検知器、監視・制御盤類、消火器、電話機及び類する装置	① ケーブル・電線及び配線材料 ② 電線管等管路材及び付属品 ③ ケーブルラック	① 表示機支柱構造物	
トンネル換気 制 御 設 備	煙霧透過率計（VI 計）、一酸化炭素検出計（CO 計）、風向・風速計のセンサー類、監視・制御盤及び類する装置	① ケーブル・電線及び配線材料 ② 電線管等管路材及び付属品 ③ ケーブルラック		

機器・材料等の区分

設備等名称	機 器	材 料	鋼構造製作物	備考
道路情報設備	① 道路情報表示板、主制御機、機側操作盤 ② 交通量観測装置の超音波感知器等のセンサー類及び制御盤類 ③ 交通止装置の遮断機、機側操作制御盤、監視・制御盤等 ④ 道路気象観測装置の各種センサー類（気温、路温、反射比率計、積雪計、雨量計、風向・風速計等）、監視・制御盤類 ⑤ 上記①～④に類する装置	① ケーブル・電線及び配線材料 ② 電線管等管路材及び付属品	① 表示機支柱構造物 ② 各種センサー支持構造物	
CCTV 設備	カメラ、固定・電動ズームレンズ、カメラケース、雲台、旋回装置、制御装置、モニターテレビ、操作卓、ネットワーク装置及び類する装置	① ケーブル・電線及び配線材料 ② 電線管等管路材及び付属品	① カメラ支持構造物	
レーダ 雨（雪）量計 設 備	① レーダ基地局の空中線、導波管加圧装置、送受信装置、レーダ動作監視装置、指示装置、通信制御装置 ② データ処理局等の通信制御装置、データ処理装置、ネットワーク装置 ③ 上記①、②に類する装置	① ケーブル・電線及び配線材料 ② 電線管等管路材及び付属品	① 空中線取付架台	
河川情報 処 理 装 置	処理装置、入出力インターフェイス装置、入出力中継装置、データ表示盤（グラフィックパネルを含む）、ネットワーク装置及び類する装置	① ケーブル・電線及び配線材料 ② 電線管等管路材及び付属品		
ダム・堰制御 処 理 設 備	処理装置、入出力インターフェイス装置、入出力中継装置、データ表示盤（グラフィックパネルを含む）、ネットワーク装置及び類する装置	① ケーブル・電線及び配線材料 ② 電線管等管路材及び付属品		

機器・材料等の区分

設備等名称	機 器	材 料	鋼構造製作物	備考
そ の 他	① 模写電送装置 ② 測定器 ③ 空気調和装置 ④ 配電盤、制御盤（発注者仕様に基づき個別製作するもの） ⑤ 発注者仕様に基づき個別製作する照明器具 ⑥ 光成端箱（発注者仕様に基づき個別製作するもの） ⑦ 個別製作ソフトウェア ⑧ パッケージソフトウェア ⑨ ネットワークスイッチ（ラインインターフェースを含む） ⑩ 光伝送装置 ⑪ ⑨、⑩に類する装置	① 一般照明柱（物価資料等掲載の規格品等） ② 照明器具（灯具、ランプ、安定器、自動点滅器含む） ③ 分電盤 ④ 光ケーブル ⑤ 光成端箱（汎用品） ⑥ 光接続材（クロージャ） ⑦ 光コード	① 発注者仕様に基づき個別製作する照明柱	

- (注) 1. 本資料において、設備名及び機器名等は、代表的なものを掲げたものであり他の設備欄で掲げたものは、全て同様に扱うものとする。
2. 本資料に記載のないものは、類似品から判断するものとする。



## ② 機器単体費

機器単体費の算定は以下によるものとする。

- (1) 機器単体費は、工事施工にあたっての機器の調達価格（原則として入札時における市場価格）とし、消費税相当額を含まない価格とする。
- (2) 機器の価格算定は「第1章②1-1 (1) (イ) 機器単体費の内訳」に基づき積上げ計算するものとするが、これにより難しい場合は見積り、物価資料、実績等に基づき適切な価格を算定するものとする。
- (3) 見積りにより価格算定する場合は、機器の性能、構成、規格、品質、数量、納入時期、納入場所等の条件を提示し、見積依頼を行うものとする。徴収した見積価格は取引実績等を勘案して適切な価格を算定するものとする。
- (4) 機器の出荷場所から施工現場までの輸送費は別途計上するものとする。
- (5) 支給品の価格決定については、官側において調達した機器を支給する場合、現場発生機器を官側において保管し再使用品として支給する場合とも、設計時の類似品価格とする。

### ③ 鋼構造製作物

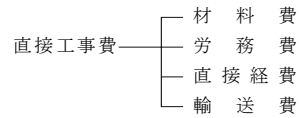
鋼構造製作物にかかる工事費の算定は、以下によるものとする。

- 1 鋼構造製作物の算定は「第1章②1-1(2) 鉄塔・反射板工事」によるものとする。
- 2 工場製作原価は、製作工場の出荷価格とし、工場から施工現場までの輸送費は別途計上するものとする。ただし、これにより難しい場合は、市場を的確に把握して積み上げるものとする。
- 3 一般管理費等は、工場製作にかかる本支店等の経費及び付加利益である。ただし、工場製作と現場架設を同一業者に発注する場合の一般管理費等は現場架設費の工事原価を含めて調整するものとする。
- 4 工場製作原価の算定は「第1章②1-1(2)(イ) 工場製作原価の内訳」に基づき積み上げ計算するものとするが、これにより難しい場合は、鉄塔種別及び重量等から適切な鉄塔製作の市場価格を算定するものとする。

## ④ 直接工事費

### 1 総 則

この算定基準は、直接工事費の内、材料費、労務費、直接経費、輸送費の算定に係る必要な事項を定めたものである。直接工事費の構成は、下記のとおりとする。



ただし、「第4章①市場単価方式による価格の算定」に示すものには適用しない。

### 2 材料費

材料費は、工事を施工するために必要な材料の費用とし、その算定は次の(1)及び(2)によるものとする。

#### (1) 数 量

数量は、標準使用量に運搬、貯蔵及び施工中の損失量を実状に即して加算するものとする。

#### (2) 価 格

価格は、原則として、入札時における市場価格とするものとし、消費税相当分は含まないものとする。設計書に計上する材料の単位当りの価格を設計単価といい、設計単価は、物価資料等を参考とし、買入価格、買入に要する費用及び購入場所から施工現場までの運賃の合計額とするものとする。

支給品の価格決定については、官側において購入した資材を支給する場合、現場発生資材を官側において保管し再使用品として支給する場合とも、設計時の類似品価格とする。

### 3 労務費

労務費は、工事を施工するために必要な労務の費用とし、その算定は次の(1)、(2)及び(3)によるものとする。

#### (1) 所要人員

所要人員は、原則として、施工現場条件及び工事規模を考慮して工事ごとに査定するが、一般に過去の実績及び検討により得られた標準的な歩掛を使用するものとする。

#### (2) 労務賃金

労務賃金は、工事作業に直接従事した技術労働者及び技能労働者に支払われる賃金であって、直接作業に従事した時間の労力費の基本給をいう。

基準作業時間外の作業及び特殊条件により作業に従事して支払われる賃金を割増賃金といい、割増賃金は、従事した時間及び条件によって加算するものとする。

基本給は、次によるものとする。

#### (イ) 技術労力費

電気通信技術者及び技術員の賃金をいい、「賃金実態調査単価」とする。

#### (ロ) 技能労力費

「公共工事設計労務単価」等を使用するものとする。

### 4 直接経費

以下に示す他は「土木工事標準積算基準書第1編第2章①3直接経費」によるものとする。

(1) 旅費・交通費

施工現場への派遣に要する技術労働者の旅費・交通費は、必要に応じ計上することができる。

5 輸送費

輸送費は、機器及び鋼構造製作物を製作工場等の所在地から施工現場まで輸送するために必要な費用で、その積算は次の(1)及び(2)によるものとする。

(1) 機器の輸送費

市場価格によるものとする。

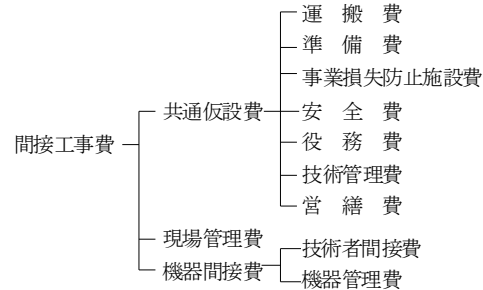
(2) 鋼構造製作物の輸送費

「土木工事標準積算基準書第Ⅰ編第2章②2-2 運搬費」によるものとする。

## ⑤ 間接工事費

### 1 総 則

この算定基準は、間接工事費の内、共通仮設費、現場管理費、機器間接費の算定に係る必要な事項を定めたものである。間接工事費の構成は、下記のとおりとする。



### 2 共通仮設費

「土木工事標準積算基準書第 I 編第 2 章②2 共通仮設費」によるものとする。

### 3 現場管理費

「土木工事標準積算基準書第 I 編第 2 章②3 現場管理費」によるものとする。

### 4 機器間接費

機器間接費は、技術者間接費と機器管理費により構成され、それぞれ以下によるものとする。

#### 1. 技術者間接費

(1) 技術者間接費は、機器の調整及びシステム・インテグレーションのために製作工場等から派遣される技術者等に対する、製作工場等に係る経費で次の項目及び内容である。

##### 1) 従業員給与手当

当該製作工場等の間接部門の従業員（以下、「間接部門従業員」という。）の給料、諸手当及び賞与

##### 2) 退職金

間接部門従業員に係る退職金及び退職給与引当金繰込額

##### 3) 法定福利費

間接部門従業員に係る労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額

##### 4) 福利厚生費

間接部門従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用

##### 5) 補助材料及び工場消耗品費

##### 6) 事務用品費

##### 7) 通信交通費

##### 8) 雑費

1) から 7) までに属さない諸費用

(2) 技術者間接費の算定

- 1) 技術者間接費の算定は、別表第2の設備等分類に従って、技術労力費ごとに求めた技術者間接費率を技術労力費に乗じて得た額の範囲内とする。
- 2) 2種以上の設備からなる工事については、その主たる設備の技術者間接費率を適用するものとし、また、工事条件によっては、工事名にとらわれることなく設備を選定する。ただし、システム・インテグレーションに関わる技術者間接費は独立して算定する。

(3) 積算方法

技術者間接費 (Q)

$$Q = (A \times m1 + B \times m2) \times K$$

A : 技術者賃金単価

B : 技術員賃金単価

m1 : 調整に要する技術者数

m2 : 調整に要する技術員数

K : 技術者間接費率

- (注)
1. 模写電送装置、移動通信設備（単信方式）等は技術者間接費の対象としない。
  2. 「据付、給電線布設、光ファイバーケーブルの接続・試験」及び「調整作業量が軽微かつ高度な技術力を要しない据付作業に含まれる調整」は技術者間接費の対象としない。
  3. システム・インテグレーションに係る技術者間接費にあつては、上記m1、m2の「調整」を「システム・インテグレーション」と読み替えるものとする。

2. 機器管理費

- (1) 機器管理費は、工事施工にあたって機器の調達、機器の施工現場での適切な管理等に要する経費で、次の項目及び内容である。

- 1) 機器の施工現場における管理に係る費用  
機器の施工現場内での保管に必要な安全施設、安全管理及び運搬等に要する費用
- 2) 技術管理に要する費用  
機器の品質管理のための施工現場における試験・検査及び試運転等に要する費用
- 3) 保険料  
機器の施工現場内における火災保険、損害保険等の保険料
- 4) 機器の調達に要する費用  
機器の調達、製作の調整等に要する費用
- 5) 訓練等に要する費用  
機器の操作運用に関して発注者等への教育訓練に要する費用
- 6) 機器製作期間中の現場経費  
機器製作期間がある場合に期間中の施工現場の安全管理等に要する費用
- 7) 事務用品費
- 8) 通信交通費
- 9) 雑費  
1)から8)までに属さない諸費用

(2) 機器管理費の算定

- 1) 機器管理費の算定は、別表第3の対象機器単体費に従って、適用区分ごとに求めた機器管理費率を機器単体費に乗じて得た額の範囲内とする。

(3) 積算方法

$$\text{機器管理費} = \text{対象額（機器単体費の合計）} \times \text{機器管理費率}$$

(イ) 機器管理費の対象となる機器単体費は「①機器・材料区分」の機器に該当す

るものの合計額をいう。

(ロ) 機器管理費率は別表第3とする。

(ハ) 機器の製作のみを行う場合、機器を支給する場合等には、機器管理費率は別表第4に定める補正係数を別表第3で算定した機器管理費率に乗じて得た率とする。

## 別表 第2

## 技術者間接費率

設 備 等 分 類		技術者間接費率 (%) (K)	備 考
種 別	細 別		
受 変 電 設 備	特高	170	
	高圧	120	
発 電 設 備	水力	150	
	高圧	80	
	低圧	80	
無 停 電 電 源 装 置		50	
直 流 電 源 装 置		50	
ト ン ネル 非 常 警 報 設 備		50	
道 路 情 報 表 示 装 置		80	
移 動 通 信 設 備		80	
多 重 無 線 通 信 設 備		110	
衛 星 通 信 地 球 局 設 備		150	
テ レメータ・放 流 警 報 設 備		90	
電 話 交 換 設 備		110	
C C T V 設 備		80	
レ ーダ 雨 ( 雪 ) 量 計 設 備		170	
情 報 処 理 設 備		170	
システム・インテグレーション		170	



別表 第3

## 機器管理費率

対象機器単体費 適用区分 項目	1,400万円以下	1,400万円を超え2億円以下		2億円を超えるもの
	下記の率とする	機器管理費率算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の率とする
		A	b	
機器管理費率 [%]	18.22	42380.2	-0.4711	5.21

## (2) 算定式

[機器管理費率算定式]

$$L = A \cdot E^b$$

ただし L : 機器管理費率 [%]

E : 対象額 (機器単体費の合計) [単位: 円]

A、b : 変数値

(注) Lの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

別表 第4

## 機器管理費率の補正

種 別	補正係数
機器製作及び据付調整を行う場合	1.0
機器製作のみを行う場合	0.5
機器を支給する場合	0.5
機器移設する場合	0.5
上記を複合した場合	補正係数算定式により算出された係数 (h)

(注) 別表第3で求めた機器管理費率に当該補正係数を乗じて得た率は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

## (2) 算定式

[補正係数算定式]

$$h = \frac{E_a + (E_b + E_c + E_d) \times 0.5}{E}$$

ただし h : 補正係数

E : 対象額 (機器単体費の合計) [単位: 円]

E<sub>a</sub> : Eのうち機器製作及び据付調整を行う機器の機器単体費計 [単位: 円]E<sub>b</sub> : Eのうち機器製作のみを行う機器の機器単体費計 [単位: 円]E<sub>c</sub> : Eのうち支給する機器の機器単体費相当額計 [単位: 円]E<sub>d</sub> : Eのうち移設する機器の機器単体費相当額計 [単位: 円]

(注) hの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

## 5 間接工事費の算定方法

間接工事費等の項目別対象表

間接工事費等 対象額 項目	共通仮設費 直接工事費	現場管理費 直接工事費＋共通仮設費 ＝純工事費	一般管理費等 純工事費＋現場管理費 ＋機器間接費＝工事原価
機器単体費	×	×	×
機器単体費（支給品等）	×	×	×
鋼構造製作物 工場製作原価	×	×	○
技術者間接費	×	×	○
機器管理費	×	×	○
材料費（光ケーブル）	×	○	○
			○対象とする      ×対象としない

- (注) 1. 「機器単体費」とは、「第2章①機器・材料等の区分」の機器に該当するものをいう。
2. 「鋼構造製作物工場製作原価」とは、「第2章①機器・材料等の区分」の鋼構造製作物に該当するものをいう。
3. 「技術者間接費」とは、「第1章③1-1-2(1) (ロ) ④ a. 技術者間接費」によるものをいう。
4. 「機器管理費」とは、「第1章③1-1-2(1) (ロ) ④ b. 機器管理費」によるものをいう。

### 第3章 一般管理費等及び 消費税相当額

## 第3章 一般管理費等及び消費税相当額

「土木工事標準積算基準書第I編第3章一般管理費等及び消費税相当額」によるものとする。

## 第4章 その他

- ① 市場単価方式による価格の算定…… VII-4-1      ② 工事の一時中止に伴う増加費用等の  
積算上の取扱い…… VII-4-2

## 第4章 その他

### ① 市場単価方式による価格の算定

鉄塔・反射板等の鋼構造物製作の現地塗装については、「土木工事標準積算基準書第VI編第1章③橋梁塗装工」によるものとする。

② 工事の一時中止に伴う増加費用等の積算上の取扱い

「土木工事標準積算基準書第Ⅰ編第10章工事の一時中止に伴う増加費用等の積算」によるものとする。

# 第 1 章 一般事項

## 第 1 節 一般事項

① 一般事項·····	VIII-1-1
1 通    則·····	VIII-1-1
2 適    用·····	VIII-1-1



# 第1章 一般事項

## 第1節 一般事項

### ① 一般事項

#### 1 通 則

本歩掛は、福島県土木部の土木事業における電気通信設備（共通設備、電気設備、通信設備、電子応用設備）の設置に係る共通設備の施工積算に適用する。

ただし、官庁営繕に関する工事及びこの標準歩掛によることが著しく不相当又は困難であると認められる場合を除く。

#### 2 適 用

(1) 本歩掛は、標準歩掛を示すもので、必ずしも全ての場合に適用し得るものではなく、実際の運用にあたっては、この標準歩掛を基準にして次の諸条件を勘案するものとする。

- 1) 気象条件
- 2) 施工箇所の土質、地形及び立地条件
- 3) 工事量と工期
- 4) 特殊作業
- 5) 交通条件
- 6) その他

(2) 製作工場からの技術者を特に必要とする場合は、あらかじめ特記仕様書に明記の上、当該技術者の派遣に要する費用を別途積算することができる。

(3) 既設設備の撤去工事は、個別歩掛に明示のある場合を除き、「機器、材料等を再使用する場合」は、原則として据付歩掛の1.0倍とし、「再使用しない場合」は、原則として0.5倍とする。

(4) 電気通信関係の標準歩掛名称に据付又は調整の明記があるものは、個別歩掛に明示のある場合を除き同一場所、同時施工の2台目（又は類する単位）以降は、1台につき、基本歩掛の0.7倍とする。  
ただし、低減は小さい方を対象とする。

(5) 本歩掛以外の作業種別は、別途積上げ計上するものとする。

(6) 道路沿い（地中）は、河川敷内の配管にも適用する。

## 第2章 共通設備

### 第1節 共通設備工

① 配管・配線工	VIII-2-1	(1) ケーブル及び電線配線	VIII-2-5
1 適用範囲	VIII-2-1	(2) 鋼帯鎧装ケーブル配線 (直埋)	VIII-2-6
2 施工概要	VIII-2-1	3-3 架空配線	VIII-2-6
3 標準歩掛	VIII-2-2	(1) 引込線(DV)架空配線	VIII-2-6
3-1 配管	VIII-2-2	(2) 架線	VIII-2-6
(1) 鋼管(構内地中)敷設	VIII-2-2	(3) 電力ケーブル架空配線	VIII-2-6
(2) 波付硬質合成樹脂管 (FEP)敷設	VIII-2-2	(4) 保護線及び保護網	VIII-2-6
(3) コンクリートトラフ敷設	VIII-2-2	3-4 電力ケーブル端末処理	VIII-2-7
(4) コンクリート管敷設	VIII-2-2	3-5 電力ケーブル接続	VIII-2-7
(5) 埋設標識シート敷設・ 地中埋設標識敷設	VIII-2-3	3-6 コンクリート穴あけ・はつり	VIII-2-7
(6) 電線管敷設	VIII-2-3	3-7 作業土工(電気)	VIII-2-7
(7) 硬質ビニル管敷設	VIII-2-4	3-8 殻運搬処理	VIII-2-7
(8) 金属製可とう電線管敷設	VIII-2-4	4 施工単価入力基準表	VIII-2-8
(9) 合成樹脂可とう管 (PF管・CD管)敷設	VIII-2-4	② 配線器具設置工	VIII-2-18
3-2 配線	VIII-2-5	1 適用範囲	VIII-2-18
		2 施工概要	VIII-2-18
		3 標準歩掛	VIII-2-18
		3-1 ダクト取付	VIII-2-18
		(1) 金属ダクト取付	VIII-2-18

(2) 1種線び類取付……………	VIII-2-19	1 適用範囲……………	VIII-2-41
(3) 2種金属線び取付……………	VIII-2-19	2 施工概要……………	VIII-2-41
3-2 ケーブルラック設置……………	VIII-2-19	3 標準歩掛……………	VIII-2-41
(1) ケーブルラック設置……………	VIII-2-19	3-1 プルボックス設置……………	VIII-2-41
(2) ダクター取付……………	VIII-2-19	3-2 アウトレットボックス取付……………	VIII-2-41
4 施工単価入力基準表……………	VIII-2-20	4 施工単価入力基準表……………	VIII-2-42
③ 通信配線工……………	VIII-2-22	⑦ 分電盤設置工……………	VIII-2-44
1 適用範囲……………	VIII-2-22	1 適用範囲……………	VIII-2-44
2 施工概要……………	VIII-2-22	2 施工概要……………	VIII-2-44
3 標準歩掛……………	VIII-2-22	3 標準歩掛……………	VIII-2-44
3-1 給電線敷設……………	VIII-2-22	3-1 自立型分電盤取付……………	VIII-2-44
(1) 導波管敷設……………	VIII-2-22	3-2 分電盤取付……………	VIII-2-44
(2) 同軸ケーブル敷設……………	VIII-2-22	3-3 分電盤基礎工……………	VIII-2-44
(3) LCX敷設……………	VIII-2-23	4 施工単価入力基準表……………	VIII-2-45
(4) 誘導線敷設……………	VIII-2-23	⑧ 引込柱設置工……………	VIII-2-46
3-2 電線・ケーブル敷設……………	VIII-2-23	1 適用範囲……………	VIII-2-46
3-3 通信架空配線……………	VIII-2-24	2 施工概要……………	VIII-2-46
(1) 通信・制御ケーブル配線……………	VIII-2-24	3 標準歩掛……………	VIII-2-46
3-4 通信ケーブル接続……………	VIII-2-24	3-1 コンクリート柱建柱……………	VIII-2-46
(1) 通信ケーブル（端子接続）……………	VIII-2-24	3-2 支線取付……………	VIII-2-46
(2) 通信ケーブル（中間接続）……………	VIII-2-24	3-3 腕金取付……………	VIII-2-47
(3) 制御ケーブル（端子接続）……………	VIII-2-25	3-4 引込柱基礎工……………	VIII-2-47
4 施工単価入力基準表……………	VIII-2-26	4 施工単価入力基準表……………	VIII-2-47
④ 光ケーブル敷設工……………	VIII-2-32	⑨ 支柱設置工……………	VIII-2-49
1 適用範囲……………	VIII-2-32	1 適用範囲……………	VIII-2-49
2 施工概要……………	VIII-2-32	2 施工概要……………	VIII-2-49
3 標準歩掛……………	VIII-2-33	3 標準歩掛……………	VIII-2-49
3-1 光ケーブル配線……………	VIII-2-33	3-1 支柱設置工……………	VIII-2-49
(1) 光ケーブル配線……………	VIII-2-33	3-2 支柱基礎工……………	VIII-2-49
(2) 鋼帯鎧装光ケーブル配線		⑩ 通信線柱設置工……………	VIII-2-50
（直埋）……………	VIII-2-33	1 適用範囲……………	VIII-2-50
3-2 光ケーブル架空配線……………	VIII-2-34	2 施工概要……………	VIII-2-50
3-3 光ケーブル接続……………	VIII-2-34	3 標準歩掛……………	VIII-2-50
(1) 光ケーブル直線接続・成端……………	VIII-2-34	3-1 コンクリート柱建柱……………	VIII-2-50
(2) 光ケーブル試験用等		3-2 鋼板組立柱建柱……………	VIII-2-50
心線接続……………	VIII-2-35	3-3 支線取付……………	VIII-2-50
(3) 光ケーブル伝送損失試験……………	VIII-2-35	3-4 腕金取付……………	VIII-2-50
(4) 光ケーブル接続損失試験……………	VIII-2-35	3-5 作業土工（電気）……………	VIII-2-51
4 施工単価入力基準表……………	VIII-2-36	4 施工単価入力基準表……………	VIII-2-51
⑤ ハンドホール設置工……………	VIII-2-40	⑪ 避雷設備工……………	VIII-2-52
1 適用範囲……………	VIII-2-40	1 適用範囲……………	VIII-2-52
⑥ プルボックス設置工……………	VIII-2-41	2 施工概要……………	VIII-2-52

3	標準歩掛	VIII-2-52
3-1	避雷針設置	VIII-2-52
3-2	避雷器設置	VIII-2-52
4	施工単価入力基準表	VIII-2-53
⑫	接地設置工	VIII-2-54
1	適用範囲	VIII-2-54
2	施工概要	VIII-2-54
3	標準歩掛	VIII-2-54
3-1	接地設置	VIII-2-54
4	施工単価入力基準表	VIII-2-55
⑬	耐震施工（あと施工アンカーボルト 引張試験）	VIII-2-56
1	適用範囲	VIII-2-56
2	施工概要	VIII-2-56
3	標準歩掛	VIII-2-56
3-1	あと施工アンカーボルト 引張試験	VIII-2-56
4	施工単価入力基準表	VIII-2-56

## 第2節 工場製品輸送工

①	輸送工	VIII-2-57
1	適用範囲	VIII-2-57
2	標準歩掛	VIII-2-57

## 第2章 共通設備

### 第1節 共通設備工

#### ① 配管・配線工

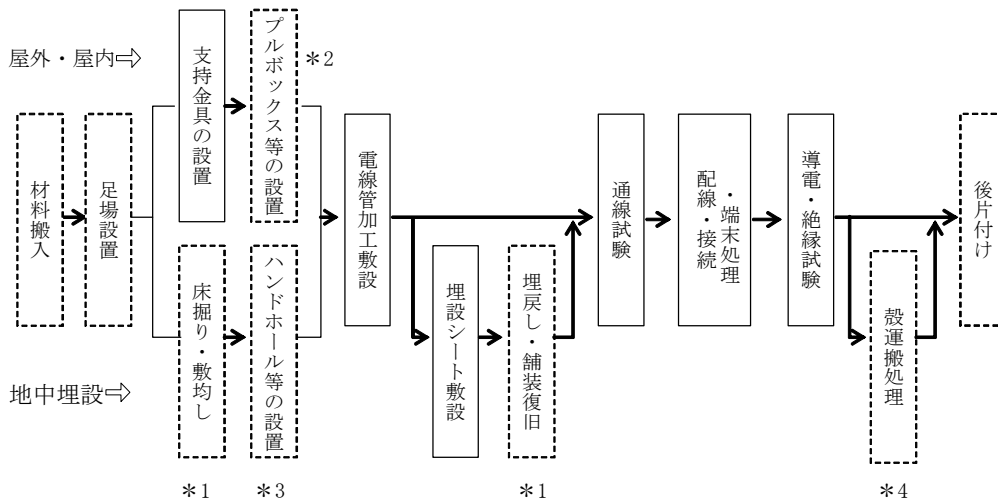
##### 1 適用範囲

本資料は、電線又はケーブルを通線するために配管等及び電線又はケーブルの配線、接続、端末処理に適用する。

##### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、「第2章第1節①3-7 作業土工（電気）」による。なお、床掘時に舗装があればとりこわしを計上する。

\*2は、「第2章第1節⑥プルボックス設置工」による。

\*3は、「第2章第1節⑤ハンドホール設置工」による。

\*4は、殻運搬処理による。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 配管

##### (1) 鋼管（構内地中）敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
鋼管 (構内地中)	25A以下	100m	9.0	
	40A以下	100m	13.0	
	65A以下	100m	17.0	
	80A以下	100m	20.0	

- (注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。  
 2. 舗装切断、とりこわし、復旧、床掘り、埋戻し、残土処理は別途積算する。  
 3. 定尺(4m/5.5m)を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。  
 4. 本歩掛は、ライニング鋼管にも適用する。

##### (2) 波付硬質合成樹脂管（FEP）敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
波付硬質合成樹脂管(FEP) (道路沿い地中)		100m	0.5	
波付硬質合成樹脂管(FEP) (構内地中)	50mm以下	100m	2.6	
	80mm以下	100m	4.0	
	125mm以下	100m	6.0	
	150mm以下	100m	7.2	
	200mm以下	100m	10.5	

- (注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。  
 2. 電気通信設備工事における電気及び通信ケーブル用配管敷設に適用する。  
 3. 舗装切断、とりこわし、復旧、床掘り、埋戻し、残土処理は別途積算する。  
 4. 本歩掛は1条当りの歩掛のため、多条敷設の場合は次式による。  

$$n \text{ 条敷設歩掛} = \text{基準歩掛} \times n \text{ (敷設条数)}$$

##### (3) コンクリートトラフ敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
コンクリートトラフ	150mm以下	100m	0.5	15.0	
	250mm以下	100m	1.0	17.0	
	400mm以下	100m	1.5	26.0	

- (注) 舗装切断、とりこわし、復旧、床掘り、埋戻し、残土処理は別途積算する。

##### (4) コンクリート管敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
コンクリート管敷設	150mm以下	100m	0.5	15.0	
	200mm以下	100m	0.5	20.0	
	250mm以下	100m	1.0	25.0	

- (注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。  
 2. 舗装切断、とりこわし、復旧、床掘り、埋戻し、残土処理は別途積算する。

(5) 埋設標識シート敷設・地中埋設標敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
埋設標識シート敷設		100m	0.4	
地中埋設標	コンクリート製	10個	2.0	
	鉄製	10個	0.2	

(6) 電線管敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
厚鋼電線管	22mm以下	100m	10.0	
	36mm以下	100m	17.0	
	54mm以下	100m	25.0	
	70mm以下	100m	30.0	
	82mm以下	100m	35.0	
薄鋼電線管	25mm以下	100m	10.0	
	39mm以下	100m	15.0	
	63mm以下	100m	30.0	
	75mm以下	100m	35.0	

- (注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。  
2. 配管は、サドル留めとする。  
3. クリップ留め配管は、0.7倍とする。  
4. 埋込配管（コンクリート）は、0.9倍とする。  
5. 定尺（3.66m）を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。  
6. 高所作業（2m以上）を伴う場合は、1.2倍とする。

## (7) 硬質ビニル管敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
硬質ビニル管 (道路沿い(地中))	22mm以下	100m	1.6	
	36mm以下	100m	2.6	
	54mm以下	100m	3.6	
	70mm以下	100m	4.6	
	82mm以下	100m	5.4	
硬質ビニル管 (地中)	22mm以下	100m	5.0	
	36mm以下	100m	8.0	
	54mm以下	100m	10.0	
	70mm以下	100m	13.0	
	82mm以下	100m	15.0	
硬質ビニル管 (露出)	22mm以下	100m	5.5	
	36mm以下	100m	8.5	
	54mm以下	100m	15.0	
	70mm以下	100m	18.0	
	82mm以下	100m	21.0	

- (注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。  
 2. 露出配管は、サドル留めとする。  
 3. クリップ留め配管は、0.7倍とする。  
 4. 埋込配管(コンクリート)は、0.9倍とする。  
 5. 定尺(4m)を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。  
 6. 高所作業(2m以上)を伴う場合は、1.2倍とする。  
 7. 道路沿い・構内地中配管において、舗装切断、とりこわし、復旧、床掘り、埋戻し、残土処理は別途精算する。  
 8. 道路沿い配管において、原則としてハンドホール間が150m以上の長距離敷設に適用する。  
 9. 本歩掛はHIVE管にも適用する。

## (8) 金属製可とう電線管敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
金属製可とう電線管	24mm以下	100m	4.2	
	38mm以下	100m	6.5	
	63mm以下	100m	11.9	
	76mm以下	100m	13.8	
	83mm以下	100m	16.6	

## (9) 合成樹脂可とう電線管(PF管・CD管)敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
合成樹脂可とう電線管 (露出)	22mm以下	100m	4.9	
	36mm以下	100m	6.2	

- (注) 1. 隠ぺい・コンクリート埋設配管は、0.9倍とする。  
 2. CD管はコンクリート埋設のみ適用する。



3-2 配線

(1) ケーブル及び電線配線

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
管内配線	5mm以下	100m	1.20	
	10mm以下	100m	2.30	
	20mm以下	100m	5.50	
	40mm以下	100m	10.00	
	50mm以下	100m	16.00	
	60mm以下	100m	28.00	
トラフ・ころがし配線	5mm以下	100m	0.72	
	10mm以下	100m	1.30	
	20mm以下	100m	3.30	
	40mm以下	100m	6.20	
	50mm以下	100m	10.00	
	60mm以下	100m	16.80	
ピット配線	5mm以下	100m	0.96	
	10mm以下	100m	1.80	
	20mm以下	100m	4.40	
	40mm以下	100m	8.40	
	50mm以下	100m	13.00	
	60mm以下	100m	22.00	
露出配線	5mm以下	100m	1.90	
	10mm以下	100m	3.60	
	20mm以下	100m	8.80	
	40mm以下	100m	12.00	
屋内露出配線 (木質壁)	5mm以下	100m	1.40	
	10mm以下	100m	2.70	
	20mm以下	100m	6.60	
	40mm以下	100m	9.10	
ラック配線	5mm以下	100m	1.50	
	10mm以下	100m	2.90	
	20mm以下	100m	7.10	
	40mm以下	100m	13.00	
	50mm以下	100m	21.00	
	60mm以下	100m	36.00	

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。  
 2. ころがし配線は、天井内及び床下ころがしに適用する。  
 3. 露出配線は、サドル留めに適用する。  
 4. ラック配線は、ケーブルの結束を含む。  
 5. ラック配線で無縫縛の場合は、原則として0.7倍とする。  
 6. ラック配線はダクトにも適用する。  
 7. ラック配線で既設ケーブルラックのラックカバーの取外し再取付を伴う時は、②配線器具設置工 3-2 ケーブルラック設置による。

## (2) 鋼帯鎧装ケーブル配線 (直埋)

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
鋼帯鎧装ケーブル配線 (直埋)	40mm以下	100m	6.2	
	50mm以下	100m	10.0	
	60mm以下	100m	16.8	
	70mm以下	100m	28.0	
	80mm以下	100m	44.0	

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。  
2. 舗装切断、とりこわし、復旧、床掘り、埋戻し、残土処理は別途精算する。

## 3-3 架空配線

## (1) 引込線 (DV) 架空配線

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
引込線 (DV) 配線	15mm以下	径間	0.45	
	20mm以下	径間	0.75	
	30mm以下	径間	1.50	

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。  
2. 1径間とは、電柱径間の電線1条をいう。

## (2) 架線

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
架線	5mm以下	径間	0.40	
	10mm以下	径間	0.80	
	15mm以下	径間	1.20	

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。  
2. 電線の接続、接続替、バインド掛 (線) 等の工事は、本歩掛に含まれている。  
3. 1径間とは、電柱径間の電線1条をいう。  
4. メッセンジャーワイヤーにも適用する。

## (3) 電力ケーブル架空配線

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
電力ケーブル架空配	15mm以下	径間	1.27	
	20mm以下	径間	1.82	
	30mm以下	径間	3.10	
	40mm以下	径間	4.10	

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。  
2. ケーブルハンガー吊金具取付を含む。  
3. 1径間とは、電柱径間のケーブル1条をいう。  
4. メッセンジャー付ケーブルは、0.7倍とする。

## (4) 保護線及び保護網

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
保護線		箇所	1.00	0.55	
保護網		箇所	2.00	1.10	

### 3-4 電力ケーブル端末処理

作業種別	細別規格	単位	電 工		摘 要
			低 圧	高 圧	
電力ケーブル端末処理	14mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.20	0.60	
	22mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.25	0.70	
	38mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.35	0.90	
	60mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.45	1.20	
	100mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.60	1.30	
	150mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.90	1.40	

- (注) 1. 本歩掛は3心の場合とし、単心の場合は0.6倍、2心の場合は0.8倍、4心の場合は1.2倍とする。
2. 低圧ケーブルの端末処理はケーブル配線歩掛に含まれており、本歩掛は、既設ケーブルの端末処理に適用する。

### 3-5 電力ケーブル接続

作業種別	細別規格	単位	電 工		摘 要
			低 圧	高 圧	
電力ケーブル接続	8mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.20	-	
	14mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.25	0.80	
	22mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.35	0.90	
	38mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.50	1.20	
	60mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.60	1.60	
	100mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	0.80	1.70	
	150mm <sup>2</sup> ×3C以下	箇所	1.10	1.90	

- (注) 1. 本歩掛は3心の場合とし、単心の場合は0.6倍、2心の場合は0.8倍、4心の場合は1.2倍とする。
2. 本歩掛は、直線接続材又は分岐接続材を使用した電力ケーブルの接続である。

### 3-6 コンクリート穴あけ・はつり

作業種別	細別規格	単位	はつり工	摘 要
穴あけ	直径2.5cm厚さ12cm	箇所	0.30	
	直径5.0cm厚さ12cm	箇所	0.45	
	直径7.5cm厚さ12cm	箇所	0.60	
溝掘	幅3.0cm深さ15cm	m	0.20	
	幅5.0cm深さ15cm	m	0.30	
	幅7.5cm深さ15cm	m	0.50	

- (注) コンクリートスラブ厚さは12cmの場合とする。

### 3-7 作業土工（電気）

本歩掛は、土木工事標準歩掛による。

### 3-8 殻運搬処理

本歩掛は、土木工事標準歩掛による。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 鋼管（構内地中）敷設

施工歩掛コード	WE110310	施工単位	m			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	J5
各種	01	作業内容による補正 (表-1)	配管加工が 少ない場合 の補正 (表-2)	付属品率 計上 (%)	材料単価 (円/m)	敷設歩掛 電工 (人/m)
鋼管 (25A 以下)	02					
〃 (40A 以下)	03					
〃 (65A 以下)	04					
〃 (80A 以下)	05					

(注) J5 の敷設歩掛は、各条件を補正する前の歩掛を入力すること。

##### (2) 波付硬質合成樹脂管（FEP）敷設

施工歩掛コード	WE110500	施工単位	m			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	
道路沿い（地中）	01	作業内容による補正 (表-1)	管規格 (表-3)	条数による 補正 (条)	付属品率 計上 (%)	
構内地中 50mm 以下	02					
〃 80mm 以下	03					
〃 125mm 以下	04					
〃 150mm 以下	05					
〃 200mm 以下	06					

(注) 材料単価は、システム内で自動計上される。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-3 管規格

FEP	入力番号	FEP	入力番号	FEP	入力番号
30mm	1	65mm	4	125mm	7
40mm	2	80mm	5	150mm	8
50mm	3	100mm	6	200mm	9

表-2 配管加工が少ない場合の補正

補正内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## (3) コンクリートトラフ敷設

施工歩掛コード	WE110100	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
150mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
250mm 以下	02		
400mm 以下	03		

(注) 材料単価を別途入力すること。

## (4) コンクリート管敷設

施工歩掛コード	WE110200	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
150mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	材料単価 (円/m)
200mm 以下	02		
250mm 以下	03		

(注) 材料単価を別途入力すること。

## (5) 埋設標識シート敷設

施工歩掛コード	WE122200	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号		
埋設標識シート敷設	01		

(注) 材料単価を別途入力すること。

## (6) 地中埋設標敷設

施工歩掛コード	WE122210	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号		
コンクリート製	01		
鉄製	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

## (7) 電線管敷設

施工歩掛コード	WE111100	施工単位	m			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	J5
各種	01	作業内容による補正 (表-1)	設置方法による補正 (表-3)	設置高さによる補正 (表-4)	配管加工が少ない場合の補正 (表-2)	敷設歩掛 電工 (人/m)
厚鋼 22mm 以下	02					
〃 36mm 以下	03					
〃 54mm 以下	04					
〃 70mm 以下	05					
〃 82mm 以下	06					
薄鋼 25mm 以下	07					
〃 39mm 以下	08					
〃 63mm 以下	09					
〃 75mm 以下	10					

- (注) 1. 材料単価を別途入力すること。  
2. J5 の敷設歩掛は、各条件の補正をする前の歩掛を入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 配管加工が少ない場合の補正

補正内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 設置方法による補正

設置方法	補正係数	入力番号
サドル留め	1.0	1
クリップ留め	0.7	2
埋 込	0.9	3

表-4 設置高さによる補正

設置方法	補正係数	入力番号
2m 未満	1.0	1
2m 以上	1.2	2

## (8) 硬質ビニル管敷設

施工歩掛コード	WE112000	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
道路沿い 22mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 36mm 以下	02		
〃 54mm 以下	03		
〃 70mm 以下	04		
〃 82mm 以下	05		
地中 22mm 以下	06		
〃 36mm 以下	07		
〃 54mm 以下	08		
〃 70mm 以下	09		
〃 82mm 以下	10		

(注) 材料単価を別途入力すること。

## (9) 硬質ビニル管敷設 (露出)

施工歩掛コード	WE112010	施工単位	m			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	J5
各種	01	作業内容による補正 (表-1)	設置方法による補正 (表-3)	設置高さによる補正 (表-4)	配管加工が少ない場合 の補正 (表-2)	敷設歩掛 電工 (人/m)
露出 22mm 以下	02					
〃 36mm 以下	03					
〃 54mm 以下	04					
〃 70mm 以下	05					
〃 82mm 以下	06					

(注) 1. 材料単価を別途入力すること。

2. J5 の敷設歩掛は、各条件の補正をする前の歩掛を入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 配管加工が少ない場合の補正

補正内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 設置方法による補正

設置方法	補正係数	入力番号
サドル 留め	1.0	1
クリップ 留め	0.7	2
埋 込	0.9	3

表-4 設置高さによる補正

設置方法	補正係数	入力番号
2m 未満	1.0	1
2m 以上	1.2	2

## (10) 金属製可とう電線管敷設

施工歩掛コード	WE112150	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
24mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
38mm 以下	02		
63mm 以下	03		
76mm 以下	04		
83mm 以下	05		

(注) 材料単価を別途入力すること。

## (11) 合成樹脂可とう電線管 (PF 管・CD 管) 敷設

施工歩掛コード	WE112160	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
22mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	設置方法による補正 (表-2)
36mm 以下	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 設置方法による補正

設置方法	補正係数	入力番号
埋 設 以 外	1.0	1
埋 設	0.9	2



## (12) ケーブル及び電線配線

施工歩掛コード	WE114000	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
管内配線 5mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 10mm 以下	02		
〃 20mm 以下	03		
〃 40mm 以下	04		
〃 50mm 以下	05		
〃 60mm 以下	06		
トフ・ころがし配線 5mm 以下	07		
〃 10mm 以下	08		
〃 20mm 以下	09		
〃 40mm 以下	10		
〃 50mm 以下	11		
〃 60mm 以下	12		
ビット配線 5mm 以下	13		
〃 10mm 以下	14		
〃 20mm 以下	15		
〃 40mm 以下	16		
〃 50mm 以下	17		
〃 60mm 以下	18		
露出配線 5mm 以下	19		
〃 10mm 以下	20		
〃 20mm 以下	21		
〃 40mm 以下	22		
屋内露出配線 (木質壁) 5mm 以下	23		
〃 10mm 以下	24		
〃 20mm 以下	25		
〃 40mm 以下	26		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

(13) ケーブル及び電線配線（ラック配線）

施工歩掛コード	WE115000	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
仕上外径 5mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	配線方法による補正 (表-2)
〃 10mm 以下	02		
〃 20mm 以下	03		
〃 40mm 以下	04		
〃 50mm 以下	05		
〃 60mm 以下	06		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(14) 鋼帯鎧装ケーブル配線（直埋）

施工歩掛コード	WE114300	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
仕上外径 40mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 50mm 以下	02		
〃 60mm 以下	03		
〃 70mm 以下	04		
〃 80mm 以下	05		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 配線方法による補正

配線方法	補正係数	入力番号
抱縛あり	1.0	1
抱縛なし	0.7	2

(15) 引込線（DV）架空配線

施工歩掛コード	WE119200	施工単位	径間
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
仕上外径 15mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 20mm 以下	02		
〃 30mm 以下	03		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(16) 架線

施工歩掛コード	WE118500	施工単位	径間
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
仕上外径 5mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 10mm 以下	02		
〃 15mm 以下	03		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(17) 電力ケーブル架空配線

施工歩掛コード	WE119100	施工単位	径間
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
仕上外径 15mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	メッセンジャー付ケーブル補正 (表-6)
〃 20mm 以下	02		
〃 30mm 以下	03		
〃 40mm 以下	04		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(18) 保護線及び保護網

施工歩掛コード	WE118800	施工単位	箇所
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
保護線	01	作業内容による補正 (表-1)	
保護網	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

表-6 メッセンジャー付ケーブル補正

作業内容	補正係数	入力番号
メッセンジャーなし	1.0	1
メッセンジャーあり	0.7	2

表-7 心線数による補正

心線数	補正係数	入力番号
3心	1.0	1
単心	0.6	2
2心	0.8	3
4心	1.2	4

(19) 低圧電力ケーブル端末処理

施工歩掛コード	WE123101	施工単位	箇所
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
14mm <sup>2</sup> ×3C 以下	01	心線数による補正 (表-7)	
22mm <sup>2</sup> ×3C 以下	02		
38mm <sup>2</sup> ×3C 以下	03		
60mm <sup>2</sup> ×3C 以下	04		
100mm <sup>2</sup> ×3C 以下	05		
150mm <sup>2</sup> ×3C 以下	06		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(20) 高圧電力ケーブル端末処理

施工歩掛コード	WE123102	施工単位	箇所
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
14mm <sup>2</sup> ×3C 以下	01	心線数による補正 (表-7)	
22mm <sup>2</sup> ×3C 以下	02		
38mm <sup>2</sup> ×3C 以下	03		
60mm <sup>2</sup> ×3C 以下	04		
100mm <sup>2</sup> ×3C 以下	05		
150mm <sup>2</sup> ×3C 以下	06		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-7 心線数による補正

心線数	補正係数	入力番号
3 心	1.0	1
単 心	0.6	2
2 心	0.8	3
4 心	1.2	4

(21) 低圧電力ケーブル接続処理

施工歩掛コード	WE123201	施工単位	箇所
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
8mm <sup>2</sup> ×3C 以下	01	心線数による補正 (表-7)	
14mm <sup>2</sup> ×3C 以下	02		
22mm <sup>2</sup> ×3C 以下	03		
38mm <sup>2</sup> ×3C 以下	04		
60mm <sup>2</sup> ×3C 以下	05		
100mm <sup>2</sup> ×3C 以下	06		
150mm <sup>2</sup> ×3C 以下	07		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(22) 高圧電力ケーブル接続処理

施工歩掛コード	WE123202	施工単位	箇所
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
14mm <sup>2</sup> ×3C 以下	01	心線数による補正 (表-7)	
22mm <sup>2</sup> ×3C 以下	02		
38mm <sup>2</sup> ×3C 以下	03		
60mm <sup>2</sup> ×3C 以下	04		
100mm <sup>2</sup> ×3C 以下	05		
150mm <sup>2</sup> ×3C 以下	06		

(注) 材料単価を別途入力すること。

## (23) コンクリート穴あけ

施工歩掛コード	WE112201	施工単位	箇所
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
各種	01	穴あけ歩掛 はつり工 (人/箇所)	
穴あけ(直径2.5cm 厚さ12cm)	02		
〃 (直径5.0cm 厚さ12cm)	03		
〃 (直径7.5cm 厚さ12cm)	04		

## (24) コンクリートはつり

施工歩掛コード	WE112202	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
各種	01	はつり歩掛 はつり工 (人/m)	
溝掘 幅3.0cm 深さ15cm	02		
〃 5.0cm 深さ15cm	03		
〃 7.5cm 深さ15cm	04		

## ② 配線器具設置工

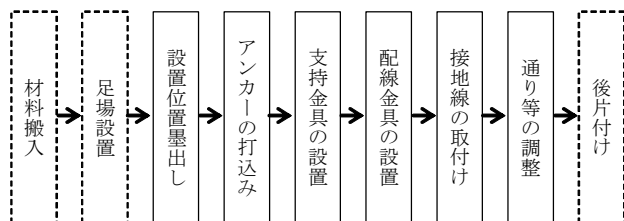
### 1 適用範囲

本資料は、金属ダクト、線び、ケーブルラック及びダクターの設置に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

\*本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

#### 3-1 ダクト取付

##### (1) 金属ダクト取付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
金属ダクト・ 金属トラフ	200 mm×100 mm	10m	5.2	
	250 mm×100 mm	10m	5.4	
	300 mm×100 mm	10m	5.6	
	400 mm×150 mm	10m	6.2	
	500 mm×150 mm	10m	6.6	
	500 mm×200 mm	10m	6.8	
	600 mm×200 mm	10m	7.2	
	600 mm×250 mm	10m	7.4	
	600 mm×300 mm	10m	7.6	
	800 mm×250 mm	10m	8.2	
	800 mm×300 mm	10m	8.4	
	800 mm×400 mm	10m	8.8	

(注) 本表以外の寸法のものについては、 $[\text{縦}(\text{mm}) + \text{横}(\text{mm}) + 1,000] \times 0.0004$  の値をm当たりの電工の歩掛とする。

## (2) 1種線び類取付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
1種金属線び (MM1)	A型	10m	0.7	
	B型	10m	0.8	
合成樹脂線び	24×18 mm	10m	0.7	
	35×18 mm	10m	0.8	
	60×18 mm	10m	0.9	
ワイヤプロテクタ	1～5号	10m	0.5	

## (3) 2種金属線び取付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
2種金属線び (MM2)	30型	10m	0.9	
	45型	10m	1.2	

## 3-2 ケーブルラック設置

## (1) ケーブルラック設置

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
ケーブルラック	200 mm以下	10m	3.0	
	400 mm以下	10m	5.0	
	600 mm以下	10m	6.0	
	800 mm以下	10m	7.0	
	1000 mm以下	10m	9.0	

- (注) 1. 敷板を設ける場合は、1.2倍とする。  
 2. 定尺(3m)を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。  
 3. 吊金物等は別途計上する。  
 4. 既設ケーブルラックのラックカバーの取外し再取付の場合は、0.2倍とする。

## (2) ダクター取付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
ダクター	75mm×40mm以下	10個	1.5	

- (注) 1. 100mm～1000mmの短尺ダクターに適用する。  
 2. アンカーボルトの取付けも含む。  
 3. ダクターとは、天井、壁面等に取付け、電線又は電線管を固定する金具である。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 金属ダクト取付

施工歩掛コード	WE124010	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
各種	01	作業内容による補正 (表-1)	取付歩掛電工 (人/個)
200 mm×100 mm	02		
250 mm×100 mm	03		
300 mm×100 mm	04		
400 mm×150 mm	05		
500 mm×150 mm	06		
500 mm×200 mm	07		
600 mm×200 mm	08		
600 mm×250 mm	09		
600 mm×300 mm	10		
800 mm×250 mm	11		
800 mm×300 mm	12		
800 mm×400 mm	13		

- (注) 1. 材料単価を別途入力すること。  
2. J2 の取付歩掛は、各条件を補正する前の歩掛を入力すること。

##### (2) 1種線び類取付

施工歩掛コード	WE124020	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
1種金属線び A型	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 B型	02		
合成樹脂線び 24×18 mm	03		
〃 35×18 mm	04		
〃 60×18 mm	05		
ワイヤプロテクタ 1~5号	06		

- (注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4



## (3) 2種金属線び類取付

施工歩掛コード	WE124030	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
30型	01	作業内容による補正 (表-1)	
45型	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

## (4) ケーブルラック設置

施工歩掛コード	WE122500	施工単位	m		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4
ケーブルラック	01	作業内容による補正 (表-1)	敷板による補正 (表-3)	加工が少ない場合の補正 (表-4)	ラックカバーの補正 (表-5)
200mm以下	02				
400mm以下	03				
600mm以下	04				
800mm以下	05				

(注) 材料単価を別途入力すること。

## (5) ダクター取付

施工歩掛コード	WE124400	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ダクター75mm×40mm以下	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

表-3 敷板による補正

作業内容	補正係数	入力番号
敷板なし	1.0	1
敷板あり	1.2	2

表-4 加工が少ない場合の補正

補正内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-5 ラックカバーの補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.2	2

### ③ 通信配線工

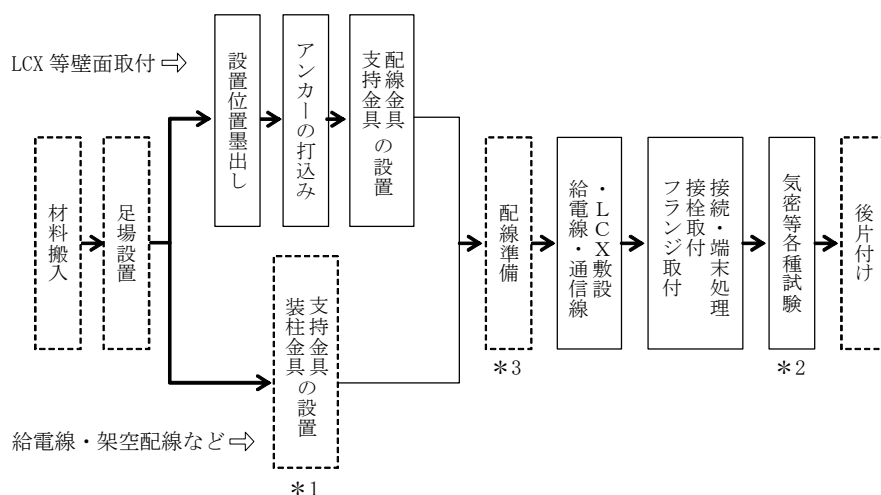
#### 1 適用範囲

本資料は、給電線及び通信ケーブルの敷設並びに接続などを行う通信配線工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、架空配線については、「第2章第1節⑧引込柱設置工（腕金取付）」による。

給電線については、敷設に含まれる。

\*2は、導波管の気密試験、定在波比（VSWR）測定等に適用する。

\*3は、施工準備として、ウインチ、滑車設置、ガイドロープ取付を行う。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 給電線敷設

##### (1) 導波管敷設

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
矩形	6~12GHz	10m	0.20	3.00	
楕円	6~12GHz	10m	0.20	2.00	
フランジ取付	6~12GHz	個	0.05	0.20	
フランジ変換器取付	6~12GHz	個	0.05	0.20	
気密試験	6~12GHz	系統	—	0.85	

##### (2) 同軸ケーブル敷設

作業種別	細別規格	単位	技術員	電工	摘要
同軸ケーブル	70MHz~2.5GHz 10mmφ以下	10m	0.20	0.50	
	70MHz~2.5GHz 20mmφ以下	10m	0.20	0.70	
	70MHz~2.5GHz 20mmφ超	10m	0.20	1.00	
	70MHz~2.5GHz 端末処理	箇所	0.03	0.10	

## (3) LCX 敷設

作業種別	細別規格	単位	技術員	電工	摘要
位置芯出し		100m	—	0.75	
アンカーボルト孔あけ	LCX用	10箇所	—	0.21	
中間吊り金具		10個	—	0.50	
引留金具		10個	—	0.50	
L C X	30mm以下	100m	0.90	1.40	
L C X	50mm以下	100m	2.00	3.40	

(注) 本歩掛は、トンネル内に適用する。

## (4) 誘導線敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
位置芯出し		100m	0.75	
アンカーボルト孔あけ	誘導線用	10箇所	0.21	
支線碍子		10個	0.50	
引留金具		10個	0.50	
誘導線	3.2mm	100m	0.40	

(注) 本歩掛は、トンネル内に適用とする。

## 3-2 電線・ケーブル敷設

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節①配管・配線工」による。

### 3-3 通信架空配線

#### (1) 通信・制御ケーブル配線

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
メッセンジャーワイヤー吊り	10mm 以下	径間	0.95	
	15mm 以下	径間	1.82	
	20mm 以下	径間	2.55	
	30mm 以下	径間	4.00	
	40mm 以下	径間	5.10	
	50mm 以下	径間	6.90	

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。  
 2. 本歩掛は、メッセンジャーワイヤーの架設を含む。  
 3. 1径間は、電柱径間のケーブル1条をいう。  
 4. 自己支持型ケーブルは、0.7倍とする。  
 5. 既に架設されたメッセンジャーワイヤーにケーブルを吊る場合は、0.7倍とする。

### 3-4 通信ケーブル接続

#### (1) 通信ケーブル（端子接続）

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
通信ケーブル (端子接続)	5P 0.5~0.9mm	箇所	0.2	
	10P 0.5~0.9mm	箇所	0.3	
	20P 0.5~0.9mm	箇所	0.4	
	30P 0.5~0.9mm	箇所	0.5	
	50P 0.5~0.9mm	箇所	0.7	
	100P 0.5~0.9mm	箇所	1.1	
	200P 0.5~0.9mm	箇所	1.8	

- (注) 編出し、心線対照を含む。

#### (2) 通信ケーブル（中間接続）

作業種別	細別規格	単位	電工		摘要
			架空	地中	
通信ケーブル (中間接続)	5P 0.5~0.9mm	箇所	0.95	0.75	
	10P 0.5~0.9mm	箇所	1.20	0.95	
	20P 0.5~0.9mm	箇所	1.60	1.20	
	30P 0.5~0.9mm	箇所	2.10	1.70	
	50P 0.5~0.9mm	箇所	2.80	2.20	
	100P 0.5~0.9mm	箇所	4.20	3.00	
	200P 0.5~0.9mm	箇所	7.50	6.50	

(3) 制御ケーブル (端子接続)

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
制御ケーブル (端子接続)	5C以下 2.0~5.5mm <sup>2</sup>	箇所	0.21	
	10C以下 2.0~5.5mm <sup>2</sup>	箇所	0.28	
	15C以下 2.0~5.5mm <sup>2</sup>	箇所	0.35	
	20C以下 2.0~5.5mm <sup>2</sup>	箇所	0.49	
	30C以下 2.0~5.5mm <sup>2</sup>	箇所	0.70	

- (注) 1. ジョイントボックスの取付けを含む場合は、1.3倍とする。  
2. 柱上取付は、1.2倍とする。  
3. 編出し、心線対照を含む。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 導波管敷設（矩形・楕円）

施工歩掛コード	WE302101	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
矩形導波管	01	作業内容による補正 (表-1)	
楕円導波管	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

##### (2) 導波管敷設（フランジ・フランジ変換器）

施工歩掛コード	WE302102	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
フ ラ ン ジ	01	作業内容による補正 (表-1)	
フ ラ ン ジ 変 換 器	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

##### (3) 導波管敷設（気密試験）

施工歩掛コード	WE302103	施工単位	系統
施工区分			
作業種別	規格番号		
気 密 試 験	01		

(注) 材料単価を別途入力すること。

##### (4) 同軸ケーブル敷設

施工歩掛コード	WE303101	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
70MHz～2.5GHz 10mmφ以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
70MHz～2.5GHz 11～20mmφ	02		
70MHz～2.5GHz 21mmφ以上	03		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(5) 同軸ケーブル敷設（端末処理）

施工歩掛コード	WE303102	施工単位	箇所
施工区分			
作業種別	規格番号		
70MHz～2.5GHz 端末処理	01		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

(6) LCX 敷設（LCX・位置芯出し）

施工歩掛コード	WE125101	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
LCX 径 30mm	01	作業内容による補正 (表-1)	
LCX 径 50mm	02		
位置心出し	03		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(7) LCX 敷設（アンカーボルト孔あけ）

施工歩掛コード	WE125102	施工単位	箇所
施工区分			
作業種別	規格番号		
アンカーボルト孔あけ LCX 用	01		

(8) LCX 敷設（金具）

施工歩掛コード	WE125103	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
中間吊り金具	01	作業内容による補正 (表-1)	
引留金具	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(9) 誘導線敷設（誘導線・位置芯出し）

施工歩掛コード	WE125201	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
誘導線 3.2mm	01	作業内容による補正 (表-1)	
位置芯出し	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(10) 誘導線敷設（アンカーボルト孔あけ）

施工歩掛コード	WE125202	施工単位	箇所
施工区分			
作業種別	規格番号		
アンカーボルト孔あけ 誘導線用	01		

(11) 誘導線敷設（支線碍子・引留金具）

施工歩掛コード	WE125203	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
支線碍子	01	作業内容による補正 (表-1)	
引留金具	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4



(12) 通信・制御ケーブル配線

施工歩掛コード	WE119400	施工単位	径間	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
各種	01	作業内容による補正 (表-1)	設置方法による補正 (表-2)	敷設歩掛 (電工) (人/径間)
10mm 以下	02			
15mm 以下	03			
20mm 以下	04			
30mm 以下	05			
40mm 以下	06			
50mm 以下	07			

- (注) 1. 材料単価を別途入力すること。  
 2. J3 の敷設歩掛は、各条件を補正する前の歩掛を入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 設置方法による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 無 し	1.0	1
自 己 支 持 型	0.7	2
既 設 を 利 用	0.7	3

## (13) 通信ケーブル (端子接続)

施工歩掛コード	WE123500	施工単位	箇所
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ケーブル各種	01	接続歩掛 電工 (人/箇所)	
0.5~0.9mm 5P	02		
〃 10P	03		
〃 20P	04		
〃 30P	05		
〃 50P	06		
〃 100P	07		
〃 200P	08		

- (注) 1. 材料単価を別途入力すること。  
2. J1 の接続歩掛は、各条件を補正する前の歩掛を入力すること。

## (14) 通信ケーブル (中間接続)

施工歩掛コード	WE123400	施工単位	箇所
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ケーブル各種	01	接続歩掛 電工 (人/箇所)	
架空 5P 0.5~0.9mm	02		
〃 10P 0.5~0.9mm	03		
〃 20P 0.5~0.9mm	04		
〃 30P 0.5~0.9mm	05		
〃 50P 0.5~0.9mm	06		
〃 100P 0.5~0.9mm	07		
〃 200P 0.5~0.9mm	08		
地中 5P 0.5~0.9mm	09		
〃 10P 0.5~0.9mm	10		
〃 20P 0.5~0.9mm	11		
〃 30P 0.5~0.9mm	12		
〃 50P 0.5~0.9mm	13		
〃 100P 0.5~0.9mm	14		
〃 200P 0.5~0.9mm	15		

- (注) 1. 材料単価を別途入力すること。  
2. J1 の接続歩掛は、各条件を補正する前の歩掛を入力すること。

## (15) 制御ケーブル（端子接続）

施工歩掛コード	WE123300	施工単位	箇所	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
ケーブル各種	01	柱上取付による補正 (表-1)	ジョイント ボックス取付による補正 (表-2)	接続歩掛電工 (人/箇所)
2.0~5.5mm <sup>2</sup> 5C 以下	02			
2.0~5.5mm <sup>2</sup> 10C 以下	03			
2.0~5.5mm <sup>2</sup> 15C 以下	04			
2.0~5.5mm <sup>2</sup> 20C 以下	05			
2.0~5.5mm <sup>2</sup> 30C 以下	06			

- (注) 1. 材料単価を別途入力すること。  
2. J3 の接続歩掛は、各条件を補正する前の歩掛を入力すること。

表-1 柱上取付による補正

作業内容	補正係数	入力番号
標準	1.0	1
柱上取付	1.2	2

表-2 ジョイントボックス取付による補正

作業内容	補正係数	入力番号
取付なし	1.0	1
取付あり	1.3	2

## ④ 光ケーブル敷設工

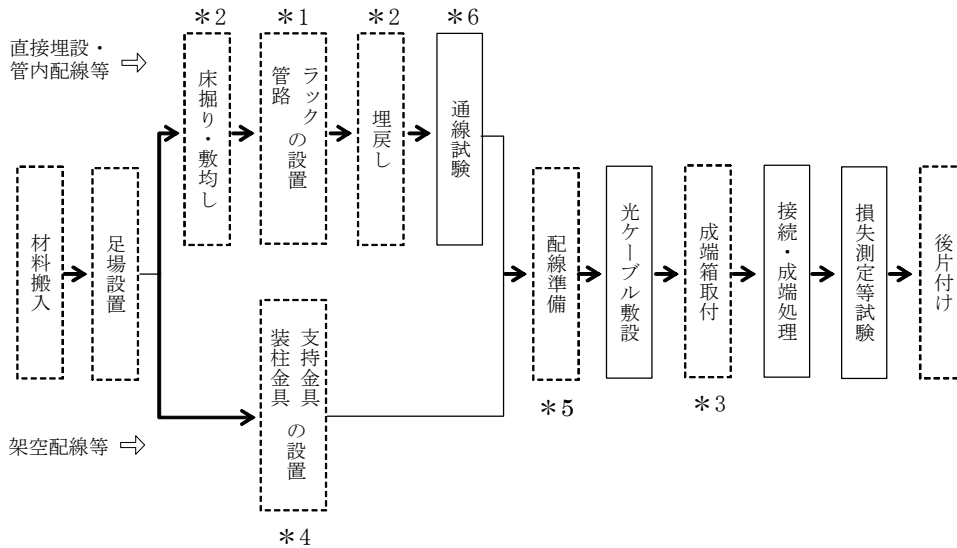
### 1 適用範囲

本資料は、光ファイバーケーブルの配線、接続、端末処理並びに試験などを行う光ケーブル敷設工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、屋内・屋外管路の敷設は、「第2章第1節①配管・配線工」及びラック設置は、「第2章第1節②配線器具設置工」による。

\*2は、直接埋設による施工とし、「第2章第1節①3-7作業土工（電気）」による。なお、床掘り時に舗装があればとりこわし、舗装復旧を計上する。

\*3は、成端箱取付は、「第2章第1節⑦分電盤設置工」による。

\*4は、架空配線による施工とし、「第2章第1節⑧引込柱設置工（腕金取付）」による。

\*5は、施工準備としてウインチ、滑車設置、ガイドロープ取付を行う。

\*6は、光ケーブル敷設歩掛に含まれる。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 光ケーブル配線

##### (1) 光ケーブル配線

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
光ケーブル 地中管内配線	11 mm以下	100m	1.10	
	18 mm以下	100m	1.40	
	24 mm以下	100m	1.70	
光ケーブル 屋内屋外配線	11 mm以下	100m	1.80	
	18 mm以下	100m	2.30	
	24 mm以下	100m	2.70	
光ケーブル ころがし配線	11 mm以下	100m	1.10	
	18 mm以下	100m	1.40	
	24 mm以下	100m	1.60	
光ケーブル ピット配線	11 mm以下	100m	1.40	
	18 mm以下	100m	1.80	
	24 mm以下	100m	2.20	
光ケーブル ラック配線	11 mm以下	100m	2.30	
	18 mm以下	100m	3.00	
	24 mm以下	100m	3.60	

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。
2. ころがし配線は、天井内及び床下ころがしに適用する。
3. ころがし配線は、露出配線にも適用する。ころがし配線をサドル留めにする場合は、1.2倍とする。
4. ラック配線は、ケーブルの結束を含む。
5. ラック配線で無縫縛の場合は、0.7倍とする。
6. ラック配線で既設ケーブルラックのラックカバーの取外し再取付を伴う時は、②配線器具設置工 3-2 ケーブルラック設置による。

##### (2) 鋼帯鎧装光ケーブル配線（直埋）

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
鋼帯鎧装光ケーブル配線 (直埋)	40 mm以下	100m	6.2	
	50 mm以下	100m	10.0	
	60 mm以下	100m	16.8	
	70 mm以下	100m	28.0	
	80 mm以下	100m	44.0	

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。
2. 舗装切断、とりこわし、復旧、床掘り、埋戻し、残土処理は別途積算する。

### 3-2 光ケーブル架空配線

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
メッセンジャーワイヤー吊り	11mm以下	径間	0.81	
	18mm以下	径間	1.06	
	24mm以下	径間	1.27	

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。なお、仕上外径とは、光ケーブル部の仕上外径をいい、メッセンジャー部、支持部を除く。  
 2. 1径間とは、電柱径間のケーブル1条をいう。  
 3. 本歩掛は、メッセンジャーワイヤー架設も含まれる。なお、メッセンジャーワイヤーのみの架設は、第1節①3-3(2)架線を適用する。  
 4. 自己支持型ケーブルは、0.7倍とする。  
 5. 既に架設されたメッセンジャーワイヤーにケーブルを吊る場合は、0.7倍とする。

### 3-3 光ケーブル接続

#### (1) 光ケーブル直線接続・成端

(単位：箇所)

作業種別	細別規格		直線接続		成端		摘要
	ケーブル心数	工種 労務	技術者	技術員	技術者	技術員	
光ケーブル直線接続 ・成端	5テープ(心)以下		0.76	0.76	0.49	0.49	
	10テープ(心)以下		0.87	0.87	0.61	0.61	
	15テープ(心)以下		0.99	0.99	0.73	0.73	
	20テープ(心)以下		1.10	1.10	0.85	0.85	
	25テープ(心)以下		1.20	1.20	0.97	0.97	
	30テープ(心)以下		1.30	1.30	1.10	1.10	
	35テープ(心)以下		1.50	1.50	1.20	1.20	
	40テープ(心)以下		1.60	1.60	1.30	1.30	
	45テープ(心)以下		1.70	1.70	1.40	1.40	
	50テープ(心)以下		1.80	1.80	1.60	1.60	

- (注) 1. 直線接続とは、クロージャ使用での直線接続を標準とし、同時施工の分岐ケーブルがある場合は、ケーブルの端末処理等として1本当り技術者、技術員を0.25(人)加えるものとする。  
 2. 成端接続とは、成端箱での光ケーブルの固定及び光コードの接続とする。  
 3. ケーブル心線は、融着接続心数を計上するものとし、無接続及びスルーするケーブル心数は計上しないものとする。  
 4. テープスロット型の場合は、1テープを1心と換算する。  
 (例) 1テープ4心の40心ケーブルは $[40/4=10]$ であることから10テープ(心)以下の歩掛を適用する。  
 5. 接続後の損失試験は含まれない。  
 6. 本歩掛には、クロージャ組立及び気密試験を含む。

## (2) 光ケーブル試験用等心線接続

作業種別	細別規格	技術者	技術員	摘要
心線接続	10テープ(心)当り	0.22	0.22	

- (注) 1. 本歩掛は、光ケーブル及び光コードの心線接続に適用する。  
 2. 10テープ(心)以下は切り上げて計上する。  
 3. 本歩掛は、試験用接続コードの接続についても適用する。  
 4. 本歩掛は、既設成端箱内にある成端されていない光ケーブル心線と光コードの心線接続を行う場合にも適用する。

## (3) 光ケーブル伝送損失試験

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
光ケーブル伝送損失試験	20心以下	方向	0.28	0.28	
	40心以下	方向	0.43	0.43	
	60心以下	方向	0.58	0.58	
	80心以下	方向	0.73	0.73	
	100心以下	方向	0.88	0.88	
	120心以下	方向	1.00	1.00	
	140心以下	方向	1.20	1.20	
	160心以下	方向	1.30	1.30	
	180心以下	方向	1.50	1.50	
	200心以下	方向	1.60	1.60	

- (注) 1. 本歩掛は、試験用接続コードの接続歩掛は含まないものとし、必要な場合は別途「光ケーブル試験用等心線接続」を計上するものとする。  
 2. 本歩掛は、1方向分とする。

## (4) 光ケーブル接続損失試験

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
光ケーブル接続損失試験	20心以下	対向	0.39	0.39	
	40心以下	対向	0.65	0.65	
	60心以下	対向	0.90	0.90	
	80心以下	対向	1.20	1.20	
	100心以下	対向	1.40	1.40	
	120心以下	対向	1.70	1.70	
	140心以下	対向	1.90	1.90	
	160心以下	対向	2.20	2.20	
	180心以下	対向	2.40	2.40	
	200心以下	対向	2.70	2.70	

- (注) 1. 本歩掛は、試験用接続コードの接続歩掛は含まないものとし、必要な場合は別途「光ケーブル試験用等心線接続」を計上するものとする。  
 2. 本歩掛は、上り下りの両方向分とする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 光ケーブル配線

施工歩掛コード	WE120010	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
地中管内配線	11mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)
〃	18mm 以下	02	
〃	24mm 以下	03	
屋内屋外管内配線	11mm 以下	04	
〃	18mm 以下	05	
〃	24mm 以下	06	
ピット配線	11mm 以下	07	
〃	18mm 以下	08	
〃	24mm 以下	09	

(注) 材料単価を別途入力すること。

##### (2) 光ケーブル配線 (ころがし配線)

施工歩掛コード	WE120015	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
仕上外径	11mm 以下	作業内容による補正 (表-1)	サドル留めによる補正 (表-2)
〃	18mm 以下		
〃	24mm 以下		

(注) 材料単価を別途入力すること。

##### (3) 光ケーブル配線 (ラック配線)

施工歩掛コード	WE120020	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
仕上外径	11mm 以下	作業内容による補正 (表-1)	配線方法による補正 (表-3)
〃	18mm 以下		
〃	24mm 以下		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 サドル留めによる補正

配線方法	補正係数	入力番号
サドル留めなし	1.0	1
サドル留めあり	1.2	2

表-3 配線方法による補正

配線方法	補正係数	入力番号
抱縛あり	1.0	1
抱縛なし	0.7	2



(4) 鋼帯鎧装光ケーブル配線（直埋）

施工歩掛コード	WE120100	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
仕上外径40mm以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 50mm以下	02		
〃 60mm以下	03		
〃 70mm以下	04		
〃 80mm以下	05		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(5) 光ケーブル架空配線

施工歩掛コード	WE120810	施工単位	径間
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
11mm以下	01	作業内容による補正 (表-1)	設置方法による補正 (表-2)
18mm以下	02		
24mm以下	03		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 設置方法による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 無 し	1.0	1
自 己 支 持 型	0.7	2
既 設 を 利 用	0.7	3

(6) 光ケーブル直線接続

施工歩掛コード	WE121001	施工単位	箇所		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4
各種	01	分岐ケーブル本数 (本/箇所)	接続の心数、テープ枚数 (心、枚)	接続の技術者歩掛 (人/箇所)	接続の技術員歩掛 (人/箇所)
5テープ(心)以下	02				
10 "	03				
15 "	04				
20 "	05				
25 "	06				
30 "	07				
35 "	08				
40 "	09				
45 "	10				
50 "	11				

- (注) 1. 材料単価を別途入力すること。  
 2. J1は、分岐ケーブルがない場合には、0を入力すること。

(7) 光ケーブル成端

施工歩掛コード	WE121002	施工単位	箇所	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
各種	01	成端の心数、テープ枚数 (心、枚)	成端の技術者歩掛 (人/箇所)	成端の技術員歩掛 (人/箇所)
5テープ(心)以下	02			
10 "	03			
15 "	04			
20 "	05			
25 "	06			
30 "	07			
35 "	08			
40 "	09			
45 "	10			
50 "	11			

- (注) 材料単価を別途入力すること。

## (8) 光ケーブル試験用等心線接続

施工歩掛コード	WE121100	施工単位	組
施工区分			
作業種別	規格番号		
光ケーブル試験用等心線接続	01		

- (注) 1. 材料単価を別途入力すること。  
2. 1組は、10テープ（10心）とする。

## (9) 光ケーブル伝送損失試験

施工歩掛コード	WE121201	施工単位	方向		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	
各種	01	成端の心数、テープ枚数 (心、枚)	試験の技術者歩掛 (人/方向)	試験の技術員歩掛 (人/方向)	
光ケーブル試験 20心以下	02				
〃 40心以下	03				
〃 60心以下	04				
〃 80心以下	05				
〃 100心以下	06				
〃 120心以下	07				
〃 140心以下	08				
〃 160心以下	09				
〃 180心以下	10				
〃 200心以下	11				

## (10) 光ケーブル接続損失試験

施工歩掛コード	WE121202	施工単位	対向		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	
各種	01	試験の心数、テープ枚数 (心、枚)	試験の技術者歩掛 (人/対向)	試験の技術員歩掛 (人/対向)	
光ケーブル試験 20心以下	02				
〃 40心以下	03				
〃 60心以下	04				
〃 80心以下	05				
〃 100心以下	06				
〃 120心以下	07				
〃 140心以下	08				
〃 160心以下	09				
〃 180心以下	10				
〃 200心以下	11				

## ⑤ ハンドホール設置工

### 1 適用範囲

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準積算基準書第Ⅱ編第2章⑩排水構造物工⑩-1排水構造物工(3-10)プレキャストマンホール」による。

## ⑥ プルボックス設置工

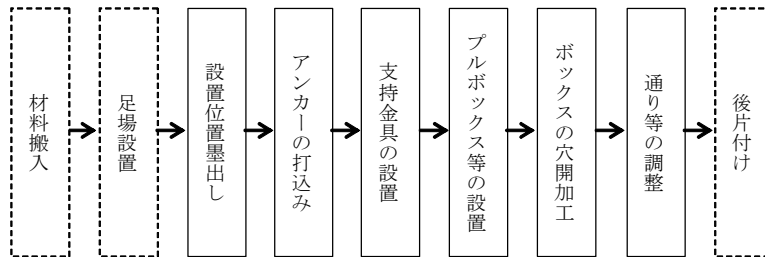
### 1 適用範囲

本資料は、金属管又は合成樹脂管による電線管のプルボックス及びアウトレットボックスの設置に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

#### 3-1 プルボックス設置

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
プルボックス	150×150×100mm	個	0.20	
	200×200×100mm	個	0.25	
	300×300×200mm	個	0.40	
	400×400×200mm	個	0.50	
	500×500×300mm	個	0.65	

(注) 本表以外の寸法の歩掛は、(縦+横+高) cm×0.005 人とする。

#### 3-2 アウトレットボックス取付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
八角コンクリートボックス	天井面	個	0.15	
四角コンクリートボックス	天井面	個	0.15	
八角アウトレットボックス	壁面	個	0.20	
中型四角アウトレットボックス	壁面	個	0.20	
大型四角アウトレットボックス	壁面	個	0.20	
1個用スイッチボックス	壁面	個	0.20	
2～3個用スイッチボックス	壁面	個	0.20	
4～5個用スイッチボックス	壁面	個	0.25	

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) プルボックス設置

施工歩掛コード	WE122300	施工単位	個			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	
各種	01	作業内容による補正 (表-1)	縦寸法 (cm)	横寸法 (cm)	高さ寸法 (cm)	
150×150×100mm	02					
200×200×100mm	03					
300×300×200mm	04					
400×400×200mm	05					
500×500×300mm	06					

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

(2) アウトレットボックス取付

施工歩掛コード	WE122400	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
各種	01	作業内容による補正 (表-1)	設置歩掛電工 (人/個)
八角コンクリートボックス	02		
四角コンクリートボックス	03		
八角アウトレットボックス	04		
中型四角アウトレットボックス	05		
大型四角アウトレットボックス	06		
1個用スイッチボックス	07		
2~3個用スイッチボックス	08		
4~5個用スイッチボックス	09		

- (注) 1. 材料単価を別途入力すること。  
 2. J2の取付歩掛は、各条件を補正する前の歩掛りを入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

## ⑦ 分電盤設置工

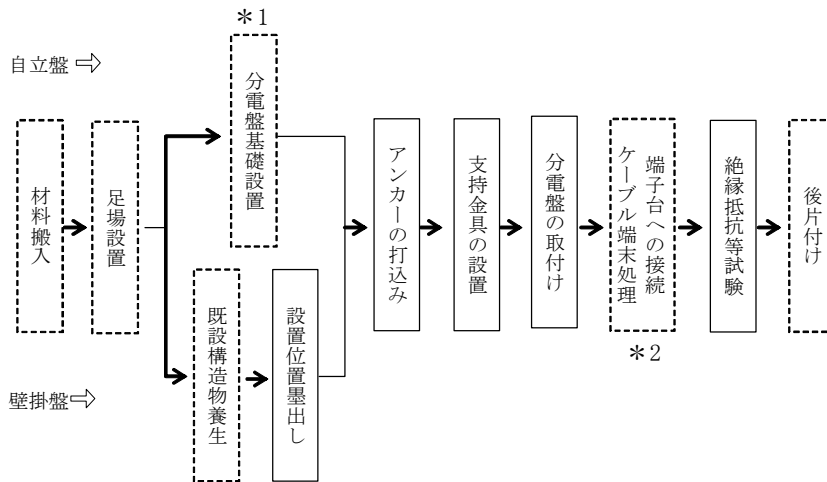
### 1 適用範囲

本資料は、電力設備又は通信設備用の分電盤の設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、「第2章第1節①3-7 作業土工（電気）」による。

\*2は、「第2章第1節①配管・配線工」による。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 自立型分電盤取付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
自立型分電盤		面	0.5	2.0	1.0	

#### 3-2 分電盤取付

作業種別	細別規格	単位	電工		摘要
			埋込	露出	
分電盤	前面0.4m <sup>2</sup> 以下	面	1.6	1.3	
	前面0.8m <sup>2</sup> 以下	面	2.4	1.8	
	前面1.2m <sup>2</sup> 以下	面	2.8	2.1	
	前面1.6m <sup>2</sup> 以下	面	3.1	2.4	

#### 3-3 分電盤基礎工

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。



#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 自立型分電盤取付

施工歩掛コード	WE122600	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
自立型分電盤	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価を別途入力すること。

##### (2) 分電盤取付

施工歩掛コード	WE122800	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
埋込型分電盤 前面 0.4m <sup>2</sup> 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 前面 0.8m <sup>2</sup> 以下	02		
〃 前面 1.2m <sup>2</sup> 以下	03		
〃 前面 1.6m <sup>2</sup> 以下	04		
露出型分電盤 前面 0.4m <sup>2</sup> 以下	05		
〃 前面 0.8m <sup>2</sup> 以下	06		
〃 前面 1.2m <sup>2</sup> 以下	07		
〃 前面 1.6m <sup>2</sup> 以下	08		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

## ⑧ 引込柱設置工

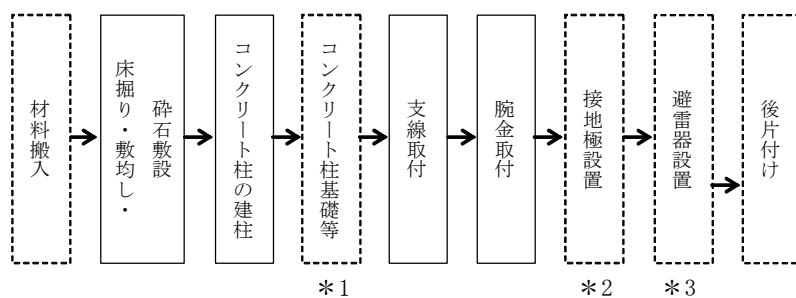
### 1 適用範囲

本資料は、電源を引き込むための引込柱の設置に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、根入れが満足しないなど補強する場合及び鋼管ポールなどによるベースプレート式の場合とし、「第2章第1節⑩3-7 作業土工（電気）」による。

\*2 は、「第2章第1節⑫接地設置工」による。

\*3 は、「第2章第1節⑪避雷設備工 3-2 避雷器設置」による。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 コンクリート柱建柱

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
コンクリート柱	7m以下	本	0.9	1.5	
	8m以下	本	1.2	2.0	
	9m以下	本	1.5	2.5	
	10m以下	本	1.8	3.0	
	12m以下	本	2.4	4.0	
	15m以下	本	3.3	5.5	

(注) がいし、アームタイ、足場ボルト、番号札、腕金、根枷等の取付け、床掘り、残土処理及びその他これに類する工事は本歩掛に含まれている。ただし、腕金2本以上は別途考慮する。

#### 3-2 支線取付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
ステーブロック	1号 38mm <sup>2</sup> 以下	本	0.50	0.65	
	2号 55mm <sup>2</sup> 以下	本	0.60	0.70	
	3号 100mm <sup>2</sup> 以下	本	1.00	1.30	
打込アンカー	7/4 90mm <sup>2</sup> 以下	本	0.25	0.15	
スクリューアンカー	7/4 90mm <sup>2</sup> 以下	本	0.30	0.30	

(注) 1. 玉がいし、支線ガードの取付けその他これに類するものは本歩掛に含まれている。  
2. 巻付グリップを使用する場合は0.7倍とする。

3-3 腕金取付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
腕金	900mm以下	本	0.25	0.10	
	1,500mm以下	本	0.35	0.10	
	1,800mm以下	本	0.50	0.15	
	2,700mm以下	本	0.55	0.25	
腕金なし	ピン碍子ラック取付	個	0.10	0.05	

- (注) 1. 腕金工事に伴う、がいし、アームタイ、ボルトの取付け、バインド直し、本線分岐及び引込線の接続替、弛度取り等は本歩掛に含まれている。
2. 腕金なし工事とは、腕金を用いずピンがいし、ラック等を使用する場合をいう。

3-4 引込柱基礎工

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節④照明灯基礎設置工」による。

4 施工単価入力基準表

(1) コンクリート柱建柱

施工歩掛コード	WE118100	施工単位	本
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
コンクリート柱 7m以下	01	作業内容による補正 (表-1)	材料単価 (円/本)
〃 8m以下	02		
〃 9m以下	03		
〃 10m以下	04		
〃 12m以下	05		
〃 15m以下	06		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

## (2) 支線取付

施工歩掛コード	WE118300	施工単位	本
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
ステーブロック (1号 38口以下)	01	作業内容による補正 (表-1)	巻付グリップによる補正 (表-2)
〃 (2号 55口以下)	02		
〃 (3号 100口以下)	03		
打込アンカー (7/4 90口以下)	04		
スクリーアンカー (7/4 90口以下)	05		

(注) 材料単価を別途入力すること。

## (3) 腕金取付

施工歩掛コード	WE118401	施工単位	本
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
腕 金 900mm 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 1,500mm 以下	02		
〃 1,800mm 以下	03		
〃 2,700mm 以下	04		

(注) 材料単価を別途入力すること。

## (4) ピン碍子ラック取付

施工歩掛コード	WE118402	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ピン碍子ラック	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 巻付グリップによる補正

作業内容	補正係数	入力番号
巻付グリップなし	1.0	1
〃 あり	0.7	2

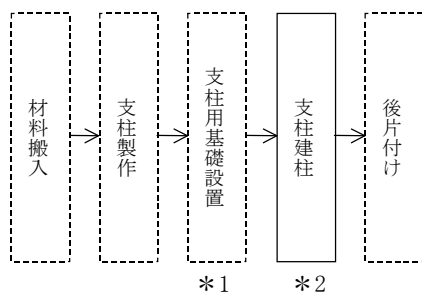
## ⑨ 支柱設置工

### 1 適用範囲

本資料は、道路情報板、河川情報表示板、その他これに類する標識などを取付けるためのオーバーハン  
グ、オーバーヘッド、単柱等の支柱設置に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー



本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。

\*1は、「第2章第1節①3-7 作業土工（電気）」による。

\*2は、「土木工事標準積算基準書第VI編第2章市場単価②道路標識設置工」の  
建柱による。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 支柱設置工

本歩掛は、「土木工事標準積算基準書第VI編第2章市場単価②道路標識設置工」の建柱歩掛を準用する。

#### 3-2 支柱基礎工

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

## ⑩ 通信線柱設置工

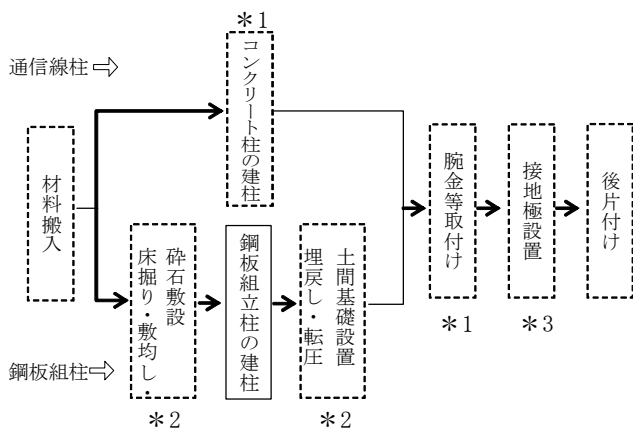
### 1 適用範囲

本資料は、空中線柱及び通信線柱の設置に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、「第2章第1節⑧引込柱設置工」による。

\*2は、「第2章第1節①3-7作業土工（電気）」による。なお、床掘り時に舗装があればとりこわしを別途計上する。

\*3は、「第2章第1節⑫接地設置工」による。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 コンクリート柱建柱

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節⑧引込柱設置工」による。

#### 3-2 鋼板組立柱建柱

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
鋼板組立柱	8m以下	本	1.0	1.7	
	10m以下	本	1.6	2.1	
	12m以下	本	2.3	2.9	
	14m以下	本	2.6	2.9	
	16m以下	本	2.9	3.2	
	18m以下	本	4.0	3.5	
	20m以下	本	5.2	3.8	

(注) 本歩掛は0型～3型を標準とする。

#### 3-3 支線取付

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節⑧引込柱設置工 3-2 支線取付」による。

#### 3-4 腕金取付

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節⑧引込柱設置工 3-3 腕金取付」による。

3-5 作業土工（電気）

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

4 施工単価入力基準表

(1) 鋼板組立柱建柱

施工歩掛コード	WE118200	施工単位	本
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
鋼板組立柱 8m 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 10m 以下	02		
〃 12m 以下	03		
〃 14m 以下	04		
〃 16m 以下	05		
〃 18m 以下	06		
〃 20m 以下	07		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

## ⑪ 避雷設備工

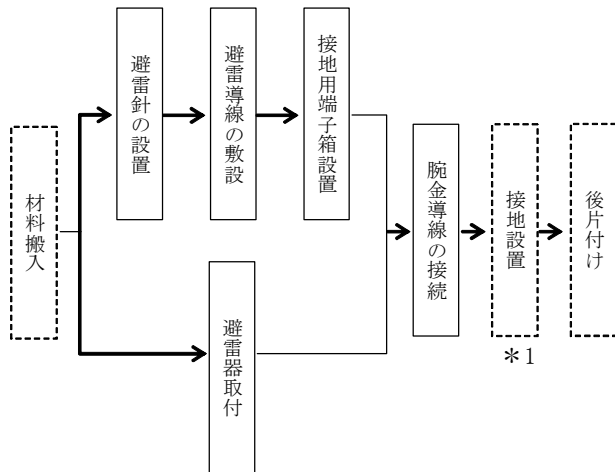
### 1 適用範囲

本資料は、避雷針、避雷導線、避雷器及び接地用端子箱の設置に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、「第2章第1節⑫接地設置工」による。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 避雷針設置

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
突針設置		基	1.00	
避雷導線敷設		m	0.05	
保護パイプ敷設		m	0.05	
むね上導体取付		m	0.15	
接地用端子箱設置		個	0.15	

(注) 避雷針の支持金具取付は、本歩掛に含まれている。

#### 3-2 避雷器設置

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
避雷器設置	高圧用	個	0.15	0.25	
	低圧用	個	0.15	—	



#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 避雷針設置（突針）

施工歩掛コード	WE123601	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
突針	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価を別途入力すること。

##### (2) 避雷針設置（導線敷設）

施工歩掛コード	WE123602	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
導線敷設	01	作業内容による補正 (表-1)	
保護パイプ	02		
むね上導体	03		

(注) 材料単価を別途入力すること。

##### (3) 避雷器及び接地用端子箱設置

施工歩掛コード	WE123603	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
各種	01	作業内容による補正 (表-1)	取付歩掛電工 (人/個)
接地用端子箱	02		
低圧用避雷器	03		
高圧用 〃	04		

(注) 1. 材料単価を別途入力すること。

2. J2の取付歩掛は、各条件を補正する前の歩掛を入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

## ⑫ 接地設置工

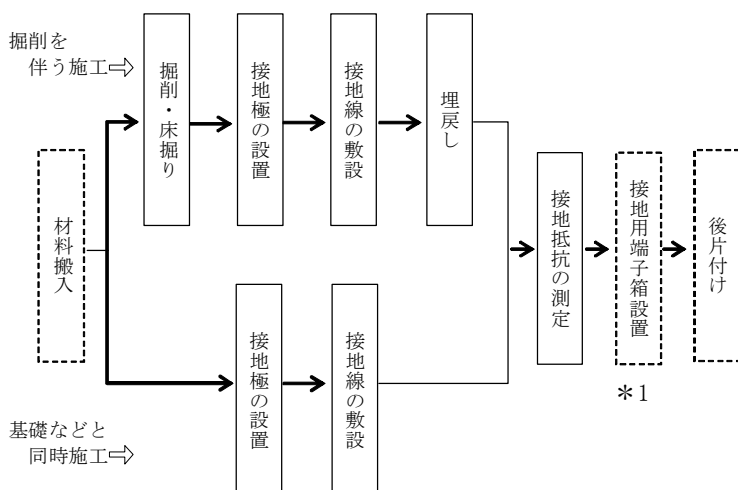
### 1 適用範囲

本資料は、電気通信設備の各種接地を行う接地設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、「第2章第1節⑩避雷設備工」による。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 接地設置

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
A 種 接 地		極	1.00	2.00	
B 種 接 地		極	1.00	2.00	
C 種 接 地		極	1.00	2.00	
D 種 接 地		極	0.25	0.35	

- (注) 1. 本歩掛は、単独で施工する土質条件の良好な場所における1極当たりとする。
2. 本歩掛は、床掘り、埋戻し及び接地抵抗の測定を含む。
3. D種接地は、1.5m程度までの接地棒を使用した場合とし、その他は1m<sup>2</sup>以下の銅板を使用した接地極に適用する。
4. A、B、C種接地を行う場合において、他の基礎等の床掘箇所から水平距離でおおむね3m以内の箇所に銅板を使用した接地の場合は、電工のみ計上(1.00人/枚)するものとし、それを超える場合は、A、B、C種接地歩掛によるものとする。
5. D種接地及び補助接地棒を使用する場合において、他の基礎等の床掘箇所から水平距離でおおむね3m以内の箇所に接地棒を打込む場合は、電工のみ計上(0.25人/本)するものとし、それを超える場合はD種接地歩掛によるものとする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 接地設置

施工歩掛コード	WE123800	施工単位	極
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
A 種接地	01	基礎床掘 3m 以内の施工に よる補正 (表-1)	
B 種接地	02		
C 種接地	03		
D 種接地	04		
補助接地棒	05		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 基礎床掘 3m 以内の施工による補正

作業内容	入力番号
補 正 な し	1
補 正 あ り	2

### ⑬ 耐震施工（あと施工アンカーボルト引張試験）

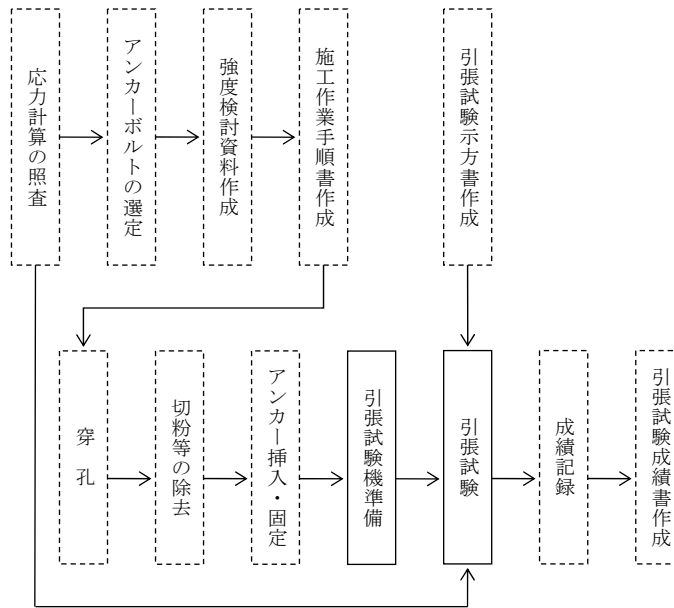
#### 1 適用範囲

本資料は、耐震施工の内、あと施工アンカーボルトの引張試験に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



#### 3 標準歩掛

##### 3-1 あと施工アンカーボルト引張試験

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
引張試験		本	0.05	0.05	

(注) 1. 2本目以降の補正は行わない。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) あと施工アンカーボルト引張試験

施工歩掛コード	WE123900	施工単位	本
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号		
引張試験	01		

## 第2節 工場製品輸送工

### ① 輸送工

#### 1 適用範囲

本資料は、工場等で製作された電気通信機器及び鋼構造製作物を設置予定の施設あるいは現場まで貨物自動車により輸送する輸送工に適用する。

#### 2 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

## 第3章 電気設備

第1節 受変電設備工		2 施工概要	VIII-3-11
		3 標準歩掛	VIII-3-11
① 特別高圧受変電設備設置工	VIII-3-1	3-1 引込設備据付	VIII-3-11
1 適用範囲	VIII-3-1	3-2 配電盤据付	VIII-3-11
2 施工概要	VIII-3-1	3-3 配電盤調整	VIII-3-12
3 標準歩掛	VIII-3-1	3-4 制御盤据付	VIII-3-12
3-1 屋外機構設置	VIII-3-1	3-5 遮断器据付	VIII-3-12
3-2 断路器据付	VIII-3-1	3-6 避雷器据付	VIII-3-12
3-3 遮断器据付	VIII-3-2	3-7 変圧器（油入）据付	VIII-3-12
3-4 避雷器据付	VIII-3-2	3-8 変成器据付	VIII-3-12
3-5 変圧器（油入）据付	VIII-3-2	3-9 柱上変圧器及び 高圧コンデンサ据付	VIII-3-13
3-6 変成器据付	VIII-3-3	4 施工単価入力基準表	VIII-3-13
3-7 碍子据付	VIII-3-3	③ 低圧受変電設備設置工	VIII-3-17
3-8 架線金具等据付	VIII-3-3	1 適用範囲	VIII-3-17
3-9 母線等据付	VIII-3-3	2 施工概要	VIII-3-17
3-10 特高受変電設備据付	VIII-3-3	3 標準歩掛	VIII-3-17
3-11 特高受変電設備調整	VIII-3-4	3-1 引込設備設置	VIII-3-17
4 施工単価入力基準表	VIII-3-5	3-2 耐雷トランス据付	VIII-3-17
② 高圧受変電設備設置工	VIII-3-11	3-3 低圧受変電設備据付	VIII-3-17
1 適用範囲	VIII-3-11		

4	施工単価入力基準表	VIII-3-18
④	受変電用監視制御設備設置工	VIII-3-19
1	適用範囲	VIII-3-19
2	施工概要	VIII-3-19
3	標準歩掛	VIII-3-19
3-1	監視制御装置据付	VIII-3-19
3-2	監視制御装置調整	VIII-3-19
4	施工単価入力基準表	VIII-3-20
⑤	受変電設備基礎工	VIII-3-21
1	適用範囲	VIII-3-21
2	施工概要	VIII-3-21
3	標準歩掛	VIII-3-21

## 第2節 電源設備工

①	発電設備設置工	VIII-3-22
1	適用範囲	VIII-3-22
2	施工概要	VIII-3-22
3	標準歩掛	VIII-3-22
3-1	発動発電設備据付	VIII-3-22
3-2	発動発電設備調整	VIII-3-23
3-3	発動発電設備据付 (パッケージ型)	VIII-3-23
3-4	発動発電設備調整 (パッケージ型)	VIII-3-23
3-5	燃料小出槽設置	VIII-3-24
4	施工単価入力基準表	VIII-3-25
②	無停電電源設備設置工	VIII-3-28
1	適用範囲	VIII-3-28
2	施工概要	VIII-3-28
3	標準歩掛	VIII-3-28
3-1	無停電電源装置据付	VIII-3-28
3-2	無停電電源装置調整	VIII-3-28
3-3	小容量無停電電源装置 据付・調整	VIII-3-28
3-4	蓄電池据付	VIII-3-29
4	施工単価入力基準表	VIII-3-30
③	直流電源設備設置工	VIII-3-32
1	適用範囲	VIII-3-32
2	施工概要	VIII-3-32
3	標準歩掛	VIII-3-32

3-1	直流電源装置据付	VIII-3-32
3-2	直流電源装置調整	VIII-3-32
3-3	蓄電池据付	VIII-3-32
4	施工単価入力基準表	VIII-3-33
④	管理用水力発電設備設置工	VIII-3-35
1	適用範囲	VIII-3-35
2	施工概要	VIII-3-35
3	標準歩掛	VIII-3-35
⑤	新エネルギー電源設備設置工	VIII-3-36
1	適用範囲	VIII-3-36
2	施工概要	VIII-3-36
3	標準歩掛	VIII-3-36

## 第3節 揚排水機場電気設備工

①	高圧受変電設備設置工	VIII-3-37
1	適用範囲	VIII-3-37
2	施工概要	VIII-3-37
3	標準歩掛	VIII-3-37
②	低圧受変電設備設置工	VIII-3-38
1	適用範囲	VIII-3-38
2	施工概要	VIII-3-38
3	標準歩掛	VIII-3-38
③	発電設備設置工	VIII-3-39
1	適用範囲	VIII-3-39
2	施工概要	VIII-3-39
3	標準歩掛	VIII-3-39
④	無停電電源設備設置工	VIII-3-40
1	適用範囲	VIII-3-40
2	施工概要	VIII-3-40
3	標準歩掛	VIII-3-40
⑤	直流電源設備設置工	VIII-3-41
1	適用範囲	VIII-3-41
2	施工概要	VIII-3-41
3	標準歩掛	VIII-3-41
⑥	操作制御装置設置工	VIII-3-42
1	適用範囲	VIII-3-42
2	施工概要	VIII-3-42
3	標準歩掛	VIII-3-42
⑦	水閘門電気設備設置工	VIII-3-43
1	適用範囲	VIII-3-43

2	施工概要	Ⅷ-3-43
3	標準歩掛	Ⅷ-3-43

#### 第4節 地下駐車場電気設備工

①	高压受変電設備設置工	Ⅷ-3-44
1	適用範囲	Ⅷ-3-44
2	施工概要	Ⅷ-3-44
3	標準歩掛	Ⅷ-3-44
②	低压受変電設備設置工	Ⅷ-3-45
1	適用範囲	Ⅷ-3-45
2	施工概要	Ⅷ-3-45
3	標準歩掛	Ⅷ-3-45
③	発電設備設置工	Ⅷ-3-46
1	適用範囲	Ⅷ-3-46
2	施工概要	Ⅷ-3-46
3	標準歩掛	Ⅷ-3-46
④	無停電電源設備設置工	Ⅷ-3-47
1	適用範囲	Ⅷ-3-47
2	施工概要	Ⅷ-3-47
3	標準歩掛	Ⅷ-3-47
⑤	直流電源設備設置工	Ⅷ-3-48
1	適用範囲	Ⅷ-3-48
2	施工概要	Ⅷ-3-48
3	標準歩掛	Ⅷ-3-48
⑥	電灯設備設置工	Ⅷ-3-49
1	適用範囲	Ⅷ-3-49
2	施工概要	Ⅷ-3-49
3	標準歩掛	Ⅷ-3-49
3-1	白熱灯器具取付（屋内）	Ⅷ-3-49
3-2	白熱灯器具取付（屋外）	Ⅷ-3-50
3-3	蛍光灯器具取付	Ⅷ-3-50
3-4	配線器具取付	Ⅷ-3-51
4	施工単価入力基準表	Ⅷ-3-52
⑦	動力設備設置工	Ⅷ-3-56
1	適用範囲	Ⅷ-3-56
2	施工概要	Ⅷ-3-56
3	標準歩掛	Ⅷ-3-56
⑧	電話設備設置工	Ⅷ-3-57
1	適用範囲	Ⅷ-3-57
2	施工概要	Ⅷ-3-57

3	標準歩掛	Ⅷ-3-57
⑨	放送設備設置工	Ⅷ-3-58
1	適用範囲	Ⅷ-3-58
2	施工概要	Ⅷ-3-58
3	標準歩掛	Ⅷ-3-58
⑩	ラジオ再放送設備設置工	Ⅷ-3-59
1	適用範囲	Ⅷ-3-59
2	施工概要	Ⅷ-3-59
3	標準歩掛	Ⅷ-3-59
⑪	無線通信補助設備設置工	Ⅷ-3-60
1	適用範囲	Ⅷ-3-60
2	施工概要	Ⅷ-3-60
3	標準歩掛	Ⅷ-3-60
⑫	インターホン設備設置工	Ⅷ-3-61
1	適用範囲	Ⅷ-3-61
2	施工概要	Ⅷ-3-61
3	標準歩掛	Ⅷ-3-61
⑬	テレビ共聴設備設置工	Ⅷ-3-62
1	適用範囲	Ⅷ-3-62
2	施工概要	Ⅷ-3-62
3	標準歩掛	Ⅷ-3-62
3-1	機器収容箱据付	Ⅷ-3-62
3-2	分配器据付	Ⅷ-3-62
3-3	混合器据付	Ⅷ-3-62
3-4	増幅器据付	Ⅷ-3-62
3-5	空中線装置据付	Ⅷ-3-62
3-6	空中線装置調整	Ⅷ-3-62
⑭	身体障害者警報設備設置工	Ⅷ-3-63
1	適用範囲	Ⅷ-3-63
2	施工概要	Ⅷ-3-63
3	標準歩掛	Ⅷ-3-63
⑮	自動火災報知設備設置工	Ⅷ-3-64
1	適用範囲	Ⅷ-3-64
2	施工概要	Ⅷ-3-64
3	標準歩掛	Ⅷ-3-64
⑯	CCTV装置設置工	Ⅷ-3-65
1	適用範囲	Ⅷ-3-65
2	施工概要	Ⅷ-3-65
3	標準歩掛	Ⅷ-3-65
⑰	中央監視設備設置工	Ⅷ-3-66
1	適用範囲	Ⅷ-3-66



2	施工概要	VIII-3-66
3	標準歩掛	VIII-3-66
⑱	駐車場管制設備設置工	VIII-3-67
1	適用範囲	VIII-3-67
2	施工概要	VIII-3-67
3	標準歩掛	VIII-3-67
⑲	遠方監視設備設置工	VIII-3-68
1	適用範囲	VIII-3-68
2	施工概要	VIII-3-68
3	標準歩掛	VIII-3-68

## 第5節 配電線設備工

①	配電線設備設置工	VIII-3-69
1	適用範囲	VIII-3-69
2	施工概要	VIII-3-69
3	標準歩掛	VIII-3-69
3-1	コンクリート柱建柱	VIII-3-69
3-2	鋼板組立柱建柱	VIII-3-69
3-3	支線取付	VIII-3-69
3-4	腕木・腕金取付	VIII-3-69
3-5	変台装置据付	VIII-3-69
3-6	変圧器据付	VIII-3-69
3-7	高圧コンデンサー据付	VIII-3-69
3-8	保護線据付	VIII-3-70
3-9	保護網据付	VIII-3-70
3-10	作業土工（電気）	VIII-3-70
3-11	殻運搬処理	VIII-3-70

## 第6節 道路照明設備工

①	道路照明設備設置工	VIII-3-71
1	適用範囲	VIII-3-71
2	施工概要	VIII-3-71
3	標準歩掛	VIII-3-71
3-1	道路照明灯建柱	VIII-3-71
3-2	照明器具取付	VIII-3-71
3-3	分電盤取付（ポール取付）	VIII-3-71
3-4	自動点滅器取付 （ポール取付）	VIII-3-72

3-5	自動点滅器取付 （連続照明用）	VIII-3-72
4	施工単価入力基準表	VIII-3-73
②	サービスエリア照明設備設置工	VIII-3-76
1	適用範囲	VIII-3-76
2	施工概要	VIII-3-76
3	標準歩掛	VIII-3-76
③	歩道（橋）照明設備設置工	VIII-3-77
1	適用範囲	VIII-3-77
2	施工概要	VIII-3-77
3	標準歩掛	VIII-3-77
④	照明灯基礎設置工	VIII-3-78
1	適用範囲	VIII-3-78
2	施工概要	VIII-3-78
3	標準歩掛	VIII-3-78
3-1	基礎掘削及び スパイラルダクト立込	VIII-3-78
3-2	コンクリート打設	VIII-3-78
3-3	クラッシャーラン	VIII-3-78
3-4	接地設置工	VIII-3-78
4	施工単価入力基準表	VIII-3-78
⑤	照明灯プレキャスト基礎設置工	VIII-3-79
1	適用範囲	VIII-3-79
2	施工概要	VIII-3-79
3	標準歩掛	VIII-3-79
3-1	床掘り	VIII-3-79
3-2	基礎砕石・据付け	VIII-3-79
3-3	接地設置工	VIII-3-79
4	施工単価入力基準表	VIII-3-79
⑥	視線誘導灯設置工	VIII-3-80
1	適用範囲	VIII-3-80
2	施工概要	VIII-3-80
3	標準歩掛	VIII-3-80
3-1	ブリンカーライト設置	VIII-3-80
3-2	視線誘導灯設置	VIII-3-80
4	施工単価入力基準表	VIII-3-80
⑦	視線誘導灯基礎設置工	VIII-3-81
1	適用範囲	VIII-3-81
2	施工概要	VIII-3-81
3	標準歩掛	VIII-3-81

## 第7節 トンネル照明設備工

- ① トンネル照明設備設置工…………… VIII-3-82
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-82
  - 2 施工概要…………… VIII-3-82
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-82
    - 3-1 坑口照明灯設置…………… VIII-3-82
    - 3-2 トンネル照明器具取付…………… VIII-3-83
    - 3-3 自動点滅器取付  
(トンネル照明用)…………… VIII-3-83
  - 4 施工単価入力基準表…………… VIII-3-84
- ② アンダーパス照明設備設置工…………… VIII-3-86
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-86
  - 2 施工概要…………… VIII-3-86
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-86
    - 3-1 坑口照明灯取付…………… VIII-3-86
    - 3-2 トンネル照明器具取付…………… VIII-3-86
- ③ 地下道照明設備設置工…………… VIII-3-87
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-87
  - 2 施工概要…………… VIII-3-87
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-87
    - 3-1 坑口照明器具取付…………… VIII-3-87
    - 3-2 トンネル照明器具取付…………… VIII-3-87
- ④ 照明灯基礎設置工…………… VIII-3-88
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-88
  - 2 施工概要…………… VIII-3-88
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-88
    - 3-1 照明灯基礎設置…………… VIII-3-88
- ⑤ 雑工(電気)…………… VIII-3-89
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-89
  - 2 施工概要…………… VIII-3-89
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-89

## 第8節 施設照明設備工

- ① ダム照明設備設置工…………… VIII-3-90
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-90
  - 2 施工概要…………… VIII-3-90
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-90
- ② 河川照明設備設置工…………… VIII-3-91
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-91
  - 2 施工概要…………… VIII-3-91

- 3 標準歩掛…………… VIII-3-91
- ③ 公園照明設備設置工…………… VIII-3-92
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-92
  - 2 施工概要…………… VIII-3-92
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-92
    - 3-1 水銀灯器具取付(屋内)…………… VIII-3-92
    - 3-2 水銀灯器具取付(屋外)…………… VIII-3-93
  - 4 施工単価入力基準表…………… VIII-3-94

## 第9節 共同溝付帯設備工

- ① 共同溝引込設備設置工…………… VIII-3-96
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-96
  - 2 施工概要…………… VIII-3-96
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-96
    - 3-1 引込配電塔設置…………… VIII-3-96
    - 3-2 盤類設置…………… VIII-3-96
    - 3-3 配線ダクト据付…………… VIII-3-97
    - 3-4 はつり…………… VIII-3-97
  - 4 施工単価入力基準表…………… VIII-3-97
- ② 共同溝照明設備設置工…………… VIII-3-99
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-99
  - 2 施工概要…………… VIII-3-99
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-99
    - 3-1 照明器具取付…………… VIII-3-99
    - 3-2 金物取付…………… VIII-3-99
    - 3-3 配線器具取付…………… VIII-3-99
  - 4 施工単価入力基準表…………… VIII-3-100
- ③ 共同溝排水設備設置工…………… VIII-3-101
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-101
  - 2 施工概要…………… VIII-3-101
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-101
    - 3-1 排水ポンプ据付…………… VIII-3-101
    - 3-2 給排水管敷設…………… VIII-3-102
    - 3-3 金物取付…………… VIII-3-102
    - 3-4 配線器具取付…………… VIII-3-102
  - 4 施工単価入力基準表…………… VIII-3-103
- ④ 共同溝換気設備設置工…………… VIII-3-106
  - 1 適用範囲…………… VIII-3-106
  - 2 施工概要…………… VIII-3-106
  - 3 標準歩掛…………… VIII-3-106

3-1	換気ファン据付	VIII-3-106	②	受変電設備基礎工	VIII-3-115
3-2	吸音板設置	VIII-3-106	1	適用範囲	VIII-3-115
3-3	静圧調整板設置	VIII-3-106	2	施工概要	VIII-3-115
3-4	遠方操作盤据付	VIII-3-107	3	標準歩掛	VIII-3-115
3-5	金物取付	VIII-3-107	③	道路ヒーティング設備設置工	VIII-3-116
3-6	配線器具取付	VIII-3-107	1	適用範囲	VIII-3-116
4	施工単価入力基準表	VIII-3-108	2	施工概要	VIII-3-116
⑤	共同溝監視制御設備設置工	VIII-3-110	3	標準歩掛	VIII-3-116
1	適用範囲	VIII-3-110	3-1	凍結検知装置据付	VIII-3-116
2	施工概要	VIII-3-110	3-2	凍結検知装置調整	VIII-3-116
3	標準歩掛	VIII-3-110	3-3	ヒーティングユニット 新設道路敷設（未舗装）	VIII-3-116
3-1	監視盤据付	VIII-3-110	3-4	ヒーティングユニット既設 道路敷設（既設舗装面）	VIII-3-116
3-2	監視盤調整	VIII-3-110	3-5	ヒーティングユニット 歩道橋敷設	VIII-3-117
3-3	火災報知設備据付	VIII-3-110	3-6	リード線敷設	VIII-3-117
3-4	火災報知設備調整	VIII-3-110	4	施工単価入力基準表	VIII-3-117
3-5	火災感知設備据付	VIII-3-110	④	道路消融雪ポンプ設備設置工	VIII-3-120
3-6	火災感知設備調整	VIII-3-110	1	適用範囲	VIII-3-120
3-7	ガス機器取付	VIII-3-110	2	施工概要	VIII-3-120
3-8	金物取付	VIII-3-110	3	標準歩掛	VIII-3-120
3-9	配線器具取付	VIII-3-111	3-1	道路消雪ポンプ盤据付	VIII-3-120
4	施工単価入力基準表	VIII-3-111	3-2	道路消雪ポンプ盤調整	VIII-3-120
⑥	共同溝標識設備設置工	VIII-3-112	3-3	降雪検知器据付	VIII-3-120
1	適用範囲	VIII-3-112	3-4	降雪検知器調整	VIII-3-120
2	施工概要	VIII-3-112	3-5	遠隔制御装置据付	VIII-3-120
3	標準歩掛	VIII-3-112	3-6	遠隔制御装置調整	VIII-3-120
3-1	共同溝標識設置	VIII-3-112	3-7	操作盤据付	VIII-3-120
4	施工単価入力基準表	VIII-3-112	3-8	操作盤調整	VIII-3-120
			3-9	機側操作盤据付	VIII-3-121
			3-10	機側操作盤調整	VIII-3-121
			3-11	開閉器盤据付	VIII-3-121
			3-12	開閉器盤調整	VIII-3-121

## 第10節 電気応用設備工

①	水処理設備設置工	VIII-3-113
1	適用範囲	VIII-3-113
2	施工概要	VIII-3-113
3	標準歩掛	VIII-3-113

## 第11節 道路融雪設備工

①	高圧受変電設備設置工	VIII-3-114
1	適用範囲	VIII-3-114
2	施工概要	VIII-3-114
3	標準歩掛	VIII-3-114

⑤	道路消融雪ポンプ設備基礎工	VIII-3-122
1	適用範囲	VIII-3-122
2	施工概要	VIII-3-122
3	標準歩掛	VIII-3-122

## 第12節 道路照明維持補修工

① 道路照明維持工	VIII-3-123	3-4 步道橋照明器具修繕	VIII-3-128
1 適用範圍	VIII-3-123	3-5 配管配線修繕	VIII-3-128
2 施工概要	VIII-3-123	3-6 引込柱修繕	VIII-3-128
3 標準歩掛	VIII-3-123	3-7 視線誘導灯修繕	VIII-3-128
3-1 管球取替	VIII-3-123	3-8 作業土工（電気）	VIII-3-128
3-2 安定器取替	VIII-3-124	3-9 発生材運搬	VIII-3-129
3-3 灯具取替	VIII-3-124	3-10 殻運搬処理	VIII-3-129
3-4 灯具付属品取替	VIII-3-124		
3-5 自動点滅器取替	VIII-3-125		
4 施工単価入力基準表	VIII-3-125		
② 道路照明修繕工	VIII-3-128		
1 適用範圍	VIII-3-128		
2 施工概要	VIII-3-128		
3 標準歩掛	VIII-3-128		
3-1 道路照明灯修繕	VIII-3-128		
3-2 道路照明器具修繕	VIII-3-128		
3-3 步道橋照明灯修繕	VIII-3-128		

# 第3章 電気設備

## 第1節 受変電設備工

### ① 特別高圧受変電設備設置工

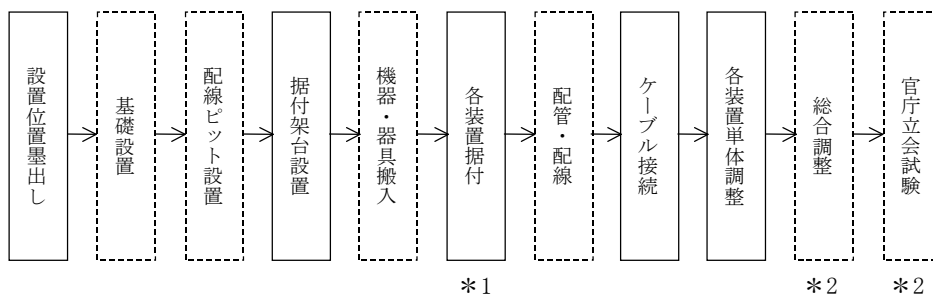
#### 1 適用範囲

本資料は、特別高圧受変電設備の各機器を設置する特別高圧受変電設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、盤間配線を含む

\*2は、必要に応じて別途積上げる。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 屋外機構設置

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	鉄骨工	摘要
鋼材加工		t	—	—	2.50	3.50	
鋼材組立		t	0.5	6.0	4.00	2.00	
パイプ枠組		本	—	0.1	0.05	0.05	

(注) 1. 技術者は特高設備の場合とし、一般高圧設備は技術者を電工に読みかえる。

2. クレーン車を使用する場合は、本歩掛の0.7倍とする。ただし、技術者については低減しない。

##### 3-2 断路器据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
断 路 器	70kV以下 LS	組	0.7	5.0	1.0	
	70kV以下 DS	組	0.5	4.3	0.5	
	30kV以下 DS	組	0.2	2.2	0.2	
	6kV以下 DS	台	—	0.5	—	

(注) 断路器 (LS) の空気配管は、別途積算する。

3-3 遮断器据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	電工	普通作業員
遮断器	70kV以下 3,500MVA ガス又は空気	台	3.5	—	18.0	5.5
	70kV以下 2,500MVA ガス又は空気	台	3.5	—	15.0	4.5
	30kV以下 1,000MVA ガス又は空気	台	2.0	—	9.0	3.0
	70kV以下 3,500MVA 油入	台	2.5	—	7.5	2.5
	30kV以下 2,000MVA 油入	台	1.5	—	5.0	1.5
	6kV以下	台	—	0.5	3.0	1.0

- (注) 1. 据付組立及び試験を含む。ただし、架台は別途積算とする。  
2. 本歩掛には、操作用空気配管は含まれていない。

3-4 避雷器据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
避雷器	70kV以下	組	0.75	5.00	1.50	
	30kV以下	組	0.60	2.50	0.75	
	6kV以下	組	—	0.45	0.25	

- (注) 1. 6kV以下は、600Vを超え7,000V以下の電圧に適用する。  
2. 1組は3個で構成する。

3-5 変圧器（油入）据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
変圧器（油入）	60kV以下 3φ 500kVA	台	1.7	6.0	1.8	
	60kV以下 3φ 750kVA	台	2.4	8.7	2.6	
	60kV以下 3φ 1,000kVA	台	3.4	12.0	3.7	
	60kV以下 3φ 3,000kVA	台	4.8	17.0	5.3	
	60kV以下 1φ 500kVA	台	1.5	5.4	1.7	
	60kV以下 1φ 750kVA	台	2.2	7.8	2.4	
	60kV以下 1φ 1,000kVA	台	3.1	11.0	3.5	
	60kV以下 1φ 3,000kVA	台	4.4	16.0	4.8	
	6kV以下 3φ 500kVA	台	1.2	4.2	1.3	
	6kV以下 3φ 1,000kVA	台	2.4	8.7	2.6	
	6kV以下 3φ 1,500kVA	台	3.6	12.0	3.9	
	6kV以下 1φ 500kVA	台	1.1	3.8	1.2	
	6kV以下 1φ 1,000kVA	台	2.2	7.7	2.5	
	6kV以下 1φ 1,500kVA	台	3.3	11.0	3.6	

- (注) 1. ラジエータ及びコンサバータの取付け、油又はガス封入、荷造解体等は本歩掛に含まれている。  
2. クレーン車を使用する場合は、本歩掛の0.7倍とする。  
ただし、技術者については低減しない。

3-6 変成器据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
変成器	70kV以下 がいし型	組	0.45	2.00	0.25	
	30kV以下 モールド	組	0.15	2.00	0.25	
	6kV以下 モールド	組	—	0.45	0.25	

(注) 6kV以下は、600Vを超え7,000V以下の電圧に適用する。

3-7 碍子据付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
懸垂	2ヶ連	組	0.50	0.15	
	5ヶ連	組	0.75	0.25	
耐張	2ヶ連	組	0.40	0.15	
	5ヶ連	組	0.65	0.20	
長幹	70kV	組	0.80	0.25	

3-8 架線金具等据付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
H D C C 圧縮接続		箇所	0.30	0.10	
縮付端子取付		箇所	0.10	0.05	
ジャンパースリーブ		箇所	0.90	0.30	
スペーサバラランサ		箇所	0.90	0.30	
P G クランプ		箇所	0.10	0.05	
耐張クランプ		箇所	0.30	0.10	
圧縮引留クランプ		箇所	1.50	0.35	

3-9 母線等据付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
特高母線	電線	径間	0.35	0.30	
高圧母線	銅帯	m	0.10	0.05	
	丸母線 5~9mm	m	0.05	0.05	
	丸母線 10~12mm	m	0.10	0.05	

3-10 特高受変電設備据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
キュービクル	高圧類	面	0.5	4.0	2.0	
	低圧類	面	0.5	3.0	2.0	
継電器盤		面	0.5	5.0	2.0	
操作卓		面	0.5	2.0	1.0	

- (注) 1. 盤の据付け、配線接続とする。ただし、ケーブルの端末処理は、別途積算とする。  
 2. キュービクルとは、引込盤・受電盤・切替盤・動力盤・低圧盤・コントロールセンタ等とする。  
 3. 継電器盤に類似した自立型制御盤等は、継電器盤の歩掛を準用する。

3-11 特高受変電設備調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
キュービクル		面	0.3	
継電器盤		面	1.5	
操作卓		面	1.0	

- (注) 1. 盤の単体調整とする。
2. 継電器盤、操作卓と機側操作盤等との対向調整は、別途積算とする。
3. キュービクルとは、引込盤・受電盤・切替盤・動力盤等とする。
4. 継電器盤に類似した自立型制御盤等は、継電器盤の歩掛を準用する。



#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 屋外機構設置（鋼材）

施工歩掛コード	WE200101	施工単位	t
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
鋼材加工	01	作業内容による補正 (表-1)	機械施工による補正 (表-2)
鋼材組立（特高据付）	02		
鋼材組立（高圧）	03		

(注) 鋼構造製作物、材料単価及び機械経費は、別途入力する。

##### (2) 屋外機構設置（パイプ枠組）

施工歩掛コード	WE200102	施工単位	本
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
パイプ枠組	01	作業内容による補正 (表-1)	機械施工による補正 (表-2)

(注) 材料単価は、別途入力する。

##### (3) 断路器据付（70kV 以下・30kV 以下）

施工歩掛コード	WE200201	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
70kV 以下 LS	01	作業内容による補正 (表-1)	2 組目以降による補正 (表-3)
70kV 以下 DS	02		
30kV 以下 DS	03		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 機械施工による補正

施工内容	補正係数	入力番号
人 力 施 工	1.0	1
クレーン車使用	0.7	2

表-3 2 組目以降による補正

施工内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(4) 断路器据付 (6kV 以下)

施工歩掛コード	WE200202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
6kV 以下 DS	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(5) 遮断器据付

施工歩掛コード	WE200300	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
70kV 以下 3,500MVA ガス・空気	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-2)
〃 2,500MVA ガス・空気	02		
30kV 以下 1,000MVA ガス・空気	03		
70kV 以下 3,500MVA 油入	04		
30kV 以下 2,000MVA 油入	05		
6kV 以下	06		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 台目以降による補正

施工内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(6) 避雷器据付

施工歩掛コード	WE200400	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
70kV 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	2組目以降による補正 (表-2)
30kV 以下	02		
6kV 以下	03		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(7) 変圧器（油入）据付

施工歩掛コード	WE200500	施工単位	台	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
60kV 以下 3φ 500kVA	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)	機械施工による補正 (表-4)
〃 〃 750kVA	02			
〃 〃 1,000kVA	03			
〃 〃 3,000kVA	04			
〃 1φ 500kVA	05			
〃 〃 750kVA	06			
〃 〃 1,000kVA	07			
〃 〃 3,000kVA	08			
6kV 以下 3φ 500kVA	09			
〃 〃 1,000kVA	10			
〃 〃 1,500kVA	11			
〃 1φ 500kVA	12			
〃 〃 1,000kVA	13			
〃 〃 1,500kVA	14			

(注) 1. 機器単体費は、別途入力する。  
2. 機械経費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2組目以降による補正

施工内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

施工内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 機械施工による補正

施工内容	補正係数	入力番号
人 力 施 工	1.0	1
クレーン車使用	0.7	2

## (8) 変成器据付

施工歩掛コード	WE200600	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
70kV 以下がいし型	01	作業内容による補正 (表-1)	2組目以降による補正 (表-2)
30kV 以下モールド型	02		
6kV 以下 //	03		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

## (9) 碍子据付

施工歩掛コード	WE200700	施工単位	組	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
懸垂 (2ヶ連)	01	作業内容による補正 (表-1)	2組目以降による補正 (表-2)	材料単価 (円/連)
// (5ヶ連)	02			
耐張 (2ヶ連)	03			
// (5ヶ連)	04			
長幹 (70KV)	05			

(注) 材料単価は、1組価格を入力する。

## (10) 架線金具等据付

施工歩掛コード	WE200800	施工単位	箇所
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
HDCC 圧縮接続	01	作業内容による補正 (表-1)	
締付端子取付	02		
ジャンパースリーブ	03		
スペーサバランサ	04		
PG クランプ	05		
耐張クランプ	06		
圧縮引留クランプ	07		

(注) 材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2組目以降による補正

施工内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(11) 母線等据付（特高母線）

施工歩掛コード	WE200901	施工単位	径間
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
特高母線	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価は、別途入力する。

(12) 母線等据付（高圧母線）

施工歩掛コード	WE200902	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
高圧母線（銅帯）	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃（丸母線 5～9mm）	02		
〃（丸母線 10～12mm）	03		

(注) 材料単価は、別途入力する。

(13) 特高受変電設備据付

施工歩掛コード	WE201300	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
高圧キュービクル	01	作業内容による補正 (表-1)	2面目以降による補正 (表-4)
低圧キュービクル	02		
継電器盤	03		
操作卓	04		

(注) 1. 2面以上据付けを行う場合は、1面目と2面目以降を分けて入力する。

2. 2面以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X：補正歩掛  
Y：標準 〃  
Z：補正係数（J2）

3. 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-4 2面目以降による補正

2面目以降による補正	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(14) 特高受変電設備調整

施工歩掛コード	WE201400	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
キュービクル	01	2面目以降による補正 (表-4)	
継電器盤	02		
操作卓	03		

(注) 1. 2面以上調整を行う場合は、1面目と2面目以降を分けて入力する。

2. 2面以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X: 補正歩掛

Y: 標準 "

Z: 補正係数 (J2)

表-4 2面目以降による補正

2面目以降による補正	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## ② 高圧受変電設備設置工

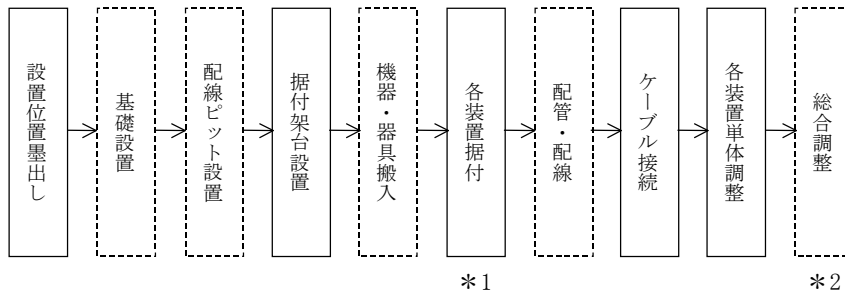
### 1 適用範囲

本資料は、高圧受変電設備の各機器を設置する高圧受変電設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、盤間配線を含む

\*2 は、必要に応じて別途積み上げる

### 3 標準歩掛

#### 3-1 引込設備据付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
気中開閉器	6.6kV以下	台	0.5	0.3	
プライマリーカットアウトスイッチ		個	0.2		

(注) 1. 本歩掛は、引込柱上に気中開閉器を取付ける場合に適用するものとし、取付けに要する金具類及び引込ケーブルの保護管の取付け等も含んでいる。

ただし、腕金については別途積算するものとする。

2. 引込柱の設置及び気中開閉器からの配線は別途積上げ計上するものとし、引込柱設置歩掛は「第2章第1節⑧引込柱設置工」、配線その他の作業は「第2章第1節共通設備工」による。

3. 地絡継電器付の場合は1.5倍とする。

#### 3-2 配電盤据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
キュービクル	高圧類	面	0.5	4.0	2.0	
	低圧類	面	0.5	3.0	2.0	
継電器盤		面	0.5	5.0	2.0	
操作卓		面	0.5	2.0	1.0	

(注) 1. 本歩掛は、盤の据付け、配線接続までとする。ただし、ケーブルの端末処理は、別途積算とする。

2. キュービクルとは、引込盤・受電盤・切替盤・動力盤・低圧盤・コントロールセンター、直流電源盤等とする。

3. 継電器盤に類似した自立型制御盤等は、継電器盤の歩掛を準用する。

### 3-3 配電盤調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
高圧キュービクル		面	0.3	
継電器盤		面	1.5	
操作卓		面	1.0	

- (注) 1. 盤の単体調整とする。  
 2. 継電器盤、操作卓と機側操作盤等との対向調整は別途積算とする。  
 3. 高圧キュービクルとは、引込盤・受電盤・切替盤・動力盤等とする。  
 4. 継電器盤に類似した自立型制御盤等は、継電器盤の歩掛を準用する。

### 3-4 制御盤据付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
負荷	1.5kW以下	面	1.8	
	2.2~3.7kW	面	2.0	
	5.5~7.5kW	面	2.2	
	11~18kW	面	2.5	
	18kW以上	面	3.0	

- (注) 制御盤1面で電動機2台までは本歩掛の電動機台数倍とするが、電動機3台以上の集合制御盤の場合は、合計歩掛の0.7倍とする。

### 3-5 遮断器据付

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節①特別高圧受変電設備設置工」による。

### 3-6 避雷器据付

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節①特別高圧受変電設備設置工」による。

### 3-7 変圧器（油入）据付

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節①特別高圧受変電設備設置工」による。

### 3-8 変成器据付

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節①特別高圧受変電設備設置工」による。



3-9 柱上変圧器及び高圧コンデンサ据付

作業種別	規格	単位	3相		単相	
			電工	普通作業員	電工	普通作業員
変圧器	5kVA以下	台	0.55	0.90	0.45	0.70
	10kVA以下	台	0.85	1.35	0.65	1.10
	20kVA以下	台	1.35	2.35	1.10	1.90
	30kVA以下	台	1.65	2.70	1.30	2.20
	50kVA以下	台	2.20	3.60	1.80	2.90
	75kVA以下	台	2.70	4.50	2.20	3.60
	100kVA以下	台	3.25	5.40	2.60	4.30
	150kVA以下	台	3.80	6.30	3.10	5.05
高圧コンデンサ	20kVar以下	台	0.30	0.50		
	50kVar以下	台	0.45	0.75		
	100kVar以下	台	0.65	1.00		

(注) 本歩掛は、柱上設置の場合とする。地上設置の場合は0.7倍とする。

4 施工単価入力基準表

(1) 引込設備（気中開閉器）据付

施工歩掛コード	WE201601	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
気中開閉器	01	作業内容による補正 (表-1)	地絡継電器付による補正 (表-2)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(2) 引込設備（カットアウトスイッチ）据付

施工歩掛コード	WE201602	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
プライマリーカットアウトスイッチ	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移設	2.0	4

表-2 地絡継電器付による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	1.5	2

(3) 配電盤据付

施工歩掛コード	WE201100	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
高圧キュービクル	01	作業内容による補正 (表-1)	2 面目以降による補正 (表-2)
低圧キュービクル	02		
継電器盤	03		
操作卓	04		

(注) 1. 2 面以上据付けを行う場合は、1 面目と 2 面目以降を分けて入力する。

2. 2 面目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X : 補正歩掛  
Y : 標準 〃  
Z : 補正係数 (J2)

3. 機器単体費は、別途入力する。

(4) 配電盤調整

施工歩掛コード	WE201500	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
高圧キュービクル	01	2 面目以降による補正 (表-2)	
継電器盤	02		
操作卓	03		

(注) 1. 2 面以上調整を行う場合は、1 面目と 2 面目以降を分けて入力する。

2. 2 面目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X : 補正歩掛  
Y : 標準 〃  
Z : 補正係数 (J1)

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(5) 制御盤据付

施工歩掛コード	WE201200	施工単位	面				
施工区分		入力条件					
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	J5	J6
負荷 (1.5kW以下)	01	作業内容による補正 (表-1)	2面目以降による補正 (表-2)	電動機の組合せ (表-3)	電動機台数による補正 (表-4)	電動機台数 (台/面)	据付歩掛集計 電工 (人/面)
〃 (2.2~3.7kW)	02						
〃 (5.5~7.5kW)	03						
〃 (11~18kW)	04						
〃 (18kW以上)	05						

(注) 1. 同機種 (3台以上) の場合は、J3に1を入力し、J5に総台数を入力する。

$$X=Y \times Z \times 0.7$$

X: 補正歩掛 (電動機台数による)

Y: 標準 〃

Z: 電動機台数 (J5)

2. 異機種の場合は、J3に2を入力し、J4、J5は未入力、J6に総員数 (電動機台数による補正後) を入力する。

3. 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 電動機台数による補正

作業内容	補正係数	入力番号
1 台	1.0	1
2 台	2.0	2
3 台 以 上	0.7	3

表-3 電動機の組合せ

作業内容	入力番号
同 機 種	1
異 機 種	2

(6) 柱上変圧器及び高压コンデンサ据付

施工歩掛コード	WE201700	施工単位	台		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	
3相変圧器 5kVA以下	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)	設置場所による補正 (表-5)	
3相変圧器 10kVA以下	02				
3相変圧器 20kVA以下	03				
3相変圧器 30kVA以下	04				
3相変圧器 50kVA以下	05				
3相変圧器 75kVA以下	06				
3相変圧器 100kVA以下	07				
3相変圧器 150kVA以下	08				
単相変圧器 5kVA以下	09				
単相変圧器 10kVA以下	10				
単相変圧器 20kVA以下	11				
単相変圧器 30kVA以下	12				
単相変圧器 50kVA以下	13				
単相変圧器 75kVA以下	14				
単相変圧器 100kVA以下	15				
単相変圧器 150kVA以下	16				
3相高压コンデンサ 20kVar以下	17				
3相高压コンデンサ 50kVar以下	18				
3相高压コンデンサ 100kVar以下	19				

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-5 設置場所による補正

作業内容	補正係数	入力番号
柱上設置	1.0	1
地上設置	0.7	2

### ③ 低圧受変電設備設置工

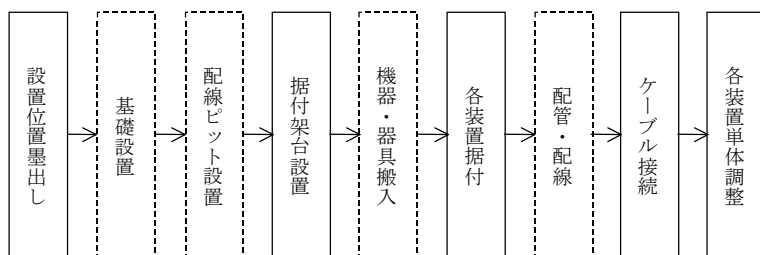
#### 1 適用範囲

本資料は、低圧受変電機器等の設置を行う低圧受変電設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 引込設備設置

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節共通設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

##### 3-2 耐雷トランス据付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
耐雷トランス	5kVA以下	台	0.1	0.20	
	10kVA以下	台	0.1	0.30	
	30kVA以下	台	0.1	0.50	

##### 3-3 低圧受変電設備据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
低圧キュービクル		面	0.5	3.0	2.0	

- (注) 1. 本歩掛は、盤の据付け、配線接続までとする。ただし、ケーブルの端末処理は別途積算とする。
2. 低圧キュービクルとは、引込盤・受電盤・切替盤・動力盤・低圧盤・コントロールセンター等とする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 耐雷トランス据付

施工歩掛コード	WE201000	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
5kVA 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-2)
10kVA 以下	02		
30kVA 以下	03		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

##### (2) 低圧受変電設備据付

施工歩掛コード	WE201100	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
低圧キュービクル	02	作業内容による補正 (表-1)	2 面目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 台目以降による補正

施工内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2 面目以降による補正

施工内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## ④ 受変電用監視制御設備設置工

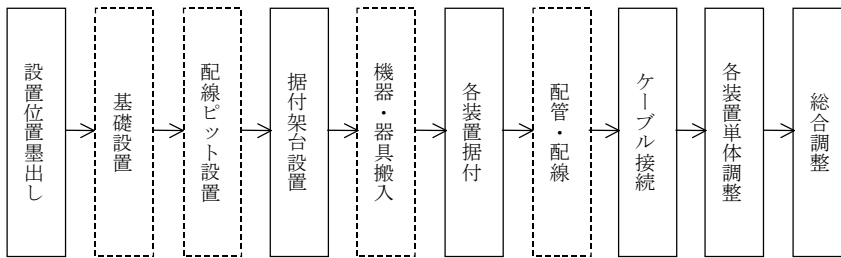
### 1 適用範囲

本資料は、受変電（配電）設備用の監視制御装置の設置を行う受変電用監視制御設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む

### 3 標準歩掛

#### 3-1 監視制御装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
操作卓据付		面	0.5	2.0	1.0	

#### 3-2 監視制御装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
操作卓調整		面	1.0	

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 操作卓据付

施工歩掛コード	WE201100	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
操作卓	04	作業内容による補正 (表-1)	2面目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

##### (2) 操作卓調整

施工歩掛コード	WE201500	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
操作卓	03	2面目以降による補正 (表-2)	

表-2 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2



## ⑤ 受変電設備基礎工

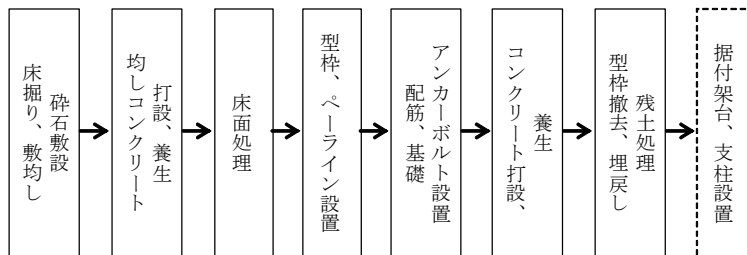
### 1 適用範囲

本資料は、各種受変電設備用の機器を設置するための基礎を設置する受変電設備基礎工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

## 第2節 電源設備工

### ① 発電設備設置工

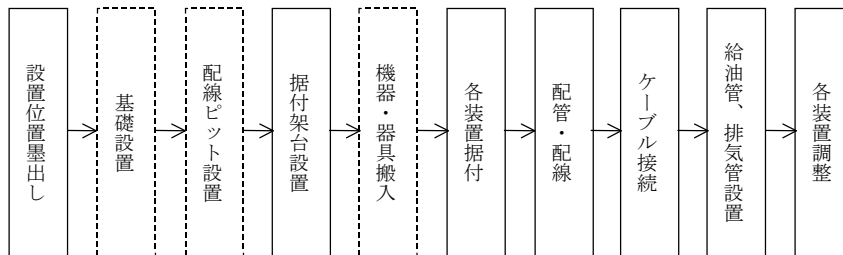
#### 1 適用範囲

本資料は、発動発電機等の設置を行う発電設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



#### 3 標準歩掛

##### 3-1 発動発電設備据付

作業種別	細別規格	単 位	技術員	電 工	機械工	配管工	普通作業員	摘 要
発動発電設備	20kVA 以下	台	4.0	9.0	6.0	3.0	2.5	
	50kVA 以下	台	5.0	11.0	8.5	4.0	2.5	
	100kVA 以下	台	7.0	15.5	10.5	6.0	4.0	
	200kVA 以下	台	9.5	23.5	14.0	8.0	6.0	
	350kVA 以下	台	12.0	33.5	17.5	10.0	8.0	
	500kVA 以下	台	13.0	37.0	20.0	11.5	9.5	
	750kVA 以下	台	14.0	38.0	21.0	12.5	10.5	
1000kVA 以下	台	15.0	39.0	22.0	13.5	11.5		

(注) 1. 本歩掛は、発電機、原動機、発電機盤、直流電源盤、消音器、燃料小出槽及び燃料移送ポンプの据付けとする。

なお、吸気、換気ファンの据付けを含む場合は、据付歩掛を1.3倍、別置型ラジエータ方式の場合は、据付歩掛の機械工、配管工、普通作業員を1.2倍とする。

2. 本歩掛の冷却方式は、ラジエータ方式を標準としているので、水冷式の場合は、据付歩掛の機械工、配管工、普通作業員を1.1倍とする。

3. 本歩掛の始動方式は、電気始動方式を標準としているので、空気始動方式の場合は、別途考慮すること。

4. 本歩掛には、油配管、排気管及び同一室内における機器間の配管配線を含む。

5. 燃料小出槽は、1,000リットル以下の据付けは、本歩掛に含む。

ただし、1,000リットルを超えるものの据付けは、別途「3-5 燃料小出槽設置」歩掛との差を追加する。

3-2 発動発電設備調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
発動発電設備	20kVA以下	台	1.0	2.0	
	50kVA以下	台	2.0	3.0	
	100kVA以下	台	3.0	4.5	
	200kVA以下	台	3.5	6.5	
	350kVA以下	台	4.0	9.0	
	500kVA以下	台	4.5	10.5	
	750kVA以下	台	4.5	11.0	
	1000kVA以下	台	5.0	11.0	

(注) 本歩掛は、発電機、原動機、発電機盤、直流電源盤、消音器、燃料小出槽及び燃料移送ポンプの調整とする。

3-3 発動発電設備据付 (パッケージ型)

作業種別	細別規格	単位	技術員	電工	普通作業員	摘要
発動発電設備 (パッケージ型)	3kVA以下	台	0.5	1.0	0.5	
	5kVA以下	台	0.5	1.0	0.5	
	10kVA以下	台	0.5	1.5	0.5	
	15kVA以下	台	1.0	2.0	1.0	
	20kVA以下	台	2.0	4.5	1.0	
	50kVA以下	台	2.5	5.5	1.0	
	100kVA以下	台	3.5	7.5	1.5	
	200kVA以下	台	4.0	9.5	1.5	
	300kVA以下	台	4.5	11.0	1.5	
	500kVA以下	台	5.0	11.5	1.5	

(注) 1. 本歩掛は、同一室内における機器間の配管・配線(電気関係)を含む。  
 2. 本歩掛は、蓄電池据付を含む。  
 3. 本歩掛は、パッケージ・内蔵機器一体型に適用する。

3-4 発動発電設備調整 (パッケージ型)

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
発動発電設備 (パッケージ型)	3kVA以下	台	0.5	0.5	
	5kVA以下	台	0.5	0.5	
	10kVA以下	台	0.5	1.0	
	15kVA以下	台	1.0	1.5	
	20kVA以下	台	1.0	2.0	
	50kVA以下	台	2.0	3.0	
	100kVA以下	台	3.0	4.5	
	200kVA以下	台	3.5	5.5	
	300kVA以下	台	4.0	6.0	
	500kVA以下	台	4.5	6.5	

(注) 1. 本歩掛は、燃料小出槽の調整を含む。  
 2. 本歩掛は、パッケージ・内蔵機器一体型に適用する。

3-5 燃料小出槽設置

作業種別	細別規格	単位	配管工	普通作業員	摘要
燃料小出槽	500L以下	台	1.5	0.4	
	1,000L以下	台	2.0	0.4	
	2,000L以下	台	3.0	0.7	

(注) 本歩掛は、油配管の据付けを含む。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 発動発電設備据付

施工歩掛コード	WE205100	施工単位	台	入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	J5		
20kVA 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-2)	吸気換気ファン据付による補正 (表-3)	ラジエータ方式による補正 (表-4)	冷却方式による補正 (表-5)		
50kVA 以下	02							
100kVA 以下	03							
200kVA 以下	04							
350kVA 以下	05							
500kVA 以下	06							
750kVA 以下	07							
1000kVA 以下	08							

(注) 1. 2 台以上据付けを行う場合は、1 台目と 2 台目以降を分けて入力する。

2. 2 台以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X : 補正歩掛  
Y : 標準 〃  
Z : 補正係数 (J2)

3. 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 吸気換気ファン据付による補正

作業内容	補正係数	入力番号
据 付 な し	1.0	1
据 付 あ り	1.3	2

表-4 ラジエータ方式による補正

作業内容	補正係数	入力番号
一 体 型	1.0	1
別 置 型	1.2	2

表-5 冷却方式による補正

作業内容	補正係数	入力番号
ラ ジ エ ー タ 式	1.0	1
水 冷 式	1.1	2

## (2) 発動発電設備調整

施工歩掛コード	WE205200	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
20kVA 以下	01	2 台目以降による補正 (表-2)	
50kVA 以下	02		
100kVA 以下	03		
200kVA 以下	04		
350kVA 以下	05		
500kVA 以下	06		
750kVA 以下	07		
1000kVA 以下	08		

- (注) 1. 2 台以上調整を行う場合は、1 台目と 2 台目以降を分けて入力する。  
2. 2 台以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X: 補正歩掛  
Y: 標準 "

Z: 補正係数 (J1)

## (3) 発動発電設備据付 (パッケージ型)

施工歩掛コード	WE205800	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
3kVA 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-2)
5kVA 以下	02		
10kVA 以下	03		
15kVA 以下	04		
20kVA 以下	05		
50kVA 以下	06		
100kVA 以下	07		
200kVA 以下	08		
300kVA 以下	09		
500kVA 以下	10		

- (注) 機器単体費は、別途入力する。

(4) 発動発電設備調整 (パッケージ型)

施工歩掛コード	WE205900	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
3kVA 以下	01	2 台目以降による補正 (表-2)	
5kVA 以下	02		
10kVA 以下	03		
15kVA 以下	04		
20kVA 以下	05		
50kVA 以下	06		
100kVA 以下	07		
200kVA 以下	08		
300kVA 以下	09		
500kVA 以下	10		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(5) 燃料小出槽設置

施工歩掛コード	WE206000	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
500L 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-2)
1,000L 以下	02		
2,000L 以下	03		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## ② 無停電電源設備設置工

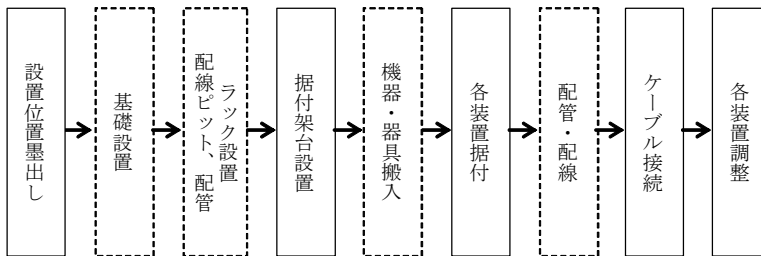
### 1 適用範囲

本資料は、無停電電源装置等の設置を行う無停電電源設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 無停電電源装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
無停電電源装置据付	7.5kVA以上	台	0.5	1.5	1.0	
蓄電池盤据付		面	0.5	1.0	1.0	

(注) 1. 無停電電源装置には、入出力盤を含むものとする。

2. 蓄電池盤据付には、蓄電池据付を含む。

#### 3-2 無停電電源装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
無停電電源装置調整	7.5kVA以上	台	0.5	0.5	

#### 3-3 小容量無停電電源装置据付・調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	電工	摘要
小容量 無停電電源装置 据付・調整	5kVA以下	台	0.5	0.5	0.5	



3-4 蓄電池据付

作業種別	細別規格	単位	技術員	電工	普通作業員	摘要
蓄電池	50Ah 以下	10 セル	0.17	0.23	0.17	
	100Ah 以下	10 セル	0.21	0.28	0.21	
	200Ah 以下	10 セル	0.28	0.37	0.28	
	300Ah 以下	10 セル	0.34	0.45	0.34	
	400Ah 以下	10 セル	0.40	0.53	0.40	
	500Ah 以下	10 セル	0.47	0.62	0.47	
	600Ah 以下	10 セル	0.52	0.69	0.52	
	700Ah 以下	10 セル	0.57	0.76	0.57	
	800Ah 以下	10 セル	0.62	0.83	0.62	
	900Ah 以下	10 セル	0.67	0.89	0.67	
1,000Ah 以下	10 セル	0.72	0.96	0.72		

- (注) 1. 本歩掛は、アルカリ蓄電池、鉛蓄電池 10 セル当りに適用する。  
 2. 架台の据付けを含むものとする。  
 3. 同室内での整流器間の配線を含むものとする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 無停電電源装置据付

施工歩掛コード	WE205301	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
7.5kVA以上	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

##### (2) 蓄電池盤据付

施工歩掛コード	WE205302	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
蓄電池盤	01	作業内容による補正 (表-1)	2面目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

##### (3) 無停電電源装置調整

施工歩掛コード	WE205303	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
7.5kVA以上調整	01	2台目以降による補正 (表-2)	

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(4) 小容量無停電電源装置据付・調整

施工歩掛コード	WE205700	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
5kVA 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(5) 蓄電池据付

施工歩掛コード	WE205600	施工単位	セル
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
50Ah 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
100Ah 以下	02		
200Ah 以下	03		
300Ah 以下	04		
400Ah 以下	05		
500Ah 以下	06		
600Ah 以下	07		
700Ah 以下	08		
800Ah 以下	09		
900Ah 以下	10		
1,000Ah 以下	11		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

### ③ 直流電源設備設置工

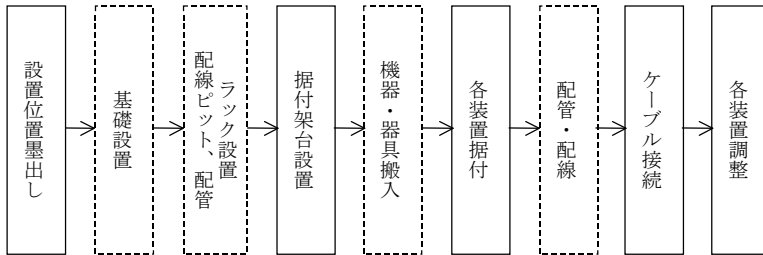
#### 1 適用範囲

本資料は、直流電源装置等の設置を行う直流電源設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 直流電源装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術員	電工	普通作業員	摘要
直流電源装置据付 24V系	100A以下	台	0.5	2.0	1.0	
	200A以下	台	0.5	3.0	2.0	
直流電源装置据付 48V系		台	0.5	2.0	1.0	
	ユニット増設	ユニット	—	0.3	—	

(注) 48V系ユニット増設は、既設装置に増設する場合に適用する。

##### 3-2 直流電源装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
直流電源装置調整 24V系	50A以下	台	0.4	0.4	
	75A~100A	台	1.4	1.4	
	200A以下	台	1.5	1.5	
直流電源装置調整 48V系	20N	台	0.9	0.9	
	50N	台	1.5	1.5	
	ユニット増設	ユニット	—	0.3	

(注) 48V系ユニット増設は、既設装置に増設する場合に適用する。

##### 3-3 蓄電池据付

本作業種別の歩掛は、「第3章第2節②無停電電源設備設置工」による。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 直流電源装置据付

施工歩掛コード	WE205401	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
24V系 100A以下	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)
24V系 200A以下	02		
48V系	03		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

##### (2) 直流電源装置据付 (ユニット増設)

施工歩掛コード	WE205402	施工単位	ユニット
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
48V系 ユニット増設	01	2ユニット目以降による補正 (表-3)	

(注) 機器単体費は、別途入力する。

##### (3) 直流電源装置調整

施工歩掛コード	WE205403	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
24V 50A以下	01	2台目以降による補正 (表-2)	
24V 75~100A	02		
24V 200A以下	03		
48V 20N	04		
48V 50N	05		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2ユニット目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(4) 直流電源装置調整 (ユニット増設)

施工歩掛コード	WE205404	施工単位	ユニット
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
48V系 ユニット増設調整	01	2ユニット目以降による補正 (表-3)	

表-3 2ユニット目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

#### ④ 管理用水力発電設備設置工

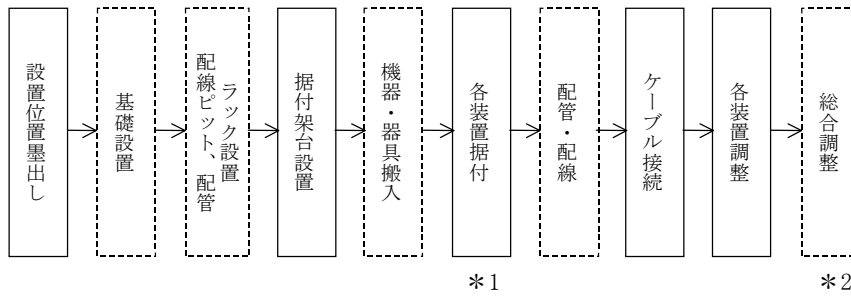
##### 1 適用範囲

本資料は、ダム、堰等の管理用水力発電設備の設置を行う管理用水力発電設備設置工に適用する。

##### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、盤間配線を含む。

\*2 は、必要に応じて別途積上げる。

##### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節受変電設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑤ 新エネルギー電源設備設置工

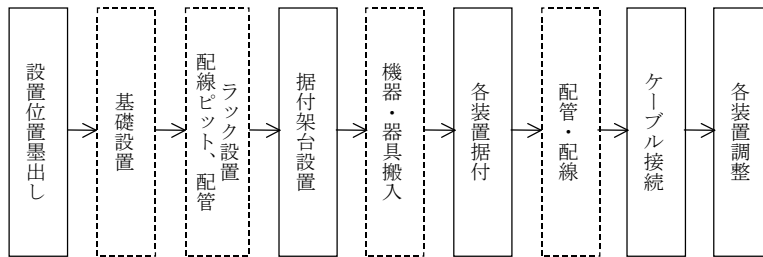
### 1 適用範囲

本資料は、太陽光、風力、海洋温度差、波力、潮汐、海流及び燃料発電等の新エネルギー電源設備設置工について適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節受変電設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。



# 第3節 揚排水機場電気設備工

## ① 高圧受変電設備設置工

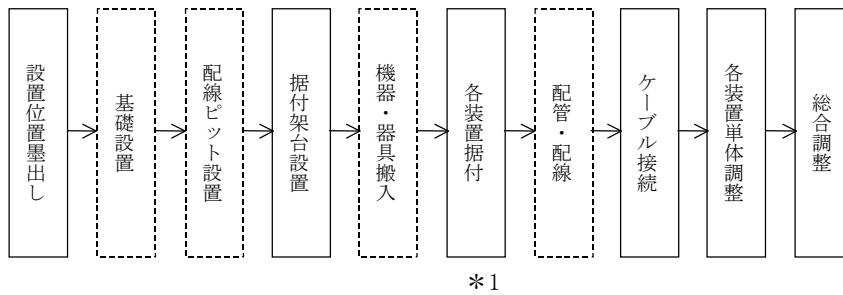
### 1 適用範囲

本資料は、揚排水機場電気設備の高圧受変電設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節②高圧受変電設備設置工」による。

## ② 低圧受変電設備設置工

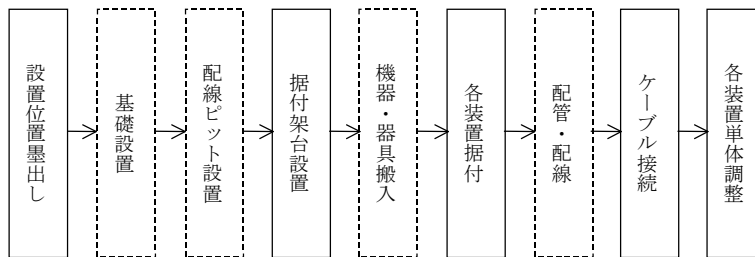
### 1 適用範囲

本資料は、揚排水機場電気設備の低圧受変電設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節③低圧受変電設備設置工」による。

### ③ 発電設備設置工

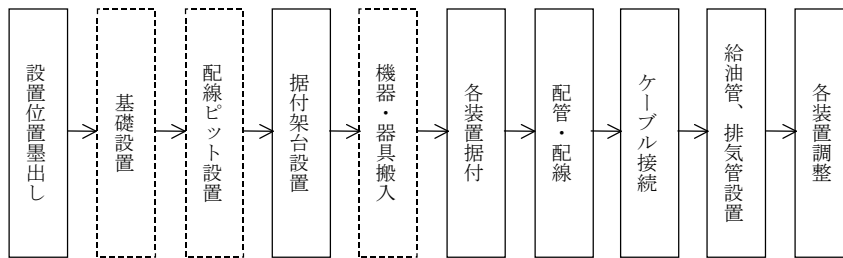
#### 1 適用範囲

本資料は、揚排水機場電気設備の発電設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第2節①発電設備設置工」による。

## ④ 無停電電源設備設置工

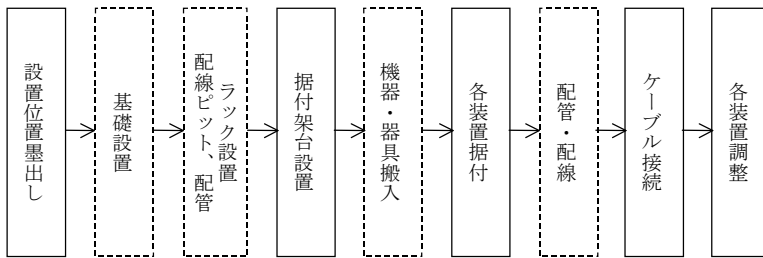
### 1 適用範囲

本資料は、揚排水機場電気設備の無停電電源設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第2節②無停電電源設備設置工」による。

## ⑤ 直流電源設備設置工

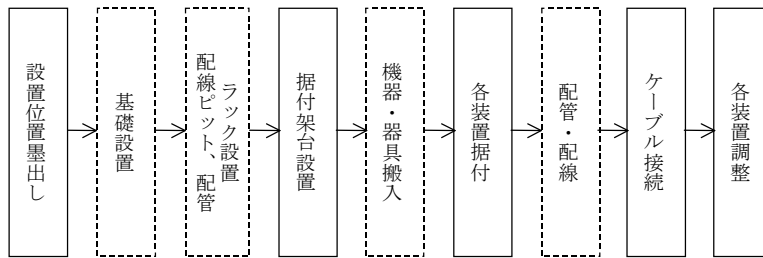
### 1 適用範囲

本資料は、揚排水機場電気設備の直流電源設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第2節③直流電源設備設置工」による。

## ⑥ 操作制御装置設置工

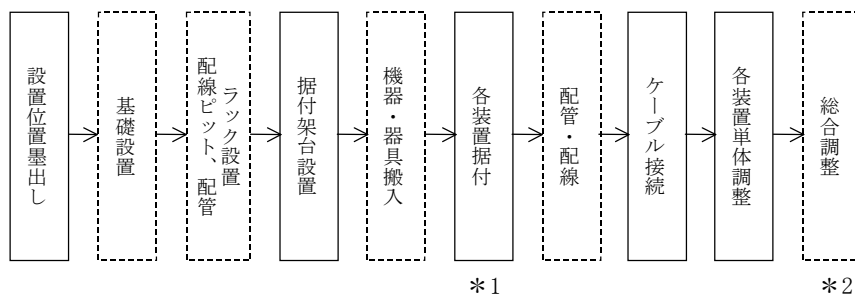
### 1 適用範囲

本資料は、揚排水機場電気設備の操作制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、盤間配線を含む。

\*2 は、必要に応じて別途積上げる。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑦ 水閘門電気設備設置工

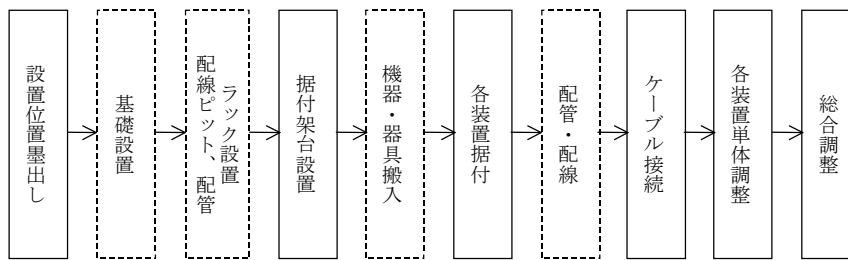
### 1 適用範囲

本資料は、揚排水機場電気設備の水閘門電気設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

# 第4節 地下駐車場電気設備工

## ① 高圧受変電設備設置工

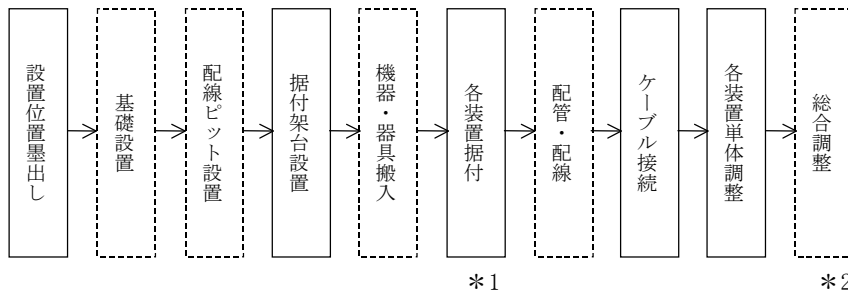
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備の高圧受変電設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、盤間配線を含む。

\*2 は、必要に応じて別途積上げる。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節②高圧受変電設備設置工」による。



## ② 低圧受変電設備設置工

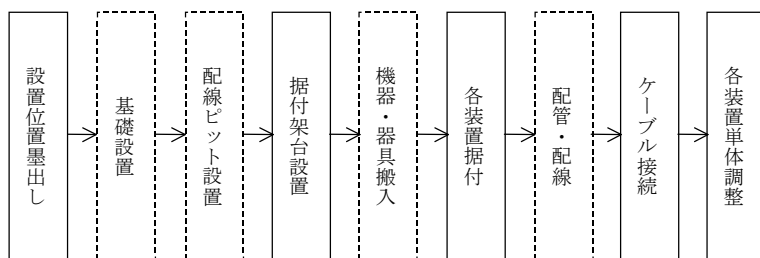
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備の低圧受変電設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節③低圧受変電設備設置工」による。

### ③ 発電設備設置工

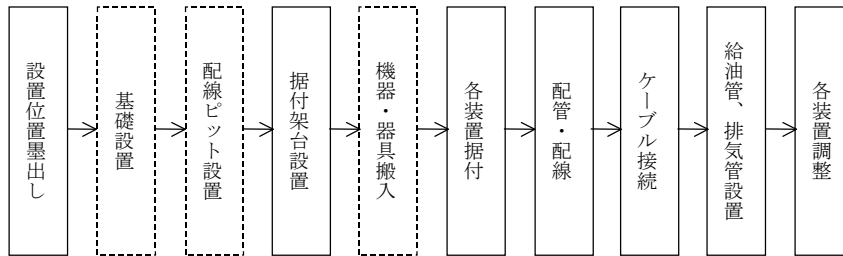
#### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備の発電設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第2節①発電設備設置工」による。

## ④ 無停電電源設備設置工

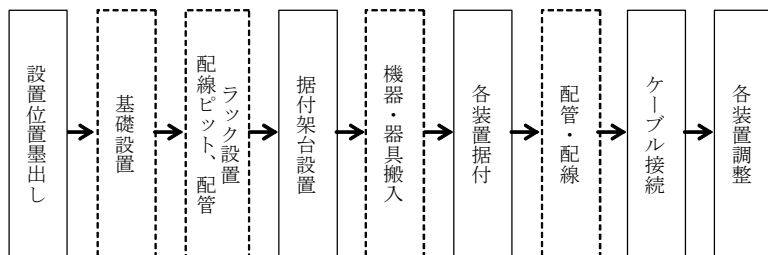
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備の無停電電源設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第2節②無停電電源設備設置工」による。

## ⑤ 直流電源設備設置工

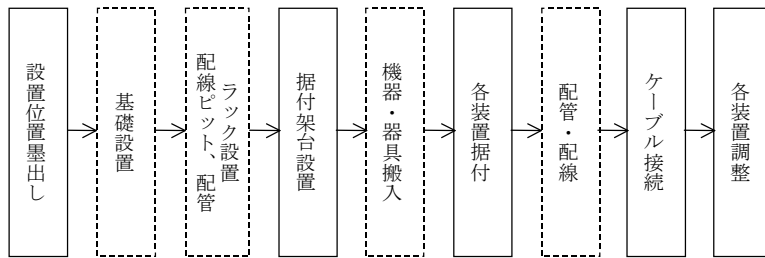
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備の直流電源設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第2節③直流電源設備設置工」による。

## ⑥ 電灯設備設置工

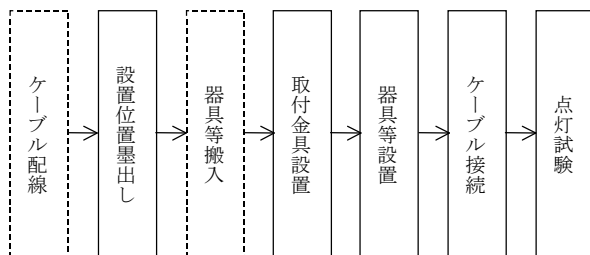
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場施設における電灯照明施設の照明器具、配線器具等の設置を行う電灯設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

#### 3-1 白熱灯器具取付（屋内）

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
コードペンダント		灯	0.15	
パイプペンダント		灯	0.20	
チェーンペンダント		灯	0.20	
シーリングライト		灯	0.20	
埋込灯		灯	0.25	
ブラケットライト		灯	0.15	
レセプタクル		灯	0.10	
シャンデリヤ2灯		灯	0.55	

3-2 白熱灯器具取付（屋外）

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
投 光 器	400W以下	灯	1.60	
ブ ラ ケ ッ ト 灯	400W以下	灯	0.26	
け ん す い 灯	400W以下	灯	0.80	
フ ー ド 灯	400W以下	灯	0.90	
投 光 器	1kW以下	灯	2.00	
ブ ラ ケ ッ ト 灯	1kW以下	灯	0.30	
け ん す い 灯	1kW以下	灯	1.00	
フ ー ド 灯	1kW以下	灯	1.10	

(注) 投光器は、据付台の取付けを含む。

3-3 蛍光灯器具取付

作業種別	細別規格	単位	電工		摘要
			露出型	埋込型	
蛍 光 灯 器 具	1灯用 10W	灯	0.15	0.20	
	1灯用 20W	灯	0.20	0.25	
	1灯用 30W	灯	0.20	0.25	
	1灯用 40W	灯	0.30	0.40	
	1灯用 110W	灯	0.50	0.80	
	2灯用 10W	灯	0.20	0.30	
	2灯用 20W	灯	0.25	0.35	
	2灯用 30W	灯	0.25	0.35	
	2灯用 40W	灯	0.40	0.50	
	2灯用 110W	灯	0.80	1.00	
	3灯用 10W	灯	0.25	0.35	
	3灯用 20W	灯	0.30	0.40	
	3灯用 40W	灯	0.50	0.60	
	3灯用 110W	灯	1.00	1.20	
	4~6灯用 10W	灯	0.30	0.40	
	4~6灯用 20W	灯	0.40	0.50	
	4~6灯用 40W	灯	0.60	0.80	
	4~6灯用 110W	灯	1.20	1.50	

- (注) 1. 埋込器具の木枠取付は含まない。ただし吊りボルトの取付けを含む。  
 2. 連結灯、防爆形その他特殊器具には適用しない。  
 3. 予備白熱灯付きは0.05人/灯を加算する。

## 3-4 配線器具取付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
埋込コンセント	2P 15A	個	0.10	
	2P 20A	個	0.15	
	2P 30A	個	0.20	
	3P 20A	個	0.20	
	3P 30A	個	0.27	
露出コンセント	2P 15A	個	0.08	
	2P 20A	個	0.12	
	2P 30A	個	0.16	
	3P 20A	個	0.16	
	3P 30A	個	0.22	
埋込タンブラスイッチ	1-2W 10A	個	0.15	
	3W 10A	個	0.15	
	4W 10A	個	0.18	
露出タンブラスイッチ	3W、4W 10A	個	0.12	
プルスイッチ		個	0.10	
押 釦		個	0.10	
プ ザ ー		個	0.20	
カットアウトスイッチ	2P 15A	個	0.20	
リモコンスイッチ		個	0.10	
リモコンセレクタースイッチ	6回路	個	0.40	
	12回路	個	0.80	
リモコンリレー		個	0.10	
リモコントランス		個	0.10	
計 器 箱		個	0.20	
電 力 量 計	30A	個	0.50	
換 気 扇	20cm	個	0.50	
変 流 器		個	0.10	
天 井 扇 (温度調節器共)		個	0.80	

- (注) 1. 器具のプレートの取付けを含む。  
2. 連用器具の組合せの場合は組合せの合計とする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 白熱灯器具取付（屋内）

施工歩掛コード	WE210100	施工単位	灯
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
コードペンダント	01	作業内容による補正 (表-1)	
パイプペンダント	02		
チェーンペンダント	03		
シーリングライト	04		
埋込灯	05		
ブラケットライト	06		
レセプタクル	07		
シャンデリア2灯用	08		

(注) 材料単価を別途入力する。

##### (2) 白熱灯器具取付（屋外）

施工歩掛コード	WE210200	施工単位	灯
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
投光器 400W以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
ブラケット灯 "	02		
けんすい灯 "	03		
フード灯 "	04		
投光器 1kW以下	05		
ブラケット灯 "	06		
けんすい灯 "	07		
フード灯 "	08		

(注) 材料単価を別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4



(3) 蛍光灯器具取付（露出型）

施工歩掛コード	WE210301	施工単位	灯
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
1灯用 10W	01	作業内容による補正 (表-1)	予備白熱灯付きによる補正 (表-2)
〃 20W	02		
〃 30W	03		
〃 40W	04		
〃 110W	05		
2灯用 10W	06		
〃 20W	07		
〃 30W	08		
〃 40W	09		
〃 110W	10		
3灯用 10W	11		
〃 20W	12		
〃 40W	13		
〃 110W	14		
4~6灯用 10W	15		
〃 20W	16		
〃 40W	17		
〃 110W	18		

(注) 材料単価を別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 予備白熱灯付きによる補正

作業内容	加算人員	入力番号
予備白熱灯なし	0.0	1
予備白熱灯あり	0.05	2

(4) 蛍光灯器具取付 (埋込型)

施工歩掛コード	WE210302	施工単位	灯
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
1 灯用 10W	01	作業内容による補正 (表-1)	予備白熱灯付きによる補正 (表-2)
〃 20W	02		
〃 30W	03		
〃 40W	04		
〃 110W	05		
2 灯用 10W	06		
〃 20W	07		
〃 30W	08		
〃 40W	09		
〃 110W	10		
3 灯用 10W	11		
〃 20W	12		
〃 40W	13		
〃 110W	14		
4~6 灯用 10W	15		
〃 20W	16		
〃 40W	17		
〃 110W	18		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 予備白熱灯付きによる補正

作業内容	加算人員	入力番号
予備白熱灯なし	0.0	1
予備白熱灯あり	0.05	2

## (5) 配線器具取付

施工歩掛コード	WE122900	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
埋込コンセント 2P 15A	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 〃 20A	02		
〃 〃 30A	03		
〃 3P 20A	04		
〃 〃 30A	05		
露出コンセント 2P 15A	06		
〃 〃 20A	07		
〃 〃 30A	08		
〃 3P 20A	09		
〃 〃 30A	10		
埋込タンブラスイッチ 1~2W 10A	11		
〃 3W 10A	12		
〃 4W 10A	13		
露出タンブラスイッチ 3W、4W 10A	14		
ブルスイッチ	15		
押釦	16		
ブザー	17		
カットアウトスイッチ 2P 15A	18		
リモコンスイッチ	19		
リモコンセレクトアーススイッチ 6回路	20		
リモコンセレクトアーススイッチ 12回路	21		
リモコンリレー	22		
リモコントランス	23		
計器箱	24		
電力量計 30A	25		
換気扇 20cm	26		
変流器	27		
天井扇 (温度調整器共)	28		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

## ⑦ 動力設備設置工

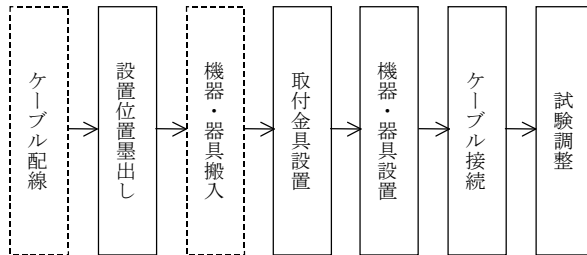
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場施設の換気扇、空気調節装置及び付帯するダクト等の設置を行う動力設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、別途積上げ計上とする。

## ⑧ 電話設備設置工

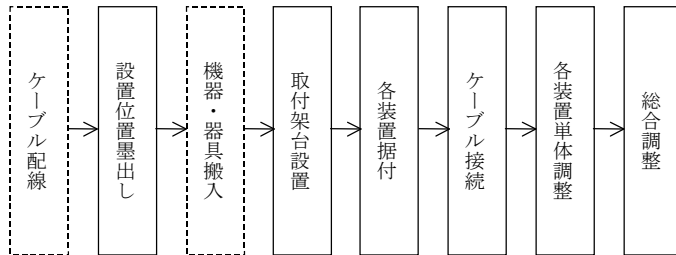
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場施設の簡易型交換装置、中継端子板、電話機等の設置を行う電話設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第4章第7節①自動電話交換装置設置工」による。

## ⑨ 放送設備設置工

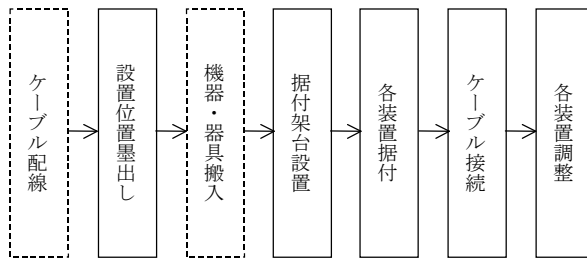
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備の放送設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑩ ラジオ再放送設備設置工

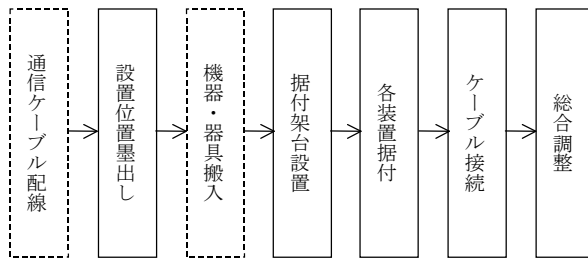
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備のラジオ再放送設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第4章第14節①ラジオ再放送装置設置工」による。

## ⑪ 無線通信補助設備設置工

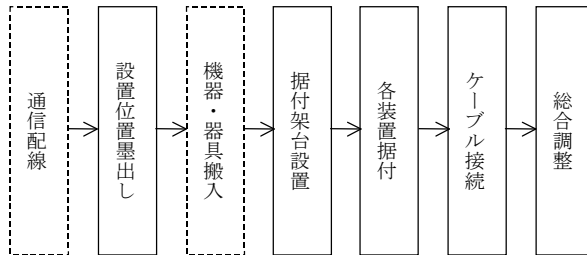
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場施設内の通信用漏洩ケーブル、空中線、通信機器等の設置を行う無線通信補助設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第4章第15節トンネル無線補助設備工」による。



## ⑫ インターホン設備設置工

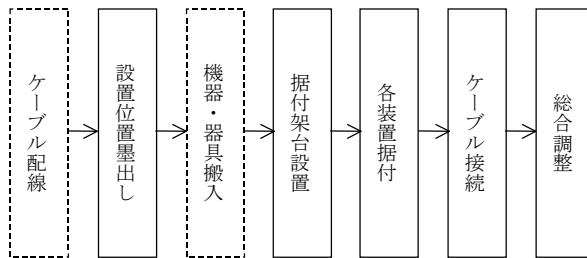
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備のインターホン設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

## ⑬ テレビ共聴設備設置工

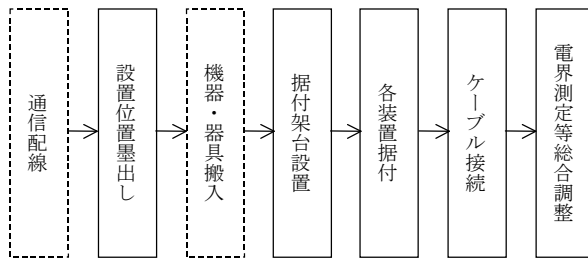
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備のテレビ共聴設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

#### 3-1 機器収容箱据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-2 分配器据付

本作業種別の歩掛は、「第5章第6節①CCTV監視制御装置設置工」による。

#### 3-3 混合器据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-4 増幅器据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-5 空中線装置据付

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工 3-5 テレメータ用空中線据付」による。

#### 3-6 空中線装置調整

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工 3-6 テレメータ用空中線調整」による。

## ⑭ 身体障害者警報設備設置工

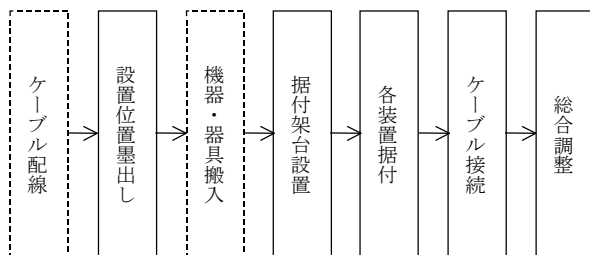
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備の身体障害者警報設備設置工について適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑮ 自動火災報知設備設置工

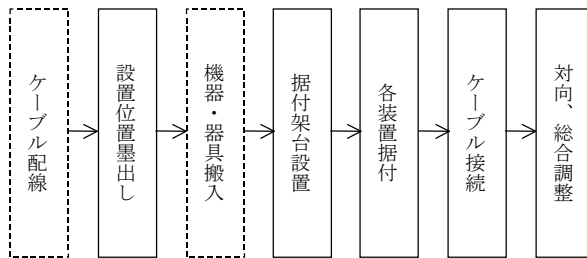
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備の自動火災報知設備設置工について適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑩ CCTV 装置設置工

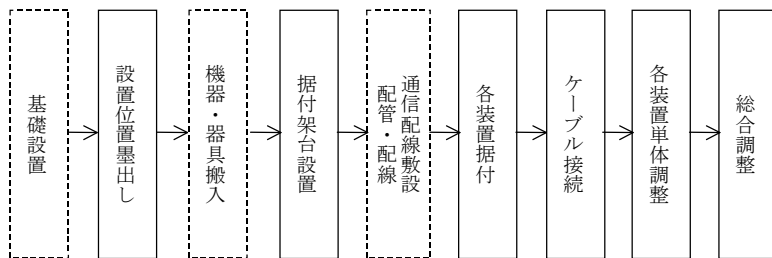
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場電気設備の CCTV 装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第 5 章第 6 節 CCTV 設備工」による。

## ⑰ 中央監視設備設置工

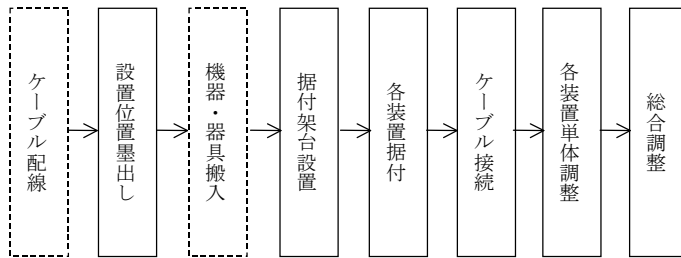
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場施設の監視用設備の設置を行う中央監視設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」及び「第5章第2節ダム・堰諸量設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑱ 駐車場管制設備設置工

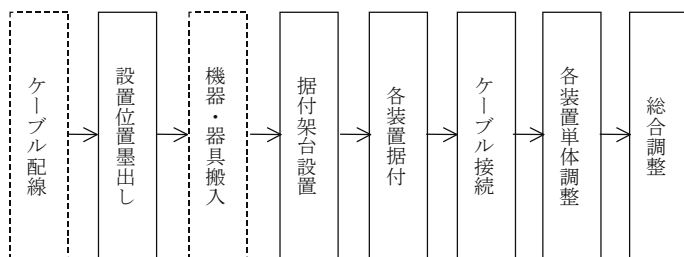
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場施設の内、駐車場管制処理装置等の設置を行う駐車場管制設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑱ 遠方監視設備設置工

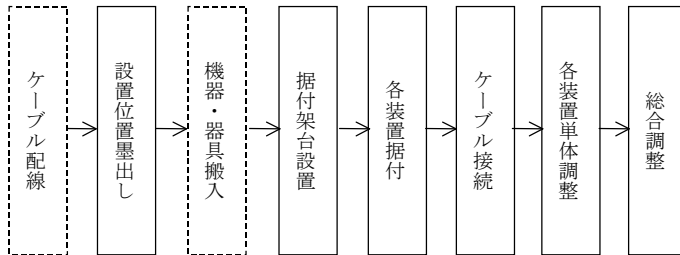
### 1 適用範囲

本資料は、地下駐車場施設の内、遠方監視設備の設置を行う遠方監視設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。



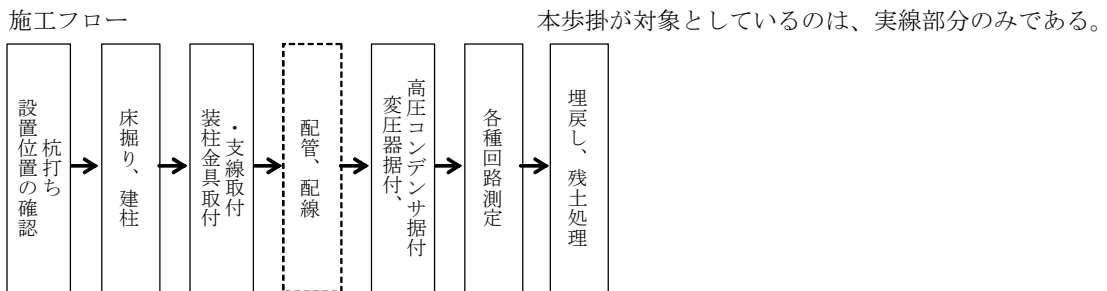
# 第5節 配電線設備工

## ① 配電線設備設置工

### 1 適用範囲

本資料は、負荷設備に配電するための変圧器、電線路等の設置を行う配電線設備設置工に適用する。

### 2 施工概要



### 3 標準歩掛

#### 3-1 コンクリート柱建柱

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節⑧引込柱設置工 3-1 コンクリート柱建柱」による。

#### 3-2 鋼板組立柱建柱

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節⑩通信線柱設置工 3-2 鋼板組立柱建柱」による。

#### 3-3 支線取付

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節⑧引込柱設置工 3-2 支線取付」による。

#### 3-4 腕木・腕金取付

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節⑧引込柱設置工 3-3 腕金取付」による。

#### 3-5 変台装置据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

#### 3-6 変圧器据付

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節①特別高圧受変電設備設置工 3-5 変圧器（油入）据付」による。

#### 3-7 高圧コンデンサ据付

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節②高圧受変電設備設置工 3-9 柱上変圧器及び高圧コンデンサ据付」による。

3-8 保護線据付

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節①配管・配線工 3-7 架空配線 (4) 保護線及び保護網」による。

3-9 保護網据付

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節①配管・配線工 3-7 架空配線 (4) 保護線及び保護網」による。

3-10 作業土工（電気）

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

3-11 殻運搬処理

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

## 第6節 道路照明設備工

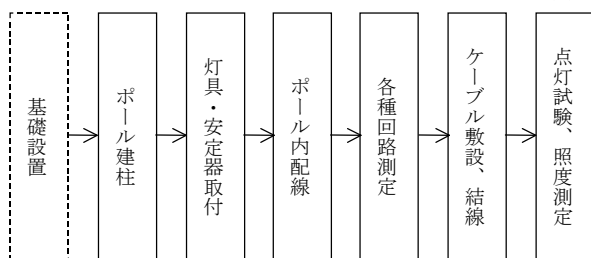
### ① 道路照明設備設置工

#### 1 適用範囲

本資料は、道路照明設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー



本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 道路照明灯建柱

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	トラッククレーン賃料(日)	摘要
道路照明灯建柱	高さ: GL8~12m、 重量: 350kg 以下	10基	5.0	4.0	1.7	
	高さ: GL8~12m、 重量: 350kg 超 1,000kg 以下	10基	6.0	4.8	1.9	

- (注) 1. 舗装切断、とりこわし、復旧、床掘り、埋戻しは、土木工事標準歩掛による。  
 2. 撤去(再使用・不使用)は、本歩掛の0.5倍とする。  
 3. 個別製作照明柱、鋼管引込ポールも本歩掛に準ずる。  
 4. トラッククレーンは、油圧式4.8~4.9t吊りとする。

##### 3-2 照明器具取付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	高所作業車運転(時間)	摘要
照明器具取付		10台	4.1	2.1	9.0	

- (注) 1. 同一柱に2台以上器具を取付ける場合は、本歩掛の台数分とする。  
 2. 本歩掛は、ランプ、安定器及びポール内配線を含む。  
 3. 高所作業車は、12mとする。

##### 3-3 分電盤取付(ポール取付)

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
分電盤取付	ポール取付型各種	10面	5.2	3.5	

- (注) 1. 引込柱等に取付ける分電盤に適用する。  
 2. 盤内ケーブル接続を含む。

3-4 自動点滅器取付（ポール取付）

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
自動点滅器取付	ポール取付型各種	10個	1.2	

（注）ポール内配線含む。

3-5 自動点滅器取付（連続照明用）

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
受光部取付		個	0.3	
制御部取付		個	1.0	

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 道路照明灯建柱

施工歩掛コード	WE210800	施工単位	基		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4
高さ：GL8～12m 重量：350kg 以下	01	ボール単価 (円/基)	アンカー ボルト単価 (円/組)	トラック クレーン の深夜 割増 の区分 (表-3)	トラック クレーン の深夜 割増率
〃 重量：350kg 超 1,000kg 以下	02				

(注) 1. トラッククレーンの深夜割増率は作業が深夜（22時から翌5時）にかかる場合に入力する。

深夜にかからない場合はJ3に[1]を入力する。

H：深夜（22時から翌5時）

$$\text{深夜割増率} = 1 + 0.3 \frac{H}{\Sigma H}$$

ΣH：総作業時間

##### (2) 道路照明灯撤去

施工歩掛コード	WE210900	施工単位	基		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2		
高さ：GL8～12m 重量：350kg 以下	01	トラッククレーン の深夜割増の区分 (表-3)	トラッククレーン の深夜割増率		
〃 重量：350kg 超 1,000kg 以下	02				

(注) 1. 器具の有無にかかわらず適用できる。

2. トラッククレーンの深夜割増率は作業が深夜（22時から翌5時）にかかる場合に入力する。同時に労務調整係数も入力する。深夜にかからない場合はJ1に[1]を入力する。

表-3 トラッククレーンの深夜割増の区分

作業内容	入力番号
割増なし	1
割増あり	2

(3) 照明器具取付

施工歩掛コード	WE211500	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
照明器具取付	01	作業内容による補正 (表-1)	高所作業車の持込 貸与の区分 (表-2)

(注) 材料単価を別途入力すること。

(4) 分電盤取付 (ポール取付)

施工歩掛コード	WE211000	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
分電盤 (ポール取付)	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価を別途入力すること。

(5) 自動点滅器取付 (ポール取付)

施工歩掛コード	WE211100	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
自動点滅器 (ポール取付)	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 高所作業車の持込貸与の区分

作業内容	入力番号
持 込	1
貸 与	2

(6) 自動点滅器取付（連続照明用受光部）

施工歩掛コード	WE211301	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
受光部	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価を別途入力すること。

(7) 自動点滅器取付（連続照明制御部）

施工歩掛コード	WE211302	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
制御部	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

## ② サービスエリア照明設備設置工

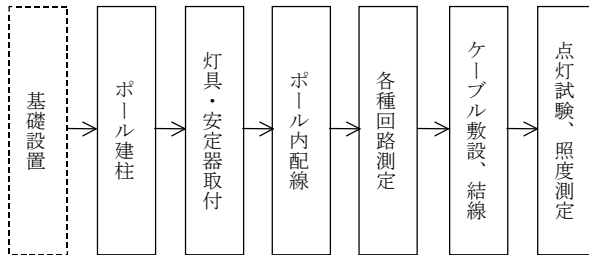
### 1 適用範囲

本資料は、道路照明設備の内、サービスエリア照明設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節①道路照明設備設置工」による。



### ③ 歩道（橋）照明設備設置工

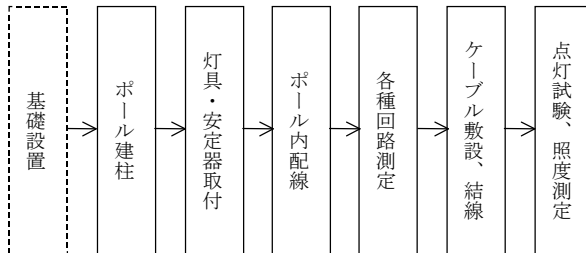
#### 1 適用範囲

本資料は、道路照明設備の内、歩道（橋）照明設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節①道路照明設備設置工」による。

## ④ 照明灯基礎設置工

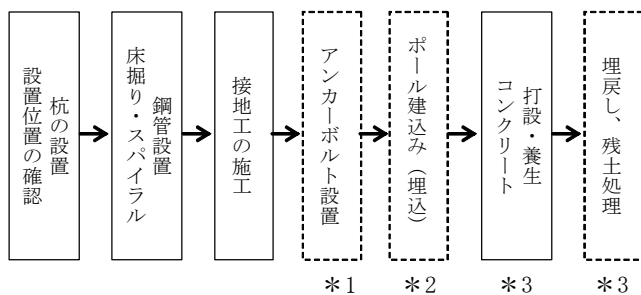
### 1 適用範囲

本資料は、道路照明設備の内、照明灯基礎設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、ベース式の場合

\*2 は、埋込式の場合

\*3 は、「第3章第5節①配電線設備設置工 3-10 作業土工（電気）」による。ただし、二次製品を使用する場合は、別途積上げとする。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 基礎掘削及びスパイラルダクト立込

作業種別	細別規格	単位	アースオーガ運転（時間）	普通作業員	摘要
照明灯基礎	500φ2m以下	10基	7.0	0.9	
	500φ2.5m以下	10基	9.0	1.1	

#### 3-2 コンクリート打設

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

#### 3-3 クラッシャーラン

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

#### 3-4 接地設置工

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節⑫接地設置工 3-1 接地設置」による。

### 4 施工単価入力基準表

#### (1) 基礎掘削及びスパイラルダクト立込

施工歩掛コード	WE211600	施工単位	基
施工区分			
作業種別	規格番号		
照明灯基礎 500φ2.0m以下	01		
照明灯基礎 500φ2.5m以下	02		

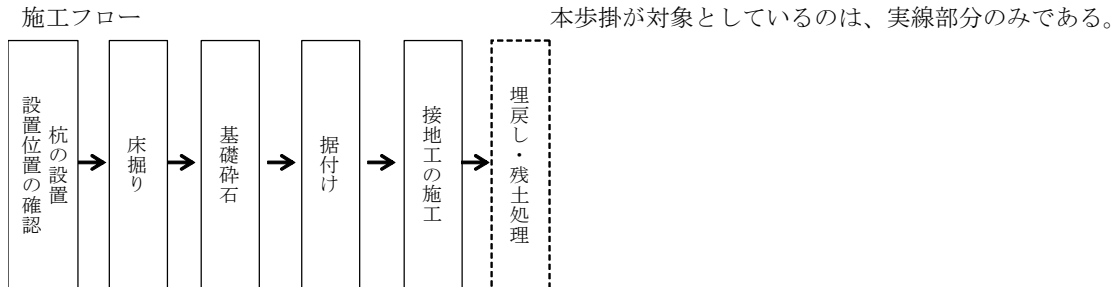
(注) 材料単価を別途入力すること。

## ⑤ 照明灯プレキャスト基礎設置工

### 1 適用範囲

本資料は、道路照明設備の内、照明灯プレキャスト基礎設置工に適用する。

### 2 施工概要



### 3 標準歩掛

#### 3-1 床掘り

作業種別	細別規格	単位	アースオーガ運転（時間）	普通作業員	摘要
照明灯基礎	500φ2m以下	10基	7.0	0.9	
	500φ2.5m以下	10基	9.0	1.1	

#### 3-2 基礎砕石、据付け

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準積算基準書第Ⅱ編第2章⑩排水構造物工⑩-1排水構造物工(3-6)プレキャスト集水枡」による。

#### 3-3 接地設置工

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節⑫接地設置工3-1接地設置」による。

### 4 施工単価入力基準表

#### (1) 床掘り

施工歩掛コード	WE211700	施工単位	基
施工区分			
作業種別	規格番号		
照明灯基礎 500φ2.0m以下	01		
照明灯基礎 500φ2.5m以下	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

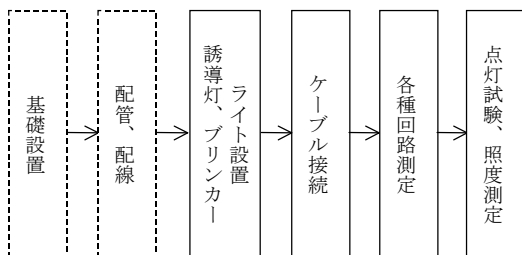
## ⑥ 視線誘導灯設置工

### 1 適用範囲

本資料は、道路照明設備の内、視線誘導灯設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー



本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 ブリンカーライト設置

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
ブリンカーライト設置		個	0.25	

- (注) 1. 本歩掛は、ポールの設置及びポール内配線接続を含む。  
2. ポール基礎及び基礎ボルトは、別途計上する。

#### 3-2 視線誘導灯設置

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

### 4 施工単価入力基準表

#### (1) ブリンカーライト設置

施工歩掛コード	WE211400	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ブリンカーライト	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

## ⑦ 視線誘導灯基礎設置工

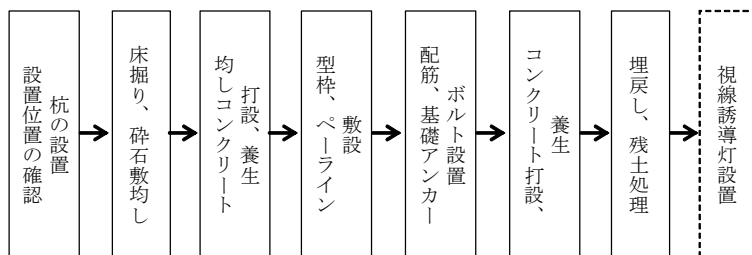
### 1 適用範囲

本資料は、道路照明設備の内、視線誘導灯基礎設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



本作業は、第3章第5節①配電線設備設置工 3-10 作業土工（電気）による。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

# 第7節 トンネル照明設備工

## ① トンネル照明設備設置工

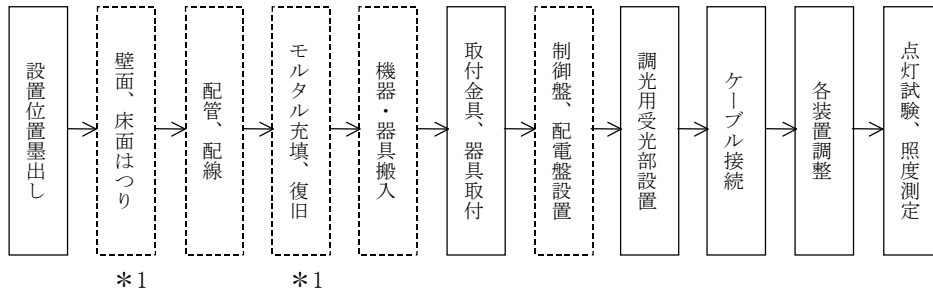
### 1 適用範囲

本資料は、トンネル照明設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、必要に応じて施工する。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 坑口照明灯設置

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節①道路照明設備設置工」による。

3-2 トンネル照明器具取付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
低圧ナトリウム灯	35W	台	0.20	0.30	
	55W	台	0.25	0.40	
	90W	台	0.30	0.50	
	135W	台	0.40	0.50	
	180W	台	0.45	0.50	
	プレス型 35~90W	台	0.30	0.50	
高圧ナトリウム灯	70~360W	台	0.30	0.50	
	プレス型 70~360W	台	0.30	0.50	
蛍光灯	20W×1	台	0.13	0.26	
	40W×1	台	0.20	0.40	高出力 60W 含む
	110W×1	台	0.40	0.80	
	20W×2	台	0.16	0.33	
	40W×2	台	0.25	0.50	高出力 60W 含む
	110W×2	台	0.50	1.00	
	40W×3	台	0.30	0.60	高出力 60W 含む
	110W×3	台	0.60	1.20	
水銀灯	250W 以下	台	0.35	0.50	
	300W 以上	台	0.45	0.50	
LED 灯	プレス型	台	0.30	0.55	落下防止含む
	アルミ製	台	0.50	—	〃

- (注) 1. 器具取付のための足場は別途積算とする。  
 2. ラック方式にて器具取付の場合は、0.5 倍とする。  
 3. 接続 BOX、分岐 BOX は別途積算する。  
 4. 本歩掛は、壁面露出直付けとする。  
 5. 芯出し及びアンカーボルトの穴あけを含む。

3-3 自動点滅器取付 (トンネル照明用)

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
受光部取付		台	0.5	
制御部取付		組	1.2	

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) トンネル照明器具取付

施工歩掛コード	WE210600	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
低圧ナトリウム灯 35W	01	作業内容による補正 (表-1)	取付方式による補正 (表-2)
〃 55W	02		
〃 90W	03		
〃 135W	04		
〃 180W	05		
〃 プレス型 35~90W	06		
高圧ナトリウム灯 70~360W	07		
〃 プレス型 70~360W	08		
蛍光灯 20W×1	09		
〃 40W×1 (高出力 60W 含)	10		
〃 110W×1	11		
〃 20W×2	12		
〃 40W×2 (高出力 60W 含)	13		
〃 110W×2	14		
〃 40W×3 (高出力 60W 含)	15		
〃 110W×3	16		
水銀灯 250W 以下	17		
〃 300W 以上	18		
LED 灯 プレス型	19		
〃 アルミ製	20		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 取付方式による補正

補正内容	補正係数	入力番号
壁 面 方 式	1.0	1
ラ ッ ク 方 式	0.5	2



(2) 自動点滅器取付（トンネル用受光部）

施工歩掛コード	WE210701	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
受光部	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価を別途入力すること。

(3) 自動点滅器取付（トンネル用制御部）

施工歩掛コード	WE210702	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
制御部	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

## ② アンダーパス照明設備設置工

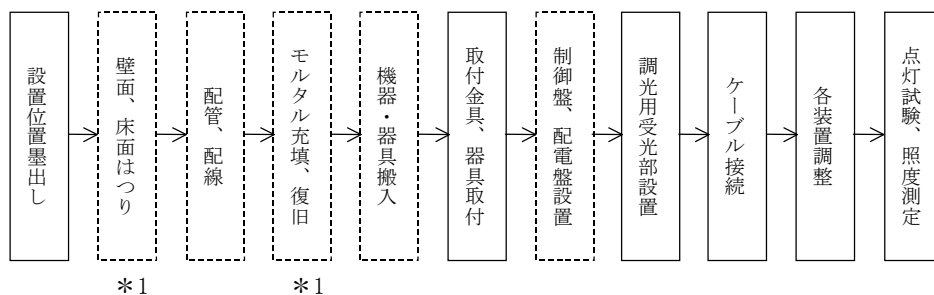
### 1 適用範囲

本資料は、トンネル照明設備の内、アンダーパス照明設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、必要に応じて施工する。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 坑口照明灯取付

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節①道路照明設備設置工」による。

#### 3-2 トンネル照明器具取付

本作業種別の歩掛は、「第3章第7節①トンネル照明設備設置工」による。

### ③ 地下道照明設備設置工

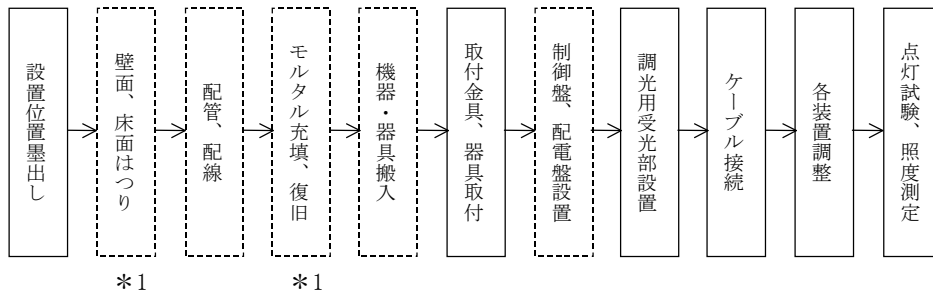
#### 1 適用範囲

本資料は、トンネル照明設備の内、地下道照明設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、必要に応じて施工する。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 坑口照明器具取付

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節①道路照明設備設置工」による。

##### 3-2 トンネル照明器具取付

本作業種別の歩掛は、「第3章第7節①トンネル照明設備設置工」による。

## ④ 照明灯基礎設置工

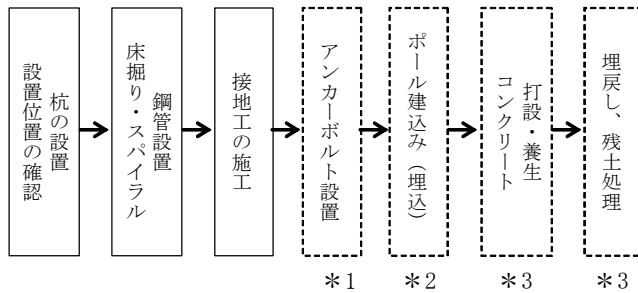
### 1 適用範囲

本資料は、トンネル照明設備の内、照明灯基礎設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、ベース式の場合

\*2 は、埋込式の場合

\*3 は、第3章第5節①配電線設備設置工 3-10 作業土工（電気）による。ただし、二次製品を使用する場合は、別途積上げとする。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 照明灯基礎設置

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節④照明灯基礎設置工」による。

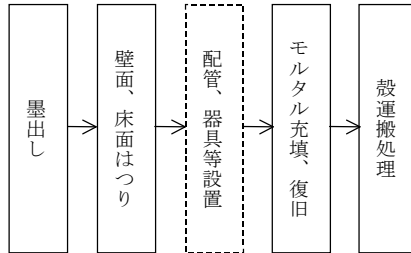
## ⑤ 雑工（電気）

### 1 適用範囲

本資料は、トンネル照明設備等の内、はつり、モルタル充填等を行う雑工（電気）に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー



本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節①配管・配線工 3-10 コンクリート穴あけ・はつり」及び「第2章第1節①配管・配線工 3-12 殻運搬処理」によるほか、「土木工事標準歩掛」による。

## 第 8 節 施設照明設備工

### ① ダム照明設備設置工

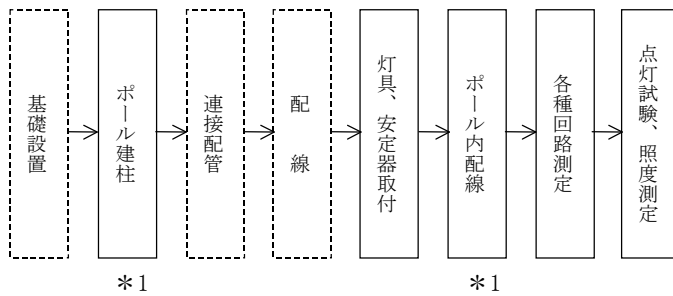
#### 1 適用範囲

本資料は、施設照明設備の内、ダム施設に照明の設置を行うダム照明設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、ポール式の場合

#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第 3 章第 6 節①道路照明設備設置工」及び「第 3 章第 8 節③公園照明設備設置工」による。

## ② 河川照明設備設置工

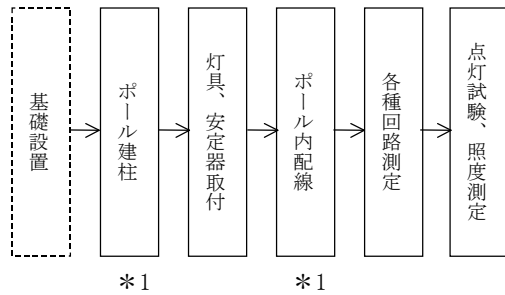
### 1 適用範囲

本資料は、施設照明設備の内、堰、揚排水機場、樋門、その他の河川管理施設に照明の設置を行う河川照明設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、ポール式の場合

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節①道路照明設備設置工」及び「第3章第8節③公園照明設備設置工」による。

### ③ 公園照明設備設置工

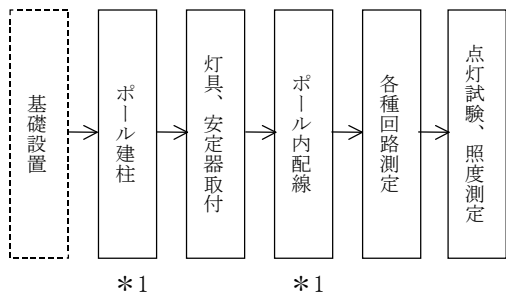
#### 1 適用範囲

本資料は、施設照明設備の内、河川公園、その他の公園施設の遊歩道等に、照明の設置を行う公園照明設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、ポール式の場合

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 水銀灯器具取付（屋内）

作業種別	細別規格	単位	電 工			摘 要
			投光器	フード灯	直付灯	
水 銀 灯 器 具	100W	灯	1.00	0.50	0.25	
	250W	灯	1.20	0.70	0.30	
	300W	灯	1.60	0.90	0.40	
	400W	灯	1.60	0.90	0.40	
	700W	灯	2.00	1.10	0.50	
	1,000W	灯	2.00	1.10	0.50	

- (注) 1. 器具取付高さ5m以上は、1.7倍とする。  
 本歩掛には、ランプ、安定器の取付けを含むものとする。  
 2. 作業用足場の設置撤去を含む。



3-2 水銀灯器具取付（屋外）

作業種別	細別規格	単位	電 工		摘 要
			400W 以下	1kW 以下	
投 光 器		灯	1.90	2.40	
ポ ー ル ラ イ ト		灯	2.90	4.00	
ブ ラ ケ ッ ト 灯		灯	0.56	0.70	
け ん す い 灯		灯	1.10	1.40	
フ ー ド 灯		灯	1.20	1.50	

- (注)
1. 同一柱の場合は、1灯増すごとに0.6人増しとする。
  2. 本歩掛には、ランプ、安定器の取付けを含むものとする。
  3. 投光器は、据付台の取付けを含む。
  4. ポールライトは、建柱及びポール内配線を含む。ただし、基礎は別途計上するものとする。
  5. ナトリウム灯及び蛍光灯は、水銀灯に準ずるものとする。
  6. 自動点滅器を取付ける場合は、0.024人を加算するものとする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 水銀灯器具取付（屋内）

施工歩掛コード	WE210400	施工単位	灯
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
100W 投光器	01	作業内容による補正 (表-1)	取付高さによる補正 (表-2)
250W "	02		
300W "	03		
400W "	04		
700W "	05		
1,000W "	06		
100W フード灯	07		
250W "	08		
300W "	09		
400W "	10		
700W "	11		
1,000W "	12		
100W 直付灯	13		
250W "	14		
300W "	15		
400W "	16		
700W "	17		
1,000W "	18		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 取付高さによる補正

取付方法	補正係数	入力番号
5 m 未 満	1.0	1
5 m 以 上	1.7	2

(2) 水銀灯器具取付（屋外）

施工歩掛コード	WE210500	施工単位	灯				
施工区分		入力条件					
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4		
投光器 400W 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	同一柱取付による補正 (表-2)	同一柱取付台数 (台)	自動点滅器取付による補正 (表-3)		
投光器 1kW 以下	02						
ポールライト 400W 以下	03						
ポールライト 1kW 以下	04						
ブラケット灯 400W 以下	05						
ブラケット灯 1kW 以下	06						
けんすい灯 400W 以下	07						
けんすい灯 1kW 以下	08						
フード灯 400W 以下	09						
フード灯 1kW 以下	10						

- (注) 1. 材料単価を別途入力すること。  
 2. 同一柱補正を行う場合は、同一柱に取付ける灯数を入力条件 J3 に入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 同一柱取付による補正

作業内容	加算人員	入力番号
補 正 な し	0.0	1
補 正 あ り	0.6	2

表-3 自動点滅器取付による補正

作業内容	加算人員	入力番号
補 正 な し	0.0	1
補 正 あ り	0.024	2

# 第9節 共同溝付帯設備工

## ① 共同溝引込設備設置工

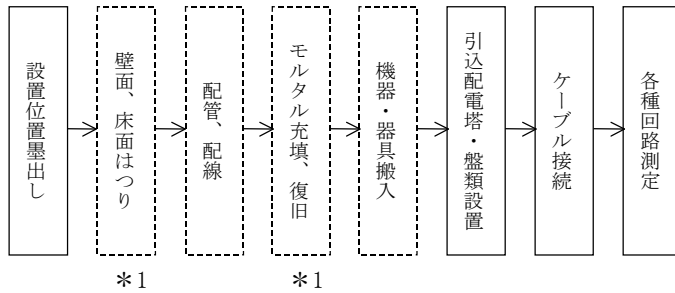
### 1 適用範囲

本資料は、共同溝の電源引込設備の設置を行う共同溝引込設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、必要に応じて施工する。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 引込配電塔設置

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
引込配電塔設置	自立型	基	1.30	0.95	

(注) アンカー打込、結線、調整も含まれている。

#### 3-2 盤類設置

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
分電盤設置	防水型	回路	0.20	
開閉器取付	防水型 30A	個	0.15	
	防水型 60A	個	0.20	
	防水型 100A	個	0.30	
	防爆型 30A	個	0.20	
	防爆型 60A	個	0.25	
	防爆型 100A	個	0.35	

(注) アンカー打込、結線、調整も含まれている。

3-3 配線ダクト据付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
配線ダクト	矩形の切口周辺長さ 1.0m 以下	m	0.36	
	矩形の切口周辺長さ 1.5m 以下	m	0.70	
	矩形の切口周辺長さ 2.0m 以下	m	1.20	

3-4 はつり

本作業種別の歩掛は「第2章第1節①配管・配線工 3-10 コンクリート穴あけ・はつり」による。

4 施工単価入力基準表

(1) 引込配電塔設置

施工歩掛コード	WE230900	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
引込配電塔	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

(2) 盤類設置 (分電盤)

施工歩掛コード	WE230301	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
分電盤防水型	01	作業内容による補正 (表-1)	回路数 (実数入力)

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

(3) 盤類設置 (開閉器)

施工歩掛コード	WE230302	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
開閉器 防水型 30A	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 防水型 60A	02		
〃 防水型 100A	03		
〃 防爆型 30A	04		
〃 防爆型 60A	05		
〃 防爆型 100A	06		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(4) 配線ダクト据付

施工歩掛コード	WE231000	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
切口周辺長さ 1.0m 以下	01	作業内容による補正 (表-1)	
切口周辺長さ 1.5m 以下	02		
切口周辺長さ 2.0m 以下	03		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移設	2.0	4

## ② 共同溝照明設備設置工

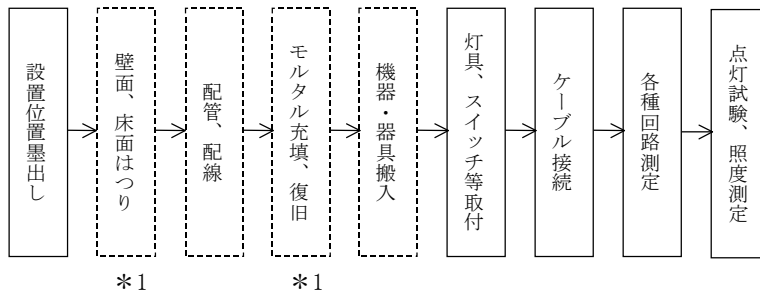
### 1 適用範囲

本資料は、共同溝の照明設備の設置を行う共同溝照明設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、必要に応じて施工する。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 照明器具取付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
蛍光灯	防水型 20W	台	0.15	0.30	
	防爆型 20W	台	0.20	0.30	

(注) アンカー打込、器具ボックス、墨出し、結線も含まれている。

#### 3-2 金物取付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-3 配線器具取付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
コンセント	防水型	個	0.10	
	防爆型	個	0.15	
スイッチ	防水型	個	0.10	
	防爆型	個	0.15	
リモコンスイッチ	防水型	個	0.10	
	防爆型	個	0.12	
フィッシング	各種	個	0.02	

(注) アンカー打込も含まれる。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 共同溝照明器具取付

施工歩掛コード	WE230100	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
蛍光灯防水型 20W	01	作業内容による補正 (表-1)	
蛍光灯防爆型 20W	02		

(注) 材料単価は、別途入力する。

##### (2) 共同溝配線器具据付

施工歩掛コード	WE230200	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
コンセント防水型	01	作業内容による補正 (表-1)	
コンセント防爆型	02		
スイッチ防水型	03		
スイッチ防爆型	04		
リモコンスイッチ防水型	05		
リモコンスイッチ防爆型	06		
フィッチング各種	07		

(注) 材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使 用)	0.5	2
撤去 (再 使 用)	1.0	3
移 設	2.0	4



### ③ 共同溝排水設備設置工

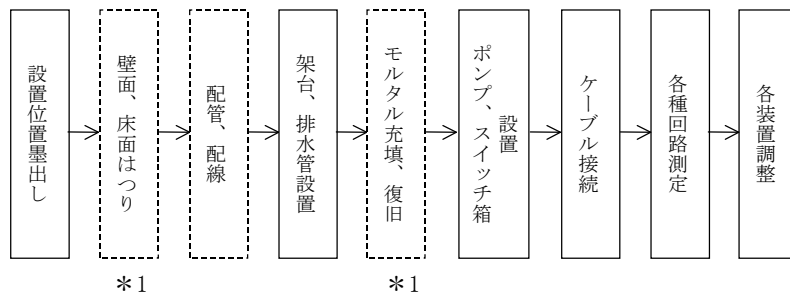
#### 1 適用範囲

本資料は、共同溝の排水設備の設置を行う共同溝排水設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、必要に応じて施工する。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 排水ポンプ据付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
排水ポンプ	0.75kW	台	1.1	
	1.5kW	台	1.4	
	2.2kW	台	1.6	
	3.7kW	台	1.8	
	5.5kW	台	2.2	

(注) ブロック台、レベルレギュレータの据付け及びアンカー打込も含まれている。

3-2 給排水管敷設

作業種別	細別規格	単位	配管工	摘要
亜鉛メッキ鋼管敷設	15A	10m	0.80	
	20A	10m	0.90	
	25A	10m	1.10	
	32A	10m	1.30	
	40A	10m	1.40	
	50A	10m	1.80	
	65A	10m	2.40	
	80A	10m	2.70	
	100A	10m	3.60	フランジ接続
	125A	10m	4.20	フランジ接続
	150A	10m	5.10	フランジ接続
弁類設置	15A	個	0.07	
	20A	個	0.08	
	25A	個	0.09	
	32A	個	0.11	
	40A	個	0.13	
	50A	個	0.16	
	65A	個	0.28	
	80A	個	0.34	
	100A	個	0.40	
	125A	個	0.48	
	150A	個	0.65	

- (注) 1. 支持金物の取付けも含まれている。  
 2. 給排水管は、SGPWを標準とする。

3-3 金物取付

作業種別	細別規格	単位	配管工	摘要
取付金具類取付		個	0.10	

- (注) 取付金物類は、配線器具類、給排水管、レベルレギュレータ、配管等を支持するものでアンカー打ちも含まれている。

3-4 配線器具取付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 排水ポンプ据付

施工歩掛コード	WE230600	施工単位	台		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	
排水ポンプ 各種	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)	設置歩掛 電工 (人/台)	
排水ポンプ 0.75kW	02				
〃 1.5kW	03				
〃 2.2kW	04				
〃 3.7kW	05				
〃 5.5kW	06				

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## (2) 給排水管敷設（亜鉛メッキ鋼管）

施工歩掛コード	WE230801	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
各種	01	作業内容による補正 (表-1)	布設歩掛 電工 (人/m)
亜鉛メッキ鋼管 15A	02		
〃 20A	03		
〃 25A	04		
〃 32A	05		
〃 40A	06		
〃 50A	07		
〃 65A	08		
〃 80A	09		
〃 100A	10		
〃 125A	11		
〃 150A	12		

(注) 1. 材料単価は、別途入力する。

2. J2 の設置歩掛は、各条件を補正する前の歩掛りを入力すること。

## (3) 給排水管敷設（弁類）

施工歩掛コード	WE230802	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
弁類 15A	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 20A	02		
〃 25A	03		
〃 32A	04		
〃 40A	05		
〃 50A	06		
〃 65A	07		
〃 80A	08		
〃 100A	09		
〃 125A	10		
〃 150A	11		

(注) 材料単価は、別途入力する。

(4) 金物取付

施工歩掛コード	WE230700	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
取付金物 各種	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

## ④ 共同溝換気設備設置工

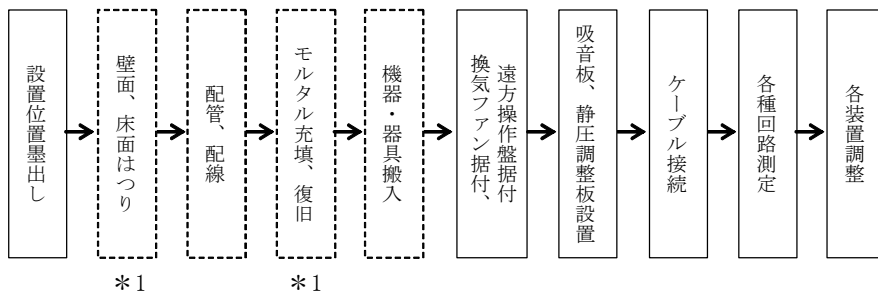
### 1 適用範囲

本資料は、共同溝の換気設備の設置を行う共同溝換気設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、必要に応じて施工する。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 換気ファン据付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
換気ファン	口径 400φ以下	台	1.4	
	口径 500φ以下	台	1.6	
	口径 560φ以下	台	2.0	
	口径 630φ以下	台	2.3	
	口径 710φ以下	台	2.5	
	口径 800φ以下	台	3.0	
	口径 900φ以下	台	3.3	
	口径 1,000φ以下	台	3.8	

(注) ファン支持金物、アンカー打込、試運転及び調整も含まれている。

#### 3-2 吸音板設置

作業種別	細別規格	単位	普通作業員	摘要
吸音板設置	片面吸音型・両面吸音型	m <sup>2</sup>	0.20	

#### 3-3 静圧調整板設置

作業種別	細別規格	単位	機械工	摘要
静圧調整板設置	A形	m <sup>2</sup>	0.35	

3-4 遠方操作盤据付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
制御盤	2.2kW以下	回路	1.50	
	3.7kW以下	回路	1.70	
	5.5kW以下	回路	1.80	
	7.5kW以下	回路	1.90	
	11 kW以下	回路	2.10	
	15 kW以下	回路	2.30	
コンビネーション	防爆型 0.75～3.7kW	台	0.40	
換気ファン遠方操作盤	1台用	面	0.15	
	2台用	面	0.20	
	3台用	面	0.25	
	4台用	面	0.30	

- (注) 1. アンカー打込、結線も含まれている。  
 2. 制御盤は、次による。  
 (1) 同一回路の自動交互運転等の歩掛は、1.5倍とする。  
 (2) 制御盤の歩掛は盤毎に算出する。  
 (3) 算出員数が2.5人未満の場合は実数人数とし、2.5人以上の場合は、次表により修正する。  
 3. 換気ファン遠方操作盤について、同一場所、同時施工の2面以降は、1面につき0.7倍とする。

修正表

算出人員	摘要人員	算出人員	摘要人員	算出人員	摘要人員
2.5人以上 3.5人未満	3	10.0人以上 11.5人未満	9	24.0人以上 40.0人未満	0.6倍
3.5 " 4.5 "	4	11.5 " 13.0 "	10	40.0 " 44.0 "	24
4.5 " 5.5 "	5	13.0 " 15.0 "	11	44.0 " 69.0 "	0.55倍
5.5 " 7.0 "	6	15.0 " 17.0 "	12	69.0 " 76.0 "	38
7.0 " 8.5 "	7	17.0 " 19.0 "	13	76.0 "	0.5倍
8.5 " 10.0 "	8	19.0 " 24.0 "	14		

3-5 金物取付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

3-6 配線器具取付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 換気ファン据付

施工歩掛コード	WE230500	施工単位	台	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
換気ファン各種	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)	設置歩掛 電工 (人/台)
換気ファン口径 400φ以下	02			
〃 〃 500φ以下	03			
〃 〃 560φ以下	04			
〃 〃 630φ以下	05			
〃 〃 710φ以下	06			
〃 〃 800φ以下	07			
〃 〃 900φ以下	08			
〃 〃 1000φ以下	09			

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

##### (2) 吸音板設置

施工歩掛コード	WE231100	施工単位	m <sup>2</sup>
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
吸音板設置	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価は、別途入力する。

##### (3) 静圧調整板設置

施工歩掛コード	WE231200	施工単位	m <sup>2</sup>
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
静圧調整板設置 A型	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2



(4) 遠方操作盤据付（制御盤）

施工歩掛コード	WE230303	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
制御盤	01	作業内容による補正 (表-1)	設置歩掛 電工 (人/面)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(5) 遠方操作盤据付（コンビネーション）

施工歩掛コード	WE230304	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
コンビネーション防爆型 0.75～3.7kW	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

(6) 換気ファン遠方操作盤据付

施工歩掛コード	WE230305	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
換気ファン遠方操作盤 1台用	01	作業内容による補正 (表-1)	2面目以降による補正 (表-2)
〃 2台用	02		
〃 3台用	03		
〃 4台用	04		

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## ⑤ 共同溝監視制御設備設置工

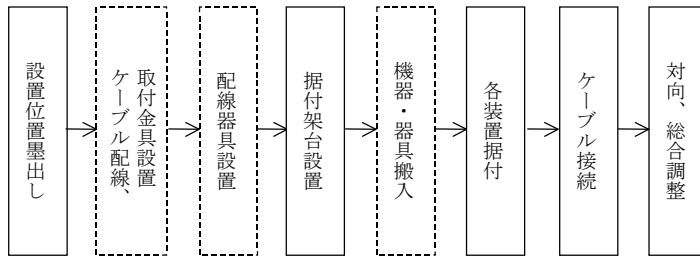
### 1 適用範囲

本資料は、共同溝の監視制御設備の設置を行う共同溝監視制御設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

#### 3-1 監視盤据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

#### 3-2 監視盤調整

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

#### 3-3 火災報知設備据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

#### 3-4 火災報知設備調整

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

#### 3-5 火災感知設備据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

#### 3-6 火災感知設備調整

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

#### 3-7 ガス機器取付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
警報器	1～3点式	台	0.50	
検知器		台	0.15	
警報ブザー		台	0.15	

(注) アンカー打込、調整も含まれている。

#### 3-8 金物取付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

3-9 配線器具取付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

4 施工単価入力基準表

(1) ガス機器取付

施工歩掛コード	WE230400	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
警報器 1~3 点式	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-2)
検知器	02		
警報ブザー	03		

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## ⑥ 共同溝標識設備設置工

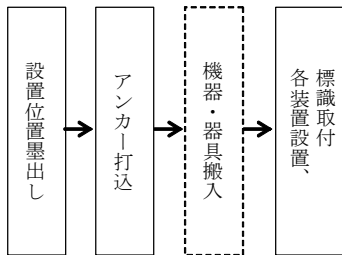
### 1 適用範囲

本資料は、共同溝内の標識の設置を行う共同溝標識設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*内照式の場合は、第3章第9節②共同溝照明設備設置工による。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 共同溝標識設置

作業種別	細別規格	単位	普通作業員	摘要
共同溝標識設置		10枚	0.63	
	地点標B	10枚	0.75	

(注) 1. 本歩掛は、アクリル板製の標識に適用する。

2. 内照式の場合は、「第3章第9節②共同溝照明設備設置工3-1 照明器具取付」を準用する。

### 4 施工単価入力基準表

#### (1) 共同溝標識設置

施工歩掛コード	WE231300	施工単位	枚
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
標識	01	作業内容による補正 (表-1)	
地点標B	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

# 第 10 節 電気応用設備工

## ① 水処理設備設置工

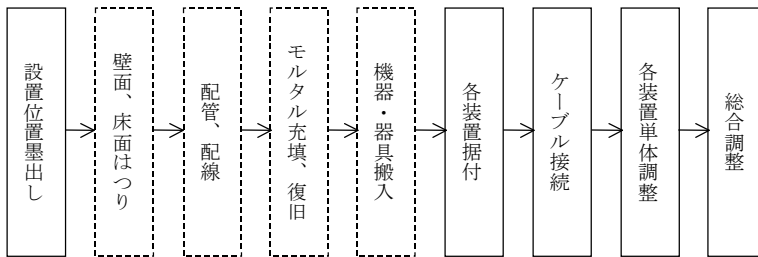
### 1 適用範囲

本資料は、河川、遊水池等の水質浄化を目的とした水処理設備（曝気、攪拌、注排水、洗浄等）の設置を行う水処理設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

# 第 11 節 道路融雪設備工

## ① 高圧受変電設備設置工

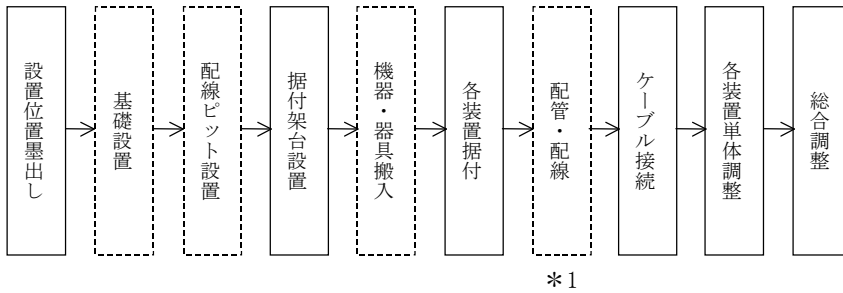
### 1 適用範囲

本資料は、道路融雪設備の内、高圧受変電設備を設置する高圧受変電設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、盤間配線を含む。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第 3 章第 1 節②高圧受変電設備設置工」による。

## ② 受変電設備基礎工

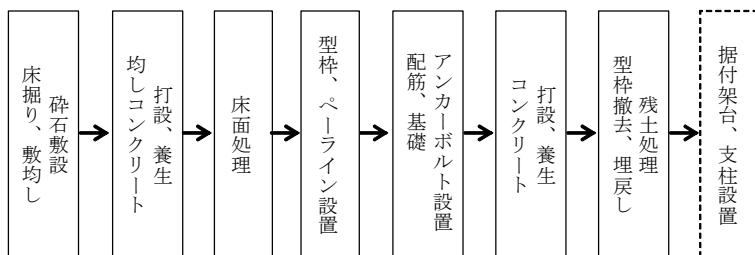
### 1 適用範囲

本資料は、道路融雪設備の受変電設備用基礎の設置を行う受変電設備基礎工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第3章第1節⑤受変電設備基礎工」による。

### ③ 道路ヒーティング設備設置工

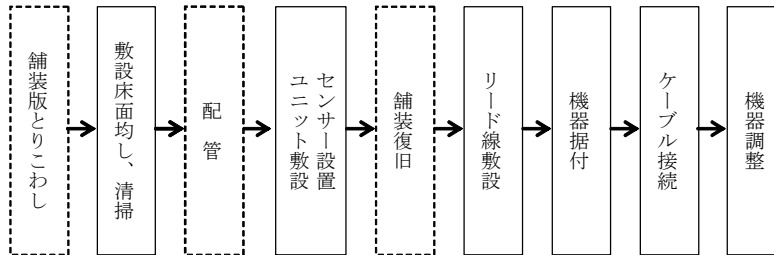
#### 1 適用範囲

本資料は、道路融雪設備の内、ヒーティングユニット等の敷設等を行う道路ヒーティング設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



#### 3 標準歩掛

##### 3-1 凍結検知装置据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

##### 3-2 凍結検知装置調整

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上とする。

##### 3-3 ヒーティングユニット新設道路敷設（未舗装）

作業種別	細別規格	単位	敷設幅 1.5～1.8m (人)		敷設幅 3.2～3.5m (人)	
			電工	普通作業員	電工	普通作業員
発熱線敷設	治具使用	m	0.09	0.09	0.12	0.12
	ユニット式	m	0.03	0.03	0.04	0.04

- (注) 1. 本歩掛は、発熱線の路面への敷設、固定までとする。  
2. ユニット式とは、70mm ピッチに固定されたものをいう。

##### 3-4 ヒーティングユニット既設道路敷設（既設舗装面）

作業種別	細別規格	単位	敷設幅 1.5～1.8m (人)		敷設幅 3.2～3.5m (人)	
			電工	普通作業員	電工	普通作業員
発熱線敷設	治具使用	m	0.11	0.11	0.13	0.13
	ユニット式	m	0.04	0.04	0.05	0.05

- (注) 1. 本歩掛は、発熱線の路面への敷設、固定までとする。  
2. 舗装切断、とりこわし、復旧は、別途積算とする。



3-5 ヒーティングユニット歩道橋敷設

区分	作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
階段部	配管孔あけ	19φ用	10個	0.75	0.75	
	フレキ配管	19φ用	10箇所	1.00	1.00	
	発熱線通線	段差あり	10段	0.45	0.45	
	発熱線敷設	幅1.4mピッチ70mm	10段	0.35	0.35	(注) 1
主桁部	配管孔あけ	19φ用	10個	1.00	1.00	
	フレキ配管	19φ相当	10箇所	1.50	1.50	
	発熱線敷設	幅1.4mピッチ70mm	10m	0.75	0.75	(注) 2

- (注) 1. 発熱線の1段とは、幅1.4mピッチ70mmの4本分とする。  
 2. 主桁部は、幅1.4mピッチ70mmの桁長方向1m当りの歩掛とする。  
 3. 電源の配管、配線及び制御盤等は、別途とする。

3-6 リード線敷設

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
リード線接続	スリーブ接続	10箇所	0.12	
リード線敷設	路面サドル止め	10m	0.15	

- (注) 1. 本歩掛は、発熱線への電源供給するためのリード線の敷設及び接続、並びに治具の取付け、取外しまでとする。  
 2. 電源の配管、配線及び舗装工事は別途とする。  
 3. 本歩掛は、スペーサ70mmピッチ、使用間隔30~40cmを標準とし、固定は路面釘止めとする。

4 施工単価入力基準表

(1) ヒーティングユニット新設道路敷設 (未舗装)

施工歩掛コード	WE220100	施工単位	m
施工区分			
作業種別	規格番号		
治具使用 (幅1.5~1.8m)	01		
治具使用 (幅3.2~3.5m)	02		
ユニット式 (幅1.5~1.8m)	03		
ユニット式 (幅3.2~3.5m)	04		

- (注) 材料単価を別途入力すること。

(2) ヒーティングユニット既設道路敷設（既設舗装面）

施工歩掛コード	WE220200	施工単位	m
施工区分			
作業種別	規格番号		
治具使用 (幅 1.5～1.8m)	01		
治具使用 (幅 3.2～3.5m)	02		
ユニット式 (幅 1.5～1.8m)	03		
ユニット式 (幅 3.2～3.5m)	04		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(3) ヒーティングユニット歩道橋敷設（配管孔あけ）

施工歩掛コード	WE220401	施工単位	個
施工区分			
作業種別	規格番号		
階段部 配管孔あけ 19φ用	01		
主桁部 配管孔あけ 19φ用	02		

(4) ヒーティングユニット歩道橋敷設（フレキ配管）

施工歩掛コード	WE220402	施工単位	箇所
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
階段部 フレキ配管 19φ用	01	作業内容による補正 (表-1)	
主桁部 フレキ配管 19φ用	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

(5) ヒーティングユニット歩道橋敷設（階段部発熱線敷設）

施工歩掛コード	WE220403	施工単位	段
施工区分			
作業種別	規格番号		
発熱線通線 (段差有)	01		
階段部発熱線敷設 (幅 1.4m ピッチ 70mm)	02		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(6) ヒーティングユニット歩道橋敷設（主桁部発熱線敷設）

施工歩掛コード	WE220404	施工単位	m
施工区分			
作業種別	規格番号		
発熱線敷設 (幅 1.4m ピッチ 70mm)	01		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(7) リード線敷設

施工歩掛コード	WE220301	施工単位	m
施工区分			
作業種別	規格番号		
リード線敷設	01		

(注) 材料単価を別途入力すること。

(8) リード線敷設（スリーブ接続）

施工歩掛コード	WE220302	施工単位	箇所
施工区分			
作業種別	規格番号		
スリーブ接続	01		

(注) 材料単価を別途入力すること。

## ④ 道路消融雪ポンプ設備設置工

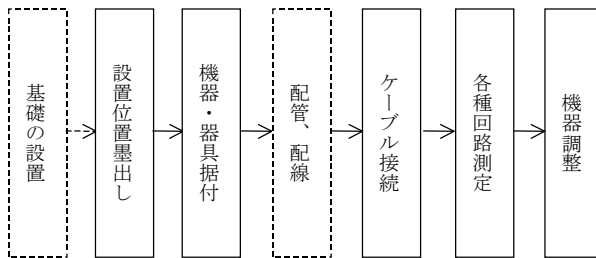
### 1 適用範囲

本資料は、道路融雪設備の内、消・融雪ポンプ等の設置を行う道路消融雪ポンプ設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

#### 3-1 道路消融雪ポンプ盤据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-2 道路消融雪ポンプ盤調整

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-3 降雪検知器据付

本作業種別の歩掛は、「第4章第18節①路面凍結検知装置設置工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-4 降雪検知器調整

本作業種別の歩掛は、「第4章第18節①路面凍結検知装置設置工」によるほか、別途積上げ計上する。

#### 3-5 遠隔制御装置据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-6 遠隔制御装置調整

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-7 操作盤据付

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-8 操作盤調整

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

- 3-9 機側操作盤据付  
本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。
- 3-10 機側操作盤調整  
本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。
- 3-11 開閉器盤据付  
本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。
- 3-12 開閉器盤調整  
本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑤ 道路消融雪ポンプ設備基礎工

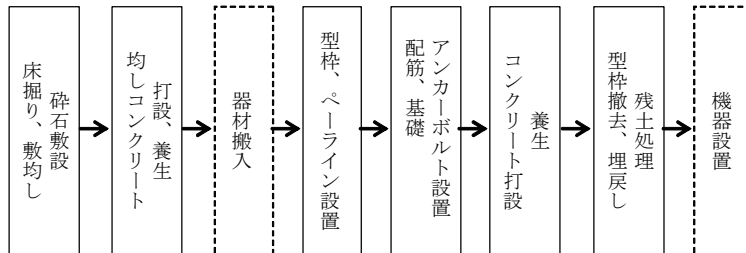
### 1 適用範囲

本資料は、道路の消融雪用に使用する、消融雪ポンプ、降雪検知器、遠隔制御装置、現場操作盤等の基礎の設置を行う道路消融雪ポンプ設備基礎工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

# 第12節 道路照明維持補修工

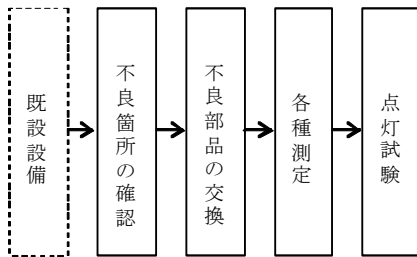
## ① 道路照明維持工

### 1 適用範囲

本資料は、道路照明施設の維持補修を行うための道路照明維持工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー



本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 管球取替

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
水銀ランプ	300W以下	個	0.09	0.04	
	700W以下	個	0.11	0.06	
蛍光ランプ	60W以下	個	0.09	0.04	
	110W以下	個	0.13	0.06	
低圧ナトリウムランプ	55W以下	個	0.09	0.04	
	135W以下	個	0.10	0.05	
	180W以下	個	0.11	0.06	
高圧ナトリウムランプ		個	0.09	0.04	
プリンカーライト		個	0.09	0.04	

(注) リフト車が必要な場合は、別途計上する。

3-2 安定器取替

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
水銀灯	300W×1以下	個	0.23	0.11	
	700W×1以下	個	0.25	0.13	
	300W×2以下	個	0.34	0.16	
	700W×2以下	個	0.35	0.18	
蛍光灯	40W以下	個	0.13	0.06	高力率 60W 含む
	110W以下	個	0.15	0.08	
ナトリウム灯	55W以下	個	0.13	0.06	
	135W以下	個	0.14	0.07	
	180W以下	個	0.15	0.08	

(注) 蛍光灯、ナトリウム灯については、必要に応じてリフト車を別途計上する。

3-3 灯具取替

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
水銀灯	250W	台	0.20	0.10	
	400W	台	0.23	0.11	
	700W	台	0.25	0.13	

(注) リフト車が必要な場合は、別途計上する。

3-4 灯具付属品取替

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
水銀灯グローブ	300W以下	個	0.23	0.11	
	400W以下	個	0.25	0.13	
	700W以下	個	0.28	0.14	
水銀灯グローブ枠		個	0.25	0.13	
水銀灯パッキン		個	0.13	0.06	
水銀灯ソケット		個	0.20	0.10	
水銀灯灯具部品		個	0.18	0.09	
蛍光灯アクリルカバー		個	0.18	0.09	
蛍光灯ソケット		個	0.18	0.09	
蛍光灯灯具部品		個	0.18	0.09	
ナトリウム灯前面カバー		個	0.15	0.08	
ナトリウム灯ソケット		個	0.15	0.08	
ナトリウム灯灯具部品		個	0.15	0.08	
水銀灯ルーバー		個	0.18	0.09	

(注) 1. 灯具取外しを必要とする工種については本歩掛に含まれている。  
2. リフト車が必要な場合は、別途計上する。



3-5 自動点滅器取替

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
上部リード線式		個	0.10	0.05	3m以上
下部リード線式		個	0.08	0.04	3m未満
上部プラグイン式	受光部	個	0.08	0.04	3m以上
下部プラグイン式	受光部	個	0.05	0.03	3m未満

- (注) 1. プラグイン式の本体のみの取替は、本歩掛を適用しない。  
 2. リフト車が必要な場合は、別途計上する。

4 施工単価入力基準表

(1) 管球取替

施工歩掛コード	WE215100	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
水銀ランプ 300W以下	01	材料単価 (円/個)	
〃 700W以下	02		
蛍光ランプ 60W以下	03		
〃 110W以下	04		
低圧ナトリウムランプ 55W以下	05		
〃 135W以下	06		
〃 180W以下	07		
高圧ナトリウムランプ	08		
プリンカーライト	09		

- (注) リフト車が必要な場合は、別途入力すること。

## (2) 安定器取替

施工歩掛コード	WE215200	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
水銀灯 300W×1 以下	01	材料単価 (円/個)	
〃 700W×1 以下	02		
〃 300W×2 以下	03		
〃 700W×2 以下	04		
蛍光灯 40W 以下	05		
〃 110W 以下	06		
ナトリウム灯 55W 以下	07		
〃 135W 以下	08		
〃 180W 以下	09		

## (3) 灯具取替

施工歩掛コード	WE215300	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
水銀灯 250W	01	材料単価 (円/台)	
〃 400W	02		
〃 700W	03		

(注) リフト車が必要な場合は、別途入力すること。

## (4) 灯具付属品取替

施工歩掛コード	WE215400	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
水銀灯グローブ 300W以下	01	材料単価 (円/個)	
〃 400W以下	02		
〃 700W以下	03		
水銀灯グローブ枠	04		
水銀灯パッキン	05		
水銀灯ソケット	06		
水銀灯灯具部品	07		
蛍光灯アクリルカバー	08		
蛍光灯ソケット	09		
蛍光灯灯具部品	10		
ナトリウム灯前面カバー	11		
ナトリウム灯ソケット	12		
ナトリウム灯灯具部品	13		
水銀灯ルーバー	14		

(注) リフト車が必要な場合は、別途入力すること。

## (5) 自動点滅器取替

施工歩掛コード	WE215500	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
上部リード線式	01	材料単価 (円/個)	
下部リード線式	02		
上部プラグイン式	03		
下部プラグイン式	04		

(注) リフト車が必要な場合は、別途入力すること。

## ② 道路照明修繕工

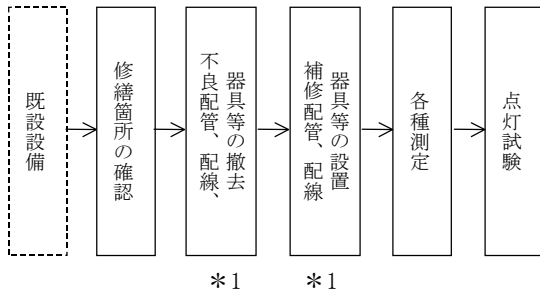
### 1 適用範囲

本資料は、道路照明施設の維持修繕を行うための道路照明修繕工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、修繕内容により変化する。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 道路照明灯修繕

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節①道路照明設備設置工」による。

#### 3-2 道路照明器具修繕

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節①道路照明設備設置工」による。

#### 3-3 歩道橋照明灯修繕

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節①道路照明設備設置工」による。

#### 3-4 歩道橋照明器具修繕

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節①道路照明設備設置工」による。

#### 3-5 配管配線修繕

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節①配管・配線工」による。

#### 3-6 引込柱修繕

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節⑧引込柱設置工」による。

#### 3-7 視線誘導灯修繕

本作業種別の歩掛は、「第3章第6節⑤視線誘導灯設置工」による。

#### 3-8 作業土工（電気）

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

3-9 発生材運搬

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

3-10 殻運搬処理

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

## 第4章 通信設備

### 第1節 多重無線設備工

① 多重無線装置設置工	VIII-4-1	3-1 空中線据付	VIII-4-7
1 適用範囲	VIII-4-1	3-2 空中線調整	VIII-4-8
2 施工概要	VIII-4-1	3-3 レドーム設置	VIII-4-8
3 標準歩掛	VIII-4-1	3-4 空中線取付架台設置	VIII-4-8
3-1 多重無線装置据付	VIII-4-1	4 施工単価入力基準表	VIII-4-9
3-2 多重無線装置据付 (簡易型)	VIII-4-1	③ デジタル端局装置設置工	VIII-4-11
3-3 多重無線装置据付 (FWA)	VIII-4-2	1 適用範囲	VIII-4-11
3-4 多重無線装置調整 (FDM)	VIII-4-2	2 施工概要	VIII-4-11
3-5 多重無線装置調整 (PCM)	VIII-4-2	3 標準歩掛	VIII-4-11
3-6 多重無線装置調整 (簡易型)	VIII-4-2	3-1 端局装置据付	VIII-4-11
3-7 多重無線装置調整 (FWA)	VIII-4-2	3-2 端局装置調整 (FDM)	VIII-4-12
3-8 乾燥空気充填装置据付	VIII-4-2	3-3 端局装置調整 (PCM)	VIII-4-13
4 施工単価入力基準表	VIII-4-3	3-4 デジタル端局装置 (SDH) 設置工	VIII-4-13
② 空中線装置設置工	VIII-4-7	3-5 管理施設用小容量光伝送装置 設置工	VIII-4-13
1 適用範囲	VIII-4-7	4 施工単価入力基準表	VIII-4-14
2 施工概要	VIII-4-7	④ 画像伝送路切替制御装置設置工	VIII-4-18
3 標準歩掛	VIII-4-7	1 適用範囲	VIII-4-18
		2 施工概要	VIII-4-18
		3 標準歩掛	VIII-4-18

⑤ 画像伝送路切替装置設置工	VIII-4-19
1 適用範囲	VIII-4-19
2 施工概要	VIII-4-19
3 標準歩掛	VIII-4-19
3-1 切替装置据付	VIII-4-19
3-2 切替装置調整	VIII-4-19
4 施工単価入力基準表	VIII-4-20
⑥ 監視制御装置設置工	VIII-4-22
1 適用範囲	VIII-4-22
2 施工概要	VIII-4-22
3 標準歩掛	VIII-4-22
3-1 監視制御装置据付	VIII-4-22
3-2 監視制御装置調整	VIII-4-22
4 施工単価入力基準表	VIII-4-23

## 第2節 テレメータ設備工

① テレメータ監視局装置設置工	VIII-4-25
1 適用範囲	VIII-4-25
2 施工概要	VIII-4-25
3 標準歩掛	VIII-4-25
3-1 テレメータ監視局装置据付	VIII-4-25
3-2 テレメータ監視局装置調整	VIII-4-25
3-3 テレメータ傍受装置据付	VIII-4-26
3-4 テレメータ傍受装置調整	VIII-4-26
3-5 テレメータ用空中線据付	VIII-4-26
3-6 テレメータ用空中線調整	VIII-4-26
4 施工単価入力基準表	VIII-4-27
② テレメータ中継局装置設置工	VIII-4-32
1 適用範囲	VIII-4-32
2 施工概要	VIII-4-32
3 標準歩掛	VIII-4-32
3-1 中継局装置据付	VIII-4-32
3-2 中継局装置調整	VIII-4-32
3-3 空中線据付	VIII-4-32
3-4 空中線調整	VIII-4-32
4 施工単価入力基準表	VIII-4-33
③ テレメータ観測局装置設置工	VIII-4-34
1 適用範囲	VIII-4-34
2 施工概要	VIII-4-34
3 標準歩掛	VIII-4-34
3-1 テレメータ観測局装置据付	VIII-4-34

3-2 テレメータ観測局装置調整	VIII-4-34
3-3 雨量・水位計据付	VIII-4-35
3-4 空中線据付	VIII-4-35
3-5 空中線調整	VIII-4-35
4 施工単価入力基準表	VIII-4-35

## 第3節 放流警報設備工

① 放流警報制御監視局装置設置工	VIII-4-38
1 適用範囲	VIII-4-38
2 施工概要	VIII-4-38
3 標準歩掛	VIII-4-38
3-1 放流警報監視局装置据付	VIII-4-38
3-2 放流警報監視局装置調整	VIII-4-38
3-3 空中線据付	VIII-4-38
3-4 空中線調整	VIII-4-38
4 施工単価入力基準表	VIII-4-39
② 放流警報中継局装置設置工	VIII-4-40
1 適用範囲	VIII-4-40
2 施工概要	VIII-4-40
3 標準歩掛	VIII-4-40
③ 放流警報警報局装置設置工	VIII-4-41
1 適用範囲	VIII-4-41
2 施工概要	VIII-4-41
3 標準歩掛	VIII-4-41
3-1 放流警報警報局装置据付	VIII-4-41
3-2 放流警報警報局装置調整	VIII-4-41
3-3 放流警報用空中線据付	VIII-4-41
3-4 放流警報用空中線調整	VIII-4-41
4 施工単価入力基準表	VIII-4-42

## 第4節 移動体通信設備工

① 移動体通信装置設置工	VIII-4-43
1 適用範囲	VIII-4-43
2 施工概要	VIII-4-43
3 標準歩掛	VIII-4-43
3-1 統制局装置据付	VIII-4-43
3-2 統制局装置調整	VIII-4-43
3-3 K-COS基地局装置据付	VIII-4-43
3-4 K-COS基地局装置調整	VIII-4-44
3-5 K-COS移動局装置据付	VIII-4-44

3-6	K-COS移動局装置調整	VIII-4-44	1	適用範囲	VIII-4-67
3-7	K-COS総合調整	VIII-4-44	2	施工概要	VIII-4-67
3-8	超短波無線電話装置据付	VIII-4-44	3	標準歩掛	VIII-4-67
3-9	超短波無線電話装置調整	VIII-4-45	3-1	移動局装置据付	VIII-4-67
3-10	移動体通信用空中線据付	VIII-4-45	3-2	移動局装置調整	VIII-4-67
3-11	移動体通信用空中線調整	VIII-4-45	3-3	空中線調整	VIII-4-67
3-12	移動体通信用付属品取付	VIII-4-45	3-4	総合調整	VIII-4-67
4	施工単価入力基準表	VIII-4-46	4	施工単価入力基準表	VIII-4-68
②	デジタル陸上移動通信装置設置工	VIII-4-54	③	衛星小型（制御地球局） 画像伝送装置設置工	VIII-4-69
1	適用範囲	VIII-4-54	1	適用範囲	VIII-4-69
2	施工概要	VIII-4-54	2	施工概要	VIII-4-69
3	標準歩掛	VIII-4-54	3	標準歩掛	VIII-4-69
3-1	デジタル陸上移動通信 装置据付	VIII-4-54	④	衛星小型（固定局） 画像伝送装置設置工	VIII-4-70
3-2	デジタル陸上移動通信 装置調整	VIII-4-55	1	適用範囲	VIII-4-70
3-3	デジタル陸上移動通信 装置総合調整	VIII-4-55	2	施工概要	VIII-4-70
3-4	空中線据付	VIII-4-55	3	標準歩掛	VIII-4-70
3-5	空中線調整	VIII-4-55	⑤	衛星小型（可搬局） 画像伝送装置設置工	VIII-4-71
3-6	付属品取付	VIII-4-55	1	適用範囲	VIII-4-71
4	施工単価入力基準表	VIII-4-56	2	施工概要	VIII-4-71
			3	標準歩掛	VIII-4-71
			⑥	衛星地球局基礎工	VIII-4-72
			1	適用範囲	VIII-4-72
			2	施工概要	VIII-4-72
			3	標準歩掛	VIII-4-72
第5節 衛星通信設備工			第6節 へり画像受信設備工		
①	固定型衛星通信用地球局設備 設置工	VIII-4-61	①	へり画像受信基地局装置設置工	VIII-4-73
1	適用範囲	VIII-4-61	1	適用範囲	VIII-4-73
2	施工概要	VIII-4-61	2	施工概要	VIII-4-73
3	標準歩掛	VIII-4-61	3	標準歩掛	VIII-4-73
3-1	送受信装置据付	VIII-4-61	②	へり画像受信携帯局装置設置工	VIII-4-74
3-2	送受信装置調整	VIII-4-61	1	適用範囲	VIII-4-74
3-3	個別通信端局装置据付	VIII-4-61	2	施工概要	VIII-4-74
3-4	個別通信端局装置調整	VIII-4-62	3	標準歩掛	VIII-4-74
3-5	画像端局装置据付	VIII-4-62			
3-6	画像端局装置調整	VIII-4-62	第7節 電話交換設備工		
3-7	空中線据付	VIII-4-62	①	自動電話交換装置設置工	VIII-4-75
3-8	空中線調整	VIII-4-62			
3-9	総合調整	VIII-4-62			
4	施工単価入力基準表	VIII-4-63			
②	移動型衛星通信用地球局設備 設置工	VIII-4-67			



1	適用範囲	VIII-4-75
2	施工概要	VIII-4-75
3	標準歩掛	VIII-4-75
3-1	自動電話交換機据付 (電子式)	VIII-4-75
3-2	自動電話交換機調整 (電子式)	VIII-4-76
3-3	簡易電話交換装置据付	VIII-4-76
3-4	簡易電話交換装置調整	VIII-4-76
3-5	中継台据付	VIII-4-76
3-6	中継台調整	VIII-4-76
3-7	総合調整	VIII-4-76
3-8	電話付属品取付	VIII-4-77
3-9	端子盤取付	VIII-4-77
4	施工単価入力基準表	VIII-4-78

#### 第8節 有線通信設備工

①	デジタル端局装置 (SDH) 設置工	VIII-4-83
1	適用範囲	VIII-4-83
2	施工概要	VIII-4-83
3	標準歩掛	VIII-4-83
3-1	デジタル端局装置 (SDH) 据付	VIII-4-83
3-2	デジタル端局装置 (SDH) 調整	VIII-4-84
4	施工単価入力基準表	VIII-4-84
②	管理施設用小容量光伝送装置 設置工	VIII-4-90
1	適用範囲	VIII-4-90
2	施工概要	VIII-4-90
3	標準歩掛	VIII-4-90
③	光ファイバ線路監視装置設置工	VIII-4-91
1	適用範囲	VIII-4-91
2	施工概要	VIII-4-91
3	標準歩掛	VIII-4-91

#### 第9節 道路情報表示設備工

①	道路情報表示制御装置設置工	VIII-4-92
1	適用範囲	VIII-4-92

2	施工概要	VIII-4-92
3	標準歩掛	VIII-4-92
3-1	制御装置据付	VIII-4-92
3-2	制御装置調整	VIII-4-93
4	施工単価入力基準表	VIII-4-93
②	道路情報表示装置設置工	VIII-4-96
1	適用範囲	VIII-4-96
2	施工概要	VIII-4-96
3	標準歩掛	VIII-4-97
3-1	表示装置据付	VIII-4-97
3-2	表示装置調整	VIII-4-98
4	施工単価入力基準表	VIII-4-99

#### 第10節 河川情報表示設備工

①	河川情報表示制御装置設置工	VIII-4-102
1	適用範囲	VIII-4-102
2	施工概要	VIII-4-102
3	標準歩掛	VIII-4-102

#### 第11節 放流警報表示設備工

①	放流警報表示制御装置設置工	VIII-4-103
1	適用範囲	VIII-4-103
2	施工概要	VIII-4-103
3	標準歩掛	VIII-4-103

#### 第12節 トンネル防災設備工

①	トンネル監視制御装置設置工	VIII-4-104
1	適用範囲	VIII-4-104
2	施工概要	VIII-4-104
3	標準歩掛	VIII-4-104
②	付属設備操作制御装置設置工	VIII-4-105
1	適用範囲	VIII-4-105
2	施工概要	VIII-4-105
3	標準歩掛	VIII-4-105
3-1	付属設備据付	VIII-4-105
3-2	付属設備調整	VIII-4-105
4	施工単価入力基準表	VIII-4-106

#### 第13節 非常警報設備工

① 非常警報装置設置工	VIII-4-107
1 適用範囲	VIII-4-107
2 施工概要	VIII-4-107
3 標準歩掛	VIII-4-107
3-1 非常警報受信装置据付	VIII-4-107
3-2 非常警報受信装置調整	VIII-4-107
3-3 非常警報主制御装置据付	VIII-4-107
3-4 非常警報主制御装置調整	VIII-4-108
3-5 非常警報副制御装置据付	VIII-4-108
3-6 非常警報副制御装置調整	VIII-4-108
3-7 押しボタン通報装置据付	VIII-4-108
3-8 押しボタン通報装置調整	VIII-4-108
3-9 警報表示板据付	VIII-4-108
3-10 警報表示板調整	VIII-4-108
3-11 誘導表示板（内照式） 据付	VIII-4-108
3-12 非常電話案内板据付	VIII-4-108
3-13 付属設備取付	VIII-4-109
4 施工単価入力基準表	VIII-4-109

#### 第14節 ラジオ再放送設備工

① ラジオ再放送装置設置工	VIII-4-112
1 適用範囲	VIII-4-112
2 施工概要	VIII-4-112
3 標準歩掛	VIII-4-112
3-1 受信アンテナ据付	VIII-4-112
3-2 受信アンテナ調整	VIII-4-112
3-3 受信装置据付	VIII-4-112
3-4 受信装置調整	VIII-4-112
3-5 放送装置据付	VIII-4-113
3-6 放送装置調整	VIII-4-113
3-7 付属機器取付	VIII-4-113
3-8 総合調整	VIII-4-113
3-9 放送装置増設（事務所）	VIII-4-113
3-10 放送装置調整（事務所）	VIII-4-113
4 施工単価入力基準表	VIII-4-114
② 緊急放送装置設置工	VIII-4-118
1 適用範囲	VIII-4-118
2 施工概要	VIII-4-118
3 標準歩掛	VIII-4-118

#### 第15節 トンネル無線補助設備工

① トンネル無線補助設備設置工	VIII-4-119
1 適用範囲	VIII-4-119
2 施工概要	VIII-4-119
3 標準歩掛	VIII-4-119
3-1 無線補助装置据付	VIII-4-119
3-2 無線補助装置調整	VIII-4-119
3-3 空中線据付	VIII-4-119
3-4 空中線調整	VIII-4-120
3-5 給電線布設	VIII-4-120
4 施工単価入力基準表	VIII-4-120

#### 第16節 路側通信設備工

① 路側通信制御装置設置工	VIII-4-122
1 適用範囲	VIII-4-122
2 施工概要	VIII-4-122
3 標準歩掛	VIII-4-122

#### 第17節 道路防災設備工

① 交通遮断装置設置工	VIII-4-123
1 適用範囲	VIII-4-123
2 施工概要	VIII-4-123
3 標準歩掛	VIII-4-123
3-1 交通遮断機据付	VIII-4-123
3-2 交通遮断機調整	VIII-4-123
3-3 予告板・標識等据付	VIII-4-124
3-4 予告板・標識等調整	VIII-4-124
3-5 交通信号装置据付	VIII-4-124
3-6 交通信号装置調整	VIII-4-124
4 施工単価入力基準表	VIII-4-125
② 交通流車両観測装置設置工	VIII-4-128
1 適用範囲	VIII-4-128
2 施工概要	VIII-4-128
3 標準歩掛	VIII-4-128
3-1 車両感知装置据付	VIII-4-128
3-2 車両感知装置調整	VIII-4-128
4 施工単価入力基準表	VIII-4-129
③ 路車間通信装置設置工	VIII-4-131

1	適用範囲	VIII-4-131
2	施工概要	VIII-4-131
3	標準歩掛	VIII-4-131
④	交通遮断装置基礎工	VIII-4-132
1	適用範囲	VIII-4-132
2	施工概要	VIII-4-132
3	標準歩掛	VIII-4-132

第18節 施設計測・監視制御設備工

①	路面凍結検知装置設置工	VIII-4-133
1	適用範囲	VIII-4-133
2	施工概要	VIII-4-133
3	標準歩掛	VIII-4-133
3-1	路面凍結検知装置据付	VIII-4-133
3-2	路面凍結検知装置調整	VIII-4-134
4	施工単価入力基準表	VIII-4-134
②	積雪深計測装置設置工	VIII-4-136
1	適用範囲	VIII-4-136
2	施工概要	VIII-4-136
3	標準歩掛	VIII-4-136
③	気象観測装置設置工	VIII-4-137
1	適用範囲	VIII-4-137
2	施工概要	VIII-4-137
3	標準歩掛	VIII-4-137
④	地震データ集配信制御設備設置工	VIII-4-138
1	適用範囲	VIII-4-138
2	施工概要	VIII-4-138
3	標準歩掛	VIII-4-138
⑤	地震データ通信制御設備設置工	VIII-4-139
1	適用範囲	VIII-4-139
2	施工概要	VIII-4-139
3	標準歩掛	VIII-4-139
⑥	強震計測装置設置工	VIII-4-140
1	適用範囲	VIII-4-140
2	施工概要	VIII-4-140
3	標準歩掛	VIII-4-140
⑦	土石流監視制御装置設置工	VIII-4-141
1	適用範囲	VIII-4-141
2	施工概要	VIII-4-141
3	標準歩掛	VIII-4-141
⑧	路面冠水検知装置設置工	VIII-4-142

1	適用範囲	VIII-4-142
2	施工概要	VIII-4-142
3	標準歩掛	VIII-4-142

第19節 通信鉄塔・反射板設備工

①	通信用鉄塔設置工	VIII-4-143
1	適用範囲	VIII-4-143
2	施工概要	VIII-4-143
3	標準歩掛	VIII-4-143
3-1	通信用鉄塔架設	VIII-4-143
4	施工単価入力基準表	VIII-4-144
②	反射板設置工	VIII-4-145
1	適用範囲	VIII-4-145
2	施工概要	VIII-4-145
3	標準歩掛	VIII-4-145
3-1	反射板架設	VIII-4-145
3-2	反射板調整	VIII-4-145
3-3	ヘリコプタ空輸費	VIII-4-146
3-4	ヘリコプタ作業費	VIII-4-146
3-5	ヘリ小空輸費	VIII-4-146
3-6	ヘリ調査飛行費	VIII-4-146
3-7	ヘリ整備空輸費	VIII-4-146
4	施工単価入力基準表	VIII-4-147
③	鉄塔基礎工	VIII-4-149
1	適用範囲	VIII-4-149
2	施工概要	VIII-4-149
3	標準歩掛	VIII-4-149
④	反射板基礎工	VIII-4-150
1	適用範囲	VIII-4-150
2	施工概要	VIII-4-150
3	標準歩掛	VIII-4-150

- 2 施工概要…………… VIII-4-135
- 3 標準歩掛…………… VIII-4-135

第19節 通信鉄塔・反射板設備工

- ① 通信用鉄塔設置工…………… VIII-4-136
  - 1 適用範囲…………… VIII-4-136
  - 2 施工概要…………… VIII-4-136
  - 3 標準歩掛…………… VIII-4-136
    - 3-1 通信用鉄塔架設…………… VIII-4-136
  - 4 施工単価入力基準表…………… VIII-4-137
- ② 反射板設置工…………… VIII-4-138
  - 1 適用範囲…………… VIII-4-138
  - 2 施工概要…………… VIII-4-138
  - 3 標準歩掛…………… VIII-4-138
    - 3-1 反射板架設…………… VIII-4-138
    - 3-2 反射板調整…………… VIII-4-138
    - 3-3 ヘリコプタ空輸費…………… VIII-4-139
    - 3-4 ヘリコプタ作業費…………… VIII-4-139
    - 3-5 ヘリ小空輸費…………… VIII-4-139
    - 3-6 ヘリ調査飛行費…………… VIII-4-139
    - 3-7 ヘリ整備空輸費…………… VIII-4-139
  - 4 施工単価入力基準表…………… VIII-4-140
- ③ 鉄塔基礎工…………… VIII-4-142
  - 1 適用範囲…………… VIII-4-142
  - 2 施工概要…………… VIII-4-142
  - 3 標準歩掛…………… VIII-4-142
- ④ 反射板基礎工…………… VIII-4-143
  - 1 適用範囲…………… VIII-4-143
  - 2 施工概要…………… VIII-4-143
  - 3 標準歩掛…………… VIII-4-143

# 第4章 通信設備

## 第1節 多重無線設備工

### ① 多重無線装置設置工

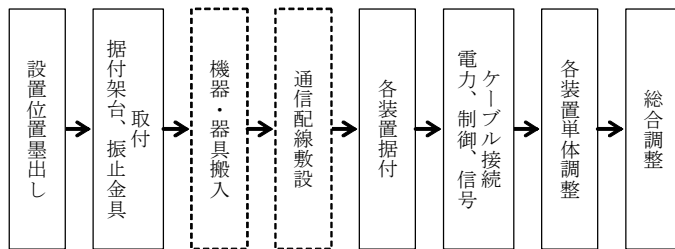
#### 1 適用範囲

本資料は、多重無線装置の設置を行う多重無線装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 多重無線装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
無線装置		架	1.0	2.0	

(注) 1. マーキング、架台、振止取付、同一室内の電源線、アース線の敷設を含む。  
2. 仮置き等は、本歩掛を適用しない。

##### 3-2 多重無線装置据付（簡易型）

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
無線装置	6.5/7.5/12GHz	台	1.0	1.5	

(注) 1. マーキング、架台、振止取付、同一室内の電源線、アース線の敷設を含む。  
2. 仮置き等は、本歩掛を適用しない。

3-3 多重無線装置据付 (FWA)

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
F W A 装置	空中線 (小型アンテナ)	台	1.0	3.5	
	送受信装置	台	1.0	2.0	
	変復調装置	台	0.5	0.5	

- (注) 1. 空中線 (小型アンテナ) は、空中線取付架台設置を含む。  
 2. 送受信装置の据付けは、收容架と同時施工となる場合に適用する。  
 3. マーキング、架台、振止取付、同一室内の電源線、アース線の敷設を含む。  
 4. 仮置き等は、本歩掛を適用しない。

3-4 多重無線装置調整 (FDM)

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
無線装置	2.5~12GHz	組	6.0	
無線装置	400MHz 小容量	台	3.0	

- (注) 1. 1組とは、1号機及び2号機の2台で構成する。  
 2. 歩掛単位が組の装置で、1号機のみ場合は0.6倍とする。  
 3. 400MHz SS-SSの小容量は、400MHz小容量の歩掛を適用する。

3-5 多重無線装置調整 (PCM)

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
無線装置	6.5~12GHz 4PSK	組	5.0	
	6.5~12GHz 16QAM 単一方式	組	5.0	
	6.5~12GHz 16QAM SD方式	組	6.0	
	6.5~12GHz 128QAM 単一方式	組	5.0	
	6.5~12GHz 128QAM SD方式	組	6.0	

- (注) 1. 1組とは、1号機及び2号機の2台で構成する。  
 2. 歩掛単位が組の装置で、1号機のみ実装の場合は0.6倍とする。

3-6 多重無線装置調整 (簡易型)

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
無線装置	6.5/7.5/12GHz	台	2.5	

3-7 多重無線装置調整 (FWA)

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
F W A 装置	空中線 (小型アンテナ)	台	1.0	1.0	
	送受信装置	台	1.0	—	
	変復調装置	台	1.0	—	

3-8 乾燥空気充填装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術員	摘要
乾燥空気充填装置		台	0.5	電源部等含む
空気管配管		方路	0.1	2方路以降

- (注) 空気管配管の1方路は、装置に含む。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 多重無線装置据付

施工歩掛コード	WE300100	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
無線装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 1. 2架目以上据付けを行う場合、1架目と2架目以降を分けて入力すること。

2. 2架目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J2)

3. 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

##### (2) 多重無線装置据付 (簡易型)

施工歩掛コード	WE300110	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
無線装置 6.5/7.5/12GHz	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-5)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

##### (3) 多重無線装置据付 (FWA)

施工歩掛コード	WE300120	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
F W A 装置 空中線 (小型アンテナ)	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-5)
F W A 装置 送受信装置	02		
F W A 装置 変復調装置	03		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(4) 多重無線装置調整 (FDM)

施工歩掛コード	WE300201	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
無 線 装 置	01	機器構成による補正 (表-4)	2組目以降による補正 (表-3)

(5) 多重無線装置 (小容量) 調整

施工歩掛コード	WE300202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
FDM400MHz 小容量無線装置	01	機器構成による補正 (表-4)	2台目以降による補正 (表-5)

(注) 1. 2組(台)目以上調整を行う場合、1組(台)目と2組(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2組(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J2)

表-3 2組目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 機器構成による補正

作業内容	補正係数	入力番号
1, 2号機2台構成	1.0	1
1号機のみ	0.6	2

表-5 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2



## (6) 多重無線装置調整 (PCM)

施工歩掛コード	WE300300	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
無線装置 4PSK	01	機器構成による補正 (表-4)	2組目以降による補正 (表-3)
無線装置 16QAM 単一方式	02		
無線装置 16QAM SD方式	03		
無線装置 128QAM 単一方式	04		
無線装置 128QAM SD方式	05		

(注) 1. 2組目以上調整を行う場合、1組目と2組目以降を分けて入力すること。

2. 2組目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛  
 $Z$  = 補正係数 (J2)

## (7) 多重無線装置調整 (簡易型)

施工歩掛コード	WE300310	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
無線装置 6.5/7.5/12GHz	01	2台目以降による補正 (表-5)	

## (8) 多重無線装置調整 (FWA)

施工歩掛コード	WE300320	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
F W A 装置 空中線 (小型アンテナ)	01	2台目以降による補正 (表-5)	
F W A 装置 送受信装置	02		
F W A 装置 変復調装置	03		

(9) 乾燥空気充填装置据付

施工歩掛コード	WE304101	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
乾燥空気充填装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-5)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(10) 乾燥空気充填装置据付 (空気管)

施工歩掛コード	WE304102	施工単位	方路
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
空気管配管	01	作業内容による補正 (表-1)	

(注) 材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-3 2組目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-5 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## ② 空中線装置設置工

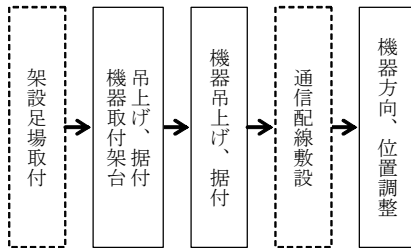
### 1 適用範囲

本資料は、多重無線設備の内、空中線装置、レドーム等の設置を行う空中線装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

#### 3-1 空中線据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
八木型	スクリーントラップ 5EL・8EL	基	—	1.0	
パラボラ取付	4mφ	基	1.0	3.5	
	3mφ	基	1.0	3.0	
	2.4mφ	基	1.0	2.7	
	2mφ	基	1.0	2.5	
	1.2mφ	基	1.0	2.0	

(注) 1. 本歩掛は、地上高 20m の場合とし、高さによる補正は次式による。

$$\text{地上高さ } h \text{ [m] の高さの歩掛} = \text{標準歩掛} \times \left\{ 1 + \frac{0.5}{80} (h - 20) \right\}$$

2. レドーム付空中線は、1.2 倍とする。ただし、架台は除く。
3. パラボラアンテナの撤去は、再使用しない場合においても、本歩掛の 1.0 倍とする。
4. 高さ、レドーム付空中線による補正をした歩掛を基準に、同一場所（同一空中線柱等）、同時施工の 2 基以降は、1 基につき 0.7 倍とする。

### 3-2 空中線調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
八木型	5EL、8EL	基	0.5	0.5	
パラボラ	4mφ	基	1.0	2.5	
	3mφ	基	1.0	2.0	
	2mφ	基	1.0	1.5	

- (注) 1. 本作業種別以外の歩掛は、別途積上げ計上する。  
 2. 同一場所（同一空中線柱等）、同時施工の2基以降は、1基につき0.7倍とする。

### 3-3 レドーム設置

本作業種別の歩掛は、「第4章第1節②空中線装置設置工 3-4 空中線取付架台設置」による。

### 3-4 空中線取付架台設置

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
パラボラ用架台	4mφ	基	1.0	3.9	
	3mφ	基	1.0	2.5	
	2.4mφ	基	1.0	2.2	
	2mφ	基	1.0	2.0	
	1.2mφ	基	1.0	1.5	

- (注) 1. 本歩掛は、地上高20mの場合とし、高さによる補正は次式による。

$$\text{地上高さ } h \text{ [m] の高さの歩掛} = \text{標準歩掛} \times \left\{ 1 + \frac{0.5}{80} (h - 20) \right\}$$

2. 高さによる補正をした歩掛を基準に、同一場所（同一空中線柱等）、同時施工の2基以降は、1基につき0.7倍とする。  
 3. 既設空中線にレドームを取付ける場合も架台設置歩掛を準用する。  
 ただし、シートレドームには適用しないものとする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 空中線据付

施工歩掛コード	WE301100	施工単位	基			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	
パラボラ 4mφ	01	作業内容による補正 (表-1)	2基目以降による補正 (表-2)	空中線 地上高 (m)	レドームによる補正 (表-3)	
パラボラ 3mφ	02					
パラボラ 2.4mφ	03					
パラボラ 2mφ	04					
パラボラ 1.2mφ	05					
八木型	06					

- (注) 1. 作業内容による補正で、パラボラアンテナの撤去は1.0倍のみとする。  
 2. 2基目以上据付けを行う場合、1基目と2基目以降を分けて入力すること。  
 3. 2基目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛 (J1、J3、J4 補正歩掛)  
 $Z$  = 補正係数 (J2)

4. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 レドームによる補正

作業内容	補正係数	入力番号
レドームなし	1.0	1
レドームあり	1.2	2

## (2) 空中線調整

施工歩掛コード	WE301200	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
パラボラ 4mφ以下	01	2基目以降による補正 (表-2)	
パラボラ 3mφ以下	02		
パラボラ 2mφ以下	03		
八木型	04		

- (注) 1. 2基目以上調整を行う場合、1基目と2基目以降を分けて入力すること。  
2. 2基目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J1)

## (3) 空中線取付架台設置

施工歩掛コード	WE301300	施工単位	基	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
パラボラ用架台 4mφ	01	作業内容による補正 (表-1)	空中線 地上高 (m)	2基目以降による補正 (表-2)
パラボラ用架台 3mφ	02			
パラボラ用架台 2.4mφ	03			
パラボラ用架台 2mφ	04			
パラボラ用架台 1.2mφ	05			

- (注) 鋼構造製作物は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

### ③ デジタル端局装置設置工

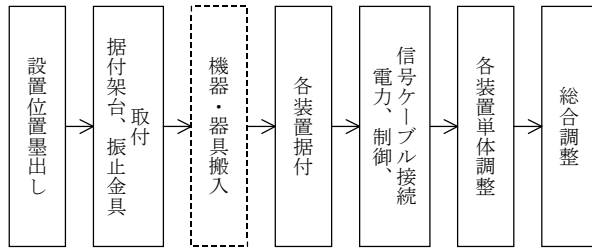
#### 1 適用範囲

本資料は、多重無線設備の内、デジタル端局装置の設置を行うデジタル端局装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 端局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
端局		架	1.0	2.0	
シート棚増設		棚	—	1.0	
シート板増設		枚	—	0.3	

- (注) 1. マーキング、架台、振止取付及び、軽微な配線を含む。  
2. シート棚増設とは、既設架に棚を取付けることで、シート板のみの時は本歩掛を計上しない。また、棚相互間の敷設及び成端、接続等は本歩掛に含まれる。  
3. 分岐装置は、これに準ずる。

3-2 端局装置調整 (FDM)

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
標準搬送端局	SGユニット	SG	0.5	
	Gユニット	G	0.5	
	CHユニット	G	0.5	CH増の場合 (G単位にS/N漏話測定)
	発振部、打合せ盤 警報等雑回路単体	式	0.5	
	ビデオ分岐	方路	2.0	リーク中継を除く
400MHz搬送端局	小容量	PG	1.0	

- (注) 1. SGユニットは、2SG以降1SGにつき0.1人とする。  
 2. Gユニットは、2G以降1Gにつき0.1人とする。  
 3. CHユニットの歩掛には、S/N及び漏話測定等を含む。  
 4. 400MHz搬送端局の場合は、2PG以降1PGにつき0.5人とする。  
 5. ビデオ分岐は、リーク中継を除き、GTR、SGTR、GTHR、SGTHF等の調整を含む。  
 6. GTHR、SGTHF等の調整は、それぞれGユニット、SGユニットの歩掛を適用する。



3-3 端局装置調整 (PCM)

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
端局装置	基本部 TSW192CH以上	式	2.0	
	基本部多方向及び小容量	式	1.0	
	CH部	1HG	0.5	
	6.3Mbps インタフェース	台	0.5	
	2Mbps インタフェース	台	0.5	
	1.5Mbps インタフェース	台	0.5	
	網同期装置 M.S	式	1.0	
	PCM-FDM 変換装置	1G	1.0	

- (注) 1. CH部の歩掛は、次のインタフェース部等とする。
- ・音声 4W インタフェース
  - ・音声 (2WREP 付) インタフェース部
  - ・64kbps インタフェース部
  - ・64kbps 多重化部
  - ・局内回線終端部
  - ・V24/28DTE インタフェース部
  - ・V35DTE インタフェース部
  - ・X20. 21DTE インタフェース部
2. 網同期装置で「LS」は、端局装置の基本部に含むものとする。
3. 6.3M、2.0M 及び 1.5M インタフェースは、2台以降1台につき0.1人とする。
4. PCM-FDM 変換装置は、2G 以降 1G につき 0.5 人増しとする。

3-4 デジタル端局装置 (SDH) 設置工

本作業種別の歩掛は、「第4章第8節①デジタル端局装置 (SDH) 設置工」による。

3-5 管理施設用小容量光伝送装置設置工

本作業種別の歩掛は、「第4章第8節②管理施設用小容量光伝送装置設置工」による。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 端局装置据付

施工歩掛コード	WE305101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
端局装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

##### (2) 端局装置据付 (シート棚増設)

施工歩掛コード	WE305102	施工単位	棚
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
シート棚増設	01	2棚目以降による補正 (表-3)	

##### (3) 端局装置据付 (シート板増設)

施工歩掛コード	WE305103	施工単位	枚
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
シート板増設	01	2枚目以降による補正 (表-4)	

(注) 1. 2架(棚)目以上据付けを行う場合、1架(棚)目と2架(棚)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(棚)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2棚目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2枚目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(4) FDM 端局装置調整 (SG ユニット)

施工歩掛コード	WE305201	施工単位	SG
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
SG ユニット	01	2SG 目以降による補正 (表-5)	

(5) FDM 端局装置調整 (G ユニット・GH ユニット)

施工歩掛コード	WE305202	施工単位	G
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
G ユニット	01	2G 目以降による補正 (表-6)	
GH ユニット	02		

(6) FDM 端局装置調整 (発振部)

施工歩掛コード	WE305203	施工単位	式
施工区分			
作業種別	規格番号		
発振部、打合せ盤 警報等雑回路単体	01		

(7) FDM 端局装置調整 (ビデオ分岐)

施工歩掛コード	WE305204	施工単位	方路
施工区分			
作業種別	規格番号		
ビデオ分岐	01		

(8) FDM 端局装置調整 (400MHz 小容量)

施工歩掛コード	WE305205	施工単位	PG
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
400MHz 小容量	01	2PG 目以降による補正 (表-7)	

(注) 1. 2SG、G、PG 以上調整を行う場合、1SG、G、PG と 2SG、G、PG 以降を分けて入力すること。

2. 2SG、G、PG 以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J1)

3. J1 の補正を行わない場合は、(1) を入力すること。

表-5 2SG 目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.2	2

表-6 2G 目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.2	2

表-7 2PG 目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.5	2

(9) PCM 端局装置調整 (基本部・網同期)

施工歩掛コード	WE305301	施工単位	式
施工区分			
作業種別	規格番号		
基本部 TSW192CH 以上	01		
基本部多方向及び小容量	02		
網同期装置	03		

(10) PCM 端局装置調整 (CH 部)

施工歩掛コード	WE305302	施工単位	HG
施工区分			
作業種別	規格番号		
CH 部	01		

(11) PCM 端局装置調整 (インタフェース)

施工歩掛コード	WE305303	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
6.3Mbps インタフェース	01	2 台目以降による補正 (表-8)	
2.0Mbps インタフェース	02		
1.5Mbps インタフェース	03		

(12) PCM 端局装置調整 (PCM-FDM 変換装置)

施工歩掛コード	WE305304	施工単位	G
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
PCM-FDM 変換装置	01	2G 目以降による補正 (表-9)	

- (注) 1. 2 台 (G) 目以上調整を行う場合、1 台 (G) 目と 2 台 (G) 目以降を分けて入力すること。
2. 2 台 (G) 目以降の補正は、下記の式で補正される。
- $$X = Y \times Z$$
- X = 補正歩掛  
Y = 標準歩掛  
Z = 補正係数 (J1)
3. CH 部の 6CH は 1HG とする。

表-8 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.2	2

表-9 2G 目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.5	2

## ④ 画像伝送路切替制御装置設置工

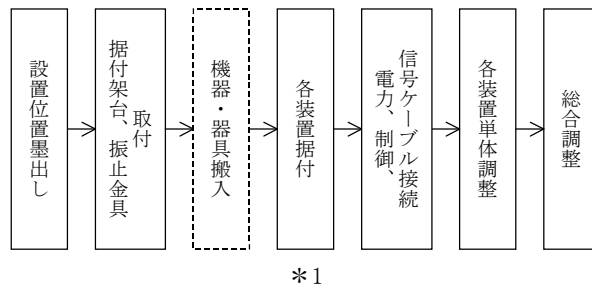
### 1 適用範囲

本資料は、多重無線設備の内、画像伝送路切替制御装置の設置を行う画像伝送路切替制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第4章第1節⑥監視制御装置設置工」による。

## ⑤ 画像伝送路切替装置設置工

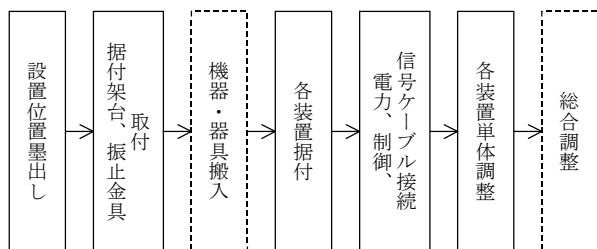
### 1 適用範囲

本資料は、多重無線設備の内、画像伝送路切替装置の設置を行う画像伝送路切替装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 切替装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
画像伝送装置		架	1.0	2.0	
画像棚増設		棚	—	1.0	
シート増設		枚	—	0.3	

(注) 1. マーキング、架台、振止取付及び同一室内の電源線、アース線の敷設を含む。  
2. 画像棚増設とは、既設架に棚を取付けることで、シートのみの際は本歩掛を計上しない。また、棚相互間の接続等は、本歩掛に含まれる。

#### 3-2 切替装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
画像伝送装置	基本部	組	2.0		
制御装置		組	1.0		
画像伝送装置	インタフェース	組	0.5		

(注) 1. インタフェースの歩掛は、次のインタフェース等とする。  
・64Kbps、1.5Mbps、6Mbps インタフェース部  
・X20. 21DTE インタフェース部  
2. インタフェースの2組以降は、1組につき0.2倍とする。  
3. 総合調整歩掛は、別途積上げ計上する。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 切替装置据付（画像伝送装置）

施工歩掛コード	WE305501	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
画像伝送装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

##### (2) 切替装置据付（画像棚増設）

施工歩掛コード	WE305502	施工単位	棚
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
画像棚増設	01	2棚目以降による補正 (表-3)	

##### (3) 切替装置据付（シート増設）

施工歩掛コード	WE305503	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
シート増設	01	2個目以降による補正 (表-4)	

(注) 1. 2架（棚）目以上据付けを行う場合、1架（棚）目と2架（棚）目以降を分けて入力すること。

2. 2架（棚）目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z \quad X=\text{補正歩掛}$$

$$Y=\text{標準歩掛}$$

$$Z=\text{補正係数}$$

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2棚目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2個目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2



(4) 切替装置調整

施工歩掛コード	WE305600	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
画像伝送装置 (基本部)	01	2組目以降による補正 (表-5)	
制御装置	02		
画像伝送装置 (インタフェース)	03		

- (注) 1. 2組目以上調整を行う場合、1組目と2組目以降を分けて入力すること。  
 2. 2組目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J1)

表-5 2組目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
2組目以降	0.7	2
インタフェース2組目以降	0.2	3

## ⑥ 監視制御装置設置工

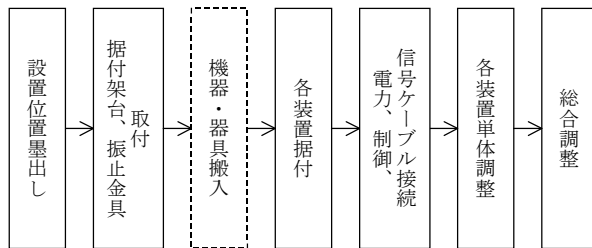
### 1 適用範囲

本資料は、多重無線設備の内、監視制御装置の設置を行う監視制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 監視制御装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
監視制御装置		架	1.0	2.0	

(注) 1. マーキング、架台、振止取付及び同一室内の電源線、アース線の敷設を含む。  
2. 簡易型で新設する他装置架に実装する場合は、本歩掛は計上しない。

#### 3-2 監視制御装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
監視制御装置		台	4.0	
被監視制御装置		台	4.0	
監視制御装置		方路	1.0	増設時
被監視制御装置		方路	1.0	増設時

(注) 簡易型については、0.5倍とする。ただし、増設については、1方路当たりとする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 監視制御装置据付

施工歩掛コード	WE306100	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
監視制御装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 1. 2架目以上据付けを行う場合、1架目と2架目以降を分けて入力すること。

2. 2架目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X = Y \times Z$$

X = 補正歩掛  
Y = 標準歩掛  
Z = 補正係数 (J2)

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## (2) 監視制御装置調整

施工歩掛コード	WE306201	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
監視制御装置	01	2台目以降による補正 (表-3)	簡易型による補正 (表-4)
被監視制御装置	02		

## (3) 監視制御装置調整 (増設)

施工歩掛コード	WE306202	施工単位	方路
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
監視制御装置 (増設)	01	2方路目以降による補正 (表-5)	簡易型による補正 (表-4)
被監視制御装置 (増設)	02		

(注) 1. 2台(方路)目以上調整を行う場合、1台(方路)目と2台(方路)目以降を分けて入力すること。

2. 2台(方路)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J1)

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-4 簡易型による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.5	2

表-5 2方路目による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## 第2節 テレメータ設備工

### ① テレメータ監視局装置設置工

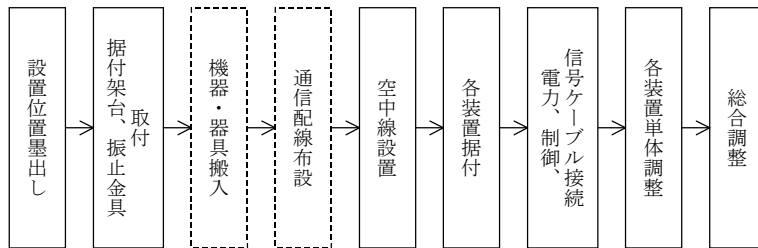
#### 1 適用範囲

本資料は、テレメータ設備の内、監視局装置の設置を行うテレメータ監視局装置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 テレメータ監視局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
監視局装置		架	1.0	2.0	
操作器		台	0.5	0.5	
操作卓		台	0.5	1.5	
表示盤	壁掛用	面	1.0	2.0	
記録装置		台	—	0.5	

##### 3-2 テレメータ監視局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
監視局装置	無線機含む	架・対向	2.0	(注)1、(注)3
観測局増設		対向	1.0	(注)2、(注)3
表示盤	壁掛用	面	1.0	(注)1

(注) 1. 新設の場合の同一場所、同時施工の2架(面)以降は、1架(面)につき0.7倍とする。2対向以降は、1対向につき、0.35倍とする。

2. 観測局増設の場合の同時施工2対向以降は、1対向につき0.7倍とする。

3. 無線機がない場合は、0.5倍とする。

3-3 テレメータ傍受装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
傍受装置据付		架	1.0	2.0	
表示盤据付	壁掛用	面	1.0	2.0	
記録装置据付		台	—	0.5	

3-4 テレメータ傍受装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
傍受装置調整	表示盤含む	架	2.0		
	表示盤除く	架	1.0		

3-5 テレメータ用空中線据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
八 木	150MHz～400MHz	基	1.0		
	70MHz	基	1.5		

(注) 本歩掛は、地上高15mの場合とし、高さによる補正は次式による。

$$\text{地上高さ } h \text{ [m] の高さの歩掛} = \text{標準歩掛} \times \left\{ 1 + \frac{0.5}{80} (h - 15) \right\}$$

3-6 テレメータ用空中線調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
八 木		基	0.5	0.5	

#### 4 施工単価入力基準表

(1) テレメータ監視局装置据付（監視局装置）

施工歩掛コード	WE310101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
監視局装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(2) テレメータ監視局装置据付（操作卓）

施工歩掛コード	WE310102	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
操作器	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)
操作卓	02		
記録装置	03		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(3) テレメータ監視局装置据付（表示盤）

施工歩掛コード	WE310103	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
表示盤壁掛用	01	作業内容による補正 (表-1)	2面目以降による補正 (表-4)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## (4) テレメータ監視局装置調整 (監視局装置)

施工歩掛コード	WE310201	施工単位	架	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
監視局装置	01	2架目以降による補正 (表-2)	対向数 (対向)	無線機による補正 (表-7)

(注) 新設の場合の2対向以降の補正はシステム内で自動計上される。(表-6)

## (5) テレメータ監視局装置調整 (局増設)

施工歩掛コード	WE310202	施工単位	対向	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	
監視局装置 観測局増設	01	2対向目以降による補正 (表-5)	無線機による補正 (表-7)	

## (6) テレメータ監視局装置調整 (表示盤)

施工歩掛コード	WE310203	施工単位	面	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1		
表示盤壁掛用	01	2面目以降による補正 (表-4)		

(注) 1. 2対向以上調整を行う場合、1対向と2対向以降を分けて入力すること。  
2. 2対向以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J1)

## (7) テレメータ傍受装置据付

施工歩掛コード	WE311601	施工単位	架	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	
傍受装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)	

(注) 機器単体費を別途入力すること。



(8) テレメータ傍受装置据付（表示盤）

施工歩掛コード	WE311602	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
表示盤	01	作業内容による補正 (表-1)	2 面目以降による補正 (表-4)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(9) テレメータ傍受装置据付（記録装置）

施工歩掛コード	WE311603	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
記録装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2 面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-5 2 対向目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-6 2 対向目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.35	2

表-7 無線機による補正

作業内容	補正係数	入力番号
無 線 機 あ り	1.0	1
無 線 機 な し	0.5	2

(10) テレメータ傍受装置調整

施工歩掛コード	WE311700	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
傍受装置 (表示盤含む)	01	2 架目以降による補正 (表-2)	
傍受装置 (表示盤除く)	02		

(11) テレメータ用空中線据付

施工歩掛コード	WE312100	施工単位	基	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
八木型 150~400MHz	01	作業内容による補正 (表-1)	2 基目以降による補正 (表-8)	空中線 地上高 (m)
八木型 70MHz	02			

- (注) 1. 2 基目以上据付けを行う場合、1 基目と 2 基目以降を分けて入力すること  
 2. 2 基目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛  
 $Z$  = 補正係数 (J2)

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-8 2 基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(12) テレメータ用空中線調整

施工歩掛コード	WE312200	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
八木型	01	2基目以降による補正 (表-8)	

- (注) 1. 2基目以上調整を行う場合、1基目と2基目以降を分けて入力すること。  
2. 2基目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数

表-8 2基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## ② テレメータ中継局装置設置工

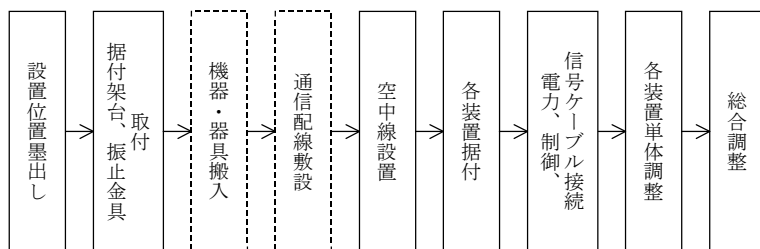
### 1 適用範囲

本資料は、テレメータ設備の内、中継局装置の設置を行うテレメータ中継局装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 中継局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
中継局装置		架	1.0	2.0	

#### 3-2 中継局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
中継局装置		架	1.0		

#### 3-3 空中線据付

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工 3-5 テレメータ用空中線据付」による。

#### 3-4 空中線調整

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工 3-6 テレメータ用空中線調整」による。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 中継局装置据付

施工歩掛コード	WE311100	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
中継局装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (2) 中継局装置調整

施工歩掛コード	WE311200	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
中継局装置	01	2局目以降による補正 (表-3)	

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2局目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

### ③ テレメータ観測局装置設置工

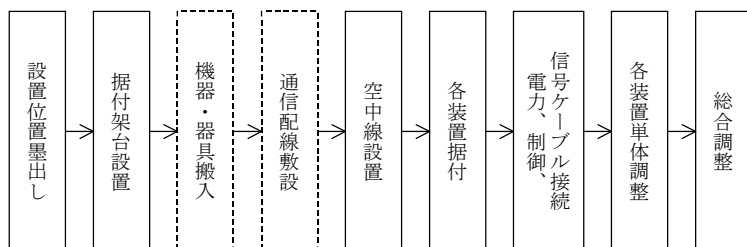
#### 1 適用範囲

本資料は、テレメータ設備の内、観測局装置の設置を行うテレメータ観測局装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 テレメータ観測局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
観測局装置据付	無線機含む	台	1.00	1.00	
複 量 化		式	0.50	0.50	
直流電源装置据付	電池含む	台	0.50	1.50	
太陽電池据付	9W~42W	面	0.10	1.00	

(注) 1. 複量化は、既設装置の増量時に適用する。

2. 太陽電池据付は、モジュール1面、取付架台、太陽電池配電盤、蓄電池の据付調整、装置間配線を含んでいる。

##### 3-2 テレメータ観測局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
観測局装置調整	無線機含む	台	2.0	
	複量化	式	1.0	

(注) 1. 無線機が無い場合は、0.5倍とする。

2. 複量化は、既設装置の増量時に適用する。

### 3-3 雨量・水位計据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
雨量計		台	—	0.5	
水位計	フロート式	台	—	0.5	
	超音波式	台	1.0	2.0	
	水圧式	台	1.0	2.0	

(注) 本作業種別以外の歩掛は、「第4章第12節トンネル防災設備工②付属設備操作制御装置設置工」によるほか、別途積上げ計上する。

### 3-4 空中線据付

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工 3-5 テレメータ用空中線据付」による。

### 3-5 空中線調整

本作業種別の歩掛は「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工 3-6 テレメータ用空中線調整」による。

## 4 施工単価入力基準表

#### (1) テレメータ観測局装置据付

施工歩掛コード	WE310601	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
観測局装置 (無線機含む)	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)
直流電源装置	02		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

#### (2) テレメータ観測局装置据付 (複量化)

施工歩掛コード	WE310602	施工単位	式
施工区分			
作業種別	規格番号		
複量化	01		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(3) テレメータ観測局装置据付 (太陽電池)

施工歩掛コード	WE310603	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
太陽電池	01	作業内容による補正 (表-1)	2面目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(4) テレメータ観測局装置調整 (観測局装置)

施工歩掛コード	WE310701	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
観測局装置	01	2面目以降による補正 (表-2)	無線機による補正 (表-4)

(5) テレメータ観測局装置調整 (複量化)

施工歩掛コード	WE310702	施工単位	式
施工区分			
作業種別	規格番号		
複量化	01		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 無線機による補正

作業内容	補正係数	入力番号
無 線 機 あ り	1.0	1
無 線 機 な し	0.5	2



(6) 雨量・水位計据付

施工歩掛コード	WE310800	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
雨量計	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)
水位計フロート式	02		
〃 超音波式	03		
〃 水圧式	04		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

# 第3節 放流警報設備工

## ① 放流警報制御監視局装置設置工

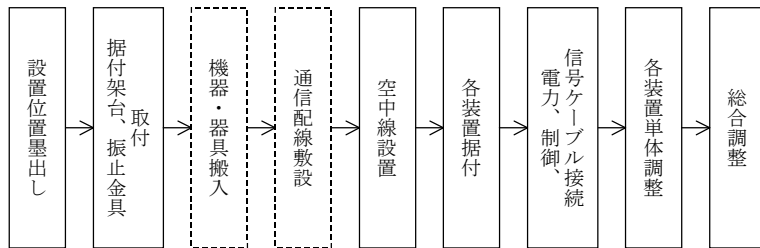
### 1 適用範囲

本資料は、放流警報設備の内、制御監視局装置の設置を行う放流警報制御監視局装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 放流警報監視局装置据付

本作業種別の歩掛は「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工 3-1 テレメータ監視局装置据付」による。

#### 3-2 放流警報監視局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
警報監視局装置	無線機含む	架・対向	3.0	(注) 1、(注) 3
警報局増設		対向	2.0	(注) 2、(注) 3

- (注) 1. 新設の場合の同一場所、同時施工の2架以降は、1架につき0.7倍とする。  
2 対向以降は1対向につき0.5倍とする。  
2. 警報局増設の場合の同時施工2対向以降は、1対向につき0.7倍とする。  
3. 無線機が無い場合は、0.5倍とする。

#### 3-3 空中線据付

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工 3-5 テレメータ用空中線据付」による。

#### 3-4 空中線調整

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工 3-6 テレメータ用空中線調整」による。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 放流警報監視局装置調整

施工歩掛コード	WE312701	施工単位	架	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
警報監視局装置 (無線機含む)	01	2架目以降による補正 (表-1)	対向数 (対向)	無線機による補正 (表-2)

(注) 新設の場合の2対向以降の補正は、システム内で自動計上される。(表-4)

##### (2) 放流警報監視局装置調整 (局増設)

施工歩掛コード	WE312702	施工単位	対向
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
警報局増設	01	2対向目以降による補正 (表-3)	無線機による補正 (表-2)

(注) 1. 2対向目以上調整を行う場合、1対向目と2対向目以降を分けて入力すること。

2. 2対向目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J1)

表-1 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-2 無線機による補正

作業内容	補正係数	入力番号
無線機あり	1.0	1
無線機なし	0.5	2

表-3 2対向目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-4 2対向目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.5	2

## ② 放流警報中継局装置設置工

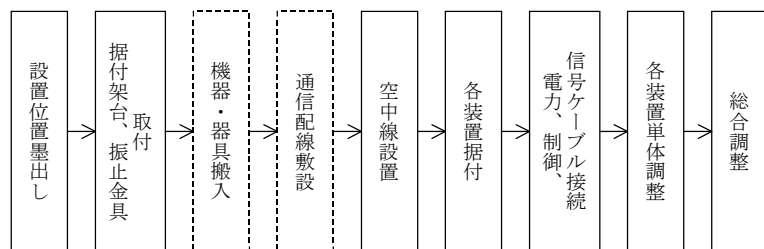
### 1 適用範囲

本資料は、放流警報設備の内、中継局装置の設置を行う放流警報中継局装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節②テレメータ中継局装置設置工」による。

### ③ 放流警報警報局装置設置工

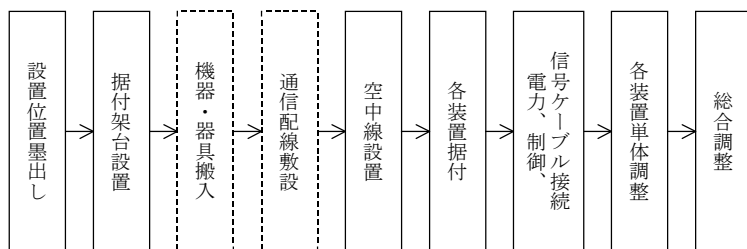
#### 1 適用範囲

本資料は、放流警報設備の内、警報局装置の設置を行う放流警報警報局装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 放流警報警報局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
警報局装置	無線機を含む	台	1.0	1.0	
直流電源装置	電池を含む	台	0.5	2.0	
スピーカー		台	—	0.5	
サイレン		台	—	1.5	

(注) 本歩掛は、集音マイク等の取付けも含まれている。

##### 3-2 放流警報警報局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
警報局装置	無線機を含む	台	2.0	

(注) 無線機が無い場合は、0.5倍とする。

##### 3-3 放流警報用空中線据付

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工3-5 テレメータ用空中線据付」による。

##### 3-4 放流警報用空中線調整

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工3-6 テレメータ用空中線調整」による。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 放流警報警報局装置据付

施工歩掛コード	WE312800	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
警報局装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)
直流電源装置	02		
スピーカ	03		
サイレン	04		

(注) 1. 2台目以上据付けを行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。

2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X = Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛  
 $Z$  = 補正係数 (J2)

3. 機器単体費を別途入力すること。

##### (2) 放流警報警報局装置調整

施工歩掛コード	WE312900	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
警報局装置	01	2台目以降による補正 (表-2)	無線機による補正 (表-3)

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 無線機による補正

作業内容	補正係数	入力番号
無 線 機 あ り	1.0	1
無 線 機 な し	0.5	2

# 第4節 移動体通信設備工

## ① 移動体通信装置設置工

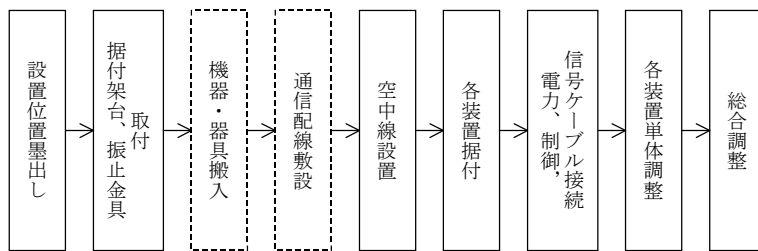
### 1 適用範囲

本資料は、移動体通信の内、携帯型を除く総括局、統制局、固定局、基地局、移動局装置等の設置を行う移動体通信装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 統制局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
統制局装置		架	1.0	2.0	
基地局接続部増設		台	—	1.0	

(注) 基地局接続部増設は、既設装置に増設する場合に適用する。

#### 3-2 統制局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
統制局装置		架	3.0		
基地局接続部増設		台	1.0		

(注) 基地局接続部増設は、既設装置に増設する場合に適用する。

#### 3-3 K-COS 基地局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
基地局装置		架	1.0	2.0	
無線機増設		台	—	0.5	

(注) 1. 無線機増設は、既設装置に増設する場合に適用する。  
2. マーキング、架台、振止取付、軽微な電源線、架間配線及びアース線の敷設を含む。

3-4 K-COS 基地局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
基本部		架	2.0	
無線機		台	0.5	

- (注) 1. 増設架における調整は、無線機のみとする。  
2. 無線機は、新設及び増設時に適用する。

3-5 K-COS 移動局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
車載		台	2.0	0.5	

3-6 K-COS 移動局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
車載		台	1.0	
携帯		台	0.2	

3-7 K-COS 総合調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
総合調整		式	5.0	

- (注) 1. 上記工数は、統制局1局、基地局1局、移動局10局、(同一場所)の条件を基本としている。  
2. 基本条件のとき、移動局数が10局までは上記工数とする。  
3. 同一場所で移動局数が10局を超える場合は、1局につき0.2人増とする。  
4. 基地局が2局目以降は、1局につき1.0人増しとする。  
5. 移動局が別の場所で、調整を行う場合は、移動局が5局まで技術者を1.0人とし、5局を超える場合は、1局につき0.2人増とする。

3-8 超短波無線電話装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術員	電工	摘要
車載		台	2.0	0.5	
	制御器分離形	台	2.5	0.5	
固定		台	1.0	—	
	制御器分離形	台	1.5	—	
	架形	架	1.0	1.0	中継、基地含む
遠方監視制御装置		架	1.0	—	1対向



3-9 超短波無線電話装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
車載・固定		台	1.0	—	
中継		台	1.5	—	固定・基地局の架タイプ含む
遠方監視制御装置		台	—	1.0	

(注) 本歩掛は1波実装の歩掛で、2波以上実装する場合は、1波増毎に0.1倍とする。

3-10 移動体通信用空中線据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
八木、ブランチ、スリプ	150MHz～400MHz	基	—	1.0	
	60MHz	基	—	1.5	
3段コーリニア	150MHz～400MHz	基	0.5	1.5	
6段コーリニア	150MHz～400MHz	基	0.5	2.0	
ホイップ	車載	基	—	0.3	

(注) 1. 本歩掛は、地上高15mの場合とし、高さによる補正は次式による。

$$\text{地上高さ } h \text{ [m] の高さの歩掛} = \text{標準歩掛} \times \left\{ 1 + \frac{0.5}{80} (h - 15) \right\}$$

2. 車載型については、高さの補正を行わない。
3. ホイップは、マグネット式又は雨樋式に適用し、同軸ケーブルの敷設を含む。
4. 高さによる歩掛補正後の歩掛を基準に同一場所、同時施工の2基以降は、1基につき0.7倍とする。

3-11 移動体通信用空中線調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
八木		基	0.5	0.5	

3-12 移動体通信用付属品取付

作業種別	細別規格	単位	技術員	摘要
同軸避雷器		個	0.25	
耐雷変圧器	0.5～1kVA	台	0.25	
固定減衰器	各周波数帯(空中線系)	個	0.3	
ケーブル避雷器	5P～10P	個	1.0	端子台取付含む
ケーブル避雷器	11P～20P	個	1.2	端子台取付含む

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 統制局装置据付

施工歩掛コード	WE316101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
統制局装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (2) 統制局装置据付 (基地局増設)

施工歩掛コード	WE316102	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
基地局増設	01	2台目以降による補正 (表-3)	

(注) 1. 2架(台)目以上据付けを行う場合、1架(台)目と2架(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(3) 統制局装置調整

施工歩掛コード	WE316201	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
統制局装置	01	2架目以降による補正 (表-2)	

(4) 統制局装置調整 (基地局増設)

施工歩掛コード	WE316202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
基地局増設	01	2台目以降による補正 (表-3)	

(注) 1. 2架(台)目以上調整を行う場合、1架(台)目と2架(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J1)

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(5) K-COS 基地局装置据付

施工歩掛コード	WE316301	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
基地局装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(6) K-COS 基地局装置据付 (増設)

施工歩掛コード	WE316302	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
無線機増設	01	2台目以降による補正 (表-3)	

(注) 1. 2架(台)目以上据付けを行う場合、1架(台)目と2架(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z \quad X=\text{補正歩掛}$$

$$Y=\text{標準歩掛}$$

$$Z=\text{補正係数}$$

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## (7) K-COS 基地局装置調整 (基本部)

施工歩掛コード	WE316401	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
基本部	01	2架目以降による補正 (表-2)	

## (8) K-COS 基地局装置調整 (無線機)

施工歩掛コード	WE316402	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
無線機	01	2台目以降による補正 (表-3)	

(注) 1. 2架(台)目以上調整を行う場合、1架(台)目と2架(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J1)

## (9) K-COS 移動局装置据付 (車載)

施工歩掛コード	WE316500	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
車載	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)

(注) 1. 2台目以上据付けを行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。

2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J2)

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(10) K-COS 移動局装置調整

施工歩掛コード	WE316600	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
車載	01	2台目以降による補正 (表-3)	
携帯	02		

- (注) 1. 2台目以上調整を行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。  
 2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛  
 $Z$  = 補正係数 (J1)

(11) K-COS 総合調整

施工歩掛コード	WE319100	施工単位	式
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
総合調整	01	調整歩掛 技術者 (人/式)	

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(12) 超短波無線電話装置据付

施工歩掛コード	WE315101	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
車載	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)
〃 制御器分離型	02		
固定	03		
〃 制御器分離型	04		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(13) 固定、遠方監視装置据付 (超短波)

施工歩掛コード	WE315102	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
固定 (架形)	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)
遠方監視制御装置	02		

(注) 1. 2台 (架) 目以上据付けを行う場合、1台 (架) 目と2台 (架) 目以降を分けて入力すること。

2. 2台 (架) 目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X = Y \times Z$$

X = 補正歩掛  
Y = 標準歩掛  
Z = 補正係数 (J2)

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## (14) 超短波無線電話装置調整

施工歩掛コード	WE315201	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
車載・固定	01	2台目以降による補正 (表-3)	波数 (波)
中継	02		

## (15) 遠方監視制御装置調整 (超短波)

施工歩掛コード	WE315202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
遠方監視制御装置	01	2台目以降による補正 (表-3)	

- (注) 1. 2台目以上調整を行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。  
2. 2台目以降の補正、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J1)

## (16) 移動体通信用空中線据付

施工歩掛コード	WE317100	施工単位	基	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
八木 150~400MHz	01	作業内容による補正 (表-1)	2基目以降による補正 (表-4)	空中線 地上高 (m)
〃 60MHz	02			
3段コーリニア	03			
6段コーリニア	04			
ホイップ車載	05			

- (注) 1. 2基目以上据付けを行う場合、1基目と2基目以降を分けて入力すること。  
2. 2基目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J2)

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-4 2基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2



(17) 移動体通信用空中線調整

施工歩掛コード	WE317200	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
八木	01	2基目以降による補正 (表-4)	

(注) 1. 2基目以上調整を行う場合、1基目と2基目以降を分けて入力すること。

2. 2基目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J1)

(18) 移動体通信用付属品取付

施工歩掛コード	WE317301	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
同軸避雷器	01	作業内容による補正 (表-1)	2個目以降による補正 (表-5)
固定減衰器	02		
ケーブル避雷器 5P-10P	03		
ケーブル避雷器 11P-20P	04		

(19) 耐雷変圧器取付 (移動体通信)

施工歩掛コード	WE317302	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
耐雷変圧器 0.5-1kVA	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費及び材料単価を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-4 2基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-5 2個目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## ② デジタル陸上移動通信装置設置工

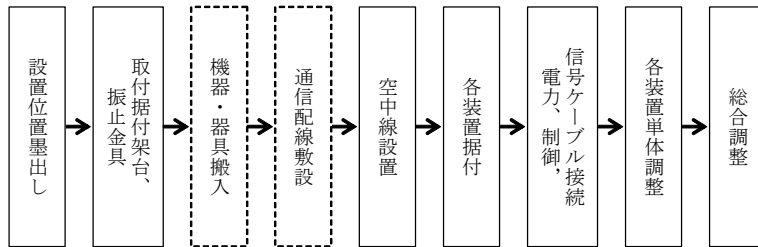
### 1 適用範囲

本資料は、移動体通信の内、デジタル陸上移動通信装置等の設置を行うデジタル陸上移動通信装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 デジタル陸上移動通信装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
基地局無線装置		架	1.0	2.0	共用器含む(注1)
塔頂増幅器	送信フィルター一体型	台	—	1.5	(注1,2)
塔頂増幅器	送信フィルタ分離型(塔頂部)	台	—	1.0	(注1,2)
塔頂増幅器	送信フィルタ分離型(室内部)	台	—	0.5	(注1)
車載型無線装置		台	0.5	0.5	(注1)
遠隔通信制御装置		台	1.0	—	(注1)
遠隔通信装置		台	0.5	—	(注1)

- (注) 1. 同一場所、同一施工の2架(台)以降は1架(台)につき0.7倍とする。  
2. 塔頂増幅器を鉄塔に据え付ける場合は高さ補正を行うものとし、「土木工事標準積算基準書(電気通信編)第Ⅷ編第4章第4節①移動体通信装置設置工3-10移動体通信用空中線据付」による。

### 3-2 デジタル陸上移動通信装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
基地局無線装置		架	1.5	—	(注1,2)
車載型無線装置		台	0.5	—	(注1)
遠隔通信制御装置		台	1.0	—	(注1)
遠隔通信制御装置	基地局増設時	台	0.5	—	1台増設毎
遠隔通信装置		台	0.5	—	(注1)
遠隔通信装置	基地局増設時	台	0.3	—	1台増設毎

- (注) 1. 同一場所、同一施工の2架(台)以降は1架(台)につき0.7倍とする。  
 2. 塔頂増幅器調整は基地局無線装置調整に含む。

### 3-3 デジタル陸上移動通信装置総合調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
総合調整		式	2.5	(注)

- (注) 1. 上記工数は、遠隔通信制御装置1台、遠隔通信装置1台、基地局1台、移動局20台(同一場所)の条件を基本条件としている。  
 2. 基本条件のとき、移動局数が20台までは上記工数とする。  
 3. 同一場所で移動局数が20台を超える場合は、1台につき0.05人増とする。  
 4. 基地局が2台目以降は、1台につき0.5人増とする。  
 5. 遠隔通信装置が2台目以降は、1台につき0.5人増とする。  
 6. 移動局が別の場所で、調整を行う場合は、移動局が10台まで技術者を1.0人とし、10台を超える場合は、1台につき0.05人増とする。  
 ※ 総合調整とは、遠隔通信制御装置、遠隔通信装置、基地局装置、車載無線装置(携帯型無線装置)の通信、監視制御をいう。

### 3-4 空中線据付

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準積算基準書(電気通信編)第Ⅷ編第4章第4節①移動体通信装置設置工3-10 移動体通信用空中線据付」による。

### 3-5 空中線調整

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準積算基準書(電気通信編)第Ⅷ編第4章第4節①移動体通信装置設置工3-11 移動体通信用空中線調整」による。

### 3-6 付属品取付

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準積算基準書(電気通信編)第Ⅷ編第4章第4節①移動体通信装置設置工3-12 移動体通信用付属品取付」による。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 基地局無線装置据付

施工歩掛コード	WE318001	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
基地局無線装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

##### (2) 塔頂増幅器据付

施工歩掛コード	WE318002	施工単位	台	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
送信フィルター体形	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)	空中線 地上高 (m)
送信フィルタ分離型 (塔頂部)	02			
送信フィルタ分離型 (室内部)	03			

(注) 1. 2架(台)目以上据付けを行う場合、1架(台)目と2架(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J2)

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## (3) 車載型無線装置据付

施工歩掛コード	WE318003	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
車載型無線装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)

## (4) 遠隔通信制御装置据付

施工歩掛コード	WE318004	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
遠隔通信制御装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)

- (注) 1. 2台目以上据付けを行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。  
2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J2)

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(5) 遠隔通信装置据付

施工歩掛コード	WE318005	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
遠隔通信装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)

(注) 1. 2台目以上据付けを行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。

2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z \quad X=\text{補正歩掛}$$

$$Y=\text{標準歩掛}$$

$$Z=\text{補正係数 (J2)}$$

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(6) 基地局無線装置調整

施工歩掛コード	WE318101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
基地局無線装置	01	2架目以降による補正 (表-1)	

(7) 車載型無線装置調整

施工歩掛コード	WE318102	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
車載型無線装置	01	2台目以降による補正 (表-2)	

(8) 遠隔通信制御装置調整

施工歩掛コード	WE318103	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
遠隔通信制御装置	01	2台目以降による補正 (表-2)	

(9) 遠隔通信制御装置調整 (基地局増設時)

施工歩掛コード	WE318104	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
遠隔通信制御装置 (基地局増設時)	01	2台目以降による補正 (表-2)	

(注) 1. 2架(台)目以上調整を行う場合、1架(台)目と2架(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J1)

表-1 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	作業内容
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	作業内容
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(10) 遠隔通信装置調整

施工歩掛コード	WE318105	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
遠隔通信装置	01	2台目以降による補正 (表-1)	

(11) 遠隔通信装置調整 (基地局増設時)

施工歩掛コード	WE318106	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
遠隔通信装置 (基地局増設時)	01	2台目以降による補正 (表-1)	

- (注) 1. 2台目以上調整を行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。  
2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数 (J1)

表-1 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(12) デジタル陸上移動通信装置総合調整

施工歩掛コード	WE318200	施工単位	式
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
総合調整	01	調整歩掛 技術者 (人/式)	



# 第5節 衛星通信設備工

## ① 固定型衛星通信用地球局設備設置工

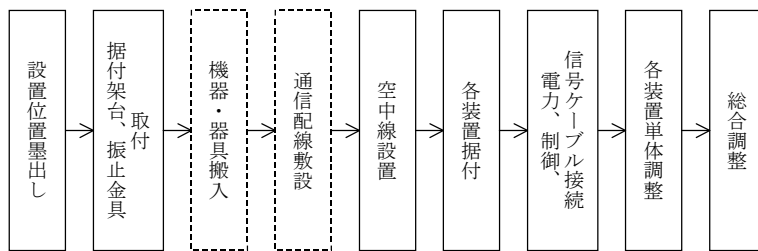
### 1 適用範囲

本資料は、衛星通信設備の内、固定型衛星通信用地球局設備の設置を行う固定型衛星通信用地球局設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 送受信装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
送受信装置		台	4.0	15.0	

- (注) 1. 送受信装置～アンテナ装置間の軽微な電源線、信号線、導波管を含む。  
2. 送受信装置の電源線及び送受信装置～個別通信端局装置間の信号線は、別途積算する。

#### 3-2 送受信装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
送受信装置		台	9.0	1.0	

#### 3-3 個別通信端局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
個別通信端局装置		架	1.0	2.0	

- (注) 1. 送受信装置～個別通信端局装置間の信号線は、別途積算する。  
2. マーキング、架台、振止取付及び同一室内の電源線、アース線の敷設を含む。

3-4 個別通信端局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
個別通信端局装置		架	5.0	

(注) 同一場所、同時施工の2架以降の場合は、1架につき0.5倍とする。

3-5 画像端局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
画像端局装置		架	1.0	2.0	
回線制御装置		架	1.0	2.0	

(注) マーキング、架台、振止取付及び同一室内の電源線、アース線の敷設を含む。

3-6 画像端局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
画像端局装置		台	4.0	
回線制御装置		台	10.0	

3-7 空中線据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
アンテナ装置	5mφ	基	4.0	13.0	
	7mφ	基	4.0	17.0	
融雪部		個	1.0	3.0	

- (注) 1. 送受信装置～アンテナ装置間の軽微な電源線、信号線、導波管を含む。  
 2. アンテナ架台については、別途積算とする。  
 3. アンテナの撤去は、再使用しない場合においても、本歩掛の1.0倍とする。

3-8 空中線調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
アンテナ装置	5mφ	基	9.5	4.5	
	7mφ	基	11.0	6.0	
融雪部		個	0.5	0.5	

3-9 総合調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
総合調整	本省局	式	36.0	
	大阪局	式	27.0	
	地整局	式	20.0	

(注) 総合調整は次の対向試験を含む。

- ・本省局：大阪局、地整本局及び車載局との対向試験
- ・大阪局：本省局、地整本局及び車載局との対向試験
- ・地整局：本省局、大阪局、他地整の据付時の地整本局及び車載局との対向試験

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 送受信装置据付 (固定衛星)

施工歩掛コード	WE328100	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
送受信装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

##### (2) 送受信装置調整 (固定衛星)

施工歩掛コード	WE328200	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
送受信装置	01	2台目以降による補正 (表-2)	

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(3) 個別通信端局装置据付 (固定衛星)

施工歩掛コード	WE328300	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
個別通信端局装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-3)

(注) 1. 2架目以上据付けを行う場合、1架目と2架目以降を分けて入力すること。

2. 2架目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z \quad X=\text{補正歩掛}$$

$$Y=\text{標準歩掛}$$

$$Z=\text{補正係数}$$

3. 機器単体費を別途入力すること。

(4) 個別通信端局装置調整 (固定衛星)

施工歩掛コード	WE328400	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
個別通信端局装置	01	2架目以降による補正 (表-4)	

(注) 1. 2架目以上調整を行う場合、1架目と2架目以降を分けて入力すること。

2. 2架目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z \quad X=\text{補正歩掛}$$

$$Y=\text{標準歩掛}$$

$$Z=\text{補正係数 (J1)}$$

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

表-3 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-4 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.5	2

(5) 画像端局装置据付 (固定衛星)

施工歩掛コード	WE328500	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
画像端局装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-4)
回線制御装置	02		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(6) 画像端局装置調整 (固定衛星)

施工歩掛コード	WE328600	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
画像端局装置	01	2台目以降による補正 (表-2)	
回線制御装置	02		

(注) 1. 2台目以上調整を行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。

2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛  
 $Z$  = 補正係数 (J1)

(7) 空中線据付 (固定衛星)

施工歩掛コード	WE328701	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
アンテナ装置 5mφ	01	作業内容による補正 (表-1)	2基目以降による補正 (表-5)
〃 7mφ	02		

(注) 1. 機器単体費を別途入力すること。

2. 作業内容による補正でアンテナ装置の撤去は1.0倍のみとする。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.5	2

表-5 2基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(8) 空中線融雪部据付 (固定衛星)

施工歩掛コード	WE328702	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
融雪部	01	作業内容による補正 (表-1)	2個目以降による補正 (表-6)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(9) 空中線調整 (固定衛星)

施工歩掛コード	WE328801	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
アンテナ装置 5mφ	01	2基目以降による補正 (表-5)	
〃 7mφ	02		

(10) 空中線融雪部調整 (固定衛星)

施工歩掛コード	WE328802	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
融雪部	01	2個目以降による補正 (表-6)	

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

(11) 固定型衛星通信装置総合調整

施工歩掛コード	WE328900	施工単位	式
施工区分			
作業種別	規格番号		
総合調整 本省局	01		
〃 大阪局	02		
〃 地整局	03		

表-5 2基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-6 2個目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## ② 移動型衛星通信用地球局設備設置工

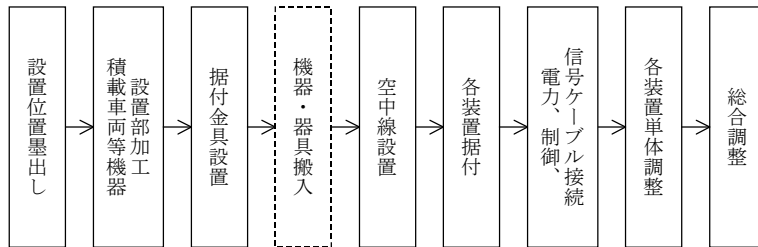
### 1 適用範囲

本資料は、衛星通信設備の内、移動型衛星通信用地球局設備の設置を行う移動型衛星通信用地球局設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 移動局装置据付

本作業種別の歩掛は装置形状により別途積上げ計上する。

#### 3-2 移動局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
送受信装置		台	9.0	1.0	
端局装置		台	4.0	—	
小型交換装置		台	2.5	—	
画像端局装置		台	4.0	—	

#### 3-3 空中線調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
アンテナ装置		基	1.0	1.0	

#### 3-4 総合調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
総合調整		式	8.0	

(注) 総合調整は、本省局、大阪局及び地整本局との対向試験を含む。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 移動型衛星通信用地球局装置調整

施工歩掛コード	WE329100	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
送受信装置	01	2 台目以降による補正 (表-1)	
端局装置	02		
小型交換装置	03		
画像端局装置	04		

##### (2) 移動型衛星通信用空中線調整

施工歩掛コード	WE329200	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
アンテナ装置	01	2 基目以降による補正 (表-2)	

##### (3) 移動型衛星通信装置総合調整

施工歩掛コード	WE329300	施工単位	式
施工区分			
作業種別	規格番号		
総合調整	01		

表-1 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-2 2 基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2



### ③ 衛星小型（制御地球局）画像伝送装置設置工

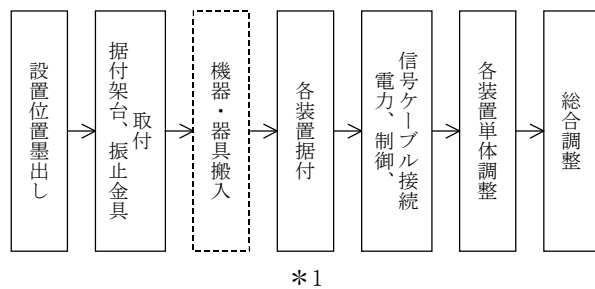
#### 1 適用範囲

本資料は、衛星通信設備の内、衛星小型（制御地球局）画像伝送装置の設置を行う、衛星小型（制御地球局）画像伝送装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### ④ 衛星小型（固定局）画像伝送装置設置工

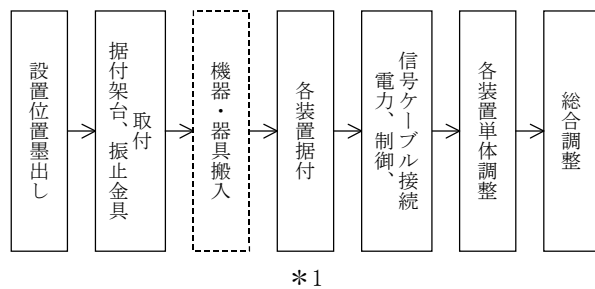
##### 1 適用範囲

本資料は、衛星通信設備の内、衛星小型（固定局）画像伝送装置の設置を行う衛星小型（固定局）画像伝送装置設置工に適用する。

##### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

##### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

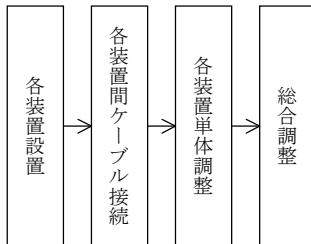
## ⑤ 衛星小型（可搬局）画像伝送装置設置工

### 1 適用範囲

本資料は、衛星通信設備の内、衛星小型（可搬局）画像伝送装置の設置を行う衛星小型（可搬局）画像伝送装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑥ 衛星地球局基礎工

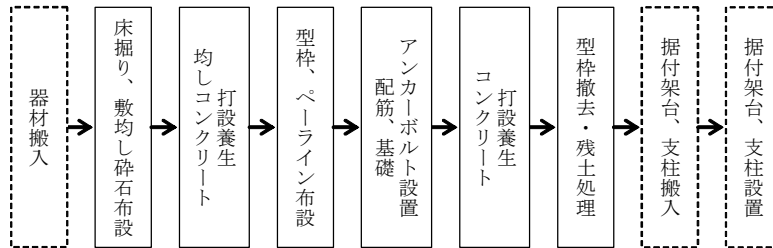
### 1 適用範囲

本資料は、衛星通信用の各設備の基礎の設置を行う衛星地球局基礎工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

# 第6節 ヘリ画像受信設備工

## ① ヘリ画像受信基地局装置設置工

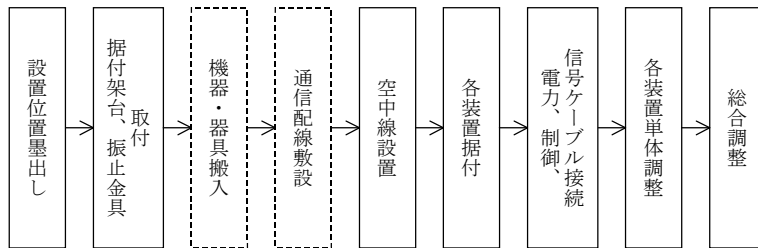
### 1 適用範囲

本資料は、ヘリ画像受信設備の内、基地局装置の設置を行うヘリ画像受信基地局装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

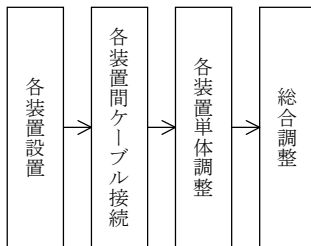
## ② ヘリ画像受信携帯局装置設置工

### 1 適用範囲

本資料は、ヘリ画像受信設備の内、携帯局装置の設置を行うヘリ画像受信携帯局装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

## 第7節 電話交換設備工

### ① 自動電話交換装置設置工

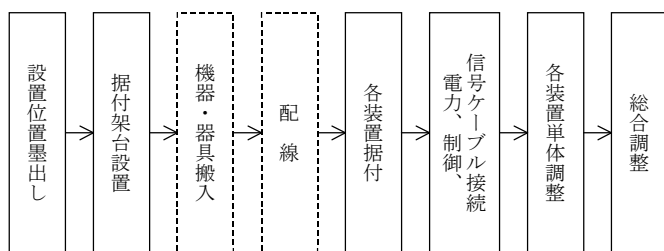
#### 1 適用範囲

本資料は、電話交換設備の内、自動電話交換装置の設置を行う自動電話交換装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 自動電話交換装置据付（電子式）

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
本体キャビネット	ロッカータイプ	架	1.0	2.0	マーキング、レベリング 架台取付含む
シェルフ・棚実装	100回線以下	式	0.5	2.0	新設架に適用
	101を越え200回線以下	式	0.5	3.5	以降100回線毎 技術員0.5人
	各架相互間及び基板 パッケージ等の相互間	式	0.5	2.5	
装置配線	キャビネット相互間	式	—	3.5	3.5人×(回線実装/100)
監視警報盤	可聴可視警報盤	台	—	0.5	交換機室以外のみ
メンテナンスコンソール		台	—	0.6	
基板増設		個	—	0.5	各種パッケージ

- (注) 1. 回線数は、内線（トランク）、私設線（トランク）の合計実装数とする。  
2. プリンターは、本体キャビネット歩掛に含むものとする。  
3. トランク・レピーター増設は、回線数に関係なくユニットの員数とする。  
4. シェルフ、棚実装、装置配線を除き、同一場所、同時施工の2架（台/個）以降は、1架（台/個）につき0.7倍とする。

3-2 自動電話交換装置調整（電子式）

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
装置本体	内線実装 20 回線毎	式	0.70	0.70	回線数は内線の実装数とする
トランク・レピーター	ロッカータイプ	10 回線	0.35	—	回線数は局線の合計実装数とする

3-3 簡易電話交換装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
装置本体	局線（内線） 10 を越え 30 回線以下	台	—	1.50	主装置据付、マーキングレベリング、木台取付

3-4 簡易電話交換装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
装置本体		台	—	0.5	主装置試験

3-5 中継台据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
中継台	据置型	台	1.0	1.0	マーキング、レベリング、架台取付含む
	卓上形	台	0.5	0.5	

3-6 中継台調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
中継台	据置型	台	0.35	0.70	
	卓上形	台	0.35	—	
電話機	各種	台	—	0.05	

3-7 総合調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
総合試験調整		式	—	0.7	内線 20 回線毎に
	ダイヤル交換機を含む 4W 機能	式	—	0.7	私設線 20 回線毎に



3-8 電話付属品取付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
各種トランク		個	1.5	0.5	
夜間転送台	5回線	個	1.8	0.9	
局線表示盤	10回線	個	1.0	0.5	
監視盤		個	0.2	0.1	
転換器	各種	個	—	0.5	
電話機	各種	個	—	0.1	
加入者保安器		個	—	0.7	
増設電鈴		個	—	0.5	
M D F	100回線につき	台		2.0	
端子板	20回線	個	—	0.2	
試験弾器	20回線	個	—	0.2	
避雷器具弾器	20回線	個	—	0.2	
ジャンパー線	2C	100m	—	2.0	
	4C	100m	—	3.0	
	10C	100m	—	6.0	

(注) ジャンパー線を除き、同一場所、同時施工の2個(台)以降は、1個(台)につき0.7倍とする。

3-9 端子盤取付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
端子盤	10P	面	0.51	
	20P	面	0.63	
	30P	面	0.75	
	40P	面	0.97	
	60P	面	1.10	
	80P	面	1.30	
	100P	面	1.50	
	120P	面	1.80	
	150P	面	2.10	
	200P	面	2.50	
	250P	面	3.10	
300P	面	3.70		

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 本体キャビネット据付 (自動電話)

施工歩掛コード	WE320101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
本体キャビネット	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (2) 装置配線・シェルフ棚実装 (自動電話)

施工歩掛コード	WE320102	施工単位	式
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
装置配線	01	回線実装数 (回線)	
シェルフ棚実装 200回線超	02		
シェルフ棚実装 101を越え200回線以下	03		
シェルフ棚実装 100回線以下	04		
シェルフ棚実装 各架基盤相互間	05		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (3) 警報盤・コンソール据付 (自動電話)

施工歩掛コード	WE320103	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
監視警報盤	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)
メンテナンスコンソール	02		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(4) 交換機基板増設（自動電話）

施工歩掛コード	WE320104	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
基板増設	01	2個目以降による補正 (表-4)	

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(5) 自動電話交換機調整

施工歩掛コード	WE320201	施工単位	式
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
自動電話交換機	01	内線実装数 (回線)	

(6) 自動電話交換機調整（トランク・レピーター）

施工歩掛コード	WE320202	施工単位	回線
施工区分			
作業種別	規格番号		
トランク・レピーター	01		

(7) 簡易電話交換装置据付

施工歩掛コード	WE321100	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
簡易電話交換装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2個目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## (8) 簡易電話交換装置調整

施工歩掛コード	WE321200	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
簡易電話交換装置	01	2台目以降による補正 (表-3)	

## (9) 中継台据付

施工歩掛コード	WE321300	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
中継台据置型	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)
中継台卓上形	02		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

## (10) 中継台調整

施工歩掛コード	WE321400	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
中継台据置型	01	2台目以降による補正 (表-3)	
中継台卓上形	02		
電話機各種	03		

## (11) 自動電話交換装置総合調整

施工歩掛コード	WE321500	施工単位	式
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
内線総合試験	01	回線実装数 (回線)	
私設線総合試験	02		

(12) 電話付属品取付

施工歩掛コード	WE323101	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
各種トランク	01	作業内容による補正 (表-1)	2個目以降による補正 (表-4)
夜間転送台	02		
局線表示盤	03		
監視盤	04		
転換器	05		
電話機	06		
加入者保安器	07		
増設電鈴	08		
MDF	09		
端子板	10		
試験弾器	11		
避雷器具弾器	12		

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

(13) 電話付属用品取付 (ジャンパー線)

施工歩掛コード	WE323102	施工単位	m
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ジャンパー線 2C	01	作業内容による補正 (表-1)	
ジャンパー線 4C	02		
ジャンパー線 10C	03		

(注) 材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-4 2個目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## (14) 端子盤取付

施工歩掛コード	WE324100	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
端子盤 10P	01	作業内容による補正 (表-1)	2面目以降による補正 (表-5)
〃 20P	02		
〃 30P	03		
〃 40P	04		
〃 60P	05		
〃 80P	06		
〃 100P	07		
〃 120P	08		
〃 150P	09		
〃 200P	10		
〃 250P	11		
〃 300P	12		

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-5 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

# 第 8 節 有線通信設備工

## ① デジタル端局装置（SDH）設置工

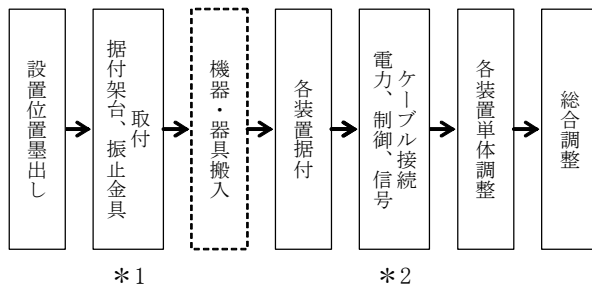
### 1 適用範囲

本資料は、光通信設備の内、デジタル端局装置のデジタル端局装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、支線系延長装置は、対象外とする。

\*2 は、同一室内における各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。

ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 デジタル端局装置(SDH)据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
デジタル端局装置(SDH)据付	本体(タイプ1~5)	架	1.0	2.0	
	インタフェースシェルフ増設	棚	—	1.0	
	線路インタフェース	台	—	0.3	一方路
	端末インタフェース	台	—	0.3	
支線系延長装置据付	本体	架	0.5	0.5	
	インタフェースシェルフ増設	棚	—	1.0	
	インタフェース盤増設	台	—	0.3	
支線系SDH端局装置据付	本体	架	0.5	1.0	
	インタフェース盤増設	台	—	0.3	
端局監視制御装置据付		台	2.0	2.0	
光中継増幅装置据付	本体	架	1.0	2.0	
	インタフェースシェルフ増設	棚	—	1.0	
	光中継増幅部増設	台	—	0.3	
再生中継装置据付	本体	架	1.0	2.0	
	インタフェースシェルフ増設	棚	—	1.0	
	インタフェース盤増設	台	—	0.3	

(注) 1. マーキング、架台、振止取付及び、アース線の敷設を含む。

ただし、支線系延長装置は除く。

2. インタフェースシェルフ増設とは、既設架に取付けることで、インタフェースのみの時は本歩掛を採用しない。また、シェルフ相互間の接続等は、本歩掛に含まれる。

3-2 デジタル端局装置(SDH)調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
デジタル端局装置(SDH)調整	基本部	式	2.0	—	
	線路インタフェース	方路	0.5	—	
	端末インタフェース	台	0.5	—	
支線系延長装置調整	基本部	式	0.7	—	
	インタフェース盤増設	台	0.5	—	
支線系SDH端局装置調整	基本部	式	1.0	—	
	インタフェース盤増設	台	0.5	—	
端局監視制御装置調整		台	4.0	—	
光中継増幅装置調整	基本部	式	1.2	—	
	光増幅部	台	0.7	—	
再生中継装置調整	基本部	式	0.5	—	
	インタフェース盤増設	台	0.5	—	

- (注) 1. 線路インタフェースは、2方路目以降、1方路につき0.1人とする。  
 2. 端末インタフェースは、種類を問わず全て同一歩掛とする。  
 3. 同種の端末インタフェースは、2台目以降、1台につき0.1人とする。  
 4. 光増幅部は2台目以降、1台につき0.1人とする。

4 施工単価入力基準表

(1) デジタル端局装置(SDH)据付

施工歩掛コード	WE332101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
本体(タイプ1~5)	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(2) インタフェースシェルフ増設

施工歩掛コード	WE332102	施工単位	棚
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
インタフェースシェルフ増設	01	2棚目以降による補正 (表-3)	

(注) 機器単体費を別途入力すること。



## (3) 線路・端末インタフェース据付

施工歩掛コード	WE332103	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
線路インタフェース	01	2台目以降による補正 (表-4)	
端末インタフェース	02		

## (4) 支線延長装置据付

施工歩掛コード	WE332701	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
支線延長装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

## (5) 支線延長装置据付 (インタフェースシェルフ増設)

施工歩掛コード	WE332702	施工単位	棚
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
インタフェースシェルフ増設	01	2棚目以降による補正 (表-3)	

## (6) 支線延長装置据付 (インタフェース盤増設)

施工歩掛コード	WE332703	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
インタフェース盤増設	01	2台目以降による補正 (表-4)	

## (7) 支線系 (SDH) 端局装置据付

施工歩掛コード	WE332901	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
支線系 (SDH) 端局装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

## (8) 支線系端局装置据付 (インタフェース盤増設)

施工歩掛コード	WE332902	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
インタフェース盤増設	01	2 台目以降による補正 (表-4)	

## (9) 端局監視制御装置据付

施工歩掛コード	WE332104	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
端局監視制御装置	01	2 台目以降による補正 (表-4)	

## (10) 光中継増幅装置据付

施工歩掛コード	WE332501	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
光中継増幅装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2 架目以降による補正 (表-2)

## (11) 光中継増幅装置据付 (シェルフ増設)

施工歩掛コード	WE332502	施工単位	棚
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
シェルフ増設	01	2 棚目以降による補正 (表-3)	

## (12) 光中継増幅装置据付 (光増幅部増設)

施工歩掛コード	WE332503	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
光増幅部増設	01	2 台目以降による補正 (表-4)	

(注) 1. 2 架 (棚、台) 目以上据付けを行う場合、1 架 (棚、台) 目と 2 架 (棚、台) 目以降を分けて入力すること。

2. 2 架 (棚、台) 目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z \quad X=\text{補正歩掛}$$

$$Y=\text{標準歩掛}$$

$$Z=\text{補正係数}$$

3. 機器単体費を別途入力すること。

## (13) 再生中継装置据付

施工歩掛コード	WE332301	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
再生中継装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

## (14) 再生中継装置据付 (インタフェースシェルフ増設)

施工歩掛コード	WE332302	施工単位	棚
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
インタフェースシェルフ増設	01	2棚目以降による補正 (表-3)	

## (15) 再生中継装置据付 (インタフェース盤増設)

施工歩掛コード	WE332303	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
インタフェース盤増設	01	2台目以降による補正 (表-4)	

## (16) デジタル端局装置 (SDH) 調整

施工歩掛コード	WE332201	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
デジタル端局装置	01	2架目以降による補正 (表-2)	

(注) 機器単体費を別途入力すること。

## (17) 線路・端末インタフェース調整

施工歩掛コード	WE332202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
線路インタフェース	01	2台目以降による補正 (表-5)	
端末インタフェース	02		

## (18) 支線延長装置調整

施工歩掛コード	WE332801	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
支線延長装置	01	2 架目以降による補正 (表-2)	

## (19) 支線延長装置調整 (インタフェース盤増設)

施工歩掛コード	WE332802	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
インタフェース盤増設	01	2 台目以降による補正 (表-4)	

## (20) 支線系端局装置調整

施工歩掛コード	WE333101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
支線系端局装置	01	2 架目以降による補正 (表-2)	

## (21) 支線系端局装置調整 (インタフェース盤増設)

施工歩掛コード	WE333102	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
インタフェース盤増設	01	2 台目以降による補正 (表-4)	

## (22) 端局監視制御装置調整

施工歩掛コード	WE332203	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
端局監視制御装置	01	2 台目以降による補正 (表-4)	

## (23) 光中継増幅装置調整

施工歩掛コード	WE332601	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
光中継増幅装置	01	2 架目以降による補正 (表-2)	

## (24) 光中継増幅装置調整（光増幅部増設）

施工歩掛コード	WE332602	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
光増幅部増設	01	2台目以降による補正 (表-6)	

## (25) 再生中継装置調整

施工歩掛コード	WE332401	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
再生中継装置	01	2架目以降による補正 (表-2)	

## (26) 再生中継装置調整（インタフェース盤増設）

施工歩掛コード	WE332402	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
インタフェース盤増設	01	2台目以降による補正 (表-4)	

(注) 1. 2架(台)目以上調整を行う場合、1架(台)目と2架(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。(光中継増幅装置調整(光増幅部増設)を除く。)

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降の補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2棚目以降の補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2台目以降の補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-5 2台目以降の補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.2	2

表-6 2台目以降の補正

作業内容	補正歩掛	入力番号
補 正 な し	0.7	1
補 正 あ り	0.1	2

## ② 管理施設用小容量光伝送装置設置工

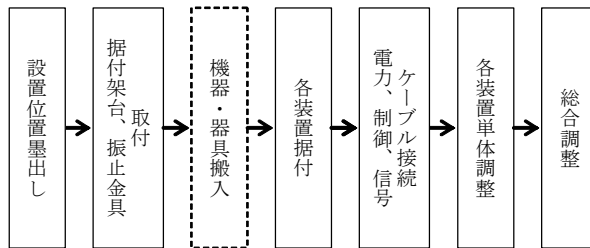
### 1 適用範囲

本資料は、有線通信設備の内、管理施設用小容量光伝送装置の管理施設用小容量光伝送装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

### ③ 光ファイバ線路監視装置設置工

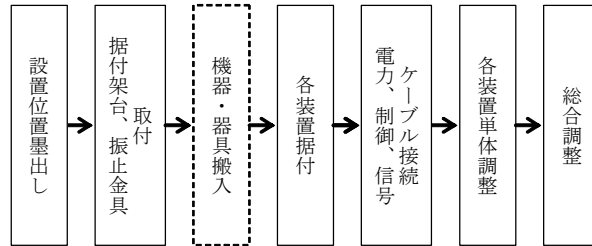
#### 1 適用範囲

本資料は、有線通信設備の内、光ファイバ線路監視装置の光ファイバ線路監視装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

# 第9節 道路情報表示設備工

## ① 道路情報表示制御装置設置工

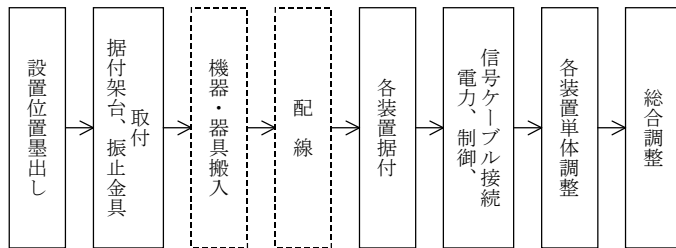
### 1 適用範囲

本資料は、道路情報表示設備の内、主制御装置等の設置を行う道路情報表示制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 制御装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	電工	摘要
主制御機	A形	架	1.0	2.00	—	
	新A形	架	1.0	2.00	—	
	HL形	架	1.0	2.00	—	
	A2形	架	1.0	2.00	—	
	B形	架	1.0	2.00	—	
ユニット増設		個	—	0.25	—	
文字変更	A形	ブロック	—	0.74	—	
フリーパターン制御機能	A2形	台	—	1.00	3.5	
フリーパターン制御機能増設	A2形	台	—	1.50	5.0	

(注) ユニット増設及びフリーパターン制御機能増設は、既設装置に増設する場合に適用する。



3-2 制御装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
主制御機	A形	架	2.0	1.50	
	新A形	架	2.0	1.50	
	HL形	架	1.0	1.50	
	A2形	架	2.0	1.50	
	B形	架	2.0	1.50	
ユニット増設	A形	個	1.0	0.25	
	新A形	個	1.0	0.25	
	HL形	個	1.0	0.25	
	A2形	個	1.0	0.25	
	B形	個	1.0	0.25	
フリーパターン制御機能	A2形	台	1.0	1.50	
フリーパターン制御機能増設	A2形	台	2.0	1.50	

(注) ユニット増設及びフリーパターン制御機能増設は、既設装置に増設する場合に適用する。

4 施工単価入力基準表

(1) 制御装置据付 (道路表示)

施工歩掛コード	WE221101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
主制御機 A形	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)
〃 新A形	02		
〃 HL形	03		
〃 A2形	04		
〃 B形	05		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(2) 制御装置 (ユニット) 据付 (道路表示)

施工歩掛コード	WE221102	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ユニット増設	01	2個目以降による補正 (表-3)	

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(3) 制御装置文字変更 (道路表示)

施工歩掛コード	WE221103	施工単位	ブロック
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
文字変更 A形	01	2ブロック目以降による補正 (表-4)	

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(4) フリーパターン制御装置据付 (道路表示)

施工歩掛コード	WE221104	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
フリーパターン制御機能 A2形	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-5)
フリーパターン制御機能 増設 A2形	02		

(注) 1. 2台目以上据付けを行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。

2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J2)

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降の補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2個目以降の補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2ブロック目以降の補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-5 2台目以降の補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(5) 制御装置調整 (道路表示)

施工歩掛コード	WE221201	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
主制御機 A形	01	2架目以降による補正 (表-2)	
〃 新A形	02		
〃 HL形	03		
〃 A2形	04		
〃 B形	05		

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2個目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(6) 制御装置 (ユニット) 調整 (道路表示)

施工歩掛コード	WE221202	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ユニット増 A形	01	2個目以降による補正 (表-3)	
〃 新A形	02		
〃 HL形	03		
〃 A2形	04		
〃 B形	05		

表-5 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(7) フリーパターン制御装置調整 (道路表示)

施工歩掛コード	WE221203	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
フリーパターン制御機能 A2形	01	2台目以降による補正 (表-5)	
フリーパターン制御機能 増設 A2形	02		

(注) 1. 2架(個)目以上調整を行う場合、1架(個)目と2架(個)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(個)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数

## ② 道路情報表示装置設置工

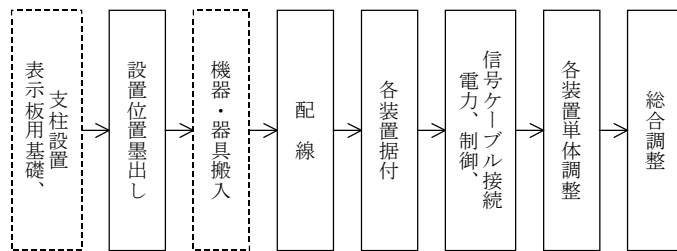
### 1 適用範囲

本資料は、道路情報表示設備の内、表示機等の設置を行う道路情報表示装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

#### 3-1 表示装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	電 工	普通作業員	トラッククレーン 賃料 (日)	ラフテレーンクレーン 賃料 (日)	摘要
表示機	A 形	面	0.5	—	3.0	2.0	0.15	—	3 連
	新 A 形	面	0.5	—	3.0	2.0	0.13	—	
	HL1 形	面	0.5	—	3.0	2.0	—	0.08	
	HL2 形	面	0.5	—	4.0	2.0	—	0.08	
	HL3 形	面	0.5	—	4.0	2.0	—	0.08	
	HL4 形	面	0.5	—	4.0	2.0	—	0.08	
	HL5 形	面	0.5	—	4.0	2.0	—	0.08	
	A2 形	面	0.5	—	4.0	2.0	0.13	—	
	B 形	面	0.5	—	3.0	2.0	0.15	—	
	NHL1 形 HLM1 形	面	0.5	—	1.5	0.5	—	0.08	
	NHL2 形 HLM2 形	面	0.5	—	1.5	0.5	—	0.08	
	NHL3 形 HLM3 形	面	0.5	—	1.5	1.0	—	0.08	
	NHL4 形 HLM4 形	面	0.5	—	2.5	1.5	—	0.08	
	NHL5 形 HLM5 形	面	0.5	—	2.5	1.5	—	0.08	
	NHL6 形 HLM6 形	面	0.5	—	2.5	1.5	—	0.08	
NHL7 形 HLM7 形	面	0.5	—	1.5	1.0	—	0.08		
副制御機	A 形	台	—	1.5	2.0	2.0	0.03	—	

- (注) 1. A 形、B 形の歩掛には、注意灯及び電源部の取付け並びに引込部を除く配管配線が含まれている。
2. HL 形、新 A 形、A2 形、NHL 形、HLM 形の本歩掛には、機側操作盤の据付け、支柱引込部を除く配管配線が含まれている。
3. 機器の基礎、表示機の架台支柱及び接地工事は別途積算とする。
4. A 形、新 A 形、A2 形、B 形据付に使用するトラッククレーンは、4.8～4.9t 吊りのトラッククレーンを標準とする。
5. HL 形、NHL 形、HLM 形据付に使用するラフテレーンクレーンは、16t 吊りを標準とする。
6. 本歩掛には、耐雷トランス、分電盤、保安器箱の据付けが含まれている。
7. 同一場所（上下線、同一門柱）、同時施工の 2 面（台）以降は、1 面（台）につき 0.7 倍とする。

3-2 表示装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
表示機	A形	面	2.0	1.00	3連
	新A形	面	2.0	1.25	
	HL1形	面	2.5	1.75	
	HL2形	面	2.5	1.75	
	HL3形	面	2.5	2.00	
	HL4形	面	2.5	2.50	
	HL5形	面	2.5	2.50	
	A2形	面	2.0	1.50	
	B形	面	1.0	0.75	
	NHL1形 HLM1形	面	1.0	1.00	
	NHL2形 HLM2形	面	1.0	1.00	
	NHL3形 HLM3形	面	1.0	1.00	
	NHL4形 HLM4形	面	1.5	1.00	
	NHL5形 HLM5形	面	1.5	1.00	
	NHL6形 HLM6形	面	1.0	1.00	
NHL7形 HLM7形	面	1.0	1.00		
副制御機	A形	台	2.0	1.50	

(注) 本歩掛は、1対向の調整が含まれている。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 道路情報表示装置据付（表示機）

施工歩掛コード	WE221301	施工単位	面			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	
表示機 A 形	01	作業内容による補正 (表-1)	2 面目以降による補正 (表-2)	トラック クレーン及び ラフテレーン クレーンの 深夜割増の区分 (表-6)	トラック クレーン及び ラフテレーン クレーンの 深夜割増率	
〃 新 A 形	02					
〃 HL1 形	03					
〃 HL2 形	04					
〃 HL3 形	05					
〃 HL4 形	06					
〃 HL5 形	07					
〃 A2 形	08					
〃 B 形	09					
〃 NHL1 形 〃 HLM1 形	10					
〃 NHL2 形 〃 HLM2 形	11					
〃 NHL3 形 〃 HLM3 形	12					
〃 NHL4 形 〃 HLM4 形	13					
〃 NHL5 形 〃 HLM5 形	14					
〃 NHL6 形 〃 HLM6 形	15					
〃 NHL7 形 〃 HLM7 形	16					

- (注) 1. 機器単体費を別途入力すること。  
 2. トラッククレーン及びラフテレーンクレーンの深夜割増率は、作業が深夜（22 時から翌 5 時）にかかる場合に入力する。同時に労務調査係数を入力する。  
 深夜にかからない場合は J3 に [1] を入力する。

$$\text{深夜割増率} = 1 + 0.3 \frac{H}{\Sigma H}$$

H : 深夜（22 時から翌 5 時）

ΣH : 総作業時間

表-6 トラッククレーン及びラフテレーンクレーンの  
深夜割増の区分

作業内容	入力番号
割 増 な し	1
割 増 あ り	2

## (2) 道路情報表示装置据付 (副制御機)

施工歩掛コード	WE221302	施工単位	台		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4
副制御機 A形	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)	トラッククレーンの深夜割増の区分 (表-6)	トラッククレーンの深夜割増率

(注) 1. 2面(台)目以上据付けを行う場合、1面(台)目と2面(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2面(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数

3. 機器単体費を別途入力すること。

## (3) 道路情報表示装置調整 (表示機)

施工歩掛コード	WE221401	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
表示機 A形	01	2面目以降による補正 (表-2)	
〃 新A形	02		
〃 HL1形	03		
〃 HL2形	04		
〃 HL3形	05		
〃 HL4形	06		
〃 HL5形	07		
〃 A2形	08		
〃 B形	09		
〃 NHL1形 〃 HLM1形	10		
〃 NHL2形 〃 HLM2形	11		
〃 NHL3形 〃 HLM3形	12		
〃 NHL4形 〃 HLM4形	13		
〃 NHL5形 〃 HLM5形	14		
〃 NHL6形 〃 HLM6形	15		
〃 NHL7形 〃 HLM7形	16		



表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(4) 道路情報表示装置調整（副制御機）

施工歩掛コード	WE221402	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
副制御機 A形	01	2台目以降による補正 (表-3)	

(注) 1. 2面（台）目以上調整を行う場合、1面（台）目と2面（台）目以降を分けて入力すること。

2. 2面（台）目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛  
 $Z$  = 補正係数

表-2 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

# 第 10 節 河川情報表示設備工

## ① 河川情報表示制御装置設置工

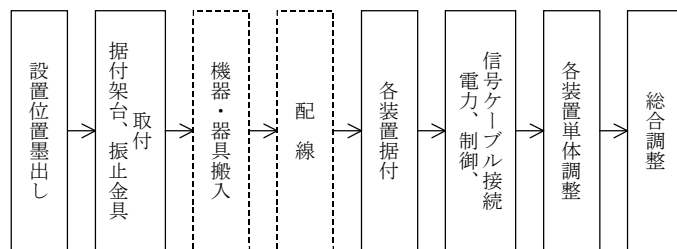
### 1 適用範囲

本資料は、河川情報表示設備の内、主制御装置等の設置を行う河川情報表示制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第 4 章第 9 節道路情報表示設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

# 第 11 節 放流警報表示設備工

## ① 放流警報表示制御装置設置工

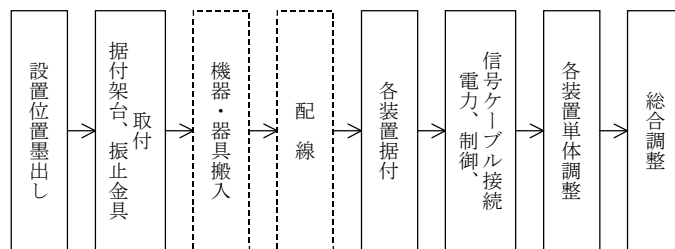
### 1 適用範囲

本資料は、放流警報表示設備の内、主制御装置等の設置を行う放流警報表示制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第 4 章第 9 節道路情報表示設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

## 第12節 トンネル防災設備工

### ① トンネル監視制御装置設置工

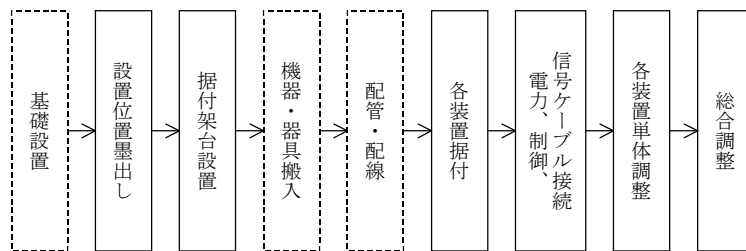
#### 1 適用範囲

本資料は、トンネル防災設備の内、CCTV 装置の設置を行うトンネル監視制御装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第5章第6節 CCTV 設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ② 付属設備操作制御装置設置工

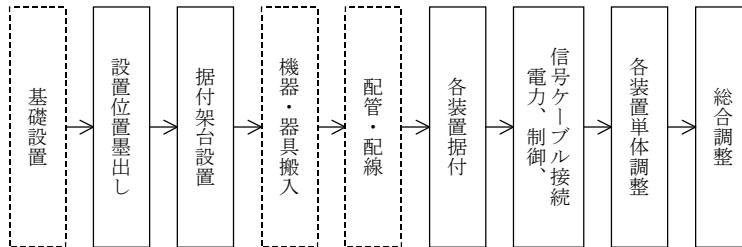
### 1 適用範囲

本資料は、トンネル防災設備の内、VI 計等のセンサー、その他の設置を行う付属設備操作制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 付属設備据付

作業種別	細別規格	単位	技術員	電工	普通作業員	摘要
V I 計	受光	台	1.5	1.6	0.8	
	投光	台	1.0	1.6	0.8	
C 0 計		台	1.5	1.6	0.8	
風向風速計		台	1.5	1.6	0.8	

(注) 本作業種別以外の歩掛は、「第4章第2節③テレメータ観測局装置設置工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-2 付属設備調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
V I 計	受光	台	0.5	1.0	
	投光	台	0.5	1.0	
C 0 計		台	0.5	1.0	
風向風速計		台	0.5	1.0	

(注) 本作業種別以外の歩掛は、「第4章第2節③テレメータ観測局装置設置工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) トンネル換気制御装置（付属設備）据付

施工歩掛コード	WE224100	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
VI 計受光	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-2)
VI 計投光	02		
CO 計	03		
風向風速計	04		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (2) トンネル換気制御装置（付属設備）調整

施工歩掛コード	WE224200	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
VI 計受光	01	2 台目以降による補正 (表-2)	
VI 計投光	02		
CO 計	03		
風向風速計	04		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

# 第13節 非常警報設備工

## ① 非常警報装置設置工

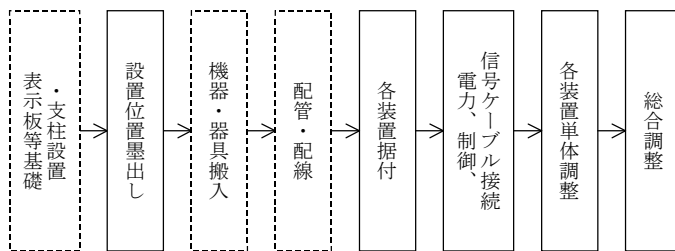
### 1 適用範囲

本資料は、トンネルの非常警報装置を設置する非常警報装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 非常警報受信装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	電工	普通作業員	摘要
受信制御機		面	0.5	—	2.0	1.0	
監視盤		面	—	0.25	—	—	
モニタ盤		面	—	0.25	—	—	
火災受信機		面	0.5	—	2.0	1.0	
受信制御機		ユニット	—	0.25	—	—	監視制御部増設

#### 3-2 非常警報受信装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
受信制御機		面	1.00	1.00	
監視盤		面	—	0.25	
モニタ盤		面	—	0.25	
火災受信機		面	3.00	2.00	
受信制御機		ユニット	0.25	0.25	監視制御部増設

#### 3-3 非常警報主制御装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
制御機		面	0.5	2.0	1.0	

3-4 非常警報主制御装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
制御機		面	3.0	2.0	

3-5 非常警報副制御装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	普通作業員	摘要
制御機		面	0.5	2.0	1.0	

3-6 非常警報副制御装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
制御機		面	0.3	2.0	

3-7 押しボタン式通報装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術員	電工	普通作業員	摘要
押しボタン発信機		台	0.25	0.2	0.5	

3-8 押しボタン式通報装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術員	摘要
押しボタン発信機		台	0.25	

3-9 警報表示板据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	電工	普通作業員	摘要
表示機		面	0.5	—	2.0	1.0	

3-10 警報表示板調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
表示機		面	1.00	0.75	

3-11 誘導表示板（内照式）据付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
誘導表示板		面	0.25	0.50	

(注) 反射式については、「第4章第13節①非常警報装置設置工 3-12 非常電話案内板据付」による。

3-12 非常電話案内板据付

作業種別	細別規格	単位	電工	摘要
非常電話案内板		面	0.1	



3-13 付属設備取付

作業種別	細別規格	単位	電工	普通作業員	摘要
非常電話機		台	0.20	0.50	
火災検知器		台	0.04	—	
消火器		台	—	0.02	
消火器収納箱		台	—	0.50	

4 施工単価入力基準表

(1) 非常警報受信装置据付

施工歩掛コード	WE223101	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
受信制御機	01	作業内容による補正 (表-1)	2面目以降による補正 (表-2)
監視盤	02		
モニタ盤	03		
火災受信機	04		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(2) 非常警報受信装置（ユニット増設）据付

施工歩掛コード	WE223102	施工単位	ユニット
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
受信制御機 監視制御部増設	01	2ユニット目以降による補正 (表-3)	

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(3) 非常警報制御装置据付

施工歩掛コード	WE223103	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
主制御装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2面目以降による補正 (表-2)
副制御装置	02		
警報表示板	03		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(4) 通報装置・非常警報付属設備取付 1

施工歩掛コード	WE223104	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
押しボタン式通報装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-4)
非常電話機	02		
火災検知器	03		
消火器	04		
消火器収納箱	05		

(注) 機器単体費及び機械経費は、別途入力する。

(5) 通報装置・非常警報付属設備取付 2

施工歩掛コード	WE223105	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
誘導表示板	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-4)
非常電話案内板	02		

(注) 機器単体費及び機械経費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2 ユニット目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(6) 非常警報受信装置調整

施工歩掛コード	WE223201	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
受信制御機	01	2面目以降による補正 (表-2)	
監視盤	02		
モニタ盤	03		
火災受信機	04		

(7) 通報装置調整

施工歩掛コード	WE223202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
押しボタン式通報装置	01	2台目以降による補正 (表-3)	

(8) 非常警報制御装置調整

施工歩掛コード	WE223203	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
主制御装置	01	2面目以降による補正 (表-2)	
副制御装置	02		
警報表示板	03		

(9) 非常警報受信装置（ユニット増設）調整

施工歩掛コード	WE223204	施工単位	ユニット
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
受信制御機 監視制御部増設	01	2ユニット目以降による補正 (表-4)	

表-2 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-4 2ユニット目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

# 第14節 ラジオ再放送設備工

## ① ラジオ再放送装置設置工

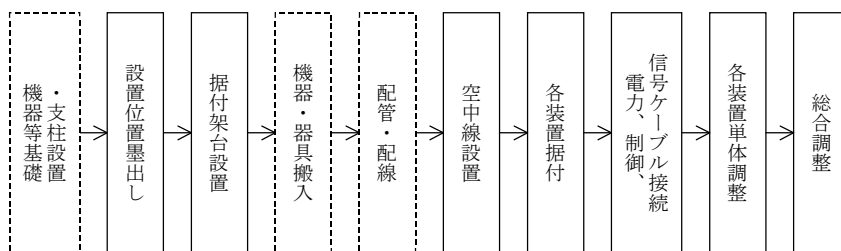
### 1 適用範囲

本資料は、トンネル内のラジオ再放送設備の設置を行うラジオ再放送装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 受信アンテナ据付

作業種別	細別規格	単位	技術員	摘要
受信アンテナ		基	1.5	

#### 3-2 受信アンテナ調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
受信アンテナ		基	0.5	0.5	

(注) 本歩掛は、AM、FM 放送に適用する。

#### 3-3 受信装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
受信装置		架	1.0	2.0	

#### 3-4 受信装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
受信装置		架	0.5	0.5	

(注) 本歩掛は3波を標準とし、これを超える場合は、1波増設毎に0.1倍とする。

## 3-5 放送装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
放送装置		架	1.0	2.0	
操作器		台	0.5	0.5	

## 3-6 放送装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
放送装置		架	0.5	0.5	

(注) 本歩掛は3波を標準とし、これを超える場合は、1波増設毎に0.1倍とする。

## 3-7 付属機器取付

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
接続箱	LCX用	個	0.5	
整合器		個	0.5	
終端抵抗器		個	0.5	

## 3-8 総合調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
放送装置		式	0.5	0.5	

## 3-9 放送装置増設(事務所)

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
増設架設置	1,000mm未満	架	1.00	1.00	架、機器込み
増設架設置	1,000mm以上	架	1.00	2.00	架、機器込み
増設機器設置	ユニット	台	—	0.30	機器のみ

- (注) 1. 増設架設置には、マーキング、架台、振止取付及び、軽微な配線を含む。  
 2. 増設架とは、制御装置、操作卓等とする。  
 3. 増設機器とは、線路増幅部、遠方監視制御部、音声メモリ部等とする。

## 3-10 放送装置調整(事務所)

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
増設機器調整	ユニット	台	0.50	

(注) 増設機器とは、線路増幅部、遠方監視制御部、音声メモリ部等とする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) ラジオ再放送用受信アンテナ据付

施工歩掛コード	WE330100	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
受信アンテナ	01	作業内容による補正 (表-1)	2基目以降による補正 (表-2)

(注) 1. 2基目以上据付けを行う場合、1基目と2基目以降を分けて入力すること。

2. 2基目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X = Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛  
 $Z$  = 補正係数 (J2)

3. 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(2) ラジオ再放送用受信アンテナ調整

施工歩掛コード	WE330200	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
受信アンテナ	01	2基目以降による補正 (表-2)	

(3) ラジオ再放送用受信装置据付

施工歩掛コード	WE330300	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
受信装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-4)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(4) ラジオ再放送用受信装置調整

施工歩掛コード	WE330400	施工単位	架	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
受信装置	01	2架目以降による補正 (表-4)	4波以降による補正 (表-3)	受信波数 (波)

- (注) 1. 入力条件 J2 で [2] を入力した場合は、J3 に受信周波数の総数を入力する。  
 2. 入力条件 J2 で [1] を入力した場合は、J3 は無入力とする。  
 3. 2架(基)目以上調整を行う場合、1架(基)目と2架(基)目以降を分けて入力すること。  
 4. 2架(基)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

表-2 2基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 4波以上による補正

作業内容	入力番号
補正なし	1
補正あり	2

表-4 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## (5) ラジオ再放送用放送装置据付

施工歩掛コード	WE330501	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
放送装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-4)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

## (6) ラジオ再放送用操作器据付

施工歩掛コード	WE330502	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
操作器	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-5)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

## (7) ラジオ再放送用放送装置調整

施工歩掛コード	WE330600	施工単位	架	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
放送装置	01	2架目以降による補正 (表-4)	4波以降による補正 (表-3)	放送波数 (波)

## (8) ラジオ再放送用付属機器取付

施工歩掛コード	WE330700	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
接続箱	01	作業内容による補正 (表-1)	
整合器	02		
終端抵抗器	03		

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2基目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## (9) ラジオ再放送装置総合調整

施工歩掛コード	WE330800	施工単位	式
施工区分			
作業種別	規格番号		
総合調整	01		

表-3 4波以上による補正

作業内容	入力番号
補 正 な し	1
補 正 あ り	2

表-4 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2



(10) ラジオ再放送用放送装置増設

施工歩掛コード	WE330901	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
増設架 1000mm 未満	01	2 架目以降による補正 (表-4)	
増設架 1000mm 以上	02		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(11) ラジオ再放送用放送装置増設 (ユニット)

施工歩掛コード	WE330902	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
増設ユニット	01	2 台目以降による補正 (表-5)	

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(12) ラジオ再放送用放送装置調整 (ユニット)

施工歩掛コード	WE330903	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
増設ユニット	01	2 台目以降による補正 (表-5)	

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不 使用)	0.5	2
撤去 (再 使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-4 2 架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-5 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## ② 緊急放送装置設置工

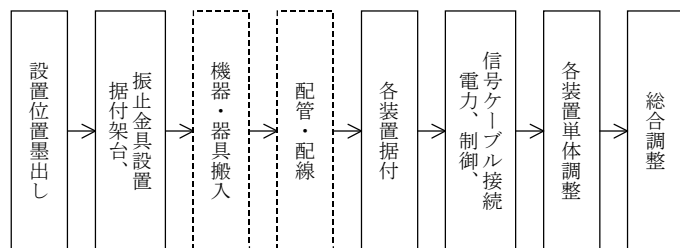
### 1 適用範囲

本資料は、ラジオ再放送設備の内、緊急割り込み放送のための緊急放送装置の設置を行う緊急放送装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛、は「第4章第14節①ラジオ再放送装置設置工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

# 第 15 節 トンネル無線補助設備工

## ① トンネル無線補助設備設置工

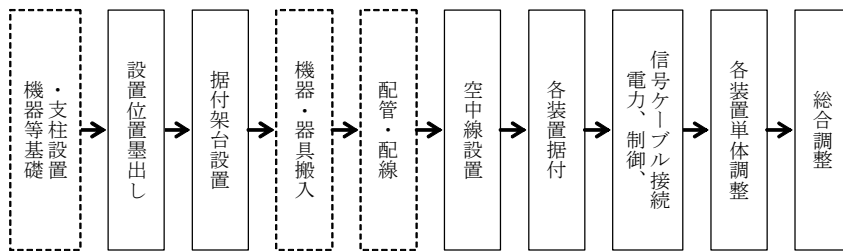
### 1 適用範囲

本資料は、トンネル内の漏洩同軸ケーブルその他の無線補助装置の設置を行うトンネル無線補助設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内各装置間の各種ケーブルの敷設を含む。ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 無線補助装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
中継増幅装置	LCX	架	1.0	2.0	
	光方式	架	1.0	2.0	
端末中継装置	光方式	台		0.5	

#### 3-2 無線補助装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
中継増幅装置	LCX	架	2.0	
	光方式	架	2.0	(注) 1
	光方式	方路	0.5	(注) 2
端末中継装置	光方式	台	0.5	

(注) 1. 光中継増幅装置の基本部及び光端末中継装置用 2 方路までの E/0、0/E の調整を含む。

2. 光端末中継装置用方路数が 2 方路を越える 1 方路当たりの E/0、0/E の調整とする。

#### 3-3 空中線据付

本作業種別の歩掛は、「第 4 章第 2 節①テレメータ監視局装置設置工 3-5 テレメータ用空中線据付」による。

### 3-4 空中線調整

本作業種別の歩掛は、「第4章第2節①テレメータ監視局装置設置工 3-6 テレメータ用空中線調整」による。

### 3-5 給電線布設

本作業種別の歩掛は、「第2章第1節①配管・配線工」による。

## 4 施工単価入力基準表

### (1) 無線補助装置（中継増幅装置）据付

施工歩掛コード	WE331101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
中継増幅装置 (LCX用)	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)
中継増幅装置 (光方式用)	02		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

### (2) 無線補助装置（端末中継装置）据付

施工歩掛コード	WE331102	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
端末中継装置 (光方式用)	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(3) 無線補助装置（中継増幅装置）調整

施工歩掛コード	WE331201	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
中継増幅装置 (LCX用)	01	2架目以降による補正 (表-2)	
中継増幅装置 (光方式用)	02		

(4) 無線補助装置（中継増幅方路）調整

施工歩掛コード	WE331202	施工単位	方路
施工区分			
作業種別	規格番号		
中継増幅装置 方路調整	01		

(5) 無線補助装置（端末中継装置）調整

施工歩掛コード	WE331203	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
端末中継装置 (光方式用)	01	2台目以降による補正 (表-3)	

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

# 第 16 節 路側通信設備工

## ① 路側通信制御装置設置工

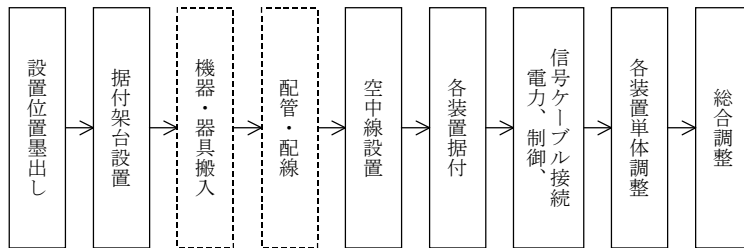
### 1 適用範囲

本資料は、路側通信設備の制御装置等の設置を行う路側通信制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第 4 章第 14 節①ラジオ再放送装置設置工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

# 第 17 節 道路防災設備工

## ① 交通遮断装置設置工

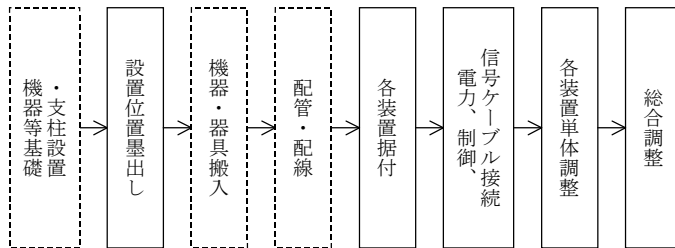
### 1 適用範囲

本資料は、交通遮断機等の設置を行う交通遮断装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 交通遮断機据付

作業種別	単位	技術員	電工	普通作業員	トラッククレーン賃料(日)	摘要
遮断機、駆動部	台	—	0.50	1.00	0.06	
制御機	台	0.25	0.50	0.50		
制御機遠隔操作の場合	台	0.50	0.50	0.50		

(注) 1. 遮断機は、片側(1箇所)に適用する。  
2. トラッククレーンは4.8~4.9t吊りを標準とする。

#### 3-2 交通遮断機調整

作業種別	単位	技術者	技術員	摘要
制御機	台	0.50	0.25	
制御機遠隔操作の場合	台	1.00	0.50	

3-3 予告板・標識等据付

作業種別	単位	技術員	電工	普通作業員	トラッククレーン 賃料(日)	高所作業車 運転時間(h)
表示機	面	0.75	0.50	1.00	0.13	1.00
規制標識	面	0.35	0.25	0.50	0.06	—
制御機	台	0.25	0.50	0.50	—	—
制御機 遠隔操作の場合	台	0.50	0.50	0.50	—	—

- (注) 1. 高所作業車は、点検用足場付支柱に取付ける場合は適用しない。  
2. トラッククレーンは4.8～4.9t吊りを標準とする。

3-4 予告板・標識等調整

作業種別	単位	技術者	技術員	摘要
表示機	面	1.00	0.75	
規制標識	面	0.50	0.35	
制御機	台	0.50	0.25	
制御機 遠隔操作の場合	台	1.00	0.50	

3-5 交通信号装置据付

作業種別	細別規格	単位	電工	高所作業車 運転時間(h)	摘要
制御機	各種	台	4.00	—	
車両灯器	両面用	台	1.20	0.90	
	片面用	台	0.88	0.90	
歩行者灯器		台	0.62	—	

- (注) 1. 支柱建柱、端子箱据付、ケーブル配線は、別途積算とする。  
2. 灯具取付に高所作業車を使用しない場合は、本歩掛の2倍とする。  
3. 高所作業車は、12～13mを標準とする。

3-6 交通信号装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術員	電工	摘要
制御機	各種	台	1.00	1.00	
車両灯器	両面用	台	—	0.50	
	片面用	台	—	0.25	
歩行者灯器		台	—	0.25	



#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 交通遮断機据付

施工歩掛コード	WE225300	施工単位	台			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	
遮断機・駆動部	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)	トラッククレーンの深夜割増の区分 (表-3)	トラッククレーンの深夜割増率	
制御機	02					
制御機 遠隔操作の場合	03					

(注) 1. 機器単体費は、別途入力する。

2. トラッククレーンの深夜割増率は、作業が深夜（22時から翌5時）にかかる場合に入力する。同時に労務費調整係数も入力する。深夜にかからない場合はJ3に[1]を入力する。

$$\text{夜間割増率} = 1 + 0.3 \frac{H}{\Sigma H}$$

H : 深夜（22時から翌5時）

ΣH : 総作業時間

##### (2) 交通遮断機調整

施工歩掛コード	WE225400	施工単位	台			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1				
制御機	01	2台目以降による補正 (表-2)				
制御機 遠隔操作の場合	02					

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 トラッククレーンの深夜割増の区分

作業内容	入力番号
補 正 な し	1
補 正 あ り	2

## (3) 予告板・標識等据付

施工歩掛コード	WE225101	施工単位	面			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	J5
表示機	01	作業内容による補正 (表-1)	2 面目以降による補正 (表-3)	トラックレーンの深夜割増の区分 (表-4)	トラックレーンの深夜割増率	高所作業車使用の有無 (表-5)
規制標識	02					

施工歩掛コード	WE225102	施工単位	台		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2		
制御機	01	作業内容による補正 (表-1)	2 台目以降による補正 (表-2)		
制御機 遠隔操作の場合	02				

- (注) 1. 機器単体費は、別途入力する。  
 2. トラックレーンの深夜割増率は、作業が深夜 (22 時から翌 5 時) にかかる場合に入力する。同時に労務費調整係数も入力する。深夜にかからない場合は J3 に [1] を入力する。

$$\text{夜間割増率} = 1 + 0.3 \frac{H}{\Sigma H}$$

H : 深夜 (22 時から翌 5 時)

ΣH : 総作業時間

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 トラックレーンの深夜割増の区分

作業内容	入力番号
割 増 な し	1
割 増 あ り	2

表-3 2 面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-5 高所作業車使用の有無

作業内容	入力番号
使 用 し な い	1
使 用 す る	2

(4) 予告板・標識等調整

施工歩掛コード	WE225201	施工単位	面
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
表示機	01	2面目以降による補正 (表-3)	
規制標識	02		

施工歩掛コード	WE225202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
制御機	01	2台目以降による補正 (表-2)	
制御機 遠隔操作の場合	02		

(5) 交通信号装置据付

施工歩掛コード	WE227100	施工単位	台	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
車両灯器両面用	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)	高所作業車使用の有無 (表-4)
車両灯器片面用	02			
歩行者灯器	03			
制御機各種	04			

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

(6) 交通信号装置調整

施工歩掛コード	WE227200	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
車両灯器両面用	01	2台目以降による補正 (表-2)	
車両灯器片面用	02		
歩行者灯器	03		
制御機各種	04		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-3 2面目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 高所作業車使用の有無

作業内容	入力番号
使 用 し な い	1
使 用 す る	2

## ② 交通流車両観測装置設置工

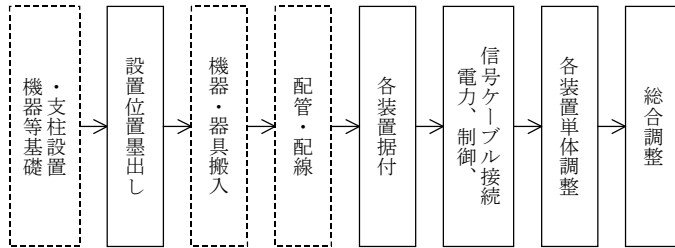
### 1 適用範囲

本資料は、交通流の観測を行う観測装置等の設置を行う交通流車両観測装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 車両感知装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術員	電工	普通作業員	摘要
送信装置		台	1.0	—	—	
受信装置		台	1.0	—	—	
車両感知器		台	—	0.8	0.8	
超音波ヘッド		台	—	0.2	—	
ループコイル		組	—	1.0	0.5	

#### 3-2 車両感知装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	電工	摘要
送信装置		台	1.0	—	
受信装置		台	2.5	—	
受信ユニット増設		CH	0.2	—	
車両感知器		台	1.5	0.8	
超音波ヘッド		台	0.5	0.5	
ループコイル		組	0.5	—	

(注) 受信ユニット増設は、既設装置のユニット増設に適用する。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 車両感知装置据付

施工歩掛コード	WE226601	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
送信装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)
受信装置	02		
車両感知器	03		
超音波ヘッド	04		

施工歩掛コード	WE226602	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
ループコイル	01	作業内容による補正 (表-1)	2組目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費及び機械経費は、別途入力する。

##### (2) 車両感知装置調整

施工歩掛コード	WE226701	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
送信装置	01	2台目以降による補正 (表-2)	
受信装置	02		
車両感知器	03		
超音波ヘッド	04		

施工歩掛コード	WE226703	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ループコイル	01	2組目以降による補正 (表-3)	

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2組目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(3) 車両感知装置調整 (受信ユニット増設)

施工歩掛コード	WE226702	施工単位	CH
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
受信ユニット増設	01	2CH目以降による補正 (表-4)	

表-4 2CH目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

### ③ 路車間通信装置設置工

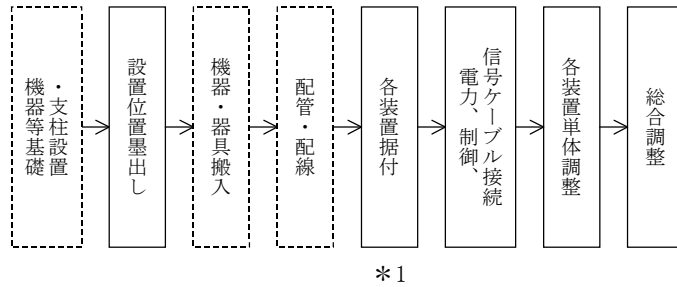
#### 1 適用範囲

本資料は、路車間通信を行うためのビーコンその他の機器の設置を行う路車間通信装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。

#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ④ 交通遮断装置基礎工

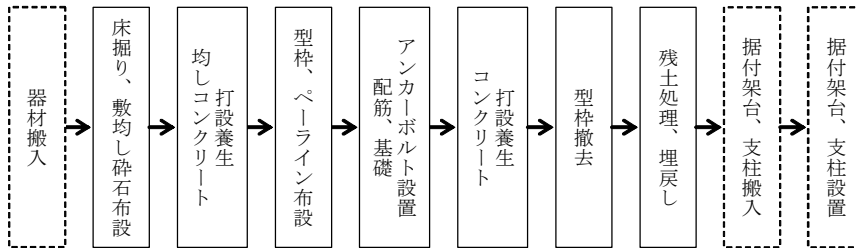
### 1 適用範囲

本資料は、交通遮断装置等の基礎の設置を行う交通遮断装置基礎工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。



# 第 18 節 施設計測・監視制御設備工

## ① 路面凍結検知装置設置工

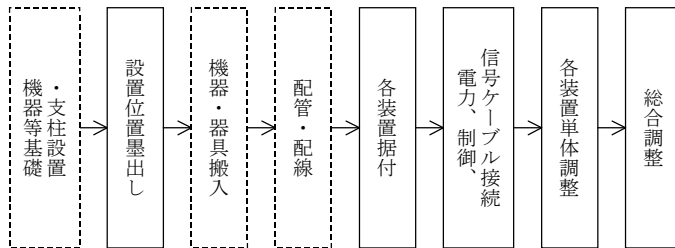
### 1 適用範囲

本資料は、路面凍結検知装置の設置を行う路面凍結検知装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 路面凍結検知装置据付

作業種別	単位	技術者	技術員	電工	普通作業員	トラッククレーン 賃料(日)	摘要
監視装置	台	1.00	2.00	—	—	—	
観測装置	台	1.00	1.00	—	—	—	
センサー	組	—	0.20	—	—	—	
表示装置	台	—	0.75	0.50	1.00	0.13	
ユニット増設	個	—	0.12	—	—	—	

- (注) 1. 本歩掛には、機側操作盤の据付け等及び引込部を除く配管配線が含まれる。  
2. 機器の基礎並びに表示機の架台又はオーバーハング柱の建柱は別途積算とする。  
3. ユニット増設は、既設装置にユニットを増設した場合に適用する。  
4. トラッククレーンは 4.8～4.9t 吊りを標準とする。

3-2 路面凍結検知装置調整

作業種別	単位	技術者	技術員	摘要
監視装置	台	1.00	1.00	
観測装置	台	1.00	0.75	
センサー	組	—	0.20	
表示装置	台	1.00	0.75	
ユニット増設	個	0.50	0.12	

- (注) 1. 本歩掛には、1対向の調整が含まれている。  
 2. ユニット増設は、既設装置にユニットを増設した場合に適用する。

4 施工単価入力基準表

(1) 路面凍結検知装置据付

施工歩掛コード	WE226101	施工単位	台			
施工区分		入力条件				
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4	
監視装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)	トラッククレーンの 深夜割増の区分 (表-3)	トラッククレーンの 深夜割増率	
観測装置	02					
表示装置	03					

- (注) 1. 機器単体費は、別途入力する。  
 2. トラッククレーンの深夜割増率は、作業が深夜（22時から翌5時）にかかる場合に入力する。同時に労務費調整係数も入力する。深夜にかからない場合はJ3に「1」を入力する。

$$\text{夜間割増率} = 1 + 0.3 \frac{H}{\Sigma H}$$

H : 深夜（22時から翌5時）

ΣH : 総作業時間

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 トラッククレーン深夜割増の区分

作業内容	入力番号
割 増 な し	1
割 増 あ り	2

## (2) 路面凍結検知装置据付 (センサー)

施工歩掛コード	WE226102	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
センサー	01	作業内容による補正 (表-1)	2組目以降による補正 (表-4)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

## (3) 路面凍結検知装置据付 (ユニット増設)

施工歩掛コード	WE226103	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ユニット増設	01	2個目以降による補正 (表-5)	

(注) 機器単体費は、別途入力する。

## (4) 路面凍結検知装置調整

施工歩掛コード	WE226201	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
監視装置	01	2台目以降による補正 (表-2)	
観測装置	02		
表示装置	03		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

## (5) 路面凍結検知装置調整 (センサー)

施工歩掛コード	WE226202	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
センサー	01	2組目以降による補正 (表-4)	

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## (6) 路面凍結検知装置調整 (ユニット増設)

施工歩掛コード	WE226203	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ユニット増設	01	2個目以降による補正 (表-5)	

表-4 2組目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-5 2個目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## ② 積雪深計測装置設置工

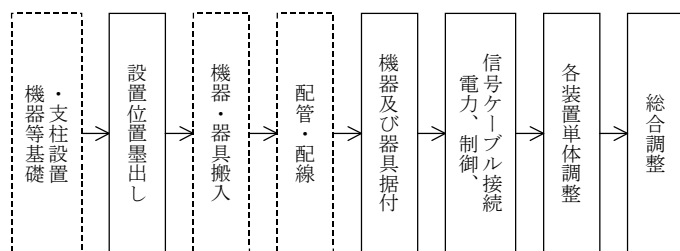
### 1 適用範囲

本資料は、積雪深計測装置の設置を行う積雪深計測装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第4章第18節①路面凍結検知装置設置工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

### ③ 気象観測装置設置工

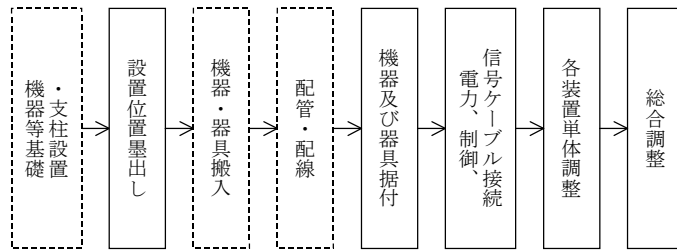
#### 1 適用範囲

本資料は、気象観測装置の設置を行う気象観測装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第4章第18節①路面凍結検知装置設置工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ④ 地震データ集配信制御設備設置工

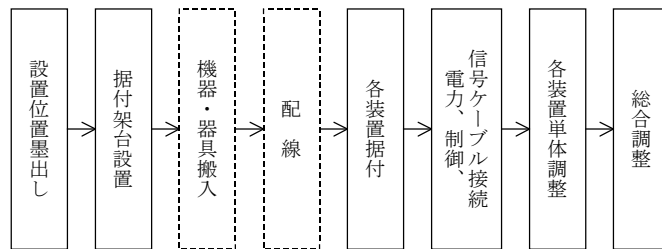
### 1 適用範囲

本資料は、地震情報システムの内、集配信制御設備の設置を行う地震データ集配信制御設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑤ 地震データ通信制御設備設置工

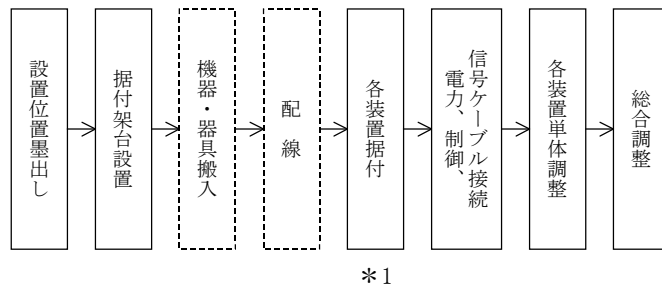
### 1 適用範囲

本資料は、地震情報システムの内、通信制御設備の設置を行う地震データ通信制御設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑥ 強震計測装置設置工

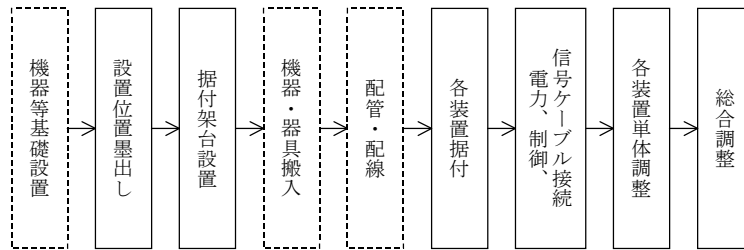
### 1 適用範囲

本資料は、地震情報システムの内、強震計等の設置を行う強震計測装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第4章第18節①路面凍結検知装置設置工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。



## ⑦ 土石流監視制御装置設置工

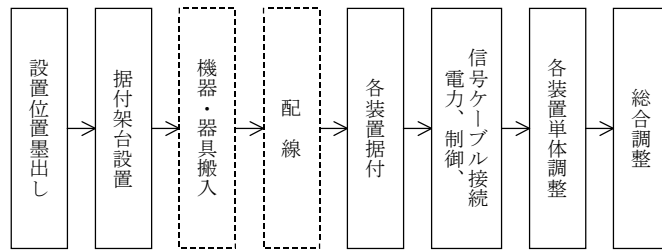
### 1 適用範囲

本資料は、土石流監視システムの諸装置設置を行う土石流監視制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第4章第18節①路面凍結検知装置設置工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ⑧ 路面冠水検知装置設置工

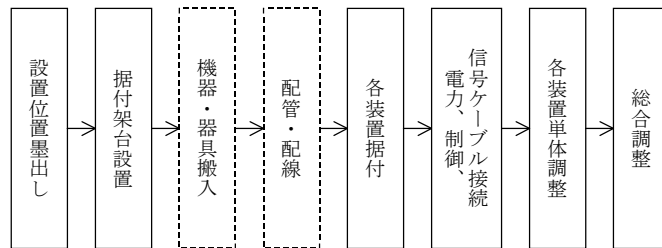
### 1 適用範囲

本資料は、路面の冠水を検知する諸装置の設置を行う路面冠水検知装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1は、同一室内の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第4章第18節①路面凍結検知装置設置工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

# 第 19 節 通信鉄塔・反射板設備工

## ① 通信用鉄塔設置工

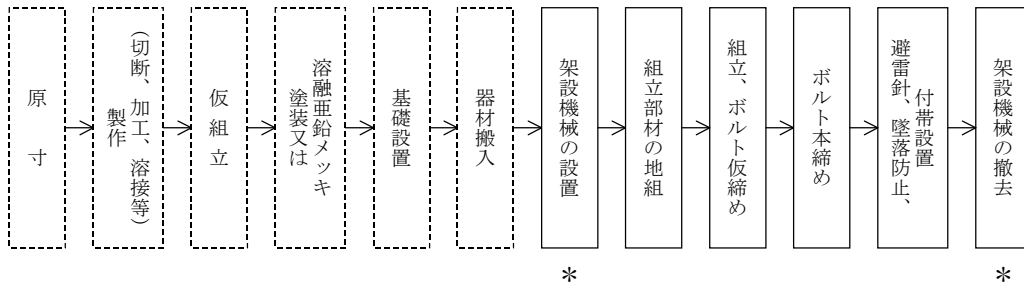
### 1 適用範囲

本資料は、通信用鉄塔設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*機械施工の場合対象となる。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 通信用鉄塔架設

作業種別	細別規格	単位	鉄骨工	とび工	普通作業員	摘要
鋼管	人力施工	t	3.7	3.1	0.4	
	機械施工	t	1.3	1.1	0.2	
形鋼	人力施工	t	3.0	3.4	0.8	
	機械施工	t	1.0	1.1	0.4	

- (注) 1. 基礎は、土木工事標準歩掛による。  
 2. クレーン車は、「第IV編第7章③鋼橋架設工」による。  
 3. 本歩掛以外の作業種別については、必要に応じ別途積上げ計上する。  
 4. 撤去は、再使用しない場合においても、本歩掛の0.5倍とする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 通信用鉄塔架設

施工歩掛コード	WE326100	施工単位	t
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
鋼管 入力施工	01	作業内容による補正 (表-1)	
〃 機械施工	02		
形鋼 入力施工	03		
〃 機械施工	04		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤 去	0.5	2

(注) 機械経費等は、別途入力する。

##### (2) 鉄塔・支持鉄塔製作

施工歩掛コード	WE326200	施工単位	t
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
アングルトラス	01	1t 当たりの 基準単価 (円/t)	総重量 (t)
パイプトラス・ラーメン	02		
シリンダー	03		

(注) 管理費区分「5」を設定している。

##### (3) 規格エキストラ

施工歩掛コード	WE326300	施工単位	t
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
規格エキストラ	01	1t 当たりの 規格エキストラ (円/t)	

(注) 管理費区分「5」を設定している。

##### (4) 溶融亜鉛メッキ

施工歩掛コード	WE326400	施工単位	t
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
溶融亜鉛メッキ	01	1t 当たりの 溶融亜鉛メッキ (円/t)	

(注) 管理費区分「2」を設定している。

## ② 反射板設置工

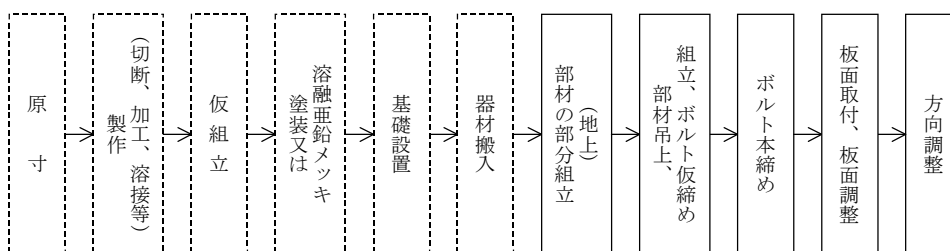
### 1 適用範囲

本資料は、反射板設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

#### 3-1 反射板架設

作業種別	細別規格	単位	鉄骨工	とび工	普通作業員	摘要
形 鋼	人力施工	t	3.0	3.4	0.8	

- (注) 1. 基礎は、土木工事標準歩掛による。  
 2. クレーン運搬については、「第IV編第7章③鋼橋架設工」による。  
 3. 撤去は、再使用しない場合においても、本歩掛の0.5倍とする。  
 4. 本作業種別以外の歩掛については、必要に応じ別途積上げ計上する。

#### 3-2 反射板調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	測量技師	摘要
反 射 板	3× 3m	基	3.0	3.0	1.5	
	3× 4m	基	3.5	3.5	2.0	
	4× 6m	基	4.5	4.5	2.5	
	6× 8m	基	5.5	5.5	3.0	
	8× 8m	基	6.0	6.0	3.5	
	10× 10m	基	7.0	7.0	4.0	

- (注) 2枚反射の場合は、本歩掛の1.7倍とする。

3-3 ヘリコプタ空輸費

$$F_f = P_f \times D_f / S_f$$

$F_f$  : ヘリコプタ空輸費 (円)

$P_f$  : 空輸料金 (円/h)

$D_f$  : 1 回当りの空輸往復距離 (km)

$S_f$  : 空輸速度 (km/h)

3-4 ヘリコプタ作業費

$$F_c = P_c \times W_t / W_a \times T_c / 60$$

$F_c$  : ヘリコプタ作業費 (円)

$P_c$  : 貸切料金 (円/h)

$W_t$  : 輸送総重量 (t)

$W_a$  : 1 回当りの平均積載重量 (t/回)

$T_c$  : 1 回当りの作業飛行時間 (min/回)

3-5 ヘリ小空輸費

$$F_{sf} = P_{sf} \times D_{sf} / S_{sf}$$

$F_{sf}$  : ヘリ小空輸費 (円)

$P_{sf}$  : 小空輸料金 (円/h)

$D_{sf}$  : 1 回当りの小空輸往復距離 (km)

$S_{sf}$  : 小空輸速度 (km/h)

3-6 ヘリ調査飛行費

$$F_r = P_r \times T_t / 60 \times T_n$$

$F_r$  : ヘリ調査飛行費 (円)

$P_r$  : 調査飛行料金 (円/h)

$T_t$  : 1 回当りの調査飛行時間 (min)

$T_n$  : 調査飛行回数 (回)

3-7 ヘリ整備空輸費

$$F_{ef} = P_{ef} \times D_{ef} / S_{ef}$$

$F_{ef}$  : ヘリ整備空輸費 (円)

$P_{ef}$  : 整備空輸料金 (円/h)

$D_{ef}$  : 1 回当りの整備往復距離 (km)

$S_{ef}$  : 整備空輸速度 (km/h)

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 反射板架設

施工歩掛コード	WE327100	施工単位	t
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
形鋼 人力施工	01	作業内容による補正 (表-1)	

##### (2) 反射板調整

施工歩掛コード	WE327200	施工単位	基
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
3 × 3m	01	2枚反射による補正 (表-2)	
3 × 4m	02		
4 × 6m	03		
6 × 8m	04		
8 × 8m	05		
10 × 10m	06		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤 去	0.5	2

表-2 2枚反射による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	1.7	2

##### (3) ヘリコプタ空輸費

施工歩掛コード	WE327300	施工単位	回	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
ヘリコプタ空輸費	01	1回当りの 空輸往復距離 (km)	空輸速度 (km/h)	空輸料金 (円/h)

(注) 管理費区分「9」を設定している。

##### (4) ヘリコプタ作業費

施工歩掛コード	WE327400	施工単位	式		
施工区分		入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3	J4
ヘリコプタ作業費	01	1回当りの 作業飛行 時間 (min/回)	輸送 総重量 (t)	1回当りの 平均積載 重量 (t/回)	貸切料金 (円/h)

(注) 管理費区分「9」を設定している。

## (5) ヘリ小空輸費

施工歩掛コード	WE327500	施工単位	式	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
ヘリ小空輸費	01	1回当りの 小空輸往復距離 (km)	小空輸速度 (km/h)	小空輸料金 (円/h)

(注) 管理費区分「9」を設定している。

## (6) ヘリ調査飛行費

施工歩掛コード	WE327600	施工単位	式	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
ヘリ調査飛行費	01	1回当りの 調査飛行時間 (min/回)	調査飛行回数 (回)	調査飛行料金 (円/h)

(注) 管理費区分「9」を設定している。

## (7) ヘリ整備空輸費

施工歩掛コード	WE327700	施工単位	式	
施工区分		入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
ヘリ整備空輸費	01	1回当りの 整備往復距離 (km)	整備空輸速度 (km/h)	整備空輸料金 (円/h)

(注) 管理費区分「9」を設定している。



### ③ 鉄塔基礎工

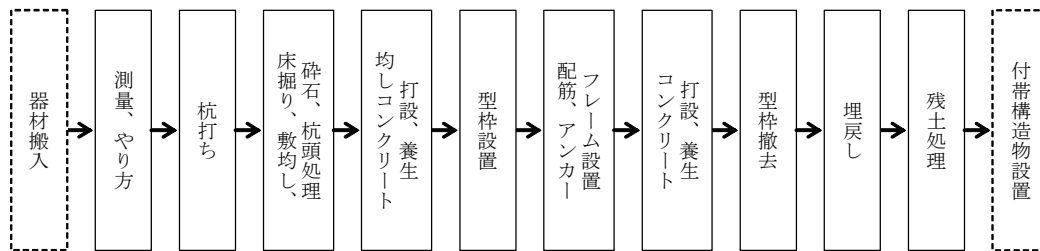
#### 1 適用範囲

本資料は、通信用鉄塔の基礎の設置を行う鉄塔基礎工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

## ④ 反射板基礎工

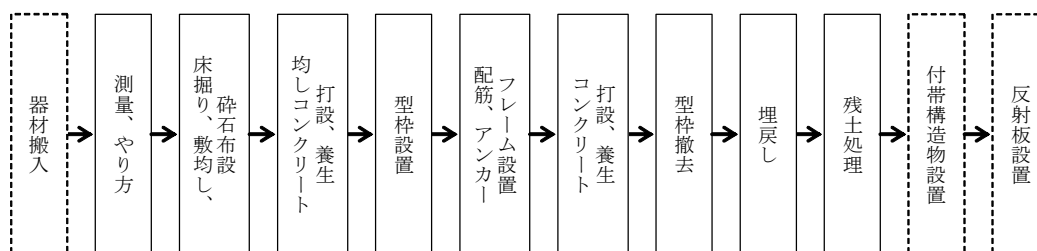
### 1 適用範囲

本資料は、反射板の基礎の設置を行う反射板基礎工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「土木工事標準歩掛」による。

# 第5章 電子応用設備

## 第1節 共通設備工

① 各種情報設備設置工	VIII-5-1
1 適用範囲	VIII-5-1
2 施工概要	VIII-5-1
3 標準歩掛	VIII-5-2
3-1 各種情報設備据付	VIII-5-2
3-2 各種情報設備調整	VIII-5-2
4 施工単価入力基準表	VIII-5-3
② IPネットワーク設備設置工	VIII-5-6
1 適用範囲	VIII-5-6
2 施工概要	VIII-5-6
3 標準歩掛	VIII-5-6
3-1 IPネットワーク装置据付	VIII-5-6
3-2 IPネットワーク装置調整	VIII-5-6
4 施工単価入力基準表	VIII-5-7

## 第2節 ダム・堰諸量設備工

① ダム・堰諸量装置設置工	VIII-5-8
---------------	----------

1 適用範囲	VIII-5-8
2 施工概要	VIII-5-8
3 標準歩掛	VIII-5-8
② ダム・堰放流設備制御装置設置工	VIII-5-9
1 適用範囲	VIII-5-9
2 施工概要	VIII-5-9
3 標準歩掛	VIII-5-9
3-1 ダム・堰放流設備制御装置 据付	VIII-5-9
3-2 ダム・堰放流設備制御装置 調整	VIII-5-10
3-3 ダム・堰放流設備制御装置 総合調整	VIII-5-10
4 施工単価入力基準表	VIII-5-11

## 第3節 レーダ雨（雪）量計設備工

① レーダ中央処理局装置設置工	VIII-5-14
1 適用範囲	VIII-5-14
2 施工概要	VIII-5-14

3	標準歩掛	VIII-5-14
②	レーダ処理局装置設置工	VIII-5-15
1	適用範囲	VIII-5-15
2	施工概要	VIII-5-15
3	標準歩掛	VIII-5-15
3-1	レーダ処理局装置 (単一偏波) 据付	VIII-5-15
3-2	レーダ処理局装置 (単一偏波) 調整	VIII-5-15
4	施工単価入力基準表	VIII-5-16
③	レーダ基地局装置設置工	VIII-5-17
1	適用範囲	VIII-5-17
2	施工概要	VIII-5-17
3	標準歩掛	VIII-5-17
3-1	レーダ基地局装置 (単一偏波) 据付	VIII-5-17
3-2	レーダ基地局装置 (単一偏波) 調整	VIII-5-18
4	施工単価入力基準表	VIII-5-18
④	レーダ雨(雪)量計端末装置 設置工	VIII-5-20
1	適用範囲	VIII-5-20
2	施工概要	VIII-5-20
3	標準歩掛	VIII-5-20
3-1	レーダ雨(雪)量計端末 装置据付	VIII-5-20
3-2	レーダ雨(雪)量計端末 装置調整	VIII-5-20
4	施工単価入力基準表	VIII-5-21

#### 第4節 河川情報設備工

①	河川情報中枢局装置設置工	VIII-5-23
1	適用範囲	VIII-5-23
2	施工概要	VIII-5-23
3	標準歩掛	VIII-5-23
3-1	河川情報中枢局装置据付	VIII-5-23
3-2	河川情報中枢局装置調整	VIII-5-23
3-3	河川情報中枢局装置 総合調整	VIII-5-23
4	施工単価入力基準表	VIII-5-24
②	河川情報集中局装置設置工	VIII-5-25

1	適用範囲	VIII-5-25
2	施工概要	VIII-5-25
3	標準歩掛	VIII-5-25
③	河川情報端末局装置設置工	VIII-5-26
1	適用範囲	VIII-5-26
2	施工概要	VIII-5-26
3	標準歩掛	VIII-5-26

#### 第5節 道路交通情報設備工

①	道路情報中枢局装置設置工	VIII-5-27
1	適用範囲	VIII-5-27
2	施工概要	VIII-5-27
3	標準歩掛	VIII-5-27
3-1	道路情報用中枢局装置据付	VIII-5-27
3-2	道路情報用中枢局装置調整	VIII-5-27
3-3	道路情報用中枢局装置 総合調整	VIII-5-28
4	施工単価入力基準表	VIII-5-29
②	道路情報集中局装置設置工	VIII-5-32
1	適用範囲	VIII-5-32
2	施工概要	VIII-5-32
3	標準歩掛	VIII-5-32
③	道路情報端末局装置設置工	VIII-5-33
1	適用範囲	VIII-5-33
2	施工概要	VIII-5-33
3	標準歩掛	VIII-5-33

#### 第6節 CCTV設備工

①	CCTV監視制御装置設置工	VIII-5-34
1	適用範囲	VIII-5-34
2	施工概要	VIII-5-34
3	標準歩掛	VIII-5-34
3-1	CCTV監視制御装置据付	VIII-5-34
3-2	CCTV監視制御装置調整	VIII-5-35
4	施工単価入力基準表	VIII-5-35
②	CCTV装置設置工	VIII-5-38
1	適用範囲	VIII-5-38
2	施工概要	VIII-5-38
3	標準歩掛	VIII-5-38
3-1	CCTV装置据付	VIII-5-38

- 3-2 CCTV装置調整…………… VIII-5-39
- 4 施工単価入力基準表…………… VIII-5-39

#### 第7節 水質自動監視設備工

- ① 水質自動監視装置設置工…………… VIII-5-41
  - 1 適用範囲…………… VIII-5-41
  - 2 施工概要…………… VIII-5-41
  - 3 標準歩掛…………… VIII-5-41
    - 3-1 水質自動監視装置据付…………… VIII-5-41
    - 3-2 水質自動監視装置調整…………… VIII-5-41
  - 4 施工単価入力基準表…………… VIII-5-42
- ② 水質自動観測装置設置工…………… VIII-5-43
  - 1 適用範囲…………… VIII-5-43
  - 2 施工概要…………… VIII-5-43
  - 3 標準歩掛…………… VIII-5-43
    - 3-1 観測局装置据付…………… VIII-5-43
    - 3-2 観測局装置調整…………… VIII-5-43
  - 4 施工単価入力基準表…………… VIII-5-44

#### 第8節 電話応答通報設備工

- ① 電話応答（通報）装置設置工…………… VIII-5-46
  - 1 適用範囲…………… VIII-5-46
  - 2 施工概要…………… VIII-5-46
  - 3 標準歩掛…………… VIII-5-46
    - 3-1 電話応答（通報）装置据付… VIII-5-46
    - 3-2 電話応答（通報）装置調整… VIII-5-46
  - 4 施工単価入力基準表…………… VIII-5-47

#### 第9節 システム・インテグレーション

- ① システム・インテグレーション…………… VIII-5-48
  - 1 適用範囲…………… VIII-5-48
  - 2 施工概要…………… VIII-5-48
  - 3 標準歩掛…………… VIII-5-49

# 第5章 電子応用設備

## 第1節 共通設備工

### ① 各種情報設備設置工

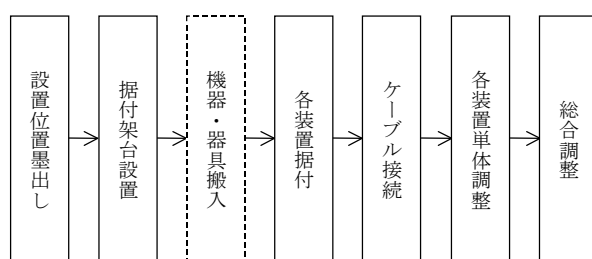
#### 1 適用範囲

本資料は、情報処理設備各種機器の設置を行う各種情報設備設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 各種情報設備据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	電工	摘要
入出力処理装置		架	1.0	2.0	—	
演算処理装置		架	1.0	2.0	—	
表示端末装置		台	—	1.0	—	
サ ー バ		台	—	1.0	—	
ブリッジ		台	—	0.3	—	(注)2
ル ー タ		台	—	0.3	—	(注)2
ハ ブ		台	—	0.1	—	(注)2
トランシーバ		台	—	0.3	—	(注)2
モデム		台	—	0.3	—	(注)2
記録用端末装置(プリンタ)		台	—	0.5	—	
〃 (ハードコピー)		台	—	0.5	—	
〃 (帳票印刷用)		台	—	1.0	—	
収容架		架	1.0	1.0	—	
中継端子盤		架	1.0	2.0	—	
光ケーブル接続盤		架	1.0	2.0	—	
警報盤		個	—	—	0.25	

(注) 1. 本歩掛には、同一室内の装置間の配線等も含まれている。

2. ブリッジ、ルータ、ハブ、トランシーバ、モデムは、増設時の歩掛であり、新設時にこれが他の装置に実装されている場合は、その架の歩掛のみを計上する。

#### 3-2 各種情報設備調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
入出力処理装置		台	1.0	
演算処理装置		台	1.0	
表示端末装置		台	0.5	
サ ー バ		台	1.5	
ブリッジ		台	0.3	
ル ー タ		台	0.3	
ハ ブ		台	0.3	
トランシーバ		台	0.3	
モデム		台	0.3	
記録用端末装置(プリンタ)		台	0.3	
〃 (ハードコピー)		台	0.3	
〃 (帳票印刷用)		台	0.5	

(注) ネットワーク設定にかかる歩掛は、実情に応じて別途積上げ計上する。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 各種情報設備据付

施工歩掛コード	WE443101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
入出力処理装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)
演算処理装置	02		
収容架	03		
中継端子盤	04		
光ケーブル接続盤	05		

(注) 機器単体費及び材料単価は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2



(2) 各種（サーバ・ブリッジ）情報設備据付

施工歩掛コード	WE443102	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
表示端末装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)
サーバ	02		
ブリッジ	03		
ルータ	04		
ハブ	05		
トランシーバ	06		
モデム	07		
記録用端末装置 (プリンタ)	08		
記録用端末装置 (ハードコピー)	09		
記録用端末装置 (帳票印刷用)	10		

(注) 1. 2架(台)目以上据付けを行う場合、1架(台)目と2架(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数(J2)

3. 機器単体費は、別途入力する。

(3) 各種（警報盤）情報設備据付

施工歩掛コード	WE443103	施工単位	個
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
警報盤	01	作業内容による補正 (表-1)	2個目以降による補正 (表-4)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-4 2個目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(4) 各種情報設備調整

施工歩掛コード	WE443202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
入出力処理装置	01	2台目以降による補正 (表-3)	
演算処理装置	02		
表示端末装置	03		
サーバ	04		
ブリッジ	05		
ルータ	06		
ハブ	07		
トランシーバ	08		
モデム	09		
記録用端末装置 (プリンタ)	10		
記録用端末装置 (ハードコピー)	11		
記録用端末装置 (帳票印刷用)	12		

- (注) 1. 2台目以上調整を行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。  
 2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J1)

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## ② IPネットワーク設備設置工

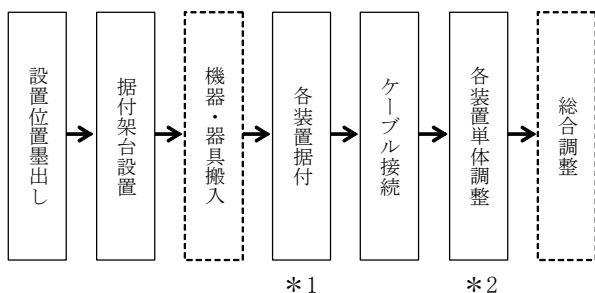
### 1 適用範囲

本資料は、IPネットワーク設備各種機器の設置を行うIPネットワーク設備設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。

ただし、移設の場合は除く。

\*2 は、起動・動作試験、ランプ・メータ・スイッチ類動作試験、光信号入出力レベル測定等を含む。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 IPネットワーク装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
LANスイッチ (L2SW・L3SW)	ボックス型	台	0.34	0.34	
LANスイッチ (L3SW)	シャーシ型	台	0.58	0.58	
光リピータ		台	0.07	0.07	
IPエンコーダ・デコーダ		台	0.10	0.10	

(注) 1. 本歩掛には、同一室内の装置間の配線等も含まれる。

2. 各種機器は、増設時の歩掛であり、新設時にこれが他の装置に実装されている場合は、その架の歩掛のみを計上する。

#### 3-2 IPネットワーク装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
LANスイッチ (L2SW・L3SW)	ボックス型	台	0.41	0.41	
LANスイッチ (L3SW)	シャーシ型	台	0.82	0.82	
光リピータ		台	0.10	0.10	
IPエンコーダ・デコーダ		台	0.12	0.12	

(注) ネットワーク設定に係る歩掛は、実情に応じて別途積上げ計上する。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) IPネットワーク装置据付

施工歩掛コード	WE443301	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J 1	J 2
LANスイッチ (L2SW・L3SW)	01	作業内容による補正  (表-1)	2台目以降による補正  (表-2)
LANスイッチ (L3SW)	02		
光リピータ	03		
IPエンコーダ・デコーダ	04		

- (注) 1. 2台目以上据付けを行う場合、1台目と2台目以降を分けて計上すること。  
 2. 補正を行う場合は、下記の式により行う。  

$$X = Y \times A \times Z$$

$$X = \text{補正歩掛}$$

$$Y = \text{標準歩掛}$$

$$A = \text{作業内容による補正係数 (表-1)}$$

$$Z = \text{2台目以降による補正係数 (表-2)}$$
  
 3. 機器単体費は、別途入力する。

##### (2) IPネットワーク装置調整

施工歩掛コード	WE443302	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J 1	
LANスイッチ (L2SW・L3SW)	01	2台目以降による補正  (表-2)	
LANスイッチ (L3SW)	02		
光リピータ	03		
IPエンコーダ・デコーダ	04		

- (注) 1. 2台目以上調整を行う場合、1台目と2台目以降を分けて計上すること。  
 2. 補正を行う場合は、下記の式により行う。  

$$X = Y \times Z$$

$$X = \text{補正歩掛}$$

$$Y = \text{標準歩掛}$$

$$Z = \text{2台目以降による補正係数 (表-2)}$$

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数
新 設	1.0
撤去 (不使用)	0.5
撤去 (再使用)	1.0
移 設	2.0

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数
補 正 な し	1.0
補 正 あ り	0.7

## 第2節 ダム・堰諸量設備工

### ① ダム・堰諸量装置設置工

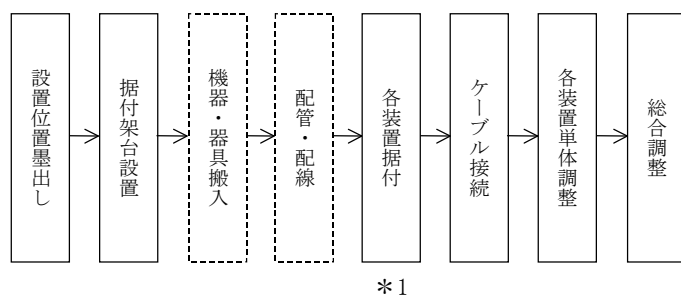
#### 1 適用範囲

本資料は、ダム・堰諸量装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、ゲート等機側盤からのケーブル及び移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第5章第2節②ダム・堰放流設備制御装置設置工」による。

## ② ダム・堰放流設備制御装置設置工

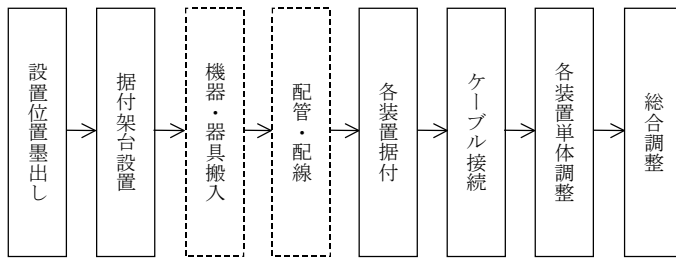
### 1 適用範囲

本資料は、ダム・堰放流設備制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、ゲート等機側盤からのケーブル及び移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 ダム・堰放流設備制御装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
ゲート模擬装置		台	1.0	1.0	
機側伝送装置		台	—	1.0	
操作卓		台	—	2.0	
データ入出力部		組	1.0	2.0	
情報管理装置		台	—	1.0	
情報伝送処理装置		架	1.0	2.0	
管理支援装置		台	—	1.0	

- (注) 1. 本歩掛には、装置間の配線等も含まれている。  
2. ゲート模擬装置又は機側伝送装置のユニット増設については、別途考慮する。  
3. 本歩掛以外の作業種別は、「第5章第1節共通設備工」によるほか別途積上げ計上する。

3-2 ダム・堰放流設備制御装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
ゲート模擬装置		台	0.5	
機側伝送装置		台	0.5	
入出力処理装置		台	2.5	
平滑処理部		組	1.0	
制御処理装置		組	1.0	
操作卓		台	2.0	
データ入出力部		組	0.5	
情報管理装置		台	1.5	
情報伝送処理装置		台	1.0	
管理支援装置		台	0.5	

- (注) 1. 本歩掛は、各装置の単体調整とする。  
 2. 本作業種別以外の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか別途積上げ計上する。

3-3 ダム・堰放流設備制御装置総合調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
ネットワーク設定調整	演算処理装置	台	0.3	
	ファイル装置	台	0.3	
	平滑処理装置	組	0.3	
	制御処理装置	組	0.3	
	操作卓	台	0.3	
	端末装置	台	0.3	
	ゲート模擬装置	台	0.3	
	データ入出力部	組	0.3	
通信機能確認調整		式	2.0	
分散システム確認調整		式	2.0	
模擬訓練確認調整		式	2.0	

- (注) 通信機能確認調整、分散システム確認調整及び、模擬訓練確認調整を除き同一場所、同時施工の2台(組)以降は、1台(組)につき0.7倍とする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) ダム・堰放流設備制御装置据付

施工歩掛コード	WE415101	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
ゲート模擬装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)
機側伝送装置	02		
操作卓	03		
情報管理装置	04		
管理支援装置	05		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (2) データ入出力部据付 (ダム・堰)

施工歩掛コード	WE415102	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
データ入出力部	01	作業内容による補正 (表-1)	2組目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (3) 情報伝送処理装置据付 (ダム・堰)

施工歩掛コード	WE415103	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
情報伝送処理装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-4)

(注) 1. 2台目以上据付けを行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。

2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛  
 $Z$  = 補正係数 (J2)

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2組目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2



(4) ダム・堰放流設備制御装置調整

施工歩掛コード	WE415201	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ゲート模擬装置	01	2台目以降による補正 (表-2)	
機側伝送装置	02		
入出力処理部	03		
操作卓	04		
情報管理装置	05		
情報伝送処理装置	06		
管理支援装置	07		

(5) 平滑・制御処理調整 (ダム・堰)

施工歩掛コード	WE415203	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
平滑処理部	01	2組目以降による補正 (表-3)	
制御処理装置	02		
データ入出力部	03		

- (注) 1. 2台目以上調整を行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。  
 2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛  
 $Z$  = 補正係数 (J1)

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2組目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(6) ネットワーク総合調整 (ダム・堰)

施工歩掛コード	WE415301	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
演算処理装置	01	2台目以降による補正 (表-2)	
ファイル装置	02		
操作卓	03		
端末装置	04		
ゲート模擬装置	05		

(7) NW 平滑・制御総合調整 (ダム・堰)

施工歩掛コード	WE415302	施工単位	組
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
平滑処理装置	01	2組目以降による補正 (表-3)	
制御処理装置	02		
データ入出力部	03		

(8) 通信機能確認総合調整 (ダム・堰)

施工歩掛コード	WE415303	施工単位	式
施工区分			
作業種別	規格番号		
通信機能確認調整	01		
分散システム確認調整	02		
模擬訓練確認調整	03		

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2組目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## 第3節 レーダ雨（雪）量計設備工

### ① レーダ中央処理局装置設置工

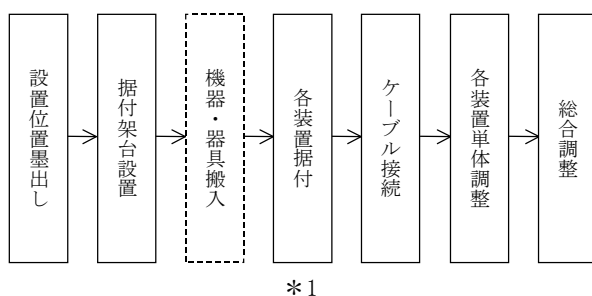
#### 1 適用範囲

本資料は、レーダ雨（雪）量計設備の内、中央処理局装置の設置を行う、レーダ中央処理局装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

## ② レーダ処理局装置設置工

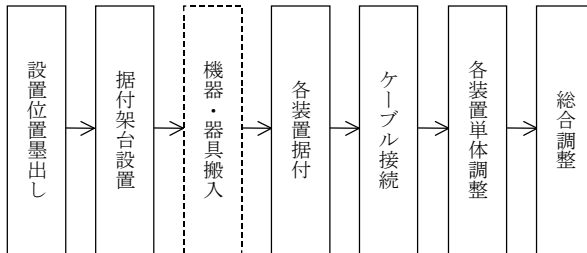
### 1 適用範囲

本資料は、レーダ雨（雪）量計設備の内、処理局装置の設置を行う、レーダ処理局装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 レーダ処理局装置（単一偏波）据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
解析・合成処理装置		架	1.0	2.0	
入出力コンソール		台	—	1.0	

（注） 本作業種別以外の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、別途積上げとする。

#### 3-2 レーダ処理局装置（単一偏波）調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
解析・合成処理装置		架	1.0	2.0	
入出力コンソール		台	—	1.0	

#### 4 施工単価入力基準表

(1) レーダ処理局装置据付

施工歩掛コード	WE428101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
解析・合成処理装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(2) 入出力コンソール据付 (レーダ処理)

施工歩掛コード	WE428102	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
入出力コンソール	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(3) レーダ処理局装置調整

施工歩掛コード	WE428201	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
解析・合成処理装置	01	2架目以降による補正 (表-2)	

(4) 入出力コンソール調整 (レーダ処理)

施工歩掛コード	WE428202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
入出力コンソール	01	2台目以降による補正 (表-3)	

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

### ③ レーダ基地局装置設置工

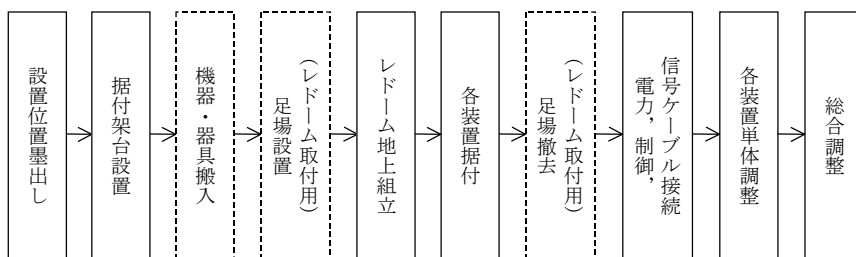
#### 1 適用範囲

本資料は、レーダ雨（雪）量計設備の内、基地局装置の設置を行う、レーダ基地局装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 レーダ基地局装置（単一偏波）据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	普通作業員	鉄筋工
レドーム	人力施工	台	0.6	12.0	23.0	5.0
空中線装置		台	2.0	5.5	—	—
導波管加圧装置		台	—	0.5	—	—
空中線制御装置		架	1.0	2.0	—	—
送受信装置		架	1.6	3.2	—	—
信号処理装置		架	1.0	2.0	—	—
収集処理装置		架	1.0	2.0	—	—
入出力装置		架	1.0	2.0	—	—
電源制御装置		架	1.0	2.0	—	—
PPI装置		台	1.0	1.0	—	—

- (注) 1. 送受信装置には、レーダ動作監視装置を含む。  
2. 本作業種別以外の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、別途積上げ計上する。  
3. 空中線装置の撤去は、本歩掛の1.0倍とする。

3-2 レーダ基地局装置（単一偏波）調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
空中線装置		台	9.0	3.6	
空中線制御装置		架	1.0	—	
送受信装置		架	9.0	—	
信号処理装置		架	1.0	—	
収集処理装置		架	1.0	—	
入出力装置		架	1.0	—	
電源制御装置		架	1.0	—	
P P I 装置		台	1.0	—	

(注) 本作業種別以外の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、別途積上げ計上する。

4 施工単価入力基準表

(1) レドーム・空中線据付（レーダ基地）

施工歩掛コード	WE427101	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
レドーム	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)
空中線装置	02	作業内容による補正 (表-2)	

(注) 機器単体費は、別途入力する。

(2) PPI・加圧装置据付（レーダ基地）

施工歩掛コード	WE427102	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
導波管加圧装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)
PPI装置	02		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

## (3) レーダ基地局装置据付

施工歩掛コード	WE427103	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
空中線制御装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-4)
送受信装置	02		
信号処理装置	03		
収集処理装置	04		
入出力装置	05		
電源制御装置	06		

(注) 機器単体費は、別途入力する。

## (4) 空中線装置調整 (レーダ基地)

施工歩掛コード	WE427201	施工単位	台
施工区分			
作業種別	規格番号		
空中線装置	01		

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

## (5) PPI 装置調整 (レーダ基地)

施工歩掛コード	WE427202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
PPI 装置	01	2台目以降による補正 (表-3)	

表-2 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤 去	1.0	2
移 設	2.0	3

## (6) レーダ基地局装置調整

施工歩掛コード	WE427203	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
空中線制御装置	01	2架目以降による補正 (表-4)	
送受信装置	02		
信号処理装置	03		
収集処理装置	04		
入出力装置	05		
電源制御装置	06		

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-4 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2



## ④ レーダ雨（雪）量計端末装置設置工

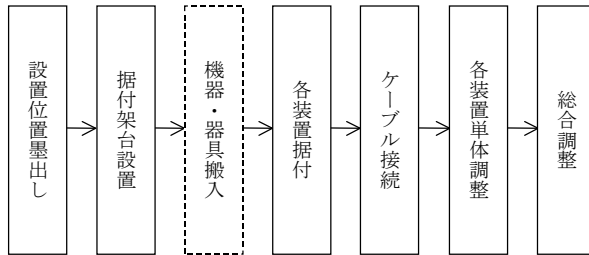
### 1 適用範囲

本資料は、レーダ雨（雪）量計設備の内、端末装置の設置を行う、レーダ雨（雪）量計端末装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 レーダ雨（雪）量計端末装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
レーダ雨(雪)量計端末監視装置		架	1.0	2.0	
ハードコピー装置		台	—	0.5	

(注) 1. 本歩掛には、装置間の配線等も含まれている。  
2. 本作業種別以外の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、別途積上げ計上する。

#### 3-2 レーダ雨（雪）量計端末装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
レーダ雨(雪)量計端末装置		架	1.0	
ハードコピー装置		台	0.3	

(注) 本作業種別以外の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、別途積上げ計上する。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) レーダ雨（雪）量計端末装置据付

施工歩掛コード	WE425101	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
レーダ雨（雪）量計端末装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (2) ハードコピー装置据付（レーダ端末）

施工歩掛コード	WE425102	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
ハードコピー装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)

(注) 1. 2架（台）目以上据付けを行う場合、1架（台）目と2架（台）目以降を分けて入力すること。

2. 2架（台）目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数（J2）

3. 機器単体費を別途入力すること。

##### (3) レーダ雨（雪）量計端末装置調整

施工歩掛コード	WE425201	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
レーダ雨（雪）量計端末装置	01	2架目以降による補正 (表-2)	

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(4) ハードコピー装置据付 (レーダ端末)

施工歩掛コード	WE425202	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
ハードコピー装置	01	2台目以降による補正 (表-3)	

(注) 1. 2架(台)目以上調整を行う場合、1架(台)目と2架(台)目以降を分けて入力すること。

2. 2架(台)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J1)

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## 第4節 河川情報設備工

### ① 河川情報中枢局装置設置工

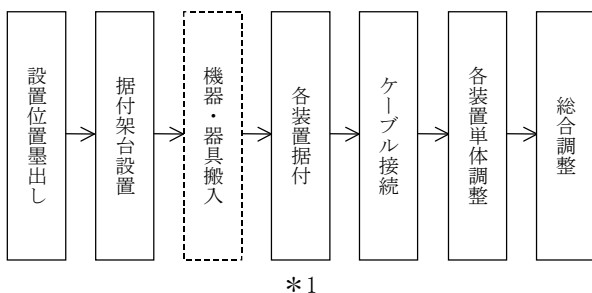
#### 1 適用範囲

本資料は、河川情報システムの内、中枢局装置の設置を行う河川情報中枢局装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 河川情報中枢局装置据付

本作業種別の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか必要に応じ別途積上げ計上する。

##### 3-2 河川情報中枢局装置調整

本作業種別の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか必要に応じ別途積上げ計上する。

##### 3-3 河川情報中枢局装置総合調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
ネットワーク設定調整	最初の1ノード	ノード	0.30	—	
	2ノード以降	ノード	0.21	—	
ネットワーク総合調整	最初の10ノード	組	1.00	—	
	10ノード追加単位	組	0.70	—	
インストール	データベース	台	2.00	4.00	
	専用アプリケーション	台	1.00	2.00	
総合調整		式	2.00	—	

(注) インストールについて、同一場所、同時施工の2台以降は、1台につき0.7倍とする。

#### 4 施工単価入力基準表

(1) NW 設定調整ノード (河川情報)

施工歩掛コード	WE410101	施工単位	ノード
施工区分			
作業種別	規格番号		
ネットワーク設定調整 (最初の1ノード)	01		
ネットワーク設定調整 (2ノード以降)	02		

(2) NW 総合調整 10 ノード (河川情報)

施工歩掛コード	WE410102	施工単位	組
施工区分			
作業種別	規格番号		
ネットワーク総合調整 (最初の10ノード)	01		
ネットワーク総合調整 (10ノード追加単位)	02		

(3) インストール総合調整 (河川情報)

施工歩掛コード	WE410103	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
インストールデータベース	01	2台目以降による補正 (表-1)	
インストール専用 アプリケーション	02		

(4) 河川情報中枢局装置総合調整

施工歩掛コード	WE410104	施工単位	式
施工区分			
作業種別	規格番号		
総合調整	01		

表-1 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## ② 河川情報集中局装置設置工

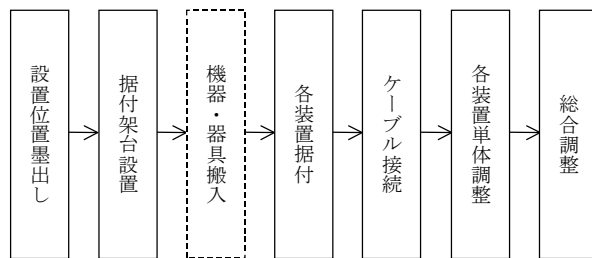
### 1 適用範囲

本資料は、河川情報システムの内、集中局装置の設置を行う河川情報集中局装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

### ③ 河川情報端末局装置設置工

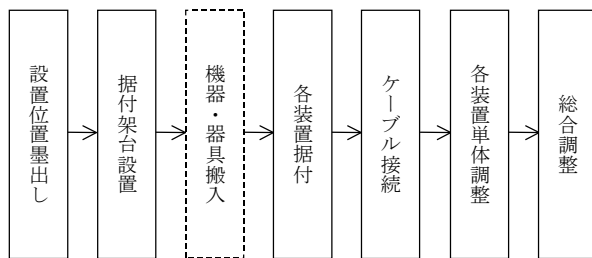
#### 1 適用範囲

本資料は、河川情報システムの内、端末局装置の設置を行う河川情報端末局装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

## 第5節 道路交通情報設備工

### ① 道路情報中枢局装置設置工

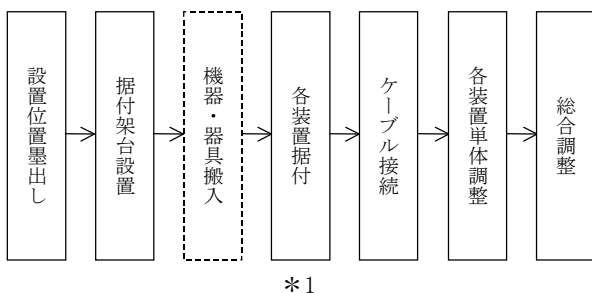
#### 1 適用範囲

本資料は、道路交通情報システムの内、中枢局装置の設置を行う道路情報中枢局装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

##### 3-1 道路情報用中枢局装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
E W S		台	—	1.0	
GPS 時計増設		台	—	0.3	
ネットワーク管理用 EWS		台	—	1.0	
モ ニ タ		架	1.0	2.0	
ゲ ー ト ウ ェ イ		架	1.0	2.0	

- (注) 1. 本歩掛には、装置間の配線等も含まれる。  
2. GPS 時計増設は、増設時の歩掛であり、新設時にこれらが他の装置架に実装されている場合は、その架の歩掛のみ計上する。  
3. 本作業種別以外の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

##### 3-2 道路情報用中枢局装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
E W S		台	0.5	
GPS 時計		台	0.3	
ネットワーク管理用 EWS		台	0.5	
ゲ ー ト ウ ェ イ		台	2.0	



3-3 道路情報用中枢局装置総合調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
ネットワーク設定調整	最初の1ノード	ノード	0.30	—	
	2ノード以降	ノード	0.21	—	
ネットワーク総合調整	最初の10ノード	組	1.00	—	
	10ノード追加単位	組	0.70	—	
対 向 調 整	VICS C0	組	2.00	4.00	
	VICS C2	組	2.00	4.00	
総 合 調 整		式	2.00	—	

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 道路情報用中枢局装置据付

施工歩掛コード	WE420101	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
EWS	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)
ネットワーク管理用EWS	02		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (2) GPS 時計増設 (道路情報)

施工歩掛コード	WE420102	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
GPS 時計増設	01	2台目以降による補正 (表-2)	

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (3) モニタ・ゲートウェイ据付 (道路情報)

施工歩掛コード	WE420103	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
モニタ	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-3)
ゲートウェイ	02		

(注) 1. 2台(架)目以上据付けを行う場合、1台(架)目と2台(架)目以降を分けて入力すること。

2. 2台(架)目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
Y=標準歩掛  
Z=補正係数

3. 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(4) 道路情報用中枢局装置調整

施工歩掛コード	WE420200	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
EWS	01	2台目以降による補正 (表-2)	
GPS 時計増設	02		
ネットワーク管理用 EWS	03		
ゲートウェイ	04		

- (注) 1. 2台目以上調整を行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。  
 2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

$X$  = 補正歩掛  
 $Y$  = 標準歩掛  
 $Z$  = 補正係数 (J1)

(5) NW 設定調整ノード (道路情報)

施工歩掛コード	WE420301	施工単位	ノード
施工区分			
作業種別	規格番号		
ネットワーク設定調整 (最初の1ノード)	01		
ネットワーク設定調整 (2ノード以降)	02		

(6) NW 総合調整 10 ノード (道路情報)

施工歩掛コード	WE420302	施工単位	組
施工区分			
作業種別	規格番号		
ネットワーク総合調整 (最初の10ノード)	01		
ネットワーク総合調整 (10ノード追加単位)	02		

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(7) 道路情報用中枢局装置対向調整

施工歩掛コード	WE420303	施工単位	組
施工区分			
作業種別	規格番号		
VICS C0 対向調整	01		
VICS C2 対向調整	02		

(8) 道路情報用中枢局装置総合調整

施工歩掛コード	WE420304	施工単位	式
施工区分			
作業種別	規格番号		
総合調整	01		

## ② 道路情報集中局装置設置工

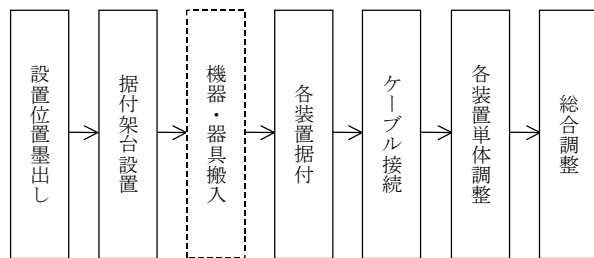
### 1 適用範囲

本資料は、道路交通情報システムの内、集中局装置の設置を行う道路情報集中局装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

### ③ 道路情報端末局装置設置工

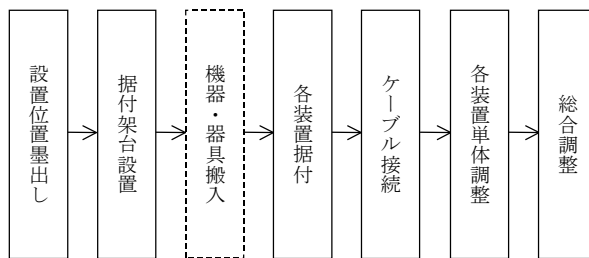
#### 1 適用範囲

本資料は、道路交通情報システムの内、端末局装置の設置を行う道路情報端末局装置設置工に適用する。

#### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

#### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、「第5章第1節共通設備工」によるほか、必要に応じ別途積上げ計上する。

# 第6節 CCTV 設備工

## ① CCTV 監視制御装置設置工

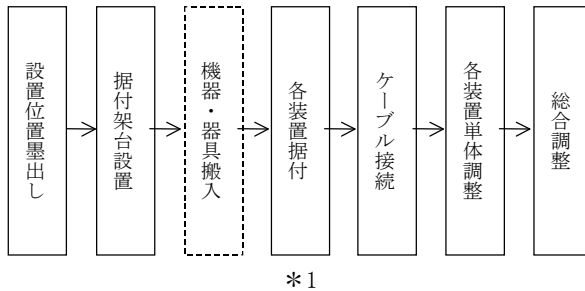
### 1 適用範囲

本資料は、CCTV システムの内、監視制御装置の設置を行う CCTV 監視制御装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 CCTV 監視制御装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
監視制御装置		架	1.0	2.0	
操作卓		台		1.0	
モニター	床(卓上)固定	台		0.5	
	床(移動式スタンド)固定	台		1.0	
	47型未満(壁掛)	台		1.0	
	47型未満(天吊)	台		1.5	
	47型以上(壁掛)	台		1.5	
	47型以上(天吊)	台		2.0	
VTR/HDDレコーダ		台		0.5	*2
操作PC		台		0.5	*2
映像分配器		台		0.2	*2
マトリクススイッチ		台		0.5	*2
光受信部		台		0.2	*2

\*2 は、増設時の歩掛であり、新設時にこれが他の装置に実装されている場合は、その架、卓の歩掛のみを計上する。

3-2 CCTV 監視制御装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
監視制御装置		架	2.0	
モニタTV		台	1.0	
VTR/HDDレコーダ		台	0.9	
操作PC		台	0.7	
映像分配器		台	0.3	
マトリクススイッチ		台	0.5	
光受信部		台	0.3	

4 施工単価入力基準表

(1) 監視制御装置据付 (CCTV)

施工歩掛コード	WE430301	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
監視制御装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

(2) CCTV 監視制御装置据付

施工歩掛コード	WE430302	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
操作卓	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)
モニタTV 床(卓上)固定	02		
モニタTV 床(移動式スタンド) 固定	03		
モニタTV 47型未満(壁掛)	04		
モニタTV 47型未満(天吊)	05		
モニタTV 47型以上(壁掛)	06		
モニタTV 47型以上(天吊)	07		

(注) 機器単体費を別途入力すること。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新設	1.0	1
撤去(不使用)	0.5	2
撤去(再使用)	1.0	3
移設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2



(3) CCTV 監視制御装置増設

施工歩掛コード	WE430303	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
VTR/HDDレコーダ	01	2 台目以降による補正 (表-3)	
操作PC	02		
映像分配器	03		
マトリクススイッチ	04		
光受信部	05		

(注) 1. 2 架 (台) 目以上据付けを行う場合, 1 架 (台) 目と 2 架 (台) 目以降を分けて入力すること。

2. 2 架 (台) 目以降の補正は, 下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J1)

3. 機器単体費を別途入力すること。

(4) 監視制御装置調整 (CCTV)

施工歩掛コード	WE430401	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
監視制御装置	01	2 架目以降による補正 (表-2)	

表-2 2 架目以降の補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-3 2 台目以降の補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

(5) CCTV 監視制御装置調整

施工歩掛コード	WE430402	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
モニタ TV	01	2 台目以降による補正 (表-3)	
VTR/HDDレコーダ	02		
操作PC	03		
映像分配器	04		
マトリクススイッチ	05		
光受信部	06		

- (注) 1. 2 台目以上調整を行う場合, 1 台目と 2 台目以降を分けて入力すること。  
 2. 2 台目以降の補正は, 下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J1)

表-3 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

## ② CCTV 装置設置工

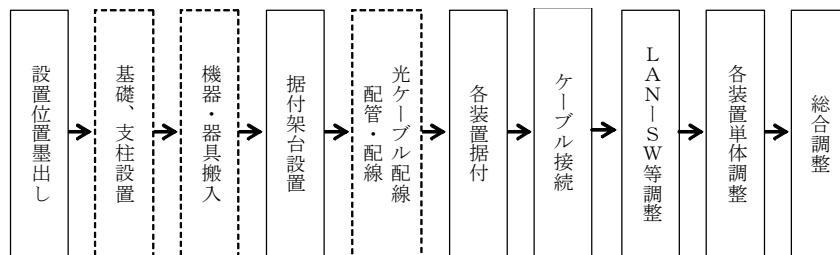
### 1 適用範囲

本資料は、CCTV システムの内、カメラ装置等の設置を行う CCTV 装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 CCTV 装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術員	摘要
カメラ装置	回転式カメラ装置	台	1.5	
	回転式IPカメラ装置	台	1.5	
簡易型カメラ装置	回転式IPカメラ装置	台	1.5	
	固定式IPカメラ装置	台	1.5	
カメラ装置用機側装置	ポール取付型	台	1.0	
	自立型	台	1.5	壁面取付を含む
IPカメラ装置用機側装置	ポール取付型	台	0.8	
	自立型	台	1.0	壁面取付を含む
カメラ架台	壁面用	台	0.5	

- (注)
1. 夜間照明器具は別途積算とする。
  2. 取付高さの補正は行わない。
  3. クレーン車等を使用する場合は、別途積算とする。
  4. カメラは、カメラ架台（ポール用）、落下防止対策を含む。
  5. 簡易型カメラ装置はIPカメラ装置用機側装置を含む。
  6. 簡易型カメラ装置、カメラ装置用機側装置、IPカメラ装置用機側装置への光ケーブル接続等は別途積算とする。
  7. カメラ装置用機側装置、IPカメラ装置用機側装置は、筐体内実装機器の据付を含む。
  8. カメラ装置用機側装置（自立型）、IPカメラ装置用機側装置（自立型）、カメラ架台（壁面用）はアンカーの打込みを含む。

3-2 CCTV 装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
カメラ装置	旋回式カメラ装置	台	0.5	—	
	旋回式 IP カメラ装置	台	1.0	—	
簡易型カメラ装置	旋回式 IP カメラ装置	台	0.6	—	
	固定式 IP カメラ装置	台	0.5	—	
カメラ装置用機側装置		台	0.5	—	

- (注) 1. 取付高さの補正は行わない。  
 2. カメラ装置 (旋回式 IP カメラ装置)、簡易型カメラ装置は、IP カメラ装置用機側装置を含む。  
 3. カメラ装置用機側装置は、エンコーダ、カメラ制御部の調整を含む。  
 4. LAN-SW、メディアコンバータの調整は別途積算とする。

4 施工単価入力基準表

(1) CCTV 装置据付

施工歩掛コード	WE430100	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
カメラ装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-2)
カメラ装置 IP	02		
簡易型カメラ装置 旋回式	03		
簡易型カメラ装置 固定式	04		
カメラ装置用機側装置 ポール	05		
カメラ装置用機側装置 自立型	06		
IPカメラ装置用機側装置 ポール	07		
IPカメラ装置用機側装置 自立型	08		
カメラ架台	09		

- (注) 1. 2台目以上据付けを行う場合、1台目と2台目以降を分けて入力すること。  
 2. 2台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛  
 Y=標準歩掛  
 Z=補正係数 (J2)

3. 機器単体費及び機械経費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(2) CCTV 装置調整

施工歩掛コード	WE430200	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
カメラ装置	01	2 台目以降による補正 (表-2)	
カメラ装置 IP	02		
簡易型カメラ装置 旋回式	03		
簡易型カメラ装置 固定式	04		
カメラ装置用機側装置	05		

- (注) 1. 2 台目以上調整を行う場合、1 台目と 2 台目以降を分けて入力すること。  
2. 2 台目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X=Y \times Z$$

X=補正歩掛

Y=標準歩掛

Z=補正係数 (J1)

表-2 2 台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

# 第7節 水質自動監視設備工

## ① 水質自動監視装置設置工

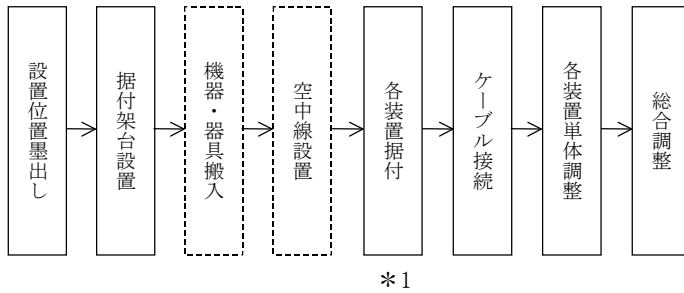
### 1 適用範囲

本資料は、水質自動監視システムの内、監視装置の設置を行う水質自動監視装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 水質自動監視装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
監視装置	水質用	架	1.0	2.0	無線機含む

#### 3-2 水質自動監視装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
監視装置		局	2.0	無線機含む
観測局増設		局	1.3	

- (注) 1. 同時施工2対向以降は、次による。  
 ・新設の場合は、1対向につき0.35倍とする。  
 ・増設の場合は、1対向につき0.7倍とする。  
 2. 無線機が無い場合は、0.5倍とする。

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 水質自動監視装置据付

施工歩掛コード	WE435100	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
監視装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

##### (2) 水質自動監視装置調整

施工歩掛コード	WE435200	施工単位	局
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
監視装置	01	2対向以降による補正 (表-3)	無線機による補正 (表-4)
観測局増設	02		

(注) 1. 2局目以上調整を行う場合、1局目と2局目以降を分けて入力すること。

2. 2局目以降の補正は、下記の式で補正される。

$$X = Y \times Z$$

X = 補正歩掛  
 Y = 標準歩掛  
 Z = 補正係数 (J1)

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2対向以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補正あり (新設)	0.35	2
補正あり (増設)	0.7	3

表-4 無線機による補正

作業内容	補正係数	入力番号
無 線 機 あ り	1.0	1
無 線 機 な し	0.5	2

## ② 水質自動観測装置設置工

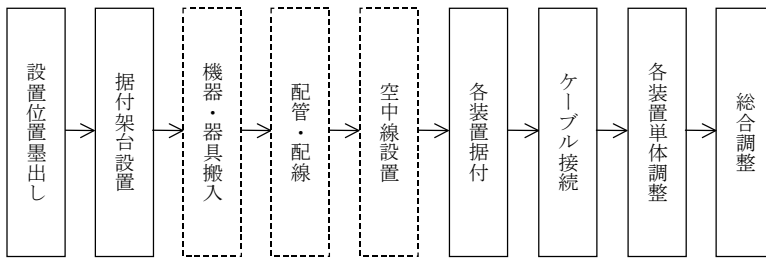
### 1 適用範囲

本資料は、水質自動監視システムの内、観測装置の設置を行う水質自動観測装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1

\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 水質自動観測装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
観測装置		架	1.0	2.0	無線機含む
複量化		式	0.5	0.5	
直流電源装置		台	0.5	1.5	電池含む

(注) 複量化は、既設装置に増設する場合に適用する。

#### 3-2 水質自動観測装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
観測装置		局	2.6	無線機含む
複量化		局	1.3	

(注) 1. 複量化は、既設装置に増設する場合に適用する。

2. 無線機が無い場合は、0.5倍とする。



#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 水質自動観測装置据付

施工歩掛コード	WE435301	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
観測装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

##### (2) 観測装置複量化 (水質自動)

施工歩掛コード	WE435302	施工単位	式
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
観測装置複量化	01	2式目以降による補正 (表-4)	

(注) 機器単体費は、別途入力する。

##### (3) 直流電源装置据付 (水質自動)

施工歩掛コード	WE435303	施工単位	台
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
直流電源装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2台目以降による補正 (表-3)

(注) 機器単体費は、別途入力する。

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去 (不使用)	0.5	2
撤去 (再使用)	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-3 2台目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

表-4 2式目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

(4) 水質自動観測装置調整

施工歩掛コード	WE435400	施工単位	局
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
観測装置	01	2局目以降による補正 (表-5)	無線機による補正 (表-6)
複量化	02		

表-5 2局目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補正なし	1.0	1
補正あり	0.7	2

表-6 無線機による補正

作業内容	補正係数	入力番号
無線機あり	1.0	1
無線機なし	0.5	2

# 第 8 節 電話応答通報設備工

## ① 電話応答（通報）装置設置工

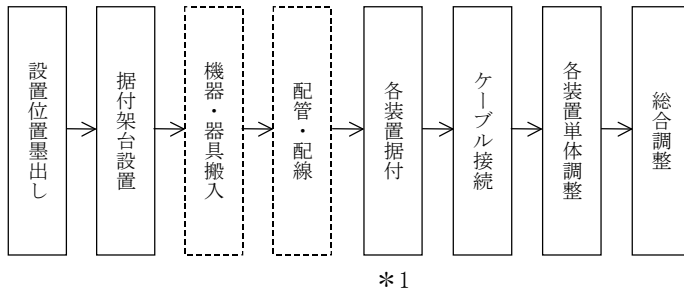
### 1 適用範囲

本資料は、電話応答（通報）装置設置工に適用する。

### 2 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



\*1 は、同一室内における装置間の各種ケーブルの敷設を含む。  
ただし、移設の場合は除く。

### 3 標準歩掛

#### 3-1 電話応答（通報）装置据付

作業種別	細別規格	単位	技術者	技術員	摘要
電話応答(通報)装置		架	1.0	2.0	

#### 3-2 電話応答（通報）装置調整

作業種別	細別規格	単位	技術者	摘要
電話応答(通報)装置		架	1.0	

#### 4 施工単価入力基準表

##### (1) 電話応答（通報）装置据付

施工歩掛コード	WE403100	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	J2
電話応答(通報)装置	01	作業内容による補正 (表-1)	2架目以降による補正 (表-2)

(注) 機器単体費を別途入力すること。

##### (2) 電話応答（通報）装置調整

施工歩掛コード	WE403200	施工単位	架
施工区分		入力条件	
作業種別	規格番号	J1	
電話応答(通報)装置	01	2架目以降による補正 (表-2)	

表-1 作業内容による補正

作業内容	補正係数	入力番号
新 設	1.0	1
撤去（不使用）	0.5	2
撤去（再使用）	1.0	3
移 設	2.0	4

表-2 2架目以降による補正

作業内容	補正係数	入力番号
補 正 な し	1.0	1
補 正 あ り	0.7	2

## 第9節 システム・インテグレーション※

※ システム・インテグレーションとは、機器の製作において単体若しくは設備としての機能に係る設計以外であって、機器又は設備の既存ネットワークへの接続、ネットワークの設定・変更等により全体システムを機能させるために必要なネットワーク設計、ネットワークデータ作成、試験、ドキュメント作成などの作業をいう。

### ① システム・インテグレーション

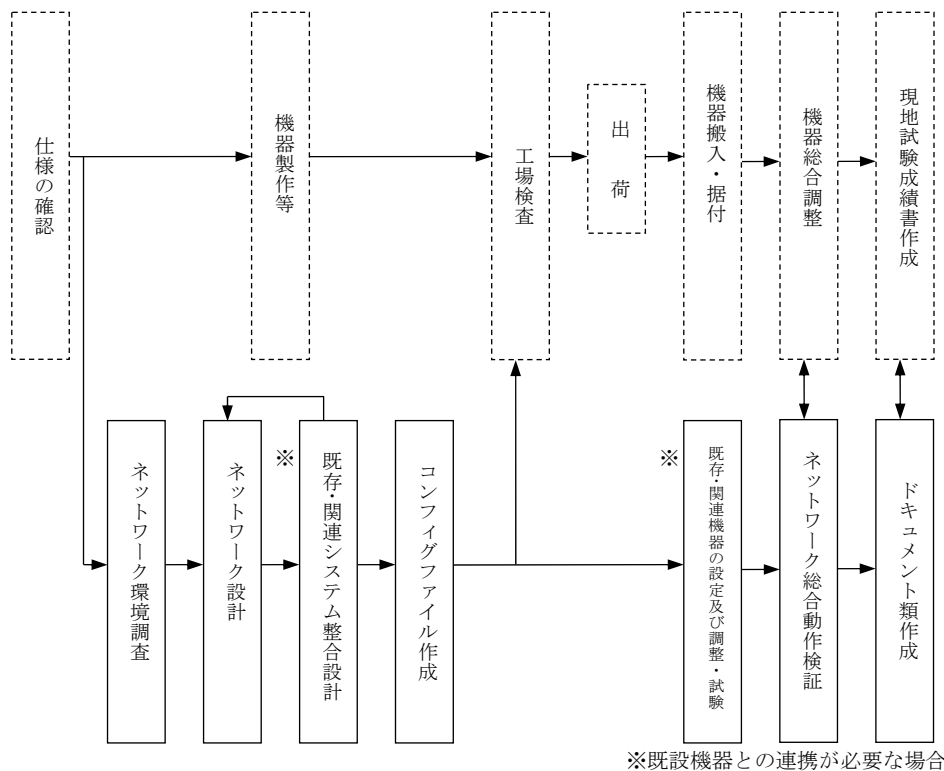
#### 1 適用範囲

本資料は、IP ネットワーク機器の設定に要する作業に適用する。

#### 2 施工概要と

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



#### 施工フローの作業内容

- ① ネットワーク環境調査
  - ・新たに設置するネットワーク及び関連する既存ネットワーク等の環境調査。
- ② ネットワーク設計
  - ・ネットワーク環境調査結果に基づくネットワークの設計。
- ③ 既存・関連システム整合設計
  - ・既存システム及び関連システムとのアドレス体系、基本ルーティング等の整合を図るための設計。
  - ・本設計結果をネットワーク設計にフィードバック。

- ④ コンフィグファイル作成
  - ・ネットワーク設計に基づき新設ネットワーク機器の設定用コンフィグファイルを作成。
  - ・既存機器の修正コンフィグファイルを作成。
- ⑤ 既存・関連機器の設定及び試験・調整
  - ・作成したコンフィグファイルの既存・関連機器を含めたネットワーク機器へのインストール。
  - ・設定したネットワーク機器を接続したネットワーク試験及びデータのチューニング、修正。
- ⑥ ドキュメント類の作成
  - ・当該ネットワークの物理構成図、論理構成図、試験成績書及びコンフィグデータファイル等のドキュメント類の作成。

### 3 標準歩掛

本作業種別の歩掛は、必要に応じて別途積上げ計上する。

# 第6章 その他

## 第1節 施工コード

① 電気通信機器施工コード	VIII-6-1
1 施工単価入力表	VIII-6-1
(1) 電気通信機器据付	VIII-6-1
(2) 電気通信機器調整	VIII-6-1
(3) システム・インテグレーション	VIII-6-1
(4) 電気通信機器設置	VIII-6-1
(5) 器材設置	VIII-6-2
(6) 輸送費（電気）	VIII-6-2

## 第2節 機材コード

① 電気通信機材コード	VIII-6-3
1 施工単価入力表	VIII-6-3
(1) 機器単体費（各種）	VIII-6-3
(2) 材料費（各種）	VIII-6-4
(3) 鋼構造製作物（各種）	VIII-6-4

## 第3節 材料補正コード

① 長さ割増し補正コード	VIII-6-5
1 施工単価入力表	VIII-6-5
(1) 配線・配管	VIII-6-5

## 第4節 材料コード一覧

① 電線・ケーブル	VIII-6-6
1 施工単価入力表	VIII-6-6
(1) IV電線 (600Vビニル絶縁電線)	VIII-6-6
(2) HIV電線 (600V二種絶縁電線)	VIII-6-7

(3) VVRケーブル (600Vビニル絶縁ケーブル)	VIII-6-8
(4) VVFケーブル (600Vビニル絶縁ケーブル)	VIII-6-9
(5) CVケーブル (600V架橋ポリケーブル)	VIII-6-9
(6) CVケーブル (高圧架橋ポリケーブル)	VIII-6-10
(7) CVTケーブル（トリプル レックスケーブル）	VIII-6-11
(8) CVMAZVケーブル (600Vスチールコルゲート)	VIII-6-12
(9) CVMAZVケーブル (高圧スチールコルゲート)	VIII-6-13
(10) FPケーブル (600V耐火電線)	VIII-6-14
(11) FPケーブル（高圧耐火電線）	VIII-6-15
(12) HPケーブル（耐熱電線）	VIII-6-16
(13) PDC電線 (高圧引下用絶縁電線)	VIII-6-16
(14) OW電線 (屋外用ビニル絶縁電線)	VIII-6-16
(15) OE電線（屋外用ポリエチレン 絶縁電線）	VIII-6-17
(16) OC電線 (屋外用架橋絶縁電線)	VIII-6-17
② 制御ケーブル類	VIII-6-18
1 施工単価入力表	VIII-6-18
(1) CVVケーブル (制御用絶縁電線)	VIII-6-18
(2) CVV-Sケーブル (しゃへい付制御電線)	VIII-6-18

(3) CVVMAZVケーブル (スチールコルゲート) …… VIII-6-19	1 施工単価入力表 …… VIII-6-38
(4) 2PNCTケーブル (キャブタイヤケーブル) …… VIII-6-20	(1) 薄鋼電線管 (C) …… VIII-6-38
③ 通信ケーブル類 …… VIII-6-21	(2) 厚鋼電線管 (G) …… VIII-6-38
1 施工単価入力表 …… VIII-6-21	(3) ねじ無し電線管 (E) …… VIII-6-39
(1) FCPEVケーブル (着色識別PE絶縁電線) …… VIII-6-21	(4) 硬質ビニル電線管 (VE) …… VIII-6-39
(2) FCPEV-Sケーブル (銅テープ) …… VIII-6-21	(5) 耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) …… VIII-6-39
(3) FCPEV-Sケーブル (コルゲート) …… VIII-6-22	(6) 波付硬質ポリエチレン管 (FEP) …… VIII-6-40
(4) CCP-Pケーブル (市内ケーブル) …… VIII-6-22	(7) PEライニング鋼管 …… VIII-6-40
(5) SWVPケーブル (プリントケーブル) …… VIII-6-23	(8) 金属製可とう電線管 …… VIII-6-40
(6) 構内用ケーブル …… VIII-6-23	(9) ガス管 (SGP) …… VIII-6-41
(7) TIVFケーブル (PVC屋内線) …… VIII-6-24	(10) 硬質塩化ビニル管 …… VIII-6-41
(8) TJVYケーブル (PVCナイロン ジャンパー線) …… VIII-6-24	(11) 一般配管用ステンレス鋼鋼管 …… VIII-6-42
(9) ECXケーブル (高周波同軸ケーブル) …… VIII-6-24	(12) ヒューム管 …… VIII-6-42
(10) WF-Hケーブル (高周波同軸ケーブル) …… VIII-6-25	(13) アルミ製ケーブルラック …… VIII-6-43
④ 情報ケーブル類 …… VIII-6-26	(14) 溶融亜鉛メッキ製ケーブル ラック …… VIII-6-43
1 施工単価入力表 …… VIII-6-26	(15) 鉄筋コンクリートケーブル トラフ …… VIII-6-44
(1) 10BASEケーブル (イーサネットケーブル) …… VIII-6-26	(16) エントランスキャップ …… VIII-6-44
(2) ツイストペアケーブル …… VIII-6-26	(17) 埋設標識シート …… VIII-6-44
(3) 配線各種 …… VIII-6-26	⑦ 分電盤等 …… VIII-6-45
(4) 光ケーブル配線各種 …… VIII-6-27	1 施工単価入力表 …… VIII-6-45
⑤ 接続材・端末処理材 …… VIII-6-35	(1) 分電盤キャビネット …… VIII-6-45
1 施工単価入力表 …… VIII-6-35	(2) 仮設ボックス …… VIII-6-45
(1) 直線接続材料 (CV) JCAA規格600V …… VIII-6-35	(3) 低圧遮断器 …… VIII-6-45
(2) 直線接続材料 (CV) JCAA規格高圧 …… VIII-6-36	(4) 漏電遮断器 …… VIII-6-45
(3) 端末処理材料 (CV) JCAA規格600V …… VIII-6-37	(5) 安全開閉器 …… VIII-6-46
(4) 端末処理材料 (CV) JCAA規格高圧 …… VIII-6-37	(6) 低圧進相コンデンサ …… VIII-6-46
⑥ 配管材等 …… VIII-6-38	⑧ 照明器具等 …… VIII-6-47
	1 施工単価入力表 …… VIII-6-47
	(1) 照明器具 (建電協型) …… VIII-6-47
	(2) 照明器具 (切羽照明用) …… VIII-6-47
	(3) 照明器具 (坑内照明用) …… VIII-6-48
	(4) LED道路照明灯具 (建電協型) …… VIII-6-48
	(5) LED歩道照明灯具 (建電協型) …… VIII-6-48
	(6) LEDトンネル照明灯具 (建電協型) …… VIII-6-49
	(7) 安定器 (水銀灯用一般形) …… VIII-6-57



(8) 安定器 (水銀灯用定電力形) VIII-6-57	(4) コンクリート根かせ VIII-6-72
(9) 安定器 (水銀灯用調光定電力形) VIII-6-57	⑪ 装柱金具その他等 VIII-6-73
(10) 安定器 (ナトリウム灯用高圧) VIII-6-58	1 施工単価入力表 VIII-6-73
(11) 高圧水銀ランプ (HF) VIII-6-58	(1) がいし (配電線用) VIII-6-73
(12) 高圧ナトリウムランプ (NHF) VIII-6-58	(2) 足場ボルト VIII-6-73
(13) 高圧ナトリウムランプ (NHT) VIII-6-59	(3) 軽腕金 VIII-6-73
(14) 白熱灯ランプ VIII-6-59	(4) アームタイ VIII-6-74
(15) 蛍光灯ランプ VIII-6-59	(5) 巻付グリップ VIII-6-74
(16) 照明用テーパーポール (鋼製) (建電協型) 8m埋込式 VIII-6-60	(6) ステンレスバンド VIII-6-74
(17) 照明用テーパーポール (鋼製) (建電協型) 8m露出型 VIII-6-61	(7) 装柱金具 VIII-6-74
(18) 照明用テーパーポール (鋼製) (建電協型) 8m埋設型 VIII-6-62	(8) 引留クランプ VIII-6-74
(19) 照明用テーパーポール (鋼製) (建電協型) 10m埋込式 VIII-6-63	(9) 蓄力形コネクタ VIII-6-75
(20) 照明用テーパーポール (鋼製) (建電協型) 10m露出型 VIII-6-64	(10) 高圧分岐カバー VIII-6-75
(21) 照明用テーパーポール (鋼製) (建電協型) 10m埋設型 VIII-6-65	(11) 高圧水切カバー VIII-6-75
(22) 照明用テーパーポール (鋼製) (建電協型) 12m露出型 VIII-6-66	(12) ステーブロック VIII-6-75
(23) 照明用テーパーポール (鋼製) (建電協型) 12m埋設型 VIII-6-67	(13) 配電用避雷器 VIII-6-75
(24) スイッチ付端子ボックス VIII-6-67	(14) 低圧ラック VIII-6-75
(25) アンカーボルト VIII-6-67	(15) 亜鉛メッキ鋼より線 VIII-6-76
⑨ 電話付属用品等 VIII-6-68	(16) クロージャHH固定金具 VIII-6-76
1 施工単価入力表 VIII-6-68	(17) LCX取付金具 VIII-6-76
(1) 端子板 VIII-6-68	(18) 一般支持金具 VIII-6-76
(2) 避雷器弾器 VIII-6-68	(19) 一般用受皿 VIII-6-76
(3) 転換器 VIII-6-68	⑫ 避雷針及び設置資材 VIII-6-77
⑩ 建柱材等 VIII-6-69	1 施工単価入力表 VIII-6-77
1 施工単価入力表 VIII-6-69	(1) 避雷針 (クロムメッキ突針) VIII-6-77
(1) コンクリートポール (電力仕様) VIII-6-69	(2) 避雷針 (支持管) VIII-6-77
(2) コンクリートポール (NTT仕様) VIII-6-70	(3) 避雷針 (支持管取付金物) VIII-6-78
(3) パンザーマスト VIII-6-71	(4) 避雷針 (導線引出金物) VIII-6-78
	(5) 避雷針 (接続端子) VIII-6-78
	(6) 避雷針 (端子箱) VIII-6-78
	(7) 避雷針 (接地埋設標示板) VIII-6-79
	(8) 避雷針 (接地極銅板) VIII-6-79
	(9) 接地棒 VIII-6-79
	(10) 接地棒用リード端子 VIII-6-79
	(11) 連結式接地棒 VIII-6-79
	(12) 連結式接地棒用リード端子 VIII-6-80
	(13) 鬼より線 (避雷導線) VIII-6-80

# 第6章 その他

## 第1節 施工コード

(注) 施工歩掛コードが4桁の場合は、規格番号まで含むものとする。

### ① 電気通信機器施工コード

#### 1 施工単価入力表

##### (1) 電気通信機器据付

施工歩掛コード	WE100100	施工単位	各種
施工区分	入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2
各種	00	技術者 (人/施工単位)	技術員 (人/施工単位)

##### (2) 電気通信機器調整

施工歩掛コード	WE100200	施工単位	各種
施工区分	入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2
各種	00	技術者 (人/施工単位)	技術員 (人/施工単位)

(注) 本コードは、技術者間接費の対象とする。

##### (3) システム・インテグレーション

施工歩掛コード	WE100250	施工単位	各種
施工区分	入力条件		
作業種別	規格番号	J1	J2
各種	00	電気通信技術者 (S I) (人/施工単位)	電気通信技術員 (S I) (人/施工単位)

(注) 本コードは、技術者間接費の対象とする。

##### (4) 電気通信機器設置

施工歩掛コード	WE100300	施工単位	各種	
施工区分	入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
各種	00	電工 (人/施工単位)	普通作業員 (人/施工単位)	機械工 (人/施工単位)

(5) 器材設置

施工歩掛コード	WE100400	施工単位	各種	
施工区分	入力条件			
作業種別	規格番号	J1	J2	J3
各種	00	電工 (人/施工単位)	普通作業員 (人/施工単位)	機械工 (人/施工単位)

(6) 輸送費（電気）

施工歩掛コード	WE100800	施工単位	台
施工区分	入力条件		
作業種別	規格番号	J1	
各種	00	1台当りの輸送費 (円/台)	

(注) 管理費区分「9」を設定している。

## 第2節 機材コード

(注) 施工歩掛コードが4桁の場合は、規格番号まで含むものとする。

### ① 電気通信機材コード

#### 1 施工単価入力表

##### (1) 機器単体費 (各種)

施工歩掛コード		WE100500	施工単位	各種
施工区分		入力条件		
施工量	規格番号	J1		J2
台	01	1台当り機器単体費 (円/台)		機器管理費の種別 (表-1)
個	02	1個当り機器単体費 (円/個)		
組	03	1組当り機器単体費 (円/組)		
基	04	1基当り機器単体費 (円/基)		
面	05	1面当り機器単体費 (円/面)		
架	06	1架当り機器単体費 (円/架)		
枚	07	1枚当り機器単体費 (円/枚)		
式	08	1式当り機器単体費 (円/式)		
ユニット	09	1ユニット当り機器単体費 (円/ユニット)		
棚	10	1棚当り機器単体費 (円/棚)		
局	11	1局当り機器単体費 (円/局)		
棟	12	1棟当り機器単体費 (円/棟)		
卓	13	1卓当り機器単体費 (円/卓)		
セル	14	1セル当り機器単体費 (円/セル)		
方路	15	1方路当り機器単体費 (円/方路)		
CH	16	1CH当り機器単体費 (円/CH)		
HG	17	1HG当り機器単体費 (円/HG)		
箇所	18	1箇所当り機器単体費 (円/箇所)		
本	19	1本当り機器単体費 (円/本)		

(注) 管理費区分「9」を設定している。

表-1 機器管理費の種別

機器管理費の種別	補正係数	入力番号
機器製作及び据付・調整を行う	1.0	1
機器製作のみを行う	0.5	2
機器を支給 (据付調整のみ)	0.5	3
機器管理費の対象外	—	4

(注) J2の補正係数は、機器管理費の算定時に使用する係数である。

## (2) 材料費 (各種)

施工歩掛コード		WE100600	施工単位	各種
施工区分		入力条件		
施工量	規格番号	J1		
m	01	1m 当り材料費 (円/m)		
m <sup>2</sup>	02	1m <sup>2</sup> 当り材料費 (円/m <sup>2</sup> )		
m <sup>3</sup>	03	1m <sup>3</sup> 当り材料費 (円/m <sup>3</sup> )		
本	04	1 本当り材料費 (円/本)		
個	05	1 個当り材料費 (円/個)		
枚	06	1 枚当り材料費 (円/枚)		
kg	07	1kg 当り材料費 (円/Kg)		
t	08	1t 当り材料費 (円/t)		
組	09	1 組当り材料費 (円/組)		
ℓ	10	1ℓ 当り材料費 (円/ℓ)		
台	11	1 台当り材料費 (円/台)		
基	12	1 基当り材料費 (円/基)		
面	13	1 面当り材料費 (円/面)		
式	14	1 式当り材料費 (円/式)		
箇所	15	1 箇所当り材料費 (円/箇所)		
	16	1 (各種) 当り材料費 (円/各種)		

## (3) 鋼構造製作物 (各種)

施工歩掛コード		WE100700	施工単位	各種
施工区分		入力条件		
施工量	規格番号	J1		
m	01	1m 当り鋼構造製作物 (円/m)		
m <sup>2</sup>	02	1m <sup>2</sup> 当り鋼構造製作物 (円/m <sup>2</sup> )		
m <sup>3</sup>	03	1m <sup>3</sup> 当り鋼構造製作物 (円/m <sup>3</sup> )		
本	04	1 本当り鋼構造製作物 (円/本)		
個	05	1 個当り鋼構造製作物 (円/個)		
枚	06	1 枚当り鋼構造製作物 (円/枚)		
kg	07	1kg 当り鋼構造製作物 (円/Kg)		
t	08	1t 当り鋼構造製作物 (円/t)		
組	09	1 組当り鋼構造製作物 (円/組)		
台	10	1 台当り鋼構造製作物 (円/台)		
基	11	1 基当り鋼構造製作物 (円/基)		
面	12	1 面当り鋼構造製作物 (円/面)		
式	13	1 式当り鋼構造製作物 (円/式)		
箇所	14	1 箇所当り鋼構造製作物 (円/箇所)		
	15	1 (各種) 当り鋼構造製作物 (円/各種)		

(注) 管理費区分「5」を設定している。

## 第3節 材料補正コード

(注) 施工歩掛コードが4桁の場合は、規格番号まで含むものとする。

### ① 長さ割増し補正コード

#### 1 施工単価入力表

##### (1) 配線・配管

施工歩掛コード		WE506900	施工単位	m	
施工区分		入力条件			
種別	規格番号	J1	J2	J3	
配線各種	01	材料単価若しくは材料コード	材料単価の補正(長さ割増し)		
配管各種	02	材料単価若しくは材料コード	材料単価の補正(長さ割増し)	付属品率(%)	

## 第4節 材料コード一覧

(注) 施工歩掛コードが4桁の場合は、規格番号まで含むものとする。

### ① 電線・ケーブル

#### 1 施工単価入力表

(1) IV電線(600Vビニル絶縁電線)

施工歩掛コード	WE500100	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
IV 1.0 mm	01		
IV 1.2 mm	02		
IV 1.6 mm	03		
IV 2.0 mm	04		
IV 2.6 mm	05		
IV 3.2 mm	06		
IV 4.0 mm	07		
IV 5.0 mm	08		
IV 0.9 mm <sup>2</sup>	09		
IV 1.25mm <sup>2</sup>	10		
IV 2.0 mm <sup>2</sup>	11		
IV 3.5 mm <sup>2</sup>	12		
IV 5.5 mm <sup>2</sup>	13		
IV 8 mm <sup>2</sup>	14		
IV 14 mm <sup>2</sup>	15		
IV 22 mm <sup>2</sup>	16		
IV 38 mm <sup>2</sup>	17		
IV 60 mm <sup>2</sup>	18		
IV 100 mm <sup>2</sup>	19		
IV 150 mm <sup>2</sup>	20		
IV 200 mm <sup>2</sup>	21		
IV 250 mm <sup>2</sup>	22		
IV 325 mm <sup>2</sup>	23		
IV 400 mm <sup>2</sup>	24		
IV 500 mm <sup>2</sup>	25		

(2) HIV 電線 (600V 二種絶縁電線)

施工歩掛コード	WE500200	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
HIV 1.2 mm	01		
HIV 1.6 mm	02		
HIV 2.0 mm	03		
HIV 2.6 mm	04		
HIV 0.9 mm <sup>2</sup>	05		
HIV 1.25mm <sup>2</sup>	06		
HIV 2.0 mm <sup>2</sup>	07		
HIV 3.5 mm <sup>2</sup>	08		
HIV 5.5 mm <sup>2</sup>	09		
HIV 8 mm <sup>2</sup>	10		
HIV 14 mm <sup>2</sup>	11		
HIV 22 mm <sup>2</sup>	12		
HIV 38 mm <sup>2</sup>	13		
HIV 60 mm <sup>2</sup>	14		
HIV 100 mm <sup>2</sup>	15		
HIV 150 mm <sup>2</sup>	16		
HIV 200 mm <sup>2</sup>	17		
HIV 250 mm <sup>2</sup>	18		
HIV 325 mm <sup>2</sup>	19		
HIV 400 mm <sup>2</sup>	20		
HIV 500 mm <sup>2</sup>	21		



## (3) VVR ケーブル (600V ビニル絶縁ケーブル)

施工歩掛コード	WE500300	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
VV-R (SV) 1.6mm <sup>2</sup> -2C	01		
VV-R (SV) 2.0mm <sup>2</sup> -2C	02		
VV-R (SV) 2.6mm <sup>2</sup> -2C	03		
VV-R (SV) 5.5mm <sup>2</sup> -2C	04		
VV-R (SV) 8mm <sup>2</sup> -2C	05		
VV-R (SV) 14mm <sup>2</sup> -2C	06		
VV-R (SV) 22mm <sup>2</sup> -2C	07		
VV-R (SV) 38mm <sup>2</sup> -2C	08		
VV-R (SV) 60mm <sup>2</sup> -2C	09		
VV-R (SV) 100mm <sup>2</sup> -2C	10		
VV-R (SV) 150mm <sup>2</sup> -2C	11		
VV-R (SV) 200mm <sup>2</sup> -2C	12		
VV-R (SV) 250mm <sup>2</sup> -2C	13		
VV-R (SV) 325mm <sup>2</sup> -2C	14		
VV-R (SV) 1.6mm <sup>2</sup> -3C	15		
VV-R (SV) 2.0mm <sup>2</sup> -3C	16		
VV-R (SV) 2.6mm <sup>2</sup> -3C	17		
VV-R (SV) 5.5mm <sup>2</sup> -3C	18		
VV-R (SV) 8mm <sup>2</sup> -3C	19		
VV-R (SV) 14mm <sup>2</sup> -3C	20		
VV-R (SV) 22mm <sup>2</sup> -3C	21		
VV-R (SV) 38mm <sup>2</sup> -3C	22		
VV-R (SV) 60mm <sup>2</sup> -3C	23		
VV-R (SV) 100mm <sup>2</sup> -3C	24		
VV-R (SV) 150mm <sup>2</sup> -3C	25		
VV-R (SV) 200mm <sup>2</sup> -3C	26		
VV-R (SV) 250mm <sup>2</sup> -3C	27		
VV-R (SV) 325mm <sup>2</sup> -3C	28		

(4) VVF ケーブル (600V ビニル絶縁ケーブル)

施工歩掛コード	WE500400	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
VV-F (F) 1.6mm-2C	01		
VV-F (F) 2.0mm-2C	02		
VV-F (F) 2.6mm-2C	03		
VV-F (F) 1.6mm-3C	04		
VV-F (F) 2.0mm-3C	05		
VV-F (F) 2.6mm-3C	06		
VV-F (F) 1.6mm-4C	07		
VV-F (F) 2.0mm-4C	08		

(5) CV ケーブル (600V 架橋ポリケーブル)

施工歩掛コード	WE500500	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
600V CV 2mm <sup>2</sup>	01	心線数 (表-1)	
600V CV 3.5mm <sup>2</sup>	02		
600V CV 5.5mm <sup>2</sup>	03		
600V CV 8mm <sup>2</sup>	04		
600V CV 14mm <sup>2</sup>	05		
600V CV 22mm <sup>2</sup>	06		
600V CV 38mm <sup>2</sup>	07		
600V CV 60mm <sup>2</sup>	08		
600V CV 100mm <sup>2</sup>	09		
600V CV 150mm <sup>2</sup>	10		
600V CV 200mm <sup>2</sup>	11		
600V CV 250mm <sup>2</sup>	12		
600V CV 325mm <sup>2</sup>	13		
600V CV 400mm <sup>2</sup>	14		
600V CV 500mm <sup>2</sup>	15		
600V CV 600mm <sup>2</sup>	16		
600V CV 800mm <sup>2</sup>	17		
600V CV 1000mm <sup>2</sup>	18		

(6) CV ケーブル (高圧架橋ポリケーブル)

施工歩掛コード	WE500600	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
3kV CV 8mm <sup>2</sup>	01	心線数 (表-2)	
3kV CV 14mm <sup>2</sup>	02		
3kV CV 22mm <sup>2</sup>	03		
3kV CV 38mm <sup>2</sup>	04		
3kV CV 60mm <sup>2</sup>	05		
3kV CV 100mm <sup>2</sup>	06		
3kV CV 150mm <sup>2</sup>	07		
3kV CV 200mm <sup>2</sup>	08		
3kV CV 250mm <sup>2</sup>	09		
3kV CV 325mm <sup>2</sup>	10		
3kV CV 400mm <sup>2</sup>	11		
3kV CV 500mm <sup>2</sup>	12		
3kV CV 600mm <sup>2</sup>	13		
3kV CV 800mm <sup>2</sup>	14		
3kV CV1000mm <sup>2</sup>	15		
6kV CV 8mm <sup>2</sup>	16		
6kV CV 14mm <sup>2</sup>	17		
6kV CV 22mm <sup>2</sup>	18		
6kV CV 38mm <sup>2</sup>	19		
6kV CV 60mm <sup>2</sup>	20		
6kV CV 100mm <sup>2</sup>	21		
6kV CV 150mm <sup>2</sup>	22		
6kV CV 200mm <sup>2</sup>	23		
6kV CV 250mm <sup>2</sup>	24		
6kV CV 325mm <sup>2</sup>	25		
6kV CV 400mm <sup>2</sup>	26		
6kV CV 500mm <sup>2</sup>	27		
6kV CV 600mm <sup>2</sup>	28		
6kV CV 800mm <sup>2</sup>	29		
6kV CV1000mm <sup>2</sup>	30		

表-1 心線数

心線数	入力番号
単心	1
2心	2
3心	3
4心	4

表-2 心線数

心線数	入力番号
単心	1
3心	2

(7) CVT ケーブル (トリプルレックスケーブル)

施工歩掛コード	WE500700	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
600V CVT 14mm <sup>2</sup>	01		
600V CVT 22mm <sup>2</sup>	02		
600V CVT 38mm <sup>2</sup>	03		
600V CVT 60mm <sup>2</sup>	04		
600V CVT100mm <sup>2</sup>	05		
600V CVT150mm <sup>2</sup>	06		
600V CVT200mm <sup>2</sup>	07		
600V CVT250mm <sup>2</sup>	08		
600V CVT325mm <sup>2</sup>	09		
6kV CVT 22mm <sup>2</sup>	10		
6kV CVT 38mm <sup>2</sup>	11		
6kV CVT 60mm <sup>2</sup>	12		
6kV CVT100mm <sup>2</sup>	13		
6kV CVT150mm <sup>2</sup>	14		
6kV CVT200mm <sup>2</sup>	15		
6kV CVT250mm <sup>2</sup>	16		
6kV CVT325mm <sup>2</sup>	17		
6kV CVT400mm <sup>2</sup>	18		
6kV CVT500mm <sup>2</sup>	19		

(8) CVMAZV ケーブル (600V スチールコルゲート)

施工歩掛コード	WE502300	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
CVMAZV 2.0mm <sup>2</sup>	01	心線数 (表-3)	
CVMAZV 3.5mm <sup>2</sup>	02		
CVMAZV 5.5mm <sup>2</sup>	03		
CVMAZV 8.0mm <sup>2</sup>	04		
CVMAZV 14mm <sup>2</sup>	05		
CVMAZV 22mm <sup>2</sup>	06		
CVMAZV 38mm <sup>2</sup>	07		
CVMAZV 60mm <sup>2</sup>	08		
CVMAZV100mm <sup>2</sup>	09		
CVMAZV150mm <sup>2</sup>	10		
CVMAZV200mm <sup>2</sup>	11		
CVMAZV250mm <sup>2</sup>	12		
CVMAZV325mm <sup>2</sup>	13		

表-3 心線数

心線数	入力番号
600V CVMAZV 2C	1
600V CVMAZV 3C	2
600V CVMAZV 4C	3

## (9) CVMAZV ケーブル (高圧スチールコルゲート)

施工歩掛コード	WE502400	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
3kV CVMAZV 8mm <sup>2</sup> ×3C	01		
3kV CVMAZV 14mm <sup>2</sup> ×3C	02		
3kV CVMAZV 22mm <sup>2</sup> ×3C	03		
3kV CVMAZV 38mm <sup>2</sup> ×3C	04		
3kV CVMAZV 60mm <sup>2</sup> ×3C	05		
3kV CVMAZV 100mm <sup>2</sup> ×3C	06		
3kV CVMAZV 150mm <sup>2</sup> ×3C	07		
3kV CVMAZV 200mm <sup>2</sup> ×3C	08		
3kV CVMAZV 250mm <sup>2</sup> ×3C	09		
3kV CVMAZV 325mm <sup>2</sup> ×3C	10		
6kV CVMAZV 8mm <sup>2</sup> ×3C	11		
6kV CVMAZV 14mm <sup>2</sup> ×3C	12		
6kV CVMAZV 22mm <sup>2</sup> ×3C	13		
6kV CVMAZV 38mm <sup>2</sup> ×3C	14		
6kV CVMAZV 60mm <sup>2</sup> ×3C	15		
6kV CVMAZV 100mm <sup>2</sup> ×3C	16		
6kV CVMAZV 150mm <sup>2</sup> ×3C	17		
6kV CVMAZV 200mm <sup>2</sup> ×3C	18		
6kV CVMAZV 250mm <sup>2</sup> ×3C	19		
6kV CVMAZV 325mm <sup>2</sup> ×3C	20		

(10) FP ケーブル (600V 耐火電線)

施工歩掛コード	WE502600	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
FP 1.2mm	01	心線数 (表-4)	
FP 1.6mm	02		
FP 2.0mm	03		
FP 2.6mm	04		
FP 2.0mm <sup>2</sup>	05		
FP 3.5mm <sup>2</sup>	06		
FP 5.5mm <sup>2</sup>	07		
FP 8.0mm <sup>2</sup>	08		
FP 14mm <sup>2</sup>	09		
FP 22mm <sup>2</sup>	10		
FP 38mm <sup>2</sup>	11		
FP 60mm <sup>2</sup>	12		
FP 100mm <sup>2</sup>	13		
FP 150mm <sup>2</sup>	14		
FP 200mm <sup>2</sup>	15		
FP 250mm <sup>2</sup>	16		
FP 325mm <sup>2</sup>	17		

表-4 心線数

心線数	入力番号
600V FP 1C	1
600V FP 2C	2
600V FP 3C	3
600V FP 4C	4

(11) FP ケーブル (高圧耐火電線)

施工歩掛コード	WE502700	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
6kV FP 14mm <sup>2</sup> ×1C	01		
6kV FP 22mm <sup>2</sup> ×1C	02		
6kV FP 38mm <sup>2</sup> ×1C	03		
6kV FP 60mm <sup>2</sup> ×1C	04		
6kV FP 100mm <sup>2</sup> ×1C	05		
6kV FP 150mm <sup>2</sup> ×1C	06		
6kV FP 200mm <sup>2</sup> ×1C	07		
6kV FP 250mm <sup>2</sup> ×1C	08		
6kV FP 325mm <sup>2</sup> ×1C	09		



(12) HP ケーブル (耐熱電線)

施工歩掛コード	WE502800	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
HP 0.65mm	01	心線数 (表-5)	
HP 0.9 mm	02		
HP 1.2 mm	03		
HP 1.6 mm	04		
HP 2.0 mm	05		

(13) PDC 電線 (高圧引下用絶縁電線)

施工歩掛コード	WE500800	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
6.6kV PDC 22 mm <sup>2</sup>	01		
6.6kV PDC 38 mm <sup>2</sup>	02		

表-5 心線数

心線数	入力番号
1心	1
2心	2
3心	3
4心	4
5心	5
6心	6
7心	7
10心	8
15心	9
3対	10
5対	11
7対	12
10対	13
15対	14
20対	15
25対	16
30対	17
40対	18
50対	19
75対	20
100対	21
200対	22

(14) OW 電線 (屋外用ビニル絶縁電線)

施工歩掛コード	WE500900	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
OW 2.0mm	01		
OW 2.6mm	02		
OW 3.2mm	03		
OW 4.0mm	04		
OW 5.0mm	05		
OW 14 mm <sup>2</sup>	06		
OW 22 mm <sup>2</sup>	07		
OW 38 mm <sup>2</sup>	08		
OW 60 mm <sup>2</sup>	09		
OW 100 mm <sup>2</sup>	10		

(15) OE 電線 (屋外用ポリエチレン絶縁電線)

施工歩掛コード	WE501000	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
OE 5mm	01		
OE 22mm <sup>2</sup>	02		
OE 38mm <sup>2</sup>	03		
OE 60mm <sup>2</sup>	04		
OE 100mm <sup>2</sup>	05		

(16) OC 電線 (屋外用架橋絶縁電線)

施工歩掛コード	WE501100	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
OC 5mm	01		
OC 22mm <sup>2</sup>	02		
OC 38mm <sup>2</sup>	03		
OC 60mm <sup>2</sup>	04		
OC 100mm <sup>2</sup>	05		

## ② 制御ケーブル類

### 1 施工単価入力表

#### (1) CVV ケーブル (制御用絶縁電線)

施工歩掛コード	WE501200	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
CVV 1.25mm <sup>2</sup>	01	心線数 (表-1)	
CVV 2.0 mm <sup>2</sup>	02		
CVV 3.5 mm <sup>2</sup>	03		
CVV 5.5 mm <sup>2</sup>	04		
CVV 8 mm <sup>2</sup>	05		
CVV 14 mm <sup>2</sup>	06		
CVV 22 mm <sup>2</sup>	07		

#### (2) CVV-S ケーブル (しゃへい付制御電線)

施工歩掛コード	WE501300	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
CVV-S1.25mm <sup>2</sup>	01	心線数 (表-2)	
CVV-S2.0 mm <sup>2</sup>	02		
CVV-S3.5 mm <sup>2</sup>	03		
CVV-S5.5 mm <sup>2</sup>	04		

表-1 心線数

心線数	入力番号
2心	1
3心	2
4心	3
5心	4
6心	5
7心	6
8心	7
10心	8
12心	9
15心	10
20心	11
30心	12

表-2 心線数

心線数	入力番号
2心	1
3心	2
4心	3
5心	4
6心	5
7心	6
8心	7
10心	8
12心	9
15心	10
20心	11

(3) CVVMAZV ケーブル (スチールコルゲート)

施工歩掛コード	WE502500	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
CVVMAZV 2.0mm <sup>2</sup> ×2C	01		
CVVMAZV 3.5mm <sup>2</sup> ×2C	02		
CVVMAZV 5.5mm <sup>2</sup> ×2C	03		
CVVMAZV 8 mm <sup>2</sup> ×2C	04		
CVVMAZV14 mm <sup>2</sup> ×2C	05		
CVVMAZV22 mm <sup>2</sup> ×2C	06		
CVVMAZV 2.0mm <sup>2</sup> ×3C	07		
CVVMAZV 3.5mm <sup>2</sup> ×3C	08		
CVVMAZV 5.5mm <sup>2</sup> ×3C	09		
CVVMAZV 8 mm <sup>2</sup> ×3C	10		
CVVMAZV14 mm <sup>2</sup> ×3C	11		
CVVMAZV22 mm <sup>2</sup> ×3C	12		
CVVMAZV 2.0mm <sup>2</sup> ×4C	13		
CVVMAZV 3.5mm <sup>2</sup> ×4C	14		
CVVMAZV 5.5mm <sup>2</sup> ×4C	15		
CVVMAZV 8 mm <sup>2</sup> ×4C	16		
CVVMAZV14 mm <sup>2</sup> ×4C	17		
CVVMAZV22 mm <sup>2</sup> ×4C	18		

## (4) 2PNCT ケーブル (キャブタイヤケーブル)

施工歩掛コード	WE503000	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
600V 2PNCT 3.5mm <sup>2</sup> ×2C	01		
600V 2PNCT 5.5mm <sup>2</sup> ×2C	02		
600V 2PNCT 8 mm <sup>2</sup> ×2C	03		
600V 2PNCT 14 mm <sup>2</sup> ×2C	04		
600V 2PNCT 22 mm <sup>2</sup> ×2C	05		
600V 2PNCT 38 mm <sup>2</sup> ×2C	06		
600V 2PNCT 60 mm <sup>2</sup> ×2C	07		
600V 2PNCT 100 mm <sup>2</sup> ×2C	08		
600V 2PNCT 3.5mm <sup>2</sup> ×3C	09		
600V 2PNCT 5.5mm <sup>2</sup> ×3C	10		
600V 2PNCT 8 mm <sup>2</sup> ×3C	11		
600V 2PNCT 14 mm <sup>2</sup> ×3C	12		
600V 2PNCT 22 mm <sup>2</sup> ×3C	13		
600V 2PNCT 38 mm <sup>2</sup> ×3C	14		
600V 2PNCT 60 mm <sup>2</sup> ×3C	15		
600V 2PNCT 100 mm <sup>2</sup> ×3C	16		

### ③ 通信ケーブル類

#### 1 施工単価入力表

##### (1) FCPEV ケーブル (着色識別 PE 絶縁電線)

施工歩掛コード	WE501400	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
FCPEV 0.65mm	01	心線数 (表-1)	
FCPEV 0.9 mm	02		
FCPEV 1.2 mm	03	心線数 (表-2)	

##### (2) FCPEV-S ケーブル (銅テープ)

施工歩掛コード	WE501500	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
FCPEV-S 0.65mm	01	心線数 (表-1)	
FCPEV-S 0.9 mm	02		
FCPEV-S 1.2 mm	03	心線数 (表-2)	

表-1 心線数

心線数	入力番号
1 対	1
2 対	2
3 対	3
5 対	4
7 対	5
10 対	6
15 対	7
20 対	8
25 対	9
30 対	10
50 対	11
70 対	12
100 対	13
150 対	14
200 対	15

表-2 心線数

心線数	入力番号
1 対	1
2 対	2
3 対	3
5 対	4
7 対	5
10 対	6
15 対	7
20 対	8
25 対	9
30 対	10
50 対	11
70 対	12
100 対	13

## (3) FCPEV-S ケーブル (コルゲート)

施工歩掛コード	WE501600	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
FCPEV-S(コルゲート) 0.65mm	01	心線数	
FCPEV-S(コルゲート) 0.9 mm	02	(表-1)	
FCPEV-S(コルゲート) 1.2 mm	03	心線数 (表-2)	

## (4) CCP-P ケーブル (市内ケーブル)

施工歩掛コード	WE501700	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
CCP-P0.4 mm 10P	01		
CCP-P0.4 mm 30P	02		
CCP-P0.4 mm 50P	03		
CCP-P0.4 mm 100P	04		
CCP-P0.4 mm 200P	05		
CCP-P0.5 mm 10P	06		
CCP-P0.5 mm 30P	07		
CCP-P0.5 mm 50P	08		
CCP-P0.5 mm 100P	09		
CCP-P0.5 mm 200P	10		
CCP-P0.65mm 10P	11		
CCP-P0.65mm 30P	12		
CCP-P0.65mm 50P	13		
CCP-P0.65mm 100P	14		
CCP-P0.65mm 200P	15		
CCP-P0.9 mm 10P	16		
CCP-P0.9 mm 30P	17		
CCP-P0.9 mm 50P	18		
CCP-P0.9 mm 100P	19		

(5) SWVP ケーブル (プリントケーブル)

施工歩掛コード	WE501800	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
SWVP 0.5mm× 6C	01		
SWVP 0.5mm× 12C	02		
SWVP 0.5mm× 22C	03		
SWVP 0.5mm× 24C	04		
SWVP 0.5mm× 33C	05		
SWVP 0.5mm× 40C	06		
SWVP 0.5mm× 48C	07		
SWVP 0.5mm× 60C	08		
SWVP 0.5mm× 75C	09		
SWVP 0.5mm× 80C	10		
SWVP 0.5mm×100C	11		
SWVP 0.5mm×120C	12		
SWVP 0.5mm×150C	13		

(6) 構内用ケーブル

施工歩掛コード	WE501900	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
0.4 mm 10P	01		
0.4 mm 20P	02		
0.4 mm 30P	03		
0.4 mm 50P	04		
0.4 mm 100P	05		
0.4 mm 200P	06		
0.5 mm 10P	07		
0.5 mm 20P	08		
0.5 mm 30P	09		
0.5 mm 50P	10		
0.5 mm 100P	11		
0.5 mm 200P	12		
0.65mm 10P	13		
0.65mm 20P	14		
0.65mm 30P	15		



(7) TIVF ケーブル (PVC 屋内線)

施工歩掛コード	WE502100	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
TIVF0.65mm×2C 並列	01		
TIVF0.65mm×3C 並列	02		
TIVF0.8 mm×2C 並列	03		
TIVF0.8 mm×3C 並列	04		

(8) TJVY ケーブル (PVC ナイロンジャンパー線)

施工歩掛コード	WE502200	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
TJVY 0.5mm 単心	01		
TJVY 0.5mm 2 コより	02		
TJVY 0.5mm 3 コより	03		
TJVY 0.5mm 4 コより	04		

(9) ECX ケーブル (高周波同軸ケーブル)

施工歩掛コード	WE502000	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
ECX 3C-2Z 単線	01		
ECX 3C-2V 単線	02		
ECX 3C-2W 単線	03		
ECX 5C-2Z 単線	04		
ECX 5C-2V 単線	05		
ECX 5C-2W 単線	06		
ECX 7C-2V 7/0.4	07		
ECX 10C-2V 7/0.5	08		
ECX 10C-2W 7/0.5	09		
ECX 3D-2W 7/0.32	10		
ECX 5D-2V 単線	11		
ECX 5D-2W 単線	12		
ECX 8D-2V 7/0.8	13		
ECX 8D-2W 7/0.8	14		
ECX 10D-2V 単線	15		

(10) WF-H ケーブル (高周波同軸ケーブル)

施工歩掛コード	WE502900	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
WF-H50-4	01		
WF-H50-7	02		
WF-H50-13	03		

#### ④ 情報ケーブル類

##### 1 施工単価入力表

###### (1) 10BASE ケーブル (イーサネットケーブル)

施工歩掛コード	WE503600	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
10BASE-2 用	01		
10BASE-5 用	02		

###### (2) ツイストペアケーブル

施工歩掛コード	WE503700	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
カテゴリー3 2P	01		
カテゴリー3 4P	02		
カテゴリー3 24P	03		
カテゴリー4 2P	04		
カテゴリー4 4P	05		
カテゴリー4 24P	06		
カテゴリー5 2P	07		
カテゴリー5 4P	08		
カテゴリー5 24P	09		
カテゴリー5 4P (屋外用)	10		
カテゴリー5e 4P	11		
カテゴリー5e 8P	12		
カテゴリー5e 24P	13		
カテゴリー5e 4P (屋外用)	14		
カテゴリー6 4P	15		

###### (3) 配線各種

施工歩掛コード	WE507000	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
配線各種	01		

(4) 光ケーブル配線各種

施工歩掛コード	WE507100	施工単位	m・本		
施工区分		入力条件			
種別	規格番号	J1 材料名称	J2 材料規格	J3 材料規格詳細	J4 材料選択
光ケーブル類	*	表-1 から選択	表-2 から選択	表-3 から選択	表-4 (表-4-1 から 表-4-33) から選択

- (注) 1. J2 条件は、J1 条件で「01」を選択したときに、選択できる。  
 2. J3 条件は、J2 条件で「01」、「02」、「03」、「04」、「23」を選択したときに、選択できる。  
 3. 管理費区分「1」を設定している。

表-1

01	光ケーブル
02	光コード
03	光コネクタ付コード
04	光ファイバ層形 LAP シース
05	光ファイバ層形 LAP シース SSF
06	光ファイバユニット型 LAP シース

表-3

01	DSF
02	SM

表-2

01	光ケーブル (4 芯テープスロット)
02	光ケーブル (4 芯テープ SSD)
03	光ケーブル (4 芯テープ SSF)
04	光ケーブル (4 芯テープ難燃型)
05	光ケーブル (層型)
06	光ケーブル (2 芯テープ SZ 型)
07	光ケーブル (4 芯テープ SZ 型)
08	光ケーブル (2 芯 SZ・SSD 型)
09	光ケーブル (4 芯 SZ・SSD 型)
10	光ケーブル (2 芯 SZ・SSF 型)
11	光ケーブル (4 芯 SZ・SSF 型)
12	光ケーブル (2 芯 SZ 難燃型)
13	光ケーブル (4 芯 SZ 難燃型)
14	光ケーブル (層型、コルゲート)
15	光ケーブル (4 芯コルゲート)
16	光ケーブル (GI)
17	光ケーブル (スパーサ型)
18	光ケーブル (8 芯テープスロット)
19	光ケーブル (8 芯テープ SSD)
20	光ケーブル (8 芯テープ SSF)
21	光ケーブル (8 芯テープ難燃型)
22	光ケーブル (4 芯テープ WB 型)
23	光ケーブル (ノンメタリック)

表-4

J1 条件		J2 条件		J3 条件	
番号	材料名称	番号	材料規格	番号	材料規格明細
01	光ケーブル	01	光ケーブル (4 芯テープスロット)	01	DSF
				02	SM
		02	光ケーブル (4 芯テープ SSD)	01	DSF
				02	SM
		03	光ケーブル (4 芯テープ SSF)	01	DSF
				02	SM
		04	光ケーブル (4 芯テープ難燃型)	01	DSF
				02	SM
		05	光ケーブル (層型)	-	-
		06	光ケーブル (2 芯テープ SZ 型)	-	-
		07	光ケーブル (4 芯テープ SZ 型)	-	-
		08	光ケーブル (2 芯 SZ・SSD 型)	-	-
		09	光ケーブル (4 芯 SZ・SSD 型)	-	-
		10	光ケーブル (2 芯 SZ・SSF 型)	-	-
		11	光ケーブル (4 芯 SZ・SSF 型)	-	-
		12	光ケーブル (2 芯 SZ 難燃型)	-	-
		13	光ケーブル (4 芯 SZ 難燃型)	-	-
		14	光ケーブル (層型、コルゲート)	-	-
		15	光ケーブル (4 芯コルゲート)	-	-
		16	光ケーブル (GI)	-	-
		17	光ケーブル (スパーサ型)	-	-
		18	光ケーブル (8 芯テープスロット)	-	-
		19	光ケーブル (8 芯テープ SSD)	-	-
20	光ケーブル (8 芯テープ SSF)	-	-		
21	光ケーブル (8 芯テープ難燃型)	-	-		
22	光ケーブル (4 芯テープ WB 型)	-	-		
23	光ケーブル (ノンメタリック)	01	DSF		
		02	SM		
02	光コード	-	-	-	-
03	光コネクタ付コード	-	-	-	-
04	光ファイバ層形 LAP シース	-	-	-	-
05	光ファイバ層形 LAP シース SSF	-	-	-	-
06	光ファイバユニット型 LAP シース				

表-4-1

(J1条件:「F01」、J2条件:「F01」、J3条件:「F01」選択時)

01	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 16C+SM 4C
02	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 20C+SM 4C
03	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 36C+SM 4C
04	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 40C+SM 4C
05	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 56C+SM 4C
06	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 60C+SM 4C
07	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 76C+SM 4C
08	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 80C+SM 4C
09	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 96C+SM 4C
10	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 100C+SM 4C
11	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 116C+SM 4C
12	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 120C+SM 4C
13	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 136C+SM 4C
14	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 140C+SM 4C
15	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 160C+SM 4C
16	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 180C+SM 4C
17	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 200C+SM 4C
18	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 220C+SM 4C
19	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 240C+SM 4C
20	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 260C+SM 4C
21	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 280C+SM 4C
22	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 300C+SM 4C
23	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 20C+SM 20C
24	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 20C+SM 40C
25	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 20C+SM 80C
26	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 20C+SM 100C
27	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 40C+SM 20C
28	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 40C+SM 60C
29	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 40C+SM 100C
30	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 60C+SM 40C
31	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 60C+SM 60C
32	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 60C+SM 80C
33	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 60C+SM 100C
34	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 80C+SM 20C
35	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 80C+SM 40C
36	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 80C+SM 60C
37	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 80C+SM 80C
38	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 100C+SM 40C
39	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 100C+SM 60C
40	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 120C+SM 40C
41	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 120C+SM 80C
42	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 120C+SM 100C
43	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 140C+SM 20C
44	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 140C+SM 40C
45	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 140C+SM 100C
46	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 160C+SM 100C
47	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 180C+SM 100C
48	光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 200C+SM 100C

表-4-2

(J1条件:「F01」、J2条件:「F01」、J3条件:「F02」選択時)

01	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 4C
02	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 8C
03	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 20C
04	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 40C
05	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 60C
06	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 80C
07	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 100C
08	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 120C
09	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 140C
10	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 160C
11	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 180C
12	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 200C
13	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 220C
14	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 240C
15	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 260C
16	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 280C
17	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 300C
18	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 320C
19	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 360C
20	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 400C
21	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 440C
22	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 520C
23	光ケーブル(4芯テープスロット)SM 1.31μm 600C

表-4-3

(J1条件:「01」、J2条件:「02」、J3条件:「01」選択時)

01	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 16C+SM 4C
02	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 36C+SM 4C
03	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 40C+SM 4C
04	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 56C+SM 4C
05	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 60C+SM 4C
06	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 76C+SM 4C
07	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 80C+SM 4C
08	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 96C+SM 4C
09	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 100C+SM 4C
10	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 116C+SM 4C
11	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 120C+SM 4C
12	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 136C+SM 4C
13	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 140C+SM 4C
14	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 160C+SM 4C
15	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 180C+SM 4C
16	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 200C+SM 4C
17	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 220C+SM 4C
18	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 240C+SM 4C
19	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 260C+SM 4C
20	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 280C+SM 4C
21	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 300C+SM 4C
22	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 20C+SM 20C
23	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 20C+SM 40C
24	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 20C+SM 80C
25	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 40C+SM 20C
26	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 40C+SM 60C
27	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 60C+SM 40C
28	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 60C+SM 80C
29	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 80C+SM 20C
30	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 80C+SM 40C
31	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 80C+SM 60C
32	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 80C+SM 80C
33	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 100C+SM 40C
34	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 100C+SM 60C
35	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 120C+SM 40C
36	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 120C+SM 80C
37	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 120C+SM 100C
38	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 140C+SM 20C
39	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 140C+SM 40C
40	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 140C+SM 100C
41	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 160C+SM 100C
42	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 180C+SM 100C
43	光ケーブル(4芯テープ SSD)DSF 200C+SM 100C

表-4-4

(J1条件:「01」、J2条件:「02」、J3条件:「02」選択時)

01	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 20C
02	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 40C
03	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 60C
04	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 80C
05	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 100C
06	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 120C
07	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 140C
08	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 160C
09	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 180C
10	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 200C
11	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 220C
12	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 240C
13	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 260C
14	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 280C
15	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 300C
16	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 320C
17	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 360C
18	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 400C
19	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 440C
20	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 480C
21	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 520C
22	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 560C
23	光ケーブル(4芯テープ SSD)SM 1.31μm 600C

表-4-5

(J1条件:「F01」、J2条件:「F03」、J3条件:「F01」選択時)

01	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 16C+SM 4C
02	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 36C+SM 4C
03	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 40C+SM 4C
04	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 56C+SM 4C
05	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 60C+SM 4C
06	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 76C+SM 4C
07	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 80C+SM 4C
08	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 96C+SM 4C
09	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 100C+SM 4C
10	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 116C+SM 4C
11	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 120C+SM 4C
12	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 136C+SM 4C
13	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 140C+SM 4C
14	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 160C+SM 4C
15	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 180C+SM 4C
16	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 200C+SM 4C
17	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 220C+SM 4C
18	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 240C+SM 4C
19	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 260C+SM 4C
20	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 280C+SM 4C
21	光ケーブル(4芯テープ SSF)DSF 300C+SM 4C

表-4-6

(J1条件:「F01」、J2条件:「F03」、J3条件:「F02」選択時)

01	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 4C
02	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 20C
03	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 40C
04	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 60C
05	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 80C
06	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 100C
07	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 120C
08	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 140C
09	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 160C
10	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 180C
11	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 200C
12	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 220C
13	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 240C
14	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 260C
15	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 280C
16	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 300C
17	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 320C
18	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 360C
19	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 400C
20	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 440C
21	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 480C
22	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 520C
23	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 560C
24	光ケーブル(4芯テープ SSF)SM 1.31μm 600C

表-4-7

(J1条件:「F01」、J2条件:「F04」、J3条件:「F01」選択時)

01	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 40C+SM 4C
02	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 60C+SM 4C
03	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 80C+SM 4C
04	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 100C+SM 4C
05	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 120C+SM 4C
06	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 140C+SM 4C
07	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 160C+SM 4C
08	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 180C+SM 4C
09	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 200C+SM 4C
10	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 220C+SM 4C
11	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 240C+SM 4C
12	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 260C+SM 4C
13	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 280C+SM 4C
14	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)DSF 300C+SM 4C

表-4-8

(J1条件:「F01」、J2条件:「F04」、J3条件:「F02」選択時)

01	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 40C
02	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 60C
03	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 80C
04	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 100C
05	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 120C
06	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 140C
07	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 160C
08	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 180C
09	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 200C
10	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 220C
11	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 240C
12	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 260C
13	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 280C
14	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 300C
15	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 320C
16	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 360C
17	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 400C
18	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 440C
19	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 480C
20	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 520C
21	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 560C
22	光ケーブル(4芯テープ 難燃型)SM 1.31μm 600C

表-4-9 (J1条件:「F01」、J2条件:「F05」選択時)

01	光ケーブル(層型)SM 1.31μm 12C
02	光ケーブル(層型,SSD)SM 1.31μm 12C
03	光ケーブル(層型,SSF)SM 1.31μm 12C



表-4-10  
(J1条件:「01」、J2条件:「06」選択時)

01	光ケーブル(2芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 20C
02	光ケーブル(2芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 24C
03	光ケーブル(2芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 40C
04	光ケーブル(2芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 48C
05	光ケーブル(2芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 60C
06	光ケーブル(2芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 80C
07	光ケーブル(2芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 100C
08	光ケーブル(2芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 120C
09	光ケーブル(2芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 128C

表-4-11  
(J1条件:「01」、J2条件:「07」選択時)

01	光ケーブル(4芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 20C
02	光ケーブル(4芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 24C
03	光ケーブル(4芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 40C
04	光ケーブル(4芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 48C
05	光ケーブル(4芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 60C
06	光ケーブル(4芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 80C
07	光ケーブル(4芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 100C
08	光ケーブル(4芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 120C
09	光ケーブル(4芯テーパー SZ型)SM 1.31μm 128C

表-4-12  
(J1条件:「01」、J2条件:「08」選択時)

01	光ケーブル(2芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 24C
02	光ケーブル(2芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 40C
03	光ケーブル(2芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 48C

表-4-13  
(J1条件:「01」、J2条件:「09」選択時)

01	光ケーブル(4芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 60C
02	光ケーブル(4芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 80C
03	光ケーブル(4芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 100C
04	光ケーブル(4芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 120C
05	光ケーブル(4芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 128C
06	光ケーブル(4芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 140C
07	光ケーブル(4芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 160C
08	光ケーブル(4芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 180C
09	光ケーブル(4芯SZ・SSD型)SM 1.31μm 200C

表-4-14  
(J1条件:「01」、J2条件:「10」選択時)

01	光ケーブル(2芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 24C
02	光ケーブル(2芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 40C
03	光ケーブル(2芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 48C

表-4-15  
(J1条件:「01」、J2条件:「11」選択時)

01	光ケーブル(4芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 60C
02	光ケーブル(4芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 80C
03	光ケーブル(4芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 100C
04	光ケーブル(4芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 120C
05	光ケーブル(4芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 128C
06	光ケーブル(4芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 140C
07	光ケーブル(4芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 160C
08	光ケーブル(4芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 180C
09	光ケーブル(4芯SZ・SSF型)SM 1.31μm 200C

表-4-16  
(J1条件:「01」、J2条件:「12」選択時)

01	光ケーブル(2芯SZ難燃型)SM 1.31μm 24C
02	光ケーブル(2芯SZ難燃型)SM 1.31μm 40C
03	光ケーブル(2芯SZ難燃型)SM 1.31μm 48C

表-4-17  
(J1条件:「01」、J2条件:「13」選択時)

01	光ケーブル(4芯SZ難燃型)SM 1.31μm 60C
02	光ケーブル(4芯SZ難燃型)SM 1.31μm 80C
03	光ケーブル(4芯SZ難燃型)SM 1.31μm 100C
04	光ケーブル(4芯SZ難燃型)SM 1.31μm 120C
05	光ケーブル(4芯SZ難燃型)SM 1.31μm 128C
06	光ケーブル(4芯SZ難燃型)SM 1.31μm 140C
07	光ケーブル(4芯SZ難燃型)SM 1.31μm 160C
08	光ケーブル(4芯SZ難燃型)SM 1.31μm 180C
09	光ケーブル(4芯SZ難燃型)SM 1.31μm 200C

表-4-18  
(J1条件:「01」、J2条件:「14」選択時)

01	光ケーブル(層型、コルゲート)SM 1.31μm 12C
----	------------------------------

表-4-19  
(J1条件:「01」、J2条件:「15」選択時)

01	光ケーブル(4芯コルゲート)SM 1.31μm 20C
02	光ケーブル(4芯コルゲート)SM 1.31μm 40C
03	光ケーブル(4芯コルゲート)SM 1.31μm 60C
04	光ケーブル(4芯コルゲート)SM 1.31μm 80C
05	光ケーブル(4芯コルゲート)SM 1.31μm 100C

表-4-20  
(J1条件:「01」、J2条件:「16」選択時)

01	光ケーブルGI 20C
02	光ケーブルGI 40C
03	光ケーブルGI 60C
04	光ケーブルGI 80C
05	光ケーブルGI 100C

表-4-21  
(J1条件:「01」、J2条件:「17」選択時)

01	光ケーブル(スぺーサ型)SM 1.31μm 2C
02	光ケーブル(スぺーサ型)SM 1.31μm 4C
03	光ケーブル(スぺーサ型)SM 1.31μm 6C
04	光ケーブル(スぺーサ型)SM 1.31μm 8C

表-4-22  
(J1条件:「01」、J2条件:「18」選択時)

01	光ケーブル(8芯テーブスポット)SM 1.31μm 320C
02	光ケーブル(8芯テーブスポット)SM 1.31μm 360C
03	光ケーブル(8芯テーブスポット)SM 1.31μm 400C
04	光ケーブル(8芯テーブスポット)SM 1.31μm 440C
05	光ケーブル(8芯テーブスポット)SM 1.31μm 520C
06	光ケーブル(8芯テーブスポット)SM 1.31μm 600C

表-4-23  
(J1条件:「01」、J2条件:「19」選択時)

01	光ケーブル(8芯テーブSSD)SM 1.31μm 320C
02	光ケーブル(8芯テーブSSD)SM 1.31μm 360C
03	光ケーブル(8芯テーブSSD)SM 1.31μm 400C
04	光ケーブル(8芯テーブSSD)SM 1.31μm 440C
05	光ケーブル(8芯テーブSSD)SM 1.31μm 520C
06	光ケーブル(8芯テーブSSD)SM 1.31μm 600C

表-4-24  
(J1条件:「01」、J2条件:「20」選択時)

01	光ケーブル(8芯テーブSSF)SM 1.31μm 320C
02	光ケーブル(8芯テーブSSF)SM 1.31μm 360C
03	光ケーブル(8芯テーブSSF)SM 1.31μm 400C
04	光ケーブル(8芯テーブSSF)SM 1.31μm 440C
05	光ケーブル(8芯テーブSSF)SM 1.31μm 520C
06	光ケーブル(8芯テーブSSF)SM 1.31μm 600C

表-4-25  
(J1条件:「01」、J2条件:「21」選択時)

01	光ケーブル(8芯テーブ難燃型)SM 1.31μm 320C
02	光ケーブル(8芯テーブ難燃型)SM 1.31μm 360C
03	光ケーブル(8芯テーブ難燃型)SM 1.31μm 400C
04	光ケーブル(8芯テーブ難燃型)SM 1.31μm 440C
05	光ケーブル(8芯テーブ難燃型)SM 1.31μm 520C
06	光ケーブル(8芯テーブ難燃型)SM 1.31μm 600C

表-4-26  
(J1条件:「01」、J2条件:「22」選択時)

01	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 4C
02	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 8C
03	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 20C
04	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 40C
05	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 60C
06	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 80C
07	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 100C
08	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 120C
09	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 140C
10	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 160C
11	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 180C
12	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 200C
13	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 220C
14	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 240C
15	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 260C
16	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 280C
17	光ケーブル(4芯テーブWB型)SM 1.31μm 300C

表-4-27

(J1条件:「01」、J2条件:「23」、J3条件:「01」選択時)

01	光ケーブル(ノンメタリック)DSF20c+SM4c(4芯テープ スロット)
02	光ケーブル(ノンメタリック)DSF40c+SM4c(4芯テープ スロット)
03	光ケーブル(ノンメタリック)DSF60c+SM4c(4芯テープ スロット)
04	光ケーブル(ノンメタリック)DSF80c+SM4c(4芯テープ スロット)
05	光ケーブル(ノンメタリック)DSF100c+SM4c(4芯テープ スロット)
06	光ケーブル(ノンメタリック)DSF40C+SM4C(4芯テープ SSF)
07	光ケーブル(ノンメタリック)DSF60C+SM4C(4芯テープ SSF)
08	光ケーブル(ノンメタリック)DSF80C+SM4C(4芯テープ SSF)
09	光ケーブル(ノンメタリック)DSF100C+SM4C(4芯テープ SSF)

表-4-29

(J1条件:「02」選択時)

01	光コート SM 1.31 $\mu$ m 1C
02	光コート SM 1.31 $\mu$ m 2C
03	光コート SM 1.31 $\mu$ m 4C
04	光コート SM 1.31 $\mu$ m 8C
05	光コート DSF1 芯
06	光コート DSF4 芯テープ
07	光コート DSF8 芯テープ

表-4-30

(J1条件:「03」選択時)

01	光コネクタ付コート(SC-LC) SM 両端子 4C(PC研磨) 2m
02	光コネクタ付コート(SC) SM 両端子 4C(PC研磨) 2m

表-4-32

(J1条件:「05」選択時)

01	光ファイバ 層形 LAP シース SSF0.8dB 2C
02	光ファイバ 層形 LAP シース SSF0.8dB 4C
03	光ファイバ 層形 LAP シース SSF0.8dB 8C
04	光ファイバ 層形 LAP シース SSF0.8dB 12C
05	光ファイバ 層形 LAP シース SSF0.5dB 2C
06	光ファイバ 層形 LAP シース SSF0.5dB 4C
07	光ファイバ 層形 LAP シース SSF0.5dB 8C
08	光ファイバ 層形 LAP シース SSF0.5dB 12C

表-4-28

(J1条件:「01」、J2条件:「23」、J3条件:「02」選択時)

01	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 4C(4芯テープ スロット)
02	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 8C(4芯テープ スロット)
03	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 20C(4芯テープ スロット)
04	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 40C(4芯テープ スロット)
05	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 60C(4芯テープ スロット)
06	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 80C(4芯テープ スロット)
07	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 100C(4芯テープ スロット)
08	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 120C(4芯テープ スロット)
09	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 140C(4芯テープ スロット)
10	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 160C(4芯テープ スロット)
11	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 180C(4芯テープ スロット)
12	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 200C(4芯テープ スロット)
13	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 220C(4芯テープ スロット)
14	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 240C(4芯テープ スロット)
15	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 260C(4芯テープ スロット)
16	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 280C(4芯テープ スロット)
17	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 300C(4芯テープ スロット)
18	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 20C(4芯テープ SSF)
19	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 40C(4芯テープ SSF)
20	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 60C(4芯テープ SSF)
21	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 80C(4芯テープ SSF)
22	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 100C(4芯テープ SSF)
23	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 120C(4芯テープ SSF)
24	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 140C(4芯テープ SSF)
25	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 160C(4芯テープ SSF)
26	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 180C(4芯テープ SSF)
27	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 200C(4芯テープ SSF)
28	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 220C(4芯テープ SSF)
29	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 240C(4芯テープ SSF)
30	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 260C(4芯テープ SSF)
31	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 280C(4芯テープ SSF)
32	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 300C(4芯テープ SSF)
33	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 2C(スベ-サ型)
34	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 4C(スベ-サ型)
35	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 6C(スベ-サ型)
36	光ケーブル(ノンメタリック)SM 1.31 $\mu$ m 8C(スベ-サ型)

表-4-31

(J1条件:「04」選択時)

01	光ファイバ 層形 LAP シース 0.8dB 2C
02	光ファイバ 層形 LAP シース 0.8dB 4C
03	光ファイバ 層形 LAP シース 0.8dB 8C
04	光ファイバ 層形 LAP シース 0.8dB 12C
05	光ファイバ 層形 LAP シース 0.5dB 2C
06	光ファイバ 層形 LAP シース 0.5dB 4C
07	光ファイバ 層形 LAP シース 0.5dB 8C
08	光ファイバ 層形 LAP シース 0.5dB 12C

表-4-33

(J1条件:「06」選択時)

01	光ファイバ エニット型 LAP シース 0.8dB 18C
02	光ファイバ エニット型 LAP シース 0.8dB 24C
03	光ファイバ エニット型 LAP シース 0.8dB 36C
04	光ファイバ エニット型 LAP シース 0.8dB 48C
05	光ファイバ エニット型 LAP シース 0.5dB 18C
06	光ファイバ エニット型 LAP シース 0.5dB 24C
07	光ファイバ エニット型 LAP シース 0.5dB 36C
08	光ファイバ エニット型 LAP シース 0.5dB 48C

⑤ 接続材・端末処理材

1 施工単価入力表

(1) 直線接続材料 (CV) JCAA 規格 600V

施工歩掛コード	WE504600	施工単位	組
施工区分			
種別	規格番号		
600V 8mm <sup>2</sup> 単心	01		
600V 14mm <sup>2</sup> 単心	02		
600V 22mm <sup>2</sup> 単心	03		
600V 38mm <sup>2</sup> 単心	04		
600V 60mm <sup>2</sup> 単心	05		
600V 100mm <sup>2</sup> 単心	06		
600V 150mm <sup>2</sup> 単心	07		
600V 8mm <sup>2</sup> 2心	08		
600V 14mm <sup>2</sup> 2心	09		
600V 22mm <sup>2</sup> 2心	10		
600V 38mm <sup>2</sup> 2心	11		
600V 60mm <sup>2</sup> 2心	12		
600V 100mm <sup>2</sup> 2心	13		
600V 150mm <sup>2</sup> 2心	14		
600V 8mm <sup>2</sup> 3心	15		
600V 14mm <sup>2</sup> 3心	16		
600V 22mm <sup>2</sup> 3心	17		
600V 38mm <sup>2</sup> 3心	18		
600V 60mm <sup>2</sup> 3心	19		
600V 100mm <sup>2</sup> 3心	20		
600V 150mm <sup>2</sup> 3心	21		

## (2) 直線接続材料 (CV) JCAA 規格高圧

施工歩掛コード	WE504700	施工単位	組
施工区分			
種別	規格番号		
3kV×単心 8mm <sup>2</sup>	01		
3kV×単心 14mm <sup>2</sup>	02		
3kV×単心 22mm <sup>2</sup>	03		
3kV×単心 38mm <sup>2</sup>	04		
3kV×単心 60mm <sup>2</sup>	05		
3kV×単心 100mm <sup>2</sup>	06		
3kV×単心 150mm <sup>2</sup>	07		
3kV×3心 8mm <sup>2</sup>	08		
3kV×3心 14mm <sup>2</sup>	09		
3kV×3心 22mm <sup>2</sup>	10		
3kV×3心 38mm <sup>2</sup>	11		
3kV×3心 60mm <sup>2</sup>	12		
3kV×3心 100mm <sup>2</sup>	13		
3kV×3心 150mm <sup>2</sup>	14		
6kV×単心 8mm <sup>2</sup>	15		
6kV×単心 14mm <sup>2</sup>	16		
6kV×単心 22mm <sup>2</sup>	17		
6kV×単心 38mm <sup>2</sup>	18		
6kV×単心 60mm <sup>2</sup>	19		
6kV×単心 100mm <sup>2</sup>	20		
6kV×単心 150mm <sup>2</sup>	21		
6kV×3心 8mm <sup>2</sup>	22		
6kV×3心 14mm <sup>2</sup>	23		
6kV×3心 22mm <sup>2</sup>	24		
6kV×3心 38mm <sup>2</sup>	25		
6kV×3心 60mm <sup>2</sup>	26		
6kV×3心 100mm <sup>2</sup>	27		
6kV×3心 150mm <sup>2</sup>	28		

(3) 端末処理材料 (CV) JCAA 規格 600V

施工歩掛コード	WE504800	施工単位	組
施工区分			
種別	規格番号		
600V 14mm <sup>2</sup> 単心	01		
600V 22mm <sup>2</sup> 単心	02		
600V 38mm <sup>2</sup> 単心	03		
600V 60mm <sup>2</sup> 単心	04		
600V 100mm <sup>2</sup> 単心	05		
600V 150mm <sup>2</sup> 単心	06		
600V 14mm <sup>2</sup> 2心	07		
600V 22mm <sup>2</sup> 2心	08		
600V 38mm <sup>2</sup> 2心	09		
600V 60mm <sup>2</sup> 2心	10		
600V 100mm <sup>2</sup> 2心	11		
600V 150mm <sup>2</sup> 2心	12		
600V 14mm <sup>2</sup> 3心	13		
600V 22mm <sup>2</sup> 3心	14		
600V 38mm <sup>2</sup> 3心	15		
600V 60mm <sup>2</sup> 3心	16		
600V 100mm <sup>2</sup> 3心	17		
600V 150mm <sup>2</sup> 3心	18		

(4) 端末処理材料 (CV) JCAA 規格 高压

施工歩掛コード	WE504900	施工単位	組
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
14mm <sup>2</sup> 単心	01	規格 (表-1)	
22mm <sup>2</sup> 単心	02		
38mm <sup>2</sup> 単心	03		
60mm <sup>2</sup> 単心	04		
100mm <sup>2</sup> 単心	05		
150mm <sup>2</sup> 単心	06		
14mm <sup>2</sup> 3心	07		
22mm <sup>2</sup> 3心	08		
38mm <sup>2</sup> 3心	09		
60mm <sup>2</sup> 3心	10		
100mm <sup>2</sup> 3心	11		
150mm <sup>2</sup> 3心	12		

表-1 規格

規格	入力番号
3kV 屋内	1
3kV 屋外	2
6kV 屋内	3
6kV 屋外	4

## ⑥ 配管材等

### 1 施工単価入力表

#### (1) 薄鋼電線管 (C)

施工歩掛コード	WE505100	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
呼び径 19	01	付属品率 (%)	
呼び径 25	02		
呼び径 31	03		
呼び径 39	04		
呼び径 51	05		
呼び径 63	06		
呼び径 75	07		

#### (2) 厚鋼電線管 (G)

施工歩掛コード	WE505200	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
呼び径 16	01	付属品率 (%)	
呼び径 22	02		
呼び径 28	03		
呼び径 36	04		
呼び径 42	05		
呼び径 54	06		
呼び径 70	07		
呼び径 82	08		
呼び径 92	09		
呼び径 104	10		

(3) ねじ無し電線管 (E)

施工歩掛コード	WE505300	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
呼び径 19	01	付属品率 (%)	
呼び径 25	02		
呼び径 31	03		
呼び径 39	04		
呼び径 51	05		
呼び径 63	06		
呼び径 75	07		

(4) 硬質ビニル電線管 (VE)

施工歩掛コード	WE505400	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
呼び径 14	01	付属品率 (%)	
呼び径 16	02		
呼び径 22	03		
呼び径 28	04		
呼び径 36	05		
呼び径 42	06		
呼び径 54	07		
呼び径 70	08		
呼び径 82	09		

(5) 耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE)

施工歩掛コード	WE505500	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
呼び径 14	01	付属品率 (%)	
呼び径 16	02		
呼び径 22	03		
呼び径 28	04		
呼び径 36	05		
呼び径 42	06		
呼び径 54	07		
呼び径 70	08		
呼び径 82	09		



(6) 波付硬質ポリエチレン管 (FEP)

施工歩掛コード	WE505600	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
呼び径 30	01	付属品率 (%)	
呼び径 40	02		
呼び径 50	03		
呼び径 65	04		
呼び径 80	05		
呼び径 100	06		
呼び径 125	07		
呼び径 150	08		
呼び径 200	09		

(7) PE ライニング鋼管

施工歩掛コード	WE505700	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
呼び径 16	01	付属品率 (%)	
呼び径 22	02		
呼び径 28	03		
呼び径 36	04		
呼び径 42	05		
呼び径 54	06		
呼び径 70	07		
呼び径 82	08		
呼び径 92	09		

(8) 金属製可とう電線管

施工歩掛コード	WE505800	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
ビニル被覆 二種 50φ	01	付属品率 (%)	
ビニル被覆 二種 76φ	02		

## (9) ガス管 (SGP)

施工歩掛コード	WE530100	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
白ねじ無し管 15A	01	付属品率 (%)	
白ねじ無し管 20A	02		
白ねじ無し管 25A	03		
白ねじ無し管 32A	04		
白ねじ無し管 40A	05		
白ねじ無し管 50A	06		
白ねじ無し管 65A	07		
白ねじ無し管 80A	08		
白ねじ無し管 100A	09		
白ねじ無し管 125A	10		
白ねじ無し管 150A	11		
白ねじ無し管 200A	12		
白ねじ無し管 250A	13		
白ねじ無し管 300A	14		
白ねじ無し管 350A	15		

## (10) 硬質塩化ビニル管

施工歩掛コード	WE530200	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
一般管 VP- 30	01	付属品率 (%)	
一般管 VP- 40	02		
一般管 VP- 50	03		
一般管 VP- 65	04		
一般管 VP- 75	05		
一般管 VP-100	06		

## (11) 一般配管用ステンレス鋼管

施工歩掛コード	WE530300	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
13SU T=0.8	01	付属品率 (%)	
20SU T=1.0	02		
25SU T=1.2	03		
30SU T=1.2	04		
40SU T=1.2	05		
50SU T=1.2	06		
60SU T=1.5	07		
75SU T=1.5	08		
80SU T=2.0	09		
100SU T=2.0	10		
125SU T=2.0	11		
150SU T=3.0	12		
200SU T=3.0	13		
250SU T=3.0	14		
300SU T=3.0	15		

## (12) ヒューム管

施工歩掛コード	WE535200	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
外圧管 1種 B形 150×26×2000	01		
外圧管 1種 B形 200×27×2000	02		
外圧管 1種 B形 250×28×2000	03		
外圧管 2種 B形 150×26×2000	04		
外圧管 2種 B形 200×27×2000	05		
外圧管 2種 B形 250×28×2000	06		

(13) アルミ製ケーブルラック

施工歩掛コード	WE506100	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
W = 200mm	01	ケーブルラックの 高さ (表-1)	
W = 300mm	02		
W = 400mm	03		
W = 500mm	04		
W = 600mm	05		
W = 800mm	06		
W = 1000mm	07		

表-1 ケーブルラックの高さ

ケーブルラックの高さ	入力番号
H = 60mm 直線型	1
H = 70mm 直線型	2
H = 80mm 直線型	3
H = 100mm 直線型	4

表-2 ケーブルラックの高さ

ケーブルラックの高さ	入力番号
H = 70mm 直線型	1
H = 100mm 直線型	2

(14) 溶融亜鉛メッキ製ケーブルラック

施工歩掛コード	WE506200	施工単位	m
施工区分		入力条件	
種別	規格番号	J1	
W = 200mm	01	ケーブルラックの 高さ (表-2)	
W = 300mm	02		
W = 400mm	03		
W = 500mm	04		
W = 600mm	05		
W = 700mm	06		
W = 800mm	07		
W = 900mm	08		
W = 1000mm	09		
W = 1200mm	10		

## (15) 鉄筋コンクリートケーブルトラフ

施工歩掛コード	WE506300	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
直線用 (70) 1000×70×75	01		
直線用 (70) 500×70×75	02		
直線用 (120) 500×120×75	03		
直線用 (150A) 500×150×90	04		
直線用 (150B) 500×150×120	05		
直線用 (200A) 500×200×90	06		
直線用 (200B) 500×200×170	07		
直線用 (250) 500×250×170	08		
直線用 (300) 500×300×170	09		
直線用 (400) 500×400×215	10		

## (16) エントランスキャップ

施工歩掛コード	WE506400	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
VE-42 用	01		
VE-70 用	02		

## (17) 埋設標識シート

施工歩掛コード	WE523200	施工単位	巻
施工区分			
種別	規格番号		
150mm×50m シングル	01		
150mm×50m 2倍	02		
150mm×50m 3.5倍	03		
300mm×50m シングル	04		
300mm×50m 2倍	05		
400mm×50m 2倍	06		

## ⑦ 分電盤等

### 1 施工単価入力表

#### (1) 分電盤キャビネット

施工歩掛コード	WE510200	施工単位	面
施工区分			
種別	規格番号		
屋外用 400×500×140 (mm)	01		

#### (2) 仮設ボックス

施工歩掛コード	WE510300	施工単位	面
施工区分			
種別	規格番号		
屋外用 400×300×200 (mm)	01		
屋外用 500×400×200 (mm)	02		
屋外用 600×700×200 (mm)	03		
屋外用 700×1200×200 (mm)	04		

#### (3) 低圧遮断器

施工歩掛コード	WE510400	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
600V 3P 50AF	01		
600V 3P 225AF	02		

#### (4) 漏電遮断器

施工歩掛コード	WE510500	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
600V 3P 30AF	01		
600V 3P 50AF	02		
600V 3P 100AF	03		
600V 3P 200AF	04		
600V 3P 1000AF	05		

(5) 安全開閉器

施工歩掛コード	WE510600	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
3P 100A	01		

(6) 低圧進相コンデンサ

施工歩掛コード	WE510700	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
200V 150 $\mu$ F	01		
200V 200 $\mu$ F	02		
200V 250 $\mu$ F	03		

⑧ 照明器具等

1 施工単価入力表

(1) 照明器具 (建電協型)

施工歩掛コード	WE512100	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
KSN-2	01		
KSN-3	02		
KSN-2-H	03		
KSN-3-H	04		
KSC-7	05		
KSC-4	06		
KC-4	07		
KH110B	08		
KH180B	09		
KH220B	10		
KH270B	11		
KH360B	12		
KH110B-S	13		
KH180B-S	14		
KH220B-S	15		
KH270B-S	16		
KH360B-S	17		
KSF-2A	18		
KSF-2B	19		
KSF-2C	20		
KSF-2D	21		
KDF-2A	22		
KDF-2B	23		

(2) 照明器具 (切羽照明用)

施工歩掛コード	WE512200	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
リフレクタ投光器	01		



## (3) 照明器具 (坑内照明用)

施工歩掛コード	WE512300	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
40W 蛍光灯 防湿・防雨型	01		

## (4) LED道路照明灯具 (建電協型)

施工歩掛コード	WE535300	施工単位	台・本
施工区分			
種別	規格番号		
KCE050-2	01		
KCE070-2	02		
KCE100-2	03		
KCE120-2	04		
KCE140-2	05		
KCE070-2H (高速用)	06		
KCE090-2H (高速用)	07		
KCE120-2H (高速用)	08		
KCE070-3	09		
KCE100-3	10		
KCE150-3	11		
KCE050-2C (交差点用)	12		
KCE070-2C (交差点用)	13		
KCE090-2C (交差点用)	14		
KCE150-3C (交差点用)	15		
KCE050-2-J	16		
KCE070-2-J	17		
KCE100-2-J	18		
KCE120-2-J	19		
KCE140-2-J	20		
KCE070-2H-J (高速用)	21		
KCE090-2H-J (高速用)	22		
KCE120-2H-J (高速用)	23		
KCE070-3-J	24		
KCE100-3-J	25		
KCE150-3-J	26		
KCE050-2C-J (交差点用)	27		
KCE070-2C-J (交差点用)	28		
KCE090-2C-J (交差点用)	29		
KCE150-3C-J (交差点用)	30		
専用ケーブル 直線型ポール用	31		

(5) LED歩道照明灯具（建電協型）

施工歩掛コード	WE535400	施工単位	台
施工区分			
種別	規格番号		
KHE015	01		
KHE030	02		
KHE015-J	03		
KHE030-J	04		

(6) LEDトンネル照明灯具（建電協型）

施工歩掛コード	WE535500	施工単位	台・組		
施工区分		入力条件			
種別	規格番号	J1 器具形式	J2 器具機能①	J3 器具機能②	J4 灯具選択
基本照明(BL)	01	表-1 から選択	表-2 から選択	表-3 から選択	表-4 (表-4-1から 表-4-18) から選択
基本照明重耐塩 仕様(BLS-J)	02				
入口照明(B)	03				
入口照明重耐塩 仕様(BS-J)	04				
トンネル照明機材用 落下防止材	05				

- (注) 1. J1条件は、規格番号で「02」、「04」を選択したときに、選択できる。  
2. J3条件は、規格番号で「01」、「02」を選択したときに、選択できる。

表-1

01	プレス加工器具枠なし(W)
02	アルミ製器具(A)

表-2

01	調光機能あり(-D)
02	調光機能なし

表-3

01	蓄電池内蔵形(P)
02	蓄電池機能なし

表-4

施工区分		J1 条件		J2 条件		J3 条件	
規格番号	種別	番号	器具形状	番号	器具機能①	番号	器具機能②
01	BL	-	-	01	調光機能あり(-D)	01	蓄電池内蔵形(P)
				02	調光機能なし	02	蓄電池機能なし
				01	調光機能あり(-D)	01	蓄電池内蔵形(P)
				02	調光機能なし	02	蓄電池機能なし
02	BLS-J	01	プレス加工器具 枠なし(W)	01	調光機能あり(-D)	01	蓄電池内蔵形(P)
				02	調光機能なし	02	蓄電池機能なし
				01	調光機能あり(-D)	01	蓄電池内蔵形(P)
				02	調光機能なし	02	蓄電池機能なし
		02	アルミ製器具(A)	01	調光機能あり(-D)	01	蓄電池内蔵形(P)
				02	調光機能なし	02	蓄電池機能なし
03	B	-	-	01	調光機能あり(-D)	-	-
				02	調光機能なし	-	-
04	BS-J	01	プレス加工器具 枠なし(W)	01	調光機能あり(-D)	-	-
				02	調光機能なし	-	-
		02	アルミ製器具(A)	01	調光機能あり(-D)	-	-
				02	調光機能なし	-	-

表-4-1

(規格番号：「01」、J1条件：一、J2条件：「01」、J3条件：「01」選択時)

01	KWEP030BL-D (基本 蓄電池内蔵)
02	KWEP045BL-D (基本 蓄電池内蔵)
03	KWEP060BL-D (基本 蓄電池内蔵)
04	KWEP070BL-D (基本 蓄電池内蔵)
05	KWEP090BL-D (基本 蓄電池内蔵)
06	KWEP120BL-D (基本 蓄電池内蔵)

表-4-2

(規格番号：「01」、J1条件：一、J2条件：「01」、J3条件：「02」選択時)

01	KWE030BL-D (基本)
02	KWE045BL-D (基本)
03	KWE060BL-D (基本)
04	KWE070BL-D (基本)
05	KWE090BL-D (基本)
06	KWE120BL-D (基本)

表-4-3

(規格番号：「01」、J1条件：一、J2条件：「02」、J3条件：「01」選択時)

01	KWEP030BL (基本 蓄電池内蔵)
02	KWEP045BL (基本 蓄電池内蔵)
03	KWEP060BL (基本 蓄電池内蔵)
04	KWEP070BL (基本 蓄電池内蔵)
05	KWEP090BL (基本 蓄電池内蔵)
06	KWEP120BL (基本 蓄電池内蔵)

表-4-4

(規格番号：「01」、J1条件：一、J2条件：「02」、J3条件：「02」選択時)

01	KWE030BL (基本)
02	KWE045BL (基本)
03	KWE060BL (基本)
04	KWE070BL (基本)
05	KWE090BL (基本)
06	KWE120BL (基本)

表-4-5

(規格番号：「02」、J1条件：「01」、J2条件：「01」、J3条件：「01」選択時)

01	KWEP030BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
02	KWEP045BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
03	KWEP060BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
04	KWEP070BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
05	KWEP090BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
06	KWEP120BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
07	KWEP030BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V
08	KWEP045BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V
09	KWEP060BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V
10	KWEP070BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V
11	KWEP090BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V
12	KWEP120BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V

表-4-6  
(規格番号：「02」、J1条件：「01」、J2条件：「01」、J3条件：「02」選択時)

01	KWE030BLS-J-D (基本) 200~240V
02	KWE045BLS-J-D (基本) 200~240V
03	KWE060BLS-J-D (基本) 200~240V
04	KWE070BLS-J-D (基本) 200~240V
05	KWE090BLS-J-D (基本) 200~240V
06	KWE120BLS-J-D (基本) 200~240V
07	KWE030BLS-J-D (基本) 415~460V
08	KWE045BLS-J-D (基本) 415~460V
09	KWE060BLS-J-D (基本) 415~460V
10	KWE070BLS-J-D (基本) 415~460V
11	KWE090BLS-J-D (基本) 415~460V
12	KWE120BLS-J-D (基本) 415~460V

表-4-7  
(規格番号：「02」、J1条件：「01」、J2条件：「02」、J3条件：「01」選択時)

01	KWEP030BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
02	KWEP045BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
03	KWEP060BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
04	KWEP070BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
05	KWEP090BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
06	KWEP120BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V

表-4-8  
(規格番号：「02」、J1条件：「01」、J2条件：「02」、J3条件：「02」選択時)

01	KWE030BLS-J (基本) 200~240V
02	KWE045BLS-J (基本) 200~240V
03	KWE060BLS-J (基本) 200~240V
04	KWE070BLS-J (基本) 200~240V
05	KWE090BLS-J (基本) 200~240V
06	KWE120BLS-J (基本) 200~240V
07	KWE030BLS-J (基本) 415~460V
08	KWE045BLS-J (基本) 415~460V
09	KWE060BLS-J (基本) 415~460V
10	KWE070BLS-J (基本) 415~460V
11	KWE090BLS-J (基本) 415~460V
12	KWE120BLS-J (基本) 415~460V

表-4-9  
(規格番号：「02」、J1条件：「02」、J2条件：「01」、J3条件：「01」選択時)

01	KAEP030BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
02	KAEP045BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
03	KAEP060BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
04	KAEP070BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
05	KAEP090BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
06	KAEP030BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V
07	KAEP045BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V
08	KAEP060BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V
09	KAEP070BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V
10	KAEP090BLS-J-D (基本 蓄電池内蔵) 415~460V

表-4-10  
(規格番号：「02」、J1条件：「02」、J2条件：「01」、J3条件：「02」選択時)

01	KAEO30BLS-J-D (基本) 200~240V
02	KAEO45BLS-J-D (基本) 200~240V
03	KAEO60BLS-J-D (基本) 200~240V
04	KAEO70BLS-J-D (基本) 200~240V
05	KAEO90BLS-J-D (基本) 200~240V
06	KAEL20BLS-J-D (基本) 200~240V
07	KAEO30BLS-J-D (基本) 415~460V
08	KAEO45BLS-J-D (基本) 415~460V
09	KAEO60BLS-J-D (基本) 415~460V
10	KAEO70BLS-J-D (基本) 415~460V
11	KAEO90BLS-J-D (基本) 415~460V
12	KAEL20BLS-J-D (基本) 415~460V

表-4-11  
(規格番号：「02」、J1条件：「02」、J2条件：「02」、J3条件：「01」選択時)

01	KAEP030BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
02	KAEP045BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
03	KAEP060BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
04	KAEP070BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V
05	KAEP090BLS-J (基本 蓄電池内蔵) 200~240V

表-4-12  
 (規格番号：「02」、J1条件：「02」、J2条件：「02」、J3条件：「02」選択時)

01	KAE030BLS-J (基本) 200~240V
02	KAE045BLS-J (基本) 200~240V
03	KAE060BLS-J (基本) 200~240V
04	KAE070BLS-J (基本) 200~240V
05	KAE090BLS-J (基本) 200~240V
06	KAE120BLS-J (基本) 200~240V
07	KAE030BLS-J (基本) 415~460V
08	KAE045BLS-J (基本) 415~460V
09	KAE060BLS-J (基本) 415~460V
10	KAE070BLS-J (基本) 415~460V
11	KAE090BLS-J (基本) 415~460V
12	KAE120BLS-J (基本) 415~460V

表-4-13  
 (規格番号：「03」、J1条件：一、J2条件：「01」、J3条件：一選択時)

01	KWE030B-D (入口)
02	KWE070B-D (入口)
03	KWE100B-D (入口)
04	KWE150B-D (入口)
05	KWE200B-D (入口)
06	KWE250B-D (入口)
07	KWE300B-D (入口)
08	KWE350B-D (入口)

表-4-14  
 (規格番号：「03」、J1条件：一、J2条件：「02」、J3条件：一選択時)

01	KWE030B (入口)
02	KWE070B (入口)
03	KWE100B (入口)
04	KWE150B (入口)
05	KWE200B (入口)
06	KWE250B (入口)
07	KWE300B (入口)
08	KWE350B (入口)

表-4-15  
(規格番号：「04」、J1条件：「01」、J2条件：「01」、J3条件：一選択時)

01	KWE035BS-J-D (入口) 200~240V
02	KWE070BS-J-D (入口) 200~240V
03	KWE100BS-J-D (入口) 200~240V
04	KWE150BS-J-D (入口) 200~240V
05	KWE200BS-J-D (入口) 200~240V
06	KWE250BS-J-D (入口) 200~240V
07	KWE300BS-J-D (入口) 200~240V
08	KWE350BS-J-D (入口) 200~240V
09	KWE035BS-J-D (入口) 415~460V
10	KWE070BS-J-D (入口) 415~460V
11	KWE100BS-J-D (入口) 415~460V
12	KWE150BS-J-D (入口) 415~460V
13	KWE200BS-J-D (入口) 415~460V
14	KWE250BS-J-D (入口) 415~460V
15	KWE300BS-J-D (入口) 415~460V
16	KWE350BS-J-D (入口) 415~460V

表-4-16  
(規格番号：「04」、J1条件：「01」、J2条件：「02」、J3条件：一選択時)

01	KWE035BS-J (入口) 200~240V
02	KWE070BS-J (入口) 200~240V
03	KWE100BS-J (入口) 200~240V
04	KWE150BS-J (入口) 200~240V
05	KWE200BS-J (入口) 200~240V
06	KWE250BS-J (入口) 200~240V
07	KWE300BS-J (入口) 200~240V
08	KWE350BS-J (入口) 200~240V
09	KWE035BS-J (入口) 415~460V
10	KWE070BS-J (入口) 415~460V
11	KWE100BS-J (入口) 415~460V
12	KWE150BS-J (入口) 415~460V
13	KWE200BS-J (入口) 415~460V
14	KWE250BS-J (入口) 415~460V
15	KWE300BS-J (入口) 415~460V
16	KWE350BS-J (入口) 415~460V



表-4-17  
 (規格番号：「04」、J1条件：「02」、J2条件：「01」、J3条件：一選択時)

01	KAE035BS-J-D (入口) 200~240V
02	KAE070BS-J-D (入口) 200~240V
03	KAE100BS-J-D (入口) 200~240V
04	KAE150BS-J-D (入口) 200~240V
05	KAE200BS-J-D (入口) 200~240V
06	KAE250BS-J-D (入口) 200~240V
07	KAE300BS-J-D (入口) 200~240V
08	KAE350BS-J-D (入口) 200~240V
09	KAE035BS-J-D (入口) 415~460V
10	KAE070BS-J-D (入口) 415~460V
11	KAE100BS-J-D (入口) 415~460V
12	KAE150BS-J-D (入口) 415~460V
13	KAE200BS-J-D (入口) 415~460V
14	KAE250BS-J-D (入口) 415~460V
15	KAE300BS-J-D (入口) 415~460V
16	KAE350BS-J-D (入口) 415~460V

表-4-18  
 (規格番号：「04」、J1条件：「02」、J2条件：「02」、J3条件：一選択時)

01	KAE035BS-J (入口) 200~240V
02	KAE070BS-J (入口) 200~240V
03	KAE100BS-J (入口) 200~240V
04	KAE150BS-J (入口) 200~240V
05	KAE200BS-J (入口) 200~240V
06	KAE250BS-J (入口) 200~240V
07	KAE300BS-J (入口) 200~240V
08	KAE350BS-J (入口) 200~240V
09	KAE035BS-J (入口) 415~460V
10	KAE070BS-J (入口) 415~460V
11	KAE100BS-J (入口) 415~460V
12	KAE150BS-J (入口) 415~460V
13	KAE200BS-J (入口) 415~460V
14	KAE250BS-J (入口) 415~460V
15	KAE300BS-J (入口) 415~460V
16	KAE350BS-J (入口) 415~460V

(7) 安定器（水銀灯用一般形）

施工歩掛コード	WE512600	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
100V 100W	01		
100V 200W	02		
100V 250W	03		
100V 300W	04		
100V 400W	05		
100V 700W	06		
100V 1000W	07		
200V 100W	08		
200V 200W	09		
200V 250W	10		
200V 300W	11		
200V 400W	12		
200V 700W	13		
200V 1000W	14		

(8) 安定器（水銀灯用定電力形）

施工歩掛コード	WE512700	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
100V/200V 100W	01		
100V/200V 200W	02		
100V/200V 250W	03		
100V/200V 300W	04		
100V/200V 400W	05		
100V/200V 700W	06		
100V/200V 1000W	07		

(9) 安定器（水銀灯用調光定電力形）

施工歩掛コード	WE512800	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
200V 250W	01		
200V 300W	02		
200V 400W	03		
200V 700W	04		
200V 1000W	05		

(10) 安定器 (ナトリウム灯用高圧)

施工歩掛コード	WE513000	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
200V 450W (低始動形)	01		
200V 660W (低始動形)	02		
200V 940W (低始動形)	03		

(11) 高圧水銀ランプ (HF)

施工歩掛コード	WE513100	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
100W	01		
200W	02		
250W	03		
300W	04		
400W	05		
700W	06		
1000W	07		

(12) 高圧ナトリウムランプ (NHF)

施工歩掛コード	WE513300	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
70W 水銀灯安定器点灯形	01		
110W 水銀灯安定器点灯形	02		
180W 水銀灯安定器点灯形	03		
220W 水銀灯安定器点灯形	04		
270W 水銀灯安定器点灯形	05		
360W 水銀灯安定器点灯形	06		
450W 水銀灯安定器点灯形	07		
660W 水銀灯安定器点灯形	08		
940W 水銀灯安定器点灯形	09		

(13) 高圧ナトリウムランプ (NHT)

施工歩掛コード	WE513400	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
180W 水銀灯安定器点灯形	01		
220W 水銀灯安定器点灯形	02		
360W 水銀灯安定器点灯形	03		

(14) 白熱灯ランプ

施工歩掛コード	WE513500	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
500W	01		

(15) 蛍光灯ランプ

施工歩掛コード	WE513600	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
40W 直管	01		

(16) 照明用テーパーポール（鋼製）（建電協型） 8 m埋込式

施工歩掛コード	WE535600	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
I S 8 - C (埋込式 めっき)	01		
I S 8 - S (埋込式 めっき)	02		
I A 8 - C (埋込式 めっき)	03		
I A 8 - S (埋込式 めっき)	04		
8 - 1 8 - C (埋込式 めっき)	05		
8 - 1 8 - S (埋込式 めっき)	06		
T S 8 - C (埋込式 めっき)	07		
T S 8 - S (埋込式 めっき)	08		
T A 8 - C (埋込式 めっき)	09		
T A 8 - S (埋込式 めっき)	10		
8 - 1 8 Y - C (埋込式 めっき)	11		
8 - 1 8 Y - S (埋込式 めっき)	12		
I S 8 - C (埋込式 塗装)	13		
I S 8 - S (埋込式 塗装)	14		
I A 8 - C (埋込式 塗装)	15		
I A 8 - S (埋込式 塗装)	16		
8 - 1 8 - C (埋込式 塗装)	17		
8 - 1 8 - S (埋込式 塗装)	18		
T S 8 - C (埋込式 塗装)	19		
T S 8 - S (埋込式 塗装)	20		
T A 8 - C (埋込式 塗装)	21		
T A 8 - S (埋込式 塗装)	22		
8 - 1 8 Y - C (埋込式 塗装)	23		
8 - 1 8 Y - S (埋込式 塗装)	24		

## (17) 照明用テーパーポール（鋼製）（建電協型） 8 m露出型

施工歩掛コード	WE535700	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
I S 8 B - C (ベース露出型 めっき)	01		
I S 8 B - S (ベース露出型 めっき)	02		
I A 8 B - C (ベース露出型 めっき)	03		
I A 8 B - S (ベース露出型 めっき)	04		
8 - 1 8 B - C (ベース露出 めっき)	05		
8 - 1 8 B - S (ベース露出 めっき)	06		
T S 8 B - C (ベース露出型 めっき)	07		
T S 8 B - S (ベース露出型 めっき)	08		
T A 8 B - C (ベース露出型 めっき)	09		
T A 8 B - S (ベース露出型 めっき)	10		
8 - 1 8 Y B - C (ベース露出 めっき)	11		
8 - 1 8 Y B - S (ベース露出 めっき)	12		
I S 8 B - C (ベース露出型 塗装)	13		
I S 8 B - S (ベース露出型 塗装)	14		
I A 8 B - C (ベース露出型 塗装)	15		
I A 8 B - S (ベース露出型 塗装)	16		
8 - 1 8 B - C (ベース露出 塗装)	17		
8 - 1 8 B - S (ベース露出 塗装)	18		
T S 8 B - C (ベース露出型 塗装)	19		
T S 8 B - S (ベース露出型 塗装)	20		
T A 8 B - C (ベース露出型 塗装)	21		
T A 8 B - S (ベース露出型 塗装)	22		
8 - 1 8 Y B - C (ベース露出 塗装)	23		
8 - 1 8 Y B - S (ベース露出 塗装)	24		

## (18) 照明用テーパーポール（鋼製）（建電協型） 8 m埋設型

施工歩掛コード	WE535800	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
I S 8 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	01		
I S 8 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	02		
I A 8 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	03		
I A 8 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	04		
8 . 3 - 1 8 B - C (ベース埋設 めっき)	05		
8 . 3 - 1 8 B - S (ベース埋設 めっき)	06		
T S 8 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	07		
T S 8 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	08		
T A 8 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	09		
T A 8 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	10		
8 . 3 - 1 8 Y B - C (ベース埋設 めっき)	11		
8 . 3 - 1 8 Y B - S (ベース埋設 めっき)	12		
I S 8 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	13		
I S 8 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	14		
I A 8 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	15		
I A 8 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	16		
8 . 3 - 1 8 B - C (ベース埋設 塗装)	17		
8 . 3 - 1 8 B - S (ベース埋設 塗装)	18		
T S 8 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	19		
T S 8 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	20		
T A 8 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	21		
T A 8 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	22		
8 . 3 - 1 8 Y B - C (ベース埋設 塗装)	23		
8 . 3 - 1 8 Y B - S (ベース埋設 塗装)	24		

(19) 照明用テーパーポール（鋼製）（建電協型）10m埋込式

施工歩掛コード	WE535900	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
I S 1 0 - C (埋込式 めっき)	01		
I S 1 0 - S (埋込式 めっき)	02		
I A 1 0 - C (埋込式 めっき)	03		
I A 1 0 - S (埋込式 めっき)	04		
T S 1 0 - C (埋込式 めっき)	05		
T S 1 0 - S (埋込式 めっき)	06		
T A 1 0 - C (埋込式 めっき)	07		
T A 1 0 - S (埋込式 めっき)	08		
I S 1 0 - C (埋込式 塗装)	09		
I S 1 0 - S (埋込式 塗装)	10		
I A 1 0 - C (埋込式 塗装)	11		
I A 1 0 - S (埋込式 塗装)	12		
T S 1 0 - C (埋込式 塗装)	13		
T S 1 0 - S (埋込式 塗装)	14		
T A 1 0 - C (埋込式 塗装)	15		
T A 1 0 - S (埋込式 塗装)	16		



## (20) 照明用テーパーポール（鋼製）（建電協型） 10m露出型

施工歩掛コード	WE536000	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
IS10B-C（ベース露出型 めっき）	01		
IS10B-S（ベース露出型 めっき）	02		
IA10B-C（ベース露出型 めっき）	03		
IA10B-S（ベース露出型 めっき）	04		
10-21B-C（ベース露出 めっき）	05		
10-21B-S（ベース露出 めっき）	06		
TS10B-C（ベース露出型 めっき）	07		
TS10B-S（ベース露出型 めっき）	08		
TA10B-C（ベース露出型 めっき）	09		
TA10B-S（ベース露出型 めっき）	10		
10-21YB-C（ベース露出 めっき）	11		
10-21YB-S（ベース露出 めっき）	12		
IS10B-C（ベース露出型 塗装）	13		
IS10B-S（ベース露出型 塗装）	14		
IA10B-C（ベース露出型 塗装）	15		
IA10B-S（ベース露出型 塗装）	16		
10-21B-C（ベース露出 塗装）	17		
10-21B-S（ベース露出 塗装）	18		
TS10B-C（ベース露出型 塗装）	19		
TS10B-S（ベース露出型 塗装）	20		
TA10B-C（ベース露出型 塗装）	21		
TA10B-S（ベース露出型 塗装）	22		
10-21YB-C（ベース露出 塗装）	23		
10-21YB-S（ベース露出 塗装）	24		

## (21) 照明用テーパーポール（鋼製）（建電協型）10m埋設型

施工歩掛コード	WE536100	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
I S 1 0 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	01		
I S 1 0 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	02		
I A 1 0 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	03		
I A 1 0 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	04		
1 0 . 3 - 2 1 B - C (ベース埋設 めっき)	05		
1 0 . 3 - 2 1 B - S (ベース埋設 めっき)	06		
T S 1 0 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	07		
T S 1 0 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	08		
T A 1 0 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	09		
T A 1 0 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	10		
1 0 . 3 - 2 1 Y B - C (ベース埋設 めっき)	11		
1 0 . 3 - 2 1 Y B - S (ベース埋設 めっき)	12		
I S 1 0 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	13		
I S 1 0 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	14		
I A 1 0 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	15		
I A 1 0 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	16		
1 0 . 3 - 2 1 B - C (ベース埋設 塗装)	17		
1 0 . 3 - 2 1 B - S (ベース埋設 塗装)	18		
T S 1 0 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	19		
T S 1 0 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	20		
T A 1 0 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	21		
T A 1 0 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	22		
1 0 . 3 - 2 1 Y B - C (ベース埋設 塗装)	23		
1 0 . 3 - 2 1 Y B - S (ベース埋設 塗装)	24		

(22) 照明用テーパーポール（鋼製）（建電協型） 1.2m露出型

施工歩掛コード	WE536200	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
I S 1 2 B - C (ベース露出型 めっき)	01		
I S 1 2 B - S (ベース露出型 めっき)	02		
I A 1 2 B - C (ベース露出型 めっき)	03		
I A 1 2 B - S (ベース露出型 めっき)	04		
T S 1 2 B - C (ベース露出型 めっき)	05		
T S 1 2 B - S (ベース露出型 めっき)	06		
T A 1 2 B - C (ベース露出型 めっき)	07		
T A 1 2 B - S (ベース露出型 めっき)	08		
I S 1 2 B - C (ベース露出型 塗装)	09		
I S 1 2 B - S (ベース露出型 塗装)	10		
I A 1 2 B - C (ベース露出型 塗装)	11		
I A 1 2 B - S (ベース露出型 塗装)	12		
T S 1 2 B - C (ベース露出型 塗装)	13		
T S 1 2 B - S (ベース露出型 塗装)	14		
T A 1 2 B - C (ベース露出型 塗装)	15		
T A 1 2 B - S (ベース露出型 塗装)	16		

## (23) 照明用テーパーポール（鋼製）（建電協型） 1.2m埋設型

施工歩掛コード	WE536300	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
I S 1 2 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	01		
I S 1 2 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	02		
I A 1 2 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	03		
I A 1 2 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	04		
T S 1 2 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	05		
T S 1 2 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	06		
T A 1 2 . 3 B - C (ベース埋設型 めっき)	07		
T A 1 2 . 3 B - S (ベース埋設型 めっき)	08		
I S 1 2 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	09		
I S 1 2 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	10		
I A 1 2 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	11		
I A 1 2 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	12		
T S 1 2 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	13		
T S 1 2 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	14		
T A 1 2 . 3 B - C (ベース埋設型 塗装)	15		
T A 1 2 . 3 B - S (ベース埋設型 塗装)	16		

## (24) スイッチ付端子ボックス

施工歩掛コード	WE510100	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
SB-902	01		
SB-902 B10	02		
SB-902 B11	03		
SB-902 B20	04		
SB-902 B22	05		

## (25) アンカーボルト

施工歩掛コード	WE535100	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
M 8	01		
M10	02		

⑨ 電話付属用品等

1 施工単価入力表

(1) 端子板

施工歩掛コード	WE515200	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
透明樹脂製 202R	01		
透明樹脂製 204R	02		
透明樹脂製 206R	03		
透明樹脂製 252R	04		
透明樹脂製 254R	05		
透明樹脂製 256R	06		
A1 号 10 回線	07		
A2 号 10 回線	08		
A2 号 5 回線	09		

(2) 避雷器弾器

施工歩掛コード	WE515300	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
111A	01		
101A	02		

(3) 転換器

施工歩掛コード	WE515400	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
A 12 号	01		
K 12 号	02		

⑩ 建柱材等

1 施工単価入力表

(1) コンクリートポール (電力仕様)

施工歩掛コード	WE520200	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
9.0m 末口 19cm 3.5kN	01		
10m 末口 19cm 3.5kN	02		
11m 末口 19cm 3.5kN	03		
12m 末口 19cm 3.5kN	04		
13m 末口 19cm 3.5kN	05		
14m 末口 19cm 3.5kN	06		
15m 末口 19cm 3.5kN	07		
16m 末口 19cm 3.5kN	08		
9.0m 末口 19cm 5.0kN	09		
10m 末口 19cm 5.0kN	10		
11m 末口 19cm 5.0kN	11		
12m 末口 19cm 5.0kN	12		
13m 末口 19cm 5.0kN	13		
14m 末口 19cm 5.0kN	14		
15m 末口 19cm 5.0kN	15		
16m 末口 19cm 5.0kN	16		
17m 末口 19cm 5.0kN	17		
12m 末口 19cm 7.0kN	18		
13m 末口 19cm 7.0kN	19		
14m 末口 19cm 7.0kN	20		
15m 末口 19cm 7.0kN	21		
16m 末口 19cm 7.0kN	22		
17m 末口 19cm 7.0kN	23		
18m 末口 19cm 7.0kN	24		

(2) コンクリートポール (NTT仕様)

施工歩掛コード	WE520300	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
7.0m 末口 14 cm 150kgf	01		
7.5m 末口 14 cm 200kgf	02		
8.0m 末口 14 cm 200kgf	03		
9.0m 末口 14 cm 250kgf	04		
7.0m 末口 19 cm 430kgf	05		
7.5m 末口 19 cm 430kgf	06		
8.0m 末口 19 cm 430kgf	07		
9.0m 末口 19 cm 430kgf	08		
7.0m 末口 19 cm 600kgf	09		
7.5m 末口 19 cm 600kgf	10		
8.0m 末口 19 cm 600kgf	11		
9.0m 末口 19 cm 600kgf	12		

(3) パンザーマスト

施工歩掛コード	WE520400	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
R14 7.32m	01		
R15 9.02m	02		
R16 10.68m	03		
R17 12.30m	04		
R18 13.88m	05		
R19 15.42m	06		
R25 7.22m	07		
R26 8.88m	08		
R27 10.50m	09		
R28 12.08m	10		
R29 13.62m	11		
R35 5.44m	12		
R36 7.10m	13		
R37 8.72m	14		
R38 10.30m	15		
R39 11.84m	16		
R110 16.92m	17		
R111 18.37m	18		
R112 19.82m	19		
R210 15.12m	20		
R211 16.57m	21		
R212 18.02m	22		
R213 19.42m	23		
R310 13.34m	24		
R311 14.79m	25		
R312 16.24m	26		
R313 17.64m	27		
R314 19.00m	28		



(4) コンクリート根かせ

施工歩掛コード	WE521800	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
A型 (バンド付)	01		
B型 (バンド付)	02		
C型 (バンド付)	03		

## ⑪ 装柱金具その他等

### 1 施工単価入力表

#### (1) がいし (配電線用)

施工歩掛コード	WE520500	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
高圧耐張 普通形 普通形	01		
高圧耐張 耐塩形 (2山)	02		
高圧ピン 普通形 大	03		
高圧ピン 耐塩形 88mm	04		
高圧ピン 耐塩形 120mm	05		
高圧ピン 耐塩形 100mm	06		
玉 100×100	07		
低圧引留 75×65	08		
低圧ピン 大 立ピン	09		
低圧ピン 中 立ピン	10		

#### (2) 足場ボルト

施工歩掛コード	WE521900	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
CP 用	01		

#### (3) 軽腕金

施工歩掛コード	WE522000	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
0.9m テ	01		
1.2m ト	02		
1.5m テ	03		
1.5m ヒ	04		
1.8m テ	05		
1.8m ヒ	06		

## (4) アームタイ

施工歩掛コード	WE522100	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
2.3×25×945 (mm)	01		

## (5) 巻付グリッブ

施工歩掛コード	WE522200	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
シンプル、玉碍子用 22mm <sup>2</sup>	01		
シンプル、玉碍子用 30mm <sup>2</sup>	02		
シンプル、玉碍子用 38mm <sup>2</sup>	03		
シンプル、玉碍子用 45mm <sup>2</sup>	04		
シンプル、玉碍子用 55mm <sup>2</sup>	05		
シンプル、玉碍子用 70mm <sup>2</sup>	06		

## (6) ステンレスバンド

施工歩掛コード	WE522300	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
SFT-005	01		
SFBT-10, SLS-1	02		

## (7) 装柱金具

施工歩掛コード	WE522400	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
Uボルト 13×220	01		

## (8) 引留クランプ

施工歩掛コード	WE522500	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
高圧 22mm <sup>2</sup>	01		
高圧 38mm <sup>2</sup>	02		

(9) 蓄力形コネクタ

施工歩掛コード	WE522600	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
22mm <sup>2</sup>	01		
38mm <sup>2</sup>	02		

(10) 高圧分岐カバー

施工歩掛コード	WE522700	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
T1、2 個用	01		

(11) 高圧水切カバー

施工歩掛コード	WE522800	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
100A	01		

(12) ステープロック

施工歩掛コード	WE522900	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
No. 1 ロッド付	01		
No. 2 ロッド付	02		
No. 3 ロッド付	03		

(13) 配電用避雷器

施工歩掛コード	WE523000	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
8.4KV 一般型	01		

(14) 低圧ラック

施工歩掛コード	WE523100	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
低圧ラック	01		

(15) 亜鉛メッキ鋼より線

施工歩掛コード	WE506500	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
2種A級22mm <sup>2</sup>	01		
2種A級30mm <sup>2</sup>	02		
2種A級38mm <sup>2</sup>	03		
2種A級45mm <sup>2</sup>	04		
2種A級55mm <sup>2</sup>	05		
2種A級70mm <sup>2</sup>	06		

(16) クロージャHH固定金具

施工歩掛コード	WE507200	施工単位	組
施工区分			
種別	規格番号		
引通し用	01		
後分岐用	02		
接続部	03		

(17) L C X取付金具

施工歩掛コード	WE507300	施工単位	組
施工区分			
種別	規格番号		
片側引留金具 SUS	01		
吊架金具 SUS	02		
中間引留金具 SUS	03		

(18) 一般支持金具

施工歩掛コード	WE506700	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
TA85	01		

(19) 一般用受皿

施工歩掛コード	WE506800	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
15R ポリエチレン	01		
25R ポリエチレン	02		

⑫ 避雷針及び設置資材

1 施工単価入力表

(1) 避雷針 (クロムメッキ突針)

施工歩掛コード	WE520600	施工単位	基
施工区分			
種別	規格番号		
建設省型 LR-1 (LR-2)	01		

(2) 避雷針 (支持管)

施工歩掛コード	WE520700	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
建設省型 STK 4m	01		
建設省型 STK 5m	02		
建設省型 STK 6m	03		
建設省型 STK 7m	04		
建設省型 STK 8m	05		
建設省型 BST (黄銅管) 4m	06		
建設省型 BST (黄銅管) 5m	07		
建設省型 BST (黄銅管) 6m	08		
建設省型 SUS (ステンレス管) 4m	09		
建設省型 SUS (ステンレス管) 5m	10		
建設省型 SUS (ステンレス管) 6m	11		

## (3) 避雷針（支持管取付金物）

施工歩掛コード	WE520800	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
銅管用 露出 径 48.6	01		
銅管用 露出 径 60.5	02		
銅管用 露出 径 76.3	03		
黄銅管用 露出 径 38.0	04		
黄銅管用 露出 径 50.8	05		
黄銅管用 露出 径 63.5	06		
SUS用 露出 径 48.6	07		
SUS用 露出 径 60.5	08		
SUS用 露出 径 76.3	09		

## (4) 避雷針（導線引出金物）

施工歩掛コード	WE520900	施工単位	個
施工区分			
種別	規格番号		
鉄骨用アース端子	01		

## (5) 避雷針（接続端子）

施工歩掛コード	WE521000	施工単位	組
施工区分			
種別	規格番号		
試験用 黄銅製 クロームメッキ	01		
T型分岐端子 黄銅・銅製	02		

## (6) 避雷針（端子箱）

施工歩掛コード	WE521100	施工単位	面
施工区分			
種別	規格番号		
建設省型 TB-AF (S) 1A	01		
建設省型 TB-CG (T) 1A	02		
建設省型 TB-SG (T) 1A	03		

(7) 避雷針（接地埋設標示板）

施工歩掛コード	WE521200	施工単位	枚
施工区分			
種別	規格番号		
建設省型 140×90×1.5t	01		

(8) 避雷針（接地極銅板）

施工歩掛コード	WE521300	施工単位	枚
施工区分			
種別	規格番号		
900×900×1.5t 黄銅ロウ付	01		

(9) 接地棒

施工歩掛コード	WE521400	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
E-B3 10φ×1000mm	01		

(10) 接地棒用リード端子

施工歩掛コード	WE521500	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
E-B10 10φ用 8mm <sup>2</sup> ×500mm	01		

(11) 連結式接地棒

施工歩掛コード	WE521600	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
径10×900	01		
径10×1500	02		
径14×1500	03		



(12) 連結式接地棒用リード端子

施工歩掛コード	WE521700	施工単位	本
施工区分			
種別	規格番号		
径 10 用 8mm <sup>2</sup> ×500	01		
径 10 用 22mm <sup>2</sup> ×500	02		
径 14 用 22mm <sup>2</sup> ×500	03		

(13) 鬼より線（避雷導線）

施工歩掛コード	WE506600	施工単位	m
施工区分			
種別	規格番号		
40mm <sup>2</sup>	01		
55mm <sup>2</sup>	02		
60mm <sup>2</sup>	03		
70mm <sup>2</sup>	04		
100mm <sup>2</sup>	05		